

平成 27 年度 全国学力・学習状況調査 報 告 書

平成 27 年 10 月

香川県教育センター

目 次

目次	1
はじめに	2
I 調査の概要	3
調査の概要	4・5
数値，グラフ等を見るうえでの留意点	6～8
II 調査結果（概論）	9
全体的な状況	10・11
正答数の分布，全問不正解，無解答率【小学校】	12・13
正答数の分布，全問不正解，無解答率【中学校】	14・15
結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	16・17
教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	18～21
結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	22・23
Question 1「自尊意識等」	24・25
Question 2「規範意識」	26
Question 3「学校生活」	27
Question 4「学習意欲」	28・29
Question 5「学習状況」	30・31
Question 6「言語活動」	32・33
Question 7「家庭学習」	34
Question 8「メディアの利用」	35
アクティブ・ラーニングに関わる質問一覧	36
III 教科に関する調査結果及び分析	37
1 小学校国語	38～49
2 小学校算数	50～61
3 小学校理科	62～67
4 中学校国語	68～79
5 中学校数学	80～91
6 中学校理科	92～98
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	99
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	100～105
2 児童生徒質問紙回答結果グラフ	106～121
3 学校質問紙 調査結果一覧	122～128
4 学校質問紙回答結果グラフ	129～145

は じ め に

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度から本年度までに、震災のため中断された平成 23 年度を除き、今年度で 8 回目を終えました。そして、今年度は、3 年に 1 度の実施となる理科を含め、悉皆調査で実施されました。

今年度の教科に関する調査では、小学校においては、これまですべての調査区分で全国平均を上回っていましたが、今回初めて算数 A で全国平均を下回りました。

また、中学校においては、国語 A、理科で全国平均を上回ったものの、国語 B、数学 B については、全国平均を下回る結果となり、依然として課題がうかがわれる結果となりました。

県教育委員会では、本県の状況が全国との関係の中でより具体的に分かり、課題が浮き彫りとなるよう、教科に関する調査だけでなく、児童生徒や学校質問紙調査も含めて、それぞれについて、また双方の相関関係などについても分析し、その結果をまとめてまいりました。平成 24 年度からは、これまで行ってきた分析内容や方法も踏まえ、以下の点を工夫して報告書を作成しています。

- 平成 19 年度以降のこれまでの調査で明らかとなった本県の課題をピックアップして“Q & A 形式”で概論にまとめています。
- 教科に関する調査や質問紙調査においては、平成 19 年度～平成 27 年度の経年変化を必要に応じて示し、学力や生活習慣、学習環境がどのように推移しているか分かるようにまとめています。
- 質問紙調査においては、全国平均との比較に加え、各都道府県の回答状況を散布図で示すことによって、本県の状況をより正確に捉えることができるようにしています。
- 各種データをレーダーチャートで表示するなど、特に質問紙調査では、「自尊意識等」といったカテゴリ別集計により、自校の全体的傾向をとらえやすくしています。
- 特に今年度は、本県の課題でもある学習意欲や言語活動の充実を図るため、次期学習指導要領のキーワードであるアクティブ・ラーニングについての特集ページを設けています。各学校等には、本報告書と同時に、アクティブ・ラーニングの Leaf. 2 を配布していますのでご活用願います。

なお、昨年度と同様に、本報告書に掲載した設問や質問の結果について、自校のデータを表やグラフに表示する「活用ツール」を当センター Web サイトに掲載しています。

各市町（学校組合）教育委員会や各学校におかれましては、本報告書等を参考にして、それぞれの市町や学校の実情に照らし合わせて分析と検証を行い、児童生徒の学習状況の全体的傾向を適切に把握するとともに、児童生徒一人一人が、個々の設問等でどのようなつまづきがあるのかなど、自校の課題を職員間で共有し、今後の授業実践等において課題解決に取り組んでいただきますようお願いします。

当センターといたしましても、指導主事等が直接学校等に出向き、学校力の強化や教職員の資質向上を支援いたしますので、ご活用ください。

平成 27 年 10 月

香 川 県 教 育 セ ン タ ー
所 長 倉 沢 均

I 調査の概要

調査の概要

本体調査（全数調査）

1 調査の概要

（１）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）調査対象

- ① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象
 - ア（小学校調査）小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年
 - イ（中学校調査）中学校第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年
- ② 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち，調査の対象となる教科について，以下に該当する児童生徒は，調査の対象としないことを原則とする。
 - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

（３）調査事項

- ① 教科に関する調査（国語，算数・数学，理科）

・国語，算数・数学はそれぞれ，「主として知識に関する問題」※¹と「主として活用に関する問題」※²を出題。

・理科については，「主として知識に関する問題」と「主として活用に関する問題」を一体的に出題

※1 主として知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

※2 主として活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

- ② 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

（４）調査実施日

平成27年4月21日（火）

(5) 調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

	学校数	児童数
公立学校	165 校	8, 559 人

【中学校調査】

	学校数	生徒数
公立学校	69 校	8, 633 人

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれについて、以下の事項等を示す。

① 教科に関する調査の結果について

ア 国語、算数・数学のそれぞれ、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題に分けた四つの区分ごとの平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等

イ 理科については、

- ・ 理科の問題の全体の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ・ 理科の問題のうち、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題に分けた二つの区分ごとの平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等

② 都道府県・市町村・学校・児童生徒の学力に関する分布の形状等が分かるグラフ

③ 各教科の設問ごとの正答率等

④ 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果

ア 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況

イ 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析

ウ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析

⑤ その他、本調査の目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のよう調査結果を活用した取組に努めることとする。

① 各教育委員会、学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。

② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。

③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進めること。

④ 文部科学省においては、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこと。また、各教育委員会、学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改善に向けた全国的な取組を進めること。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。その際、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

数値、グラフ等を見るうえでの留意点

■ 1 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

■ 2 抽出調査の集計値について

平成 22 年度、平成 24 年度調査は抽出調査であり、各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、推計値である集計値については、全国（公立）の教科に関する調査及び児童生徒に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることにも留意することが必要である。

■ 3 質問紙調査のカテゴリ別集計について ※香川県重点項目に関する質問事項 参照 P 8

児童生徒質問事項の中から、香川で課題とされるものについてカテゴリ別の集計を行い、各カテゴリの全体的な傾向をとらえる。

例えば、自尊意識等に関する質問は4つの質問事項があり、カテゴリの得点を以下のように算出した。

- ① 各質問事項において、肯定的な回答ほど高得点になるように、4段階の回答を4点～1点として得点化し、各回答の比率から質問事項ごとの平均得点(1～4点)を算出する。
- ② カテゴリに含まれる質問事項の得点を平均したものを、カテゴリの得点とする。
- ③ 全国と香川県で各カテゴリの得点を算出し、全国での平均得点を0とし、全国と香川県との差を図に示す。

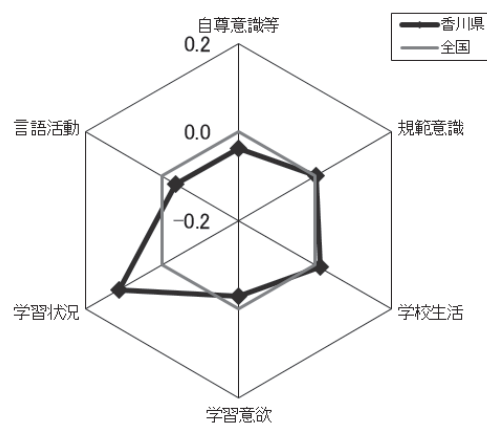
【選択肢】

- 4点 当てはまる
3点 どちらかといえば、
当てはまる
2点 どちらかといえば、
当てはまらない
1点 当てはまらない

例) カテゴリ【自尊意識等】

質問事項	平均得点（点）	
	香川県	全国
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	3.67	3.66
5 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	2.96	2.99
6 自分には、よいところがあると思いますか	2.96	3.05
9 将来の夢や目標を持っていますか	3.46	3.51
【自尊意識等】における平均得点	3.26	3.30
【全国と香川県との差】グラフに表示	-0.04	

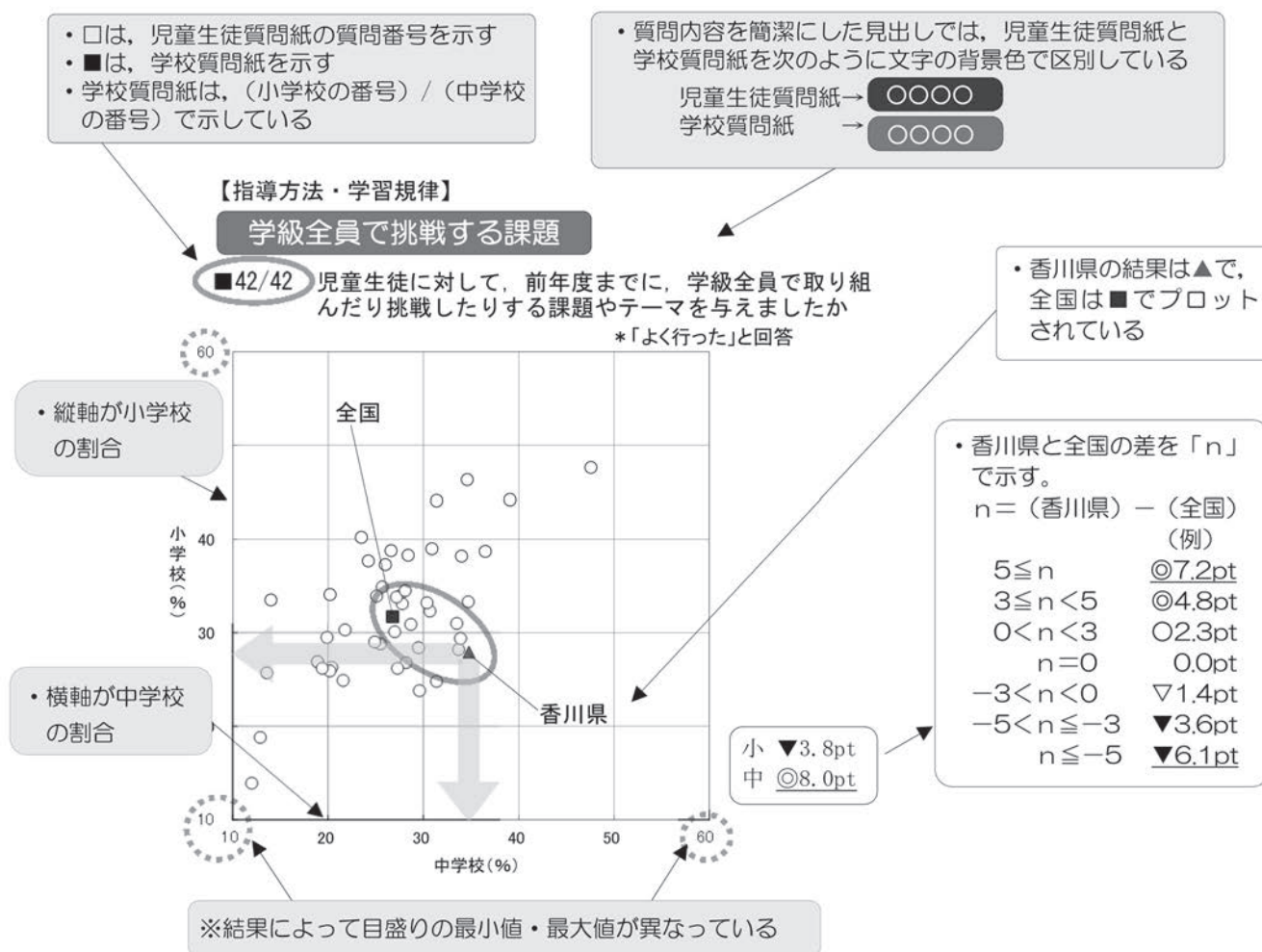
* 端数処理のため 0.01 の誤差が生じる場合があります



■ 4 散布図の見方

散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

【散布図の見方】



■ 5 活用ツール

この報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。コンピュータで活用ツールを使えば、全国と香川県の状況に加え、あなたの学校の状況をグラフや表に表示することができます。(Excel は 2007 以上のバージョンが必要です。)

1 ダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール(Excel ファイル)をダウンロードします。

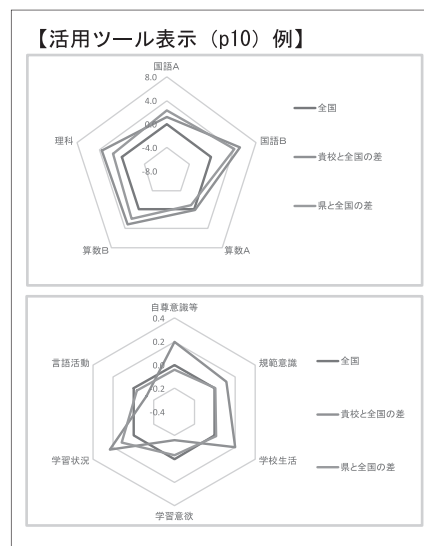
2 データのコピー

文部科学省から学校に送付されたCDの内容をコンピュータのデスクトップにコピーします。(別途文部科学省から送付されているはがきのパスワードが必要です。)

3 活用ツールの起動

指示されるデータをチェックし実行すると表示されます。

全体的な状況だけでなく、学校の研究主題に関すること、学校生活に関することなどに関係のある質問を選んで表示して下さい。グラフの目盛りを変更することもできます。



香川県重点項目に関する質問事項

重点項目	Q&A (ページ)	質問 番号	質問事項
自尊意識等	Q1 (p.24・25)	4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
		5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
		6	自分には、よいところがあると思いますか
		9	将来の夢や目標を持っていますか
規範意識	Q2 (p.26)	32	学校のきまり(規則)を守っていますか
		33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
		34	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
		35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
学校生活	Q3 (p.27)	24	学校に行くのは楽しいと思いますか
		25	学級会などの時間に友達同士で話し合っ学級のきまりなどを決めていると思いますか
		26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか
学習意欲	Q4 (p.28・29)	48	国語の勉強は好きですか
		49	国語の勉強は大切だと思いますか
		50	国語の授業の内容はよく分かりますか
		58	算数・数学の勉強は好きですか
		59	算数・数学の勉強は大切だと思いますか
		60	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか
		69	理科の勉強は好きですか
		70	理科の勉強は大切だと思いますか
		71	理科の授業の内容はよく分かりますか
学習状況	Q5 (p.30・31)	38	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
		41	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか
		42	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
		43	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか
言語活動	Q6 (p.32・33)	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
		8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
		39	授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか
		40	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか
		45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか
		46	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

Ⅱ 調査結果（概論）

平成 27 年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況

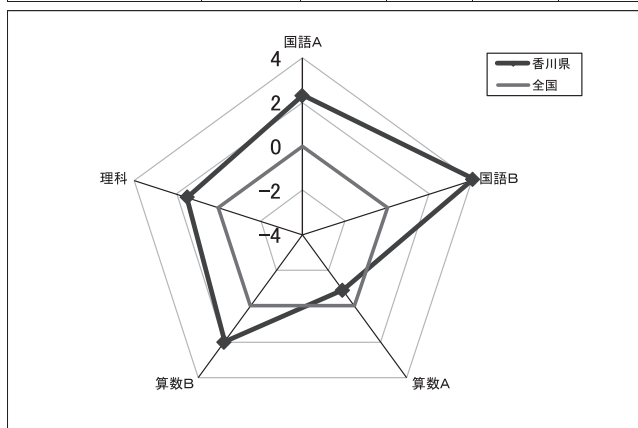
Point

1. 教科に関する調査結果については、小学校において、国語 A、国語 B、算数 B、理科の4調査区分で全国平均を上回ったが、算数 A において全国平均を下回った。中学校において、国語 A、理科の調査区分で全国平均を上回ったが、国語 B、数学 B で全国を下回った。
2. 児童生徒質問紙調査結果については、小・中学校ともに「自尊意識等」「学習意欲」「言語活動」に課題がある。

1 平成 27 年度教科に関する調査結果

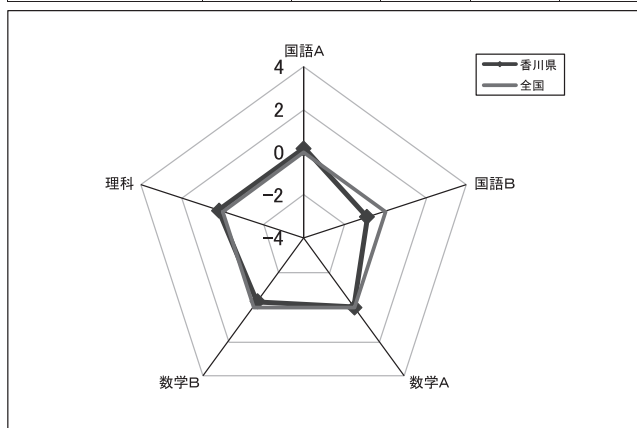
小学校調査結果

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
県(公立)平均正答率(%)	72.3	69.5	74.3	47.0	62.3
全国(公立)平均正答率(%)	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
県と全国の差(pt)	2.3	4.1	-0.9	2.0	1.5



中学校調査結果

中学校	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
県(公立)平均正答率(%)	76.0	64.9	64.4	41.3	53.2
全国(公立)平均正答率(%)	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
県と全国の差(pt)	0.2	-0.9	0.0	-0.3	0.2

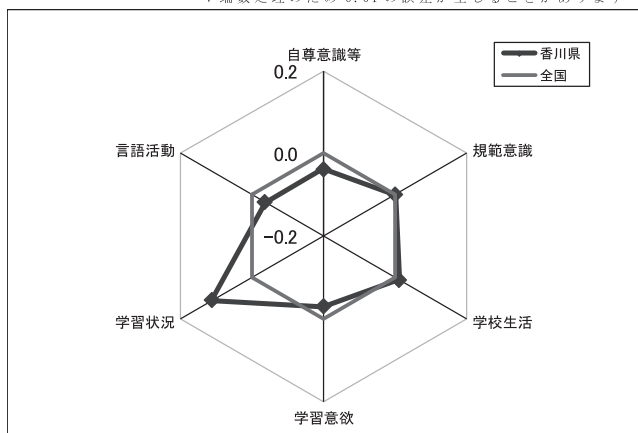


2 平成 27 年度児童生徒質問紙調査結果（香川県重点項目）

小学校調査結果

小学校	自尊意識等	規範意識	学校生活	学習意欲	学習状況	言語活動
県(公立)得点(点)	3.26	3.59	3.31	3.23	3.46	2.89
全国(公立)得点(点)	3.30	3.59	3.30	3.26	3.34	2.93
県と全国の差(点)	-0.04	0.00	0.01	-0.03	0.11	-0.04

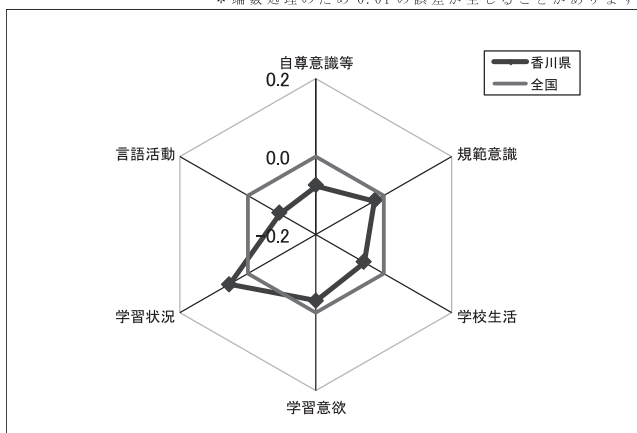
* 端数処理のため 0.01 の誤差が生じることがあります



中学校調査結果

中学校	自尊意識等	規範意識	学校生活	学習意欲	学習状況	言語活動
県(公立)得点(点)	3.02	3.59	3.16	2.91	3.11	2.70
全国(公立)得点(点)	3.10	3.62	3.21	2.94	3.05	2.79
県と全国の差(点)	-0.08	-0.03	-0.06	-0.03	0.06	-0.09

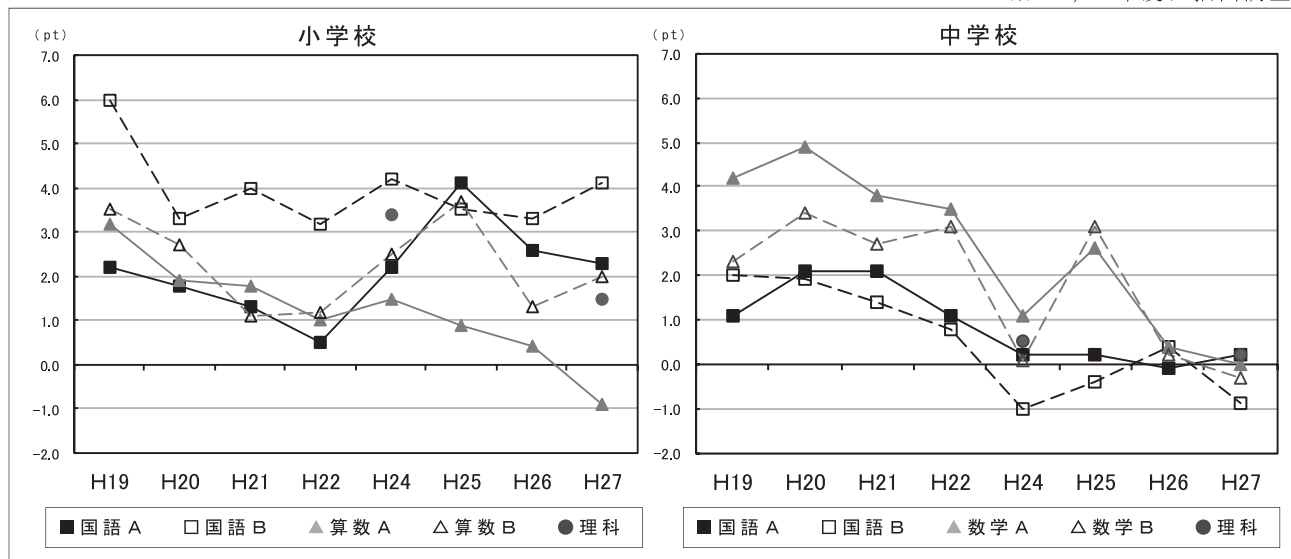
* 端数処理のため 0.01 の誤差が生じることがあります



3 全国と香川県の平均正答率の差

全国と香川県の平均正答率の差の推移

※H22, 24 年度は抽出調査



◆平成 19～27 年度平均正答率（平成 23 年度は実施していない）

※H22, 24 年度は、平均正答率の推計値

【小学校調査】

調査区分	国語 A								国語 B							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率(%)	83.9	67.2	71.2	83.8	83.8	66.8	75.5	72.3	68.0	53.8	54.5	81.0	59.8	52.9	58.8	69.5
全国(公立)平均正答率(%)	81.7	65.4	69.9	83.3	81.6	62.7	72.9	70.0	62.0	50.5	50.5	77.8	55.6	49.4	55.5	65.4
県と全国との差	+2.2	+1.8	+1.3	+0.5	+2.2	+4.1	+2.6	+2.3	+6.0	+3.3	+4.0	+3.2	+4.2	+3.5	+3.3	+4.1

調査区分	算数 A								算数 B							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率(%)	85.3	74.1	80.5	75.2	74.8	78.1	78.5	74.3	67.1	54.3	55.9	50.5	61.4	62.1	59.5	47.0
全国(公立)平均正答率(%)	82.1	72.2	78.7	74.2	73.3	77.2	78.1	75.2	63.6	51.6	54.8	49.3	58.9	58.4	58.2	45.0
県と全国との差	+3.2	+1.9	+1.8	+1.0	+1.5	+0.9	+0.4	-0.9	+3.5	+2.7	+1.1	+1.2	+2.5	+3.7	+1.3	+2.0

調査区分	理科	
調査年度	H24	H27
県(公立)平均正答率(%)	64.3	62.3
全国(公立)平均正答率(%)	60.9	60.8
県と全国との差	+3.4	+1.5

【中学校調査】

調査区分	国語 A								国語 B							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率(%)	82.7	75.7	79.1	76.2	75.3	76.6	79.3	76.0	74.0	62.7	75.9	66.1	62.3	67.0	51.4	64.9
全国(公立)平均正答率(%)	81.6	73.6	77.0	75.1	75.1	76.4	79.4	75.8	72.0	60.8	74.5	65.3	63.3	67.4	51.0	65.8
県と全国との差	+1.1	+2.1	+2.1	+1.1	+0.2	+0.2	-0.1	+0.2	+2.0	+1.9	+1.4	+0.8	-1.0	-0.4	+0.4	-0.9

調査区分	数学 A								数学 B							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率(%)	76.1	68.0	66.5	68.1	63.2	66.3	67.8	64.4	62.9	52.6	59.6	46.4	49.4	44.6	60.0	41.3
全国(公立)平均正答率(%)	71.9	63.1	62.7	64.6	62.1	63.7	67.4	64.4	60.6	49.2	56.9	43.3	49.3	41.5	59.8	41.6
県と全国との差	+4.2	+4.9	+3.8	+3.5	+1.1	+2.6	+0.4	±0.0	+2.3	+3.4	+2.7	+3.1	+0.1	+3.1	+0.2	-0.3

調査区分	理科	
調査年度	H24	H27
県(公立)平均正答率(%)	51.5	53.2
全国(公立)平均正答率(%)	51.0	53.0
県と全国との差	+0.5	+0.2

平成 27 年度全国学力・学習状況調査

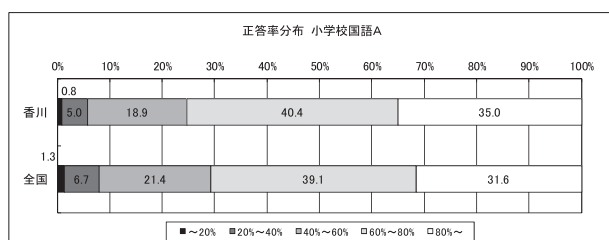
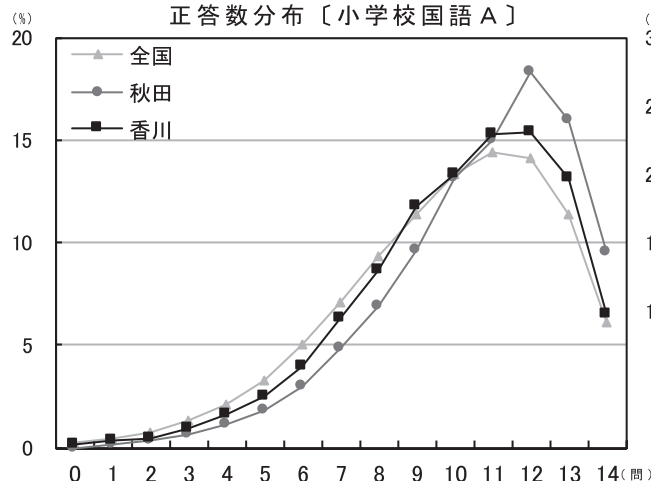
正答数の分布，全問不正解，無解答率【小学校】

Point

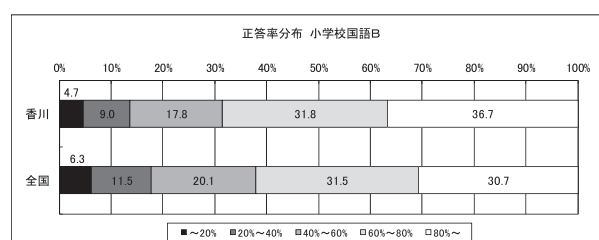
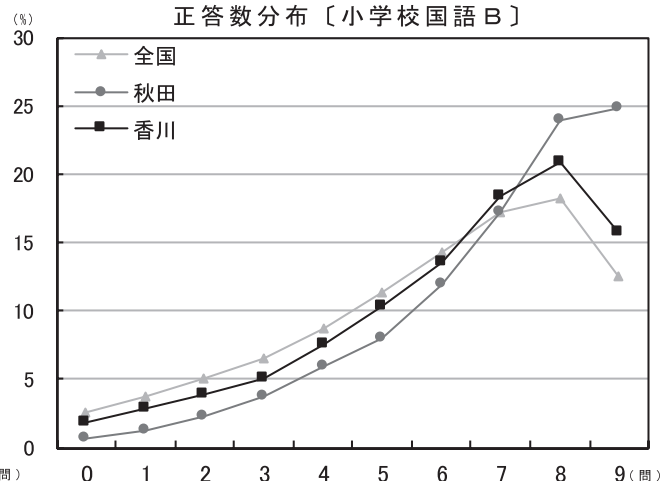
1. 全ての調査区分において，正答率が 20%以下の児童の割合が全国よりも低い。算数 A において正答率が 80%以上の児童の割合が全国よりも低い。
2. 無解答率が全国平均を上回る問題の割合は低い。
無解答率が全国平均を上回る問題数 全 76 問中，1 問（1.3%）

1 小学校正答数分布

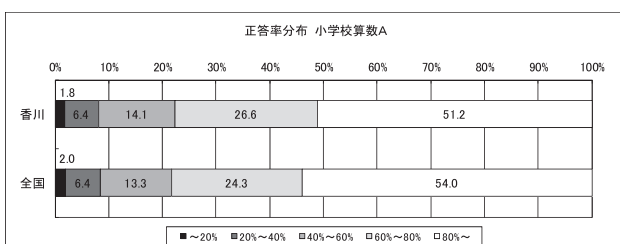
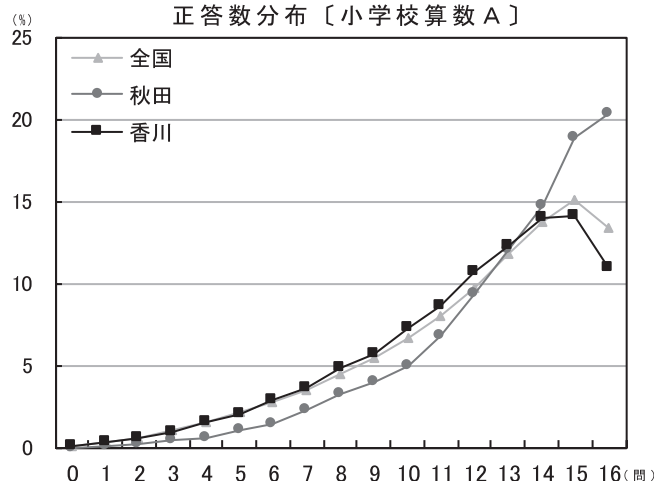
正答数分布〔小学校国語 A〕



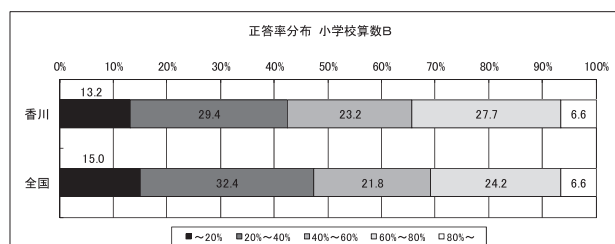
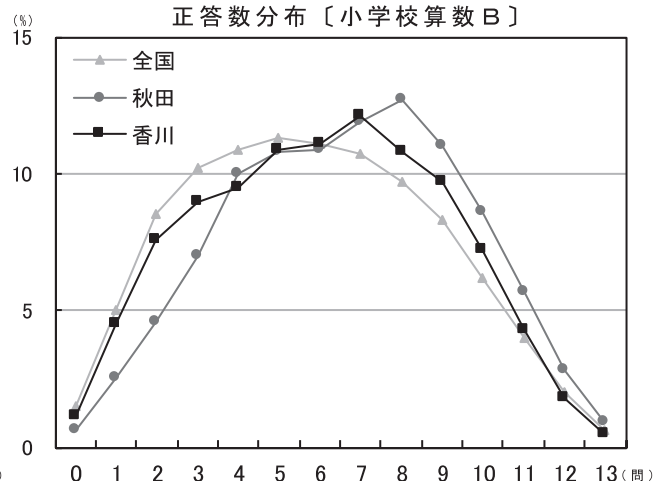
正答数分布〔小学校国語 B〕

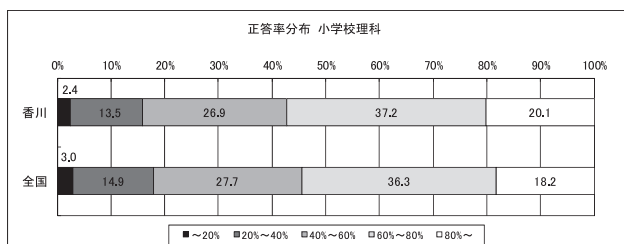
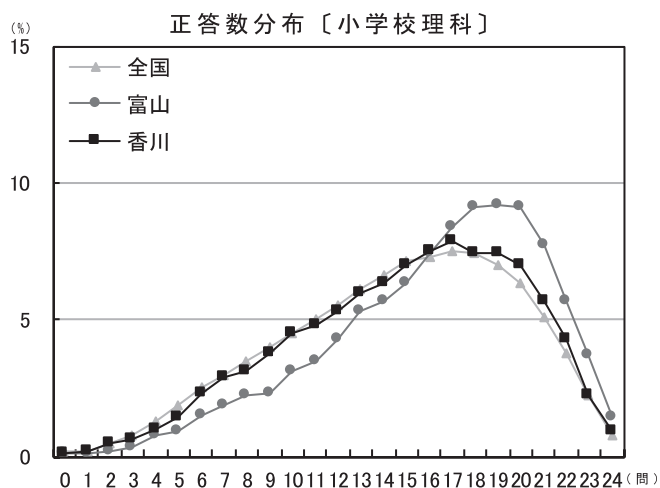


正答数分布〔小学校算数 A〕

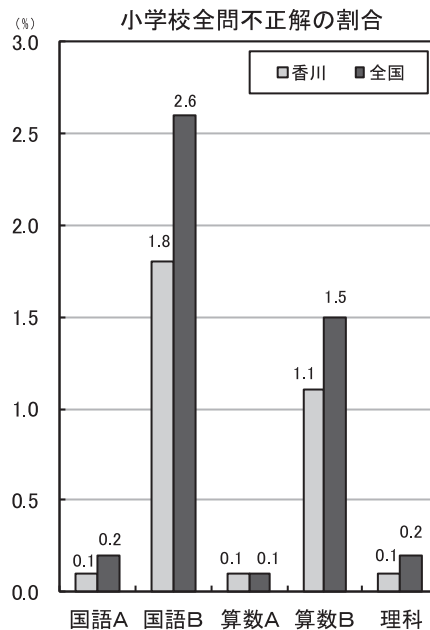


正答数分布〔小学校算数 B〕





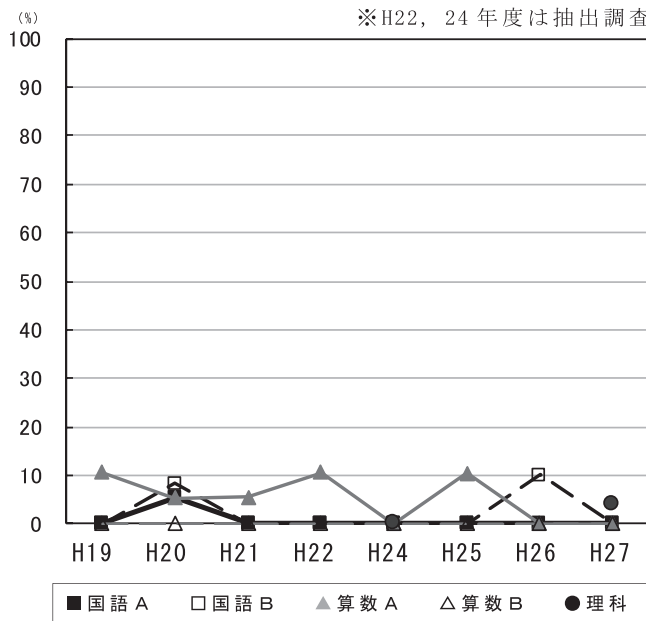
2 全問不正解の児童の割合



3 無解答率が全国平均を上回る問題の割合

無解答率が全国平均を上回る問題の割合の推移

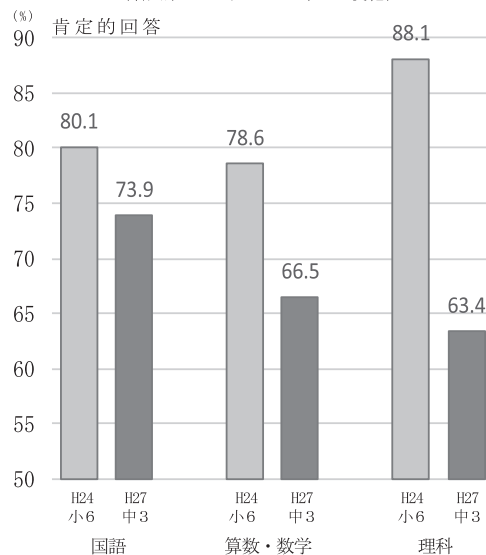
※H22, 24年度は抽出調査



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
国語A	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国語B	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
算数A	10.5	5.3	5.6	10.5	0.0	10.5	0.0	0.0
算数B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理科					0.0			4.2

Column

〇〇の授業の内容はよくわかりますか
(香川県: H24小6→H27中3の変化)



	国語	算数・数学	理科
香川県	-6.2	-12.1	-24.7
全国	-8.6	-7.4	-19.1

香川県も全国も中学校になると肯定的回答が減少していますが、その差は、国語では小さく、算数・数学、理科では大きくなっています。

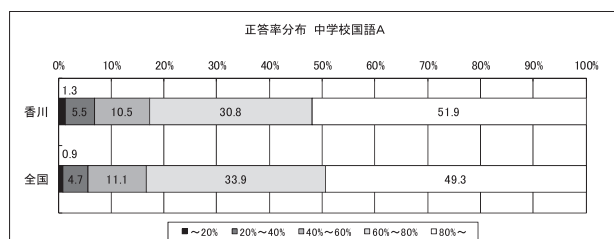
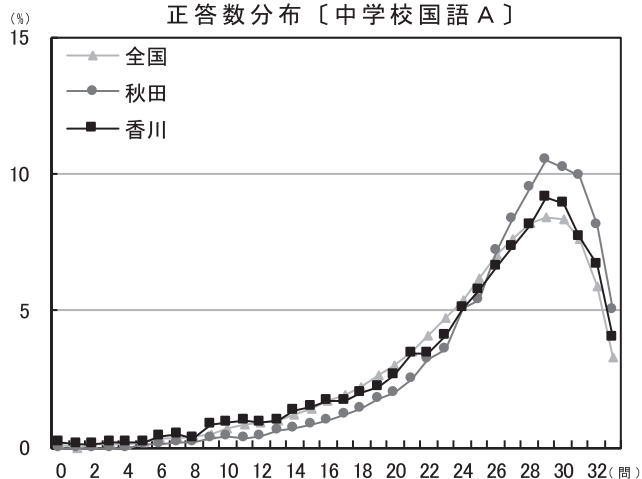
平成 27 年度全国学力・学習状況調査 正答数の分布，全問不正解，無解答率【中学校】

Point

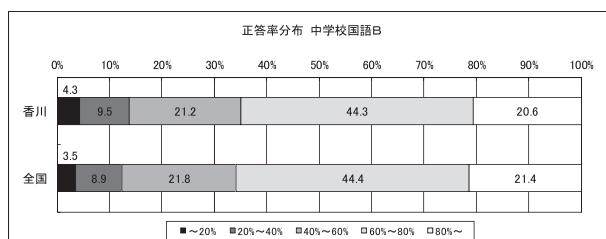
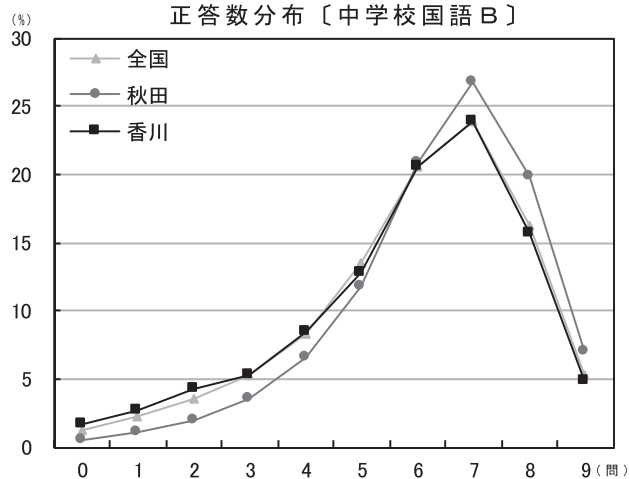
1. 全ての調査区分において，正答率が 20%以下の割合は，全国よりも高い。また，国語Bを除く全ての調査区分において，正答率が 80%以上の生徒の割合が全国よりも高い。
2. 無解答率が全国平均を上回る問題の割合は依然として高い。
無解答率が全国平均を上回る問題数 全 118 問中，94 問（79.7%）

1 中学校正答数分布

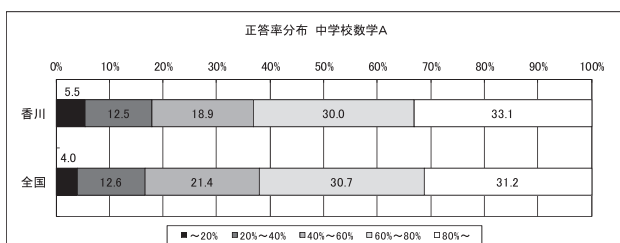
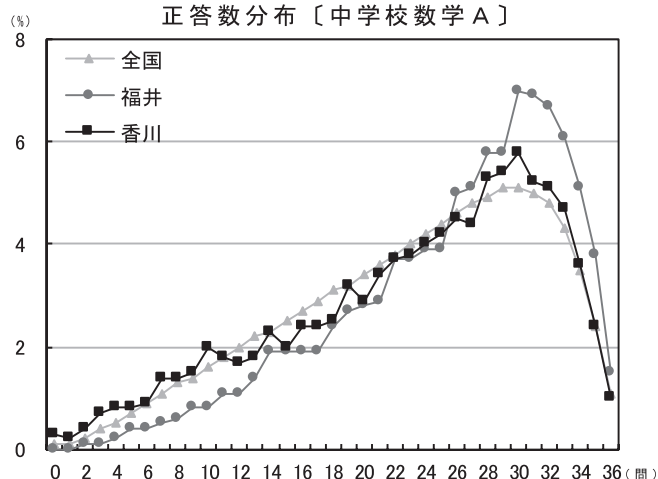
正答数分布〔中学校国語A〕



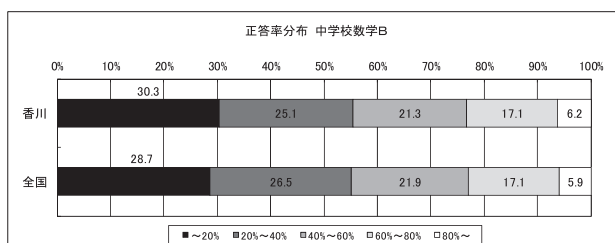
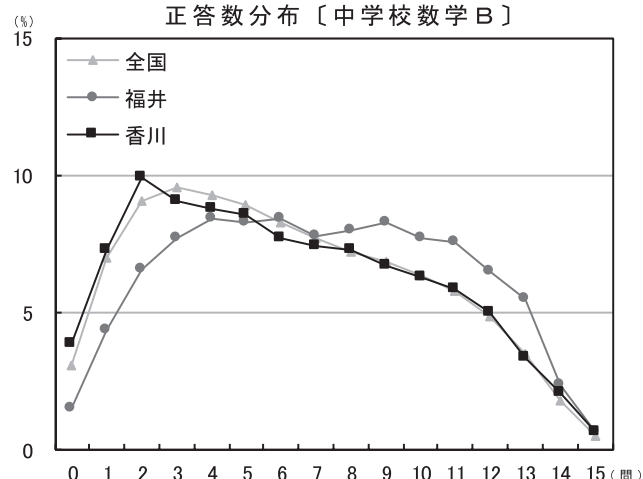
正答数分布〔中学校国語B〕

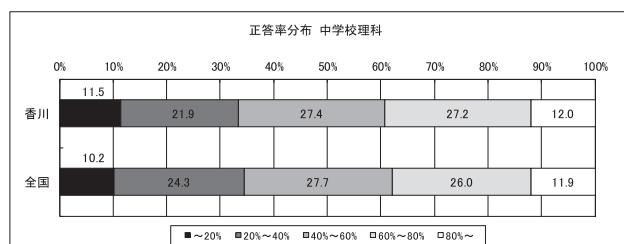
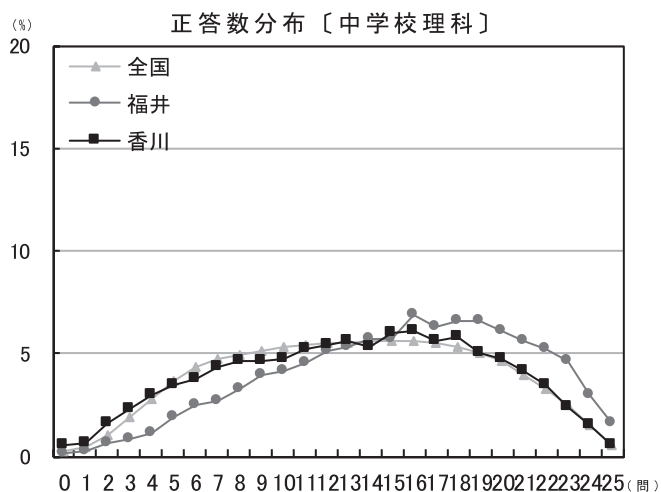


正答数分布〔中学校数学A〕

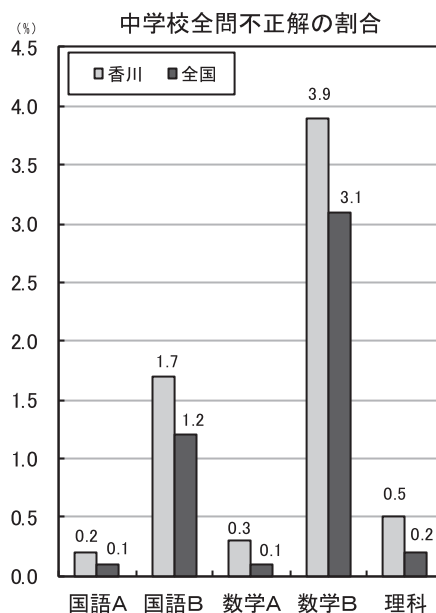


正答数分布〔中学校数学B〕

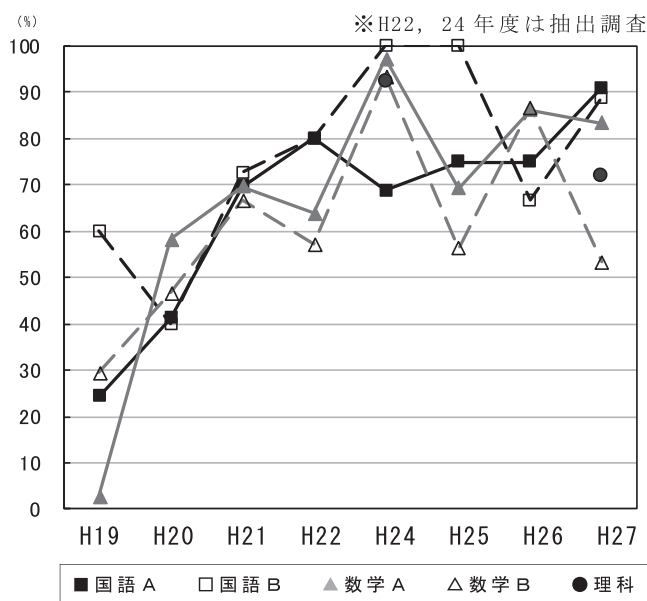




2 全問不正解の生徒の割合



3 無解答率が全国平均を上回る問題の割合の推移



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
国語A	24.3	41.2	69.7	80.0	68.8	75.0	75.0	90.9
国語B	60.0	40.0	72.7	80.0	100.0	100.0	66.7	88.9
数学A	2.8	58.3	69.7	63.9	97.2	69.4	86.1	83.3
数学B	29.4	46.7	66.7	57.1	93.3	56.3	86.7	53.3
理科					92.3			72.0

Column

無解答率が全国を上回る設問の割合

【中学校】	該当設問数	県が国を上回る設問数	割合
全設問	118	94	79.7%
全国の高正答率が50%以下	33	12	36.4%
全国の高正答率が80%以上	26	26	100.0%
全国の高無解答率が5%以上	39	15	38.5%
全国の高無解答率が1%未満	49	49	100.0%
選択式	68	68	100.0%
短答式	35	22	62.9%
記述式	15	4	26.7%
正答率が全国を下回る設問	67	61	91.0%
終末の設問 (A問題5問, B問題3問)	21	15	71.4%

香川県の平均無解答率が全国平均を上回る設問の割合から分析すると、難解な設問や記述式の設問が多く上回っているのではなく、全国での正答率が高い設問や無解答率が低い設問、選択式の設問に多いことが分かります。

なぜ、誤答や無解答になったのか、一人一人の児童生徒の実態を踏まえて、把握するようにしましょう。また、校内で共有し、指導に生かしていきましょう。

結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

【小学校】肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

質問番号	掲載P	H26番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2の差
17	109	18	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	小	-0.3	3.8
23	110	24	家で、学校の授業の復習をしていますか	小	5.2	7.4
30	111	32	新聞を読んでいますか	小	-0.2	3.5
41	114	44	5年生までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	10.2	4.0
42	114	45	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	小	4.5	3.9
43	114	新	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	小	10.3	6.3
44	114	46	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	小	10.4	10.4
45	114	47	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	小	3.9	3.6
74	120	H24 73	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	4.2	3.2
84	117	61	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	小	-0.8	3.4

【小学校】肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問番号	掲載P	H26番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2の差
6	107	6	自分には、よいところがあると思いますか	小	-2.4	-4.4
7	107	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	小	-3.1	-3.7
10	107	11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)	小	-3.3	-4.4
13	108	14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	小	-3.3	-3.3
47	115	49	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか	小	-1.9	-3.2
48	115	50	国語の勉強は好きですか	小	-5.8	-7.1
50	115	52	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	-5.1	-3.1
54	116	56	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	小	-3.5	-3.4
58	117	62	算数の勉強は好きですか	小	-2.8	-3.0

【中学校】肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
19	109	20	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	中	5.4	3.4
30	111	32	新聞を読んでいますか	中	1.2	3.3
43	114	新	1，2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	中	5.4	7.8
44	114	46	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	中	6.7	4.9
45	114	47	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	中	6.8	5.3
53	116	55	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	中	2.3	3.3
77	120	新	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	中	15.3	5.7
84	117	61	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	中	9.0	4.1

【中学校】肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
6	107	6	自分には、よいところがあると思いますか	中	-3.6	-4.5
7	107	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	中	-3.4	-7.1
9	107	10	将来の夢や目標を持っていますか	中	-4.9	-3.1
13	108	14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	中	-2.5	-4.9
15	109	16	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	中	-4.7	-6.2
26	111	27	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	中	-7.3	-4.0
31	112	33	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	中	-4.0	-3.0
37	113	40	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	中	-5.8	-9.1
40	113	新	1，2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	中	-3.1	-5.1
51	115	53	読書は好きですか	中	-1.8	-3.6
54	116	56	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	中	-1.1	-3.4
56	116	58	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりとともに内容を理解しながら読んでいますか	中	-1.3	-3.0
58	117	62	数学の勉強は好きですか	中	-3.3	-5.1
60	117	64	数学の授業の内容はよく分かりますか	中	-3.0	-5.1
62	118	66	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	中	-2.7	-3.9
65	118	69	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	中	-2.3	-3.6
76	120	H24 75	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	中	-0.3	-4.0
80	121	H24 78	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	中	-1.9	-3.2

教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果（教科に関する質問は除く）

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率				
			国語A	国語B	算数A	算数B	理科
1	朝食を毎日食べていますか	①している	73.6	71.4	76.0	48.6	63.8
		②どちらかといえば、している	65.9	60.9	66.3	38.9	55.1
		③あまりしていない	61.0	53.0	61.0	35.1	49.8
		④全くしていない	56.4	49.0	56.8	29.4	47.8
		差（①－④）	17.2	22.4	19.2	19.2	16.0
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	①当てはまる	73.9	71.6	75.9	48.8	63.9
		②どちらかといえば、当てはまる	69.7	66.4	71.8	44.1	59.4
		③どちらかといえば、当てはまらない	62.9	55.9	65.2	36.9	54.4
		④当てはまらない	55.3	44.7	56.1	31.1	44.9
		差（①－④）	18.6	26.9	19.8	17.7	19.0
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	①当てはまる	77.4	76.2	80.9	54.4	68.7
		②どちらかといえば、当てはまる	74.0	71.8	76.5	49.8	64.7
		③どちらかといえば、当てはまらない	71.0	68.3	72.8	44.7	60.5
		④当てはまらない	66.9	61.6	67.2	39.6	55.5
		差（①－④）	10.5	14.6	13.7	14.8	13.2
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	①当てはまる	74.0	71.7	75.1	48.4	63.4
		②どちらかといえば、当てはまる	71.8	69.2	74.5	46.9	62.4
		③どちらかといえば、当てはまらない	65.8	60.4	70.5	40.7	57.1
		④当てはまらない	59.6	46.6	59.5	33.9	46.5
		差（①－④）	14.4	25.1	15.6	14.5	16.9
18	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	①している	74.7	72.8	75.9	49.2	64.2
		②どちらかといえば、している	72.3	69.8	74.5	47.0	62.4
		③あまりしていない	67.6	63.3	71.4	43.2	59.3
		④全くしていない	60.6	51.4	65.3	36.3	50.7
		差（①－④）	14.1	21.4	10.6	12.9	13.5
19	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	①よく来る	73.3	70.7	75.3	48.0	63.2
		②時々来る	68.5	65.3	70.7	43.0	58.9
		③あまり来ない	63.3	58.7	65.4	38.9	53.0
		④全く来ない	51.3	45.8	58.1	31.5	45.3
		差（①－④）	22.0	24.9	17.2	16.5	17.9
20	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	①している	75.7	74.1	77.7	51.4	65.2
		②どちらかといえば、している	74.1	71.8	75.7	48.8	64.0
		③あまりしていない	69.6	66.4	72.0	43.6	60.2
		④全くしていない	63.4	56.8	66.2	38.0	53.9
		差（①－④）	12.3	17.3	11.5	13.4	11.3
21	家で、学校の宿題をしていますか	①している	74.2	72.4	76.1	49.0	64.0
		②どちらかといえば、している	63.2	56.3	66.1	37.4	54.4
		③あまりしていない	57.2	45.3	59.7	31.6	48.5
		④全くしていない	47.0	38.9	54.3	30.2	43.5
		差（①－④）	27.2	33.5	21.8	18.8	20.5
22	家で、学校の授業の予習をしていますか	①している	75.9	73.1	77.8	50.9	65.0
		②どちらかといえば、している	73.2	70.7	74.9	47.6	62.8
		③あまりしていない	71.9	69.5	73.9	46.7	62.1
		④全くしていない	69.1	65.5	72.1	44.1	60.3
		差（①－④）	6.8	7.6	5.7	6.8	4.7
23	家で、学校の授業の復習をしていますか	①している	76.7	75.3	78.3	51.9	66.2
		②どちらかといえば、している	73.9	71.6	75.7	48.8	63.5
		③あまりしていない	69.3	65.6	71.5	43.2	59.8
		④全くしていない	63.5	58.1	67.2	38.9	55.2
		差（①－④）	13.2	17.2	11.1	13.0	11.0
24	学校に行くのは楽しいと思いますか	①そう思う	74.1	72.0	75.7	49.1	63.8
		②どちらかといえば、そう思う	71.6	69.3	74.1	46.3	62.2
		③どちらかといえば、そう思わない	69.5	64.3	71.9	43.5	59.8
		④そう思わない	63.7	56.4	67.2	37.6	53.5
		差（①－④）	10.4	15.6	8.5	11.5	10.3
25	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	①そう思う	73.6	71.7	75.5	48.4	63.4
		②どちらかといえば、そう思う	73.1	70.5	75.0	47.8	63.2
		③どちらかといえば、そう思わない	68.2	63.6	71.3	43.0	58.9
		④そう思わない	62.7	56.3	66.0	38.8	52.7
		差（①－④）	10.9	15.4	9.5	9.6	10.7
26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	①当てはまる	74.0	71.9	75.7	49.0	63.9
		②どちらかといえば、当てはまる	71.5	68.7	74.1	46.1	62.0
		③どちらかといえば、当てはまらない	69.1	64.5	71.0	43.1	58.5
		④当てはまらない	63.0	55.0	65.7	37.3	52.9
		差（①－④）	11.0	16.9	10.0	11.7	11.0

28	地域や社会で起こっている問題や出来事に 関心がありますか	①当てはまる	75.5	74.0	77.8	51.5	66.5
		②どちらかといえば、当てはまる	73.6	71.2	75.4	48.0	63.6
		③どちらかといえば、当てはまらない	70.2	67.2	72.5	44.8	59.8
		④当てはまらない	64.0	57.6	66.3	37.5	52.7
		差 (①－④)	11.5	16.4	11.5	14.0	13.8
31	テレビのニュース番組やインターネットの ニュースを見ますか (携帯電話やスマートフォ ンを使ってインターネットのニュースを見る場 合も含む)	①よく見る	74.2	71.8	75.9	49.0	64.4
		②時々見る	72.2	69.9	74.6	46.9	62.1
		③あまり見ない	67.8	64.0	70.0	42.9	57.2
		④ほとんど、または、全く見ない	63.9	57.2	67.4	37.7	54.7
		差 (①－④)	10.3	14.6	8.5	11.3	9.7
32	学校のきまりを守っていますか	①当てはまる	74.1	72.0	75.7	48.7	63.5
		②どちらかといえば、当てはまる	72.5	69.9	74.8	47.2	62.9
		③どちらかといえば、当てはまらない	65.7	60.3	68.6	40.8	56.6
		④当てはまらない	56.5	43.7	57.9	32.1	45.6
		差 (①－④)	17.6	28.3	17.8	16.6	17.9
33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いま すか	①当てはまる	73.5	71.3	75.1	48.2	63.2
		②どちらかといえば、当てはまる	70.4	67.4	73.8	45.8	61.6
		③どちらかといえば、当てはまらない	67.1	59.2	69.4	40.3	57.2
		④当てはまらない	61.9	52.6	64.5	35.1	51.3
		差 (①－④)	11.6	18.7	10.6	13.1	11.9
34	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	①当てはまる	73.0	70.6	74.7	47.5	62.8
		②どちらかといえば、当てはまる	70.0	65.7	73.9	45.8	61.2
		③どちらかといえば、当てはまらない	65.1	59.4	68.8	40.6	57.2
		④当てはまらない	64.0	54.2	65.4	39.7	52.9
		差 (①－④)	9.0	16.4	9.3	7.8	9.9
35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	①当てはまる	73.4	71.4	75.2	48.3	63.4
		②どちらかといえば、当てはまる	70.7	67.2	73.6	45.4	60.8
		③どちらかといえば、当てはまらない	66.1	59.0	69.5	40.5	57.0
		④当てはまらない	61.1	49.9	63.4	33.7	51.2
		差 (①－④)	12.3	21.5	11.8	14.6	12.2
36	「総合的な学習の時間」の授業で学習したこ とは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ と思えますか	①当てはまる	73.7	71.4	75.4	48.3	63.5
		②どちらかといえば、当てはまる	72.4	70.1	74.8	47.6	62.9
		③どちらかといえば、当てはまらない	69.5	64.5	71.7	43.1	58.7
		④当てはまらない	60.0	50.7	61.3	33.9	50.3
		差 (①－④)	13.7	20.7	14.1	14.4	13.2
37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立 てて情報を集め整理して、調べたことを発表す るなどの学習活動に取り組んでいますか	①当てはまる	76.5	75.1	78.6	52.3	66.5
		②どちらかといえば、当てはまる	73.1	70.6	74.7	47.5	62.9
		③どちらかといえば、当てはまらない	69.0	65.8	71.9	43.7	59.7
		④当てはまらない	65.1	58.1	66.9	38.4	54.4
		差 (①－④)	11.4	17.0	11.7	13.9	12.1
38	5年生までに受けた授業では、自分の考えを 発表する機会が与えられていたと思えますか	①当てはまる	75.2	73.6	77.6	50.8	65.6
		②どちらかといえば、当てはまる	70.8	67.3	72.8	44.8	60.6
		③どちらかといえば、当てはまらない	63.8	58.5	64.4	36.6	53.2
		④当てはまらない	57.8	49.0	58.7	30.7	45.4
		差 (①－④)	17.4	24.6	18.9	20.1	20.2
39	5年生までに受けた授業では、学級の友達と の間で話し合う活動をよく行っていたと思いま すか	①当てはまる	73.9	71.8	75.7	48.9	63.8
		②どちらかといえば、当てはまる	72.4	69.3	74.5	47.0	62.5
		③どちらかといえば、当てはまらない	68.7	65.3	70.9	42.3	58.5
		④当てはまらない	59.6	51.9	64.0	35.6	50.9
		差 (①－④)	14.3	19.9	11.7	13.3	12.9
41	5年生までに受けた授業のはじめに、目標 (め あて・ねらい) が示されていたと思えますか	①当てはまる	75.2	73.6	77.3	50.4	65.5
		②どちらかといえば、当てはまる	68.7	64.6	70.8	42.5	58.2
		③どちらかといえば、当てはまらない	62.8	56.1	64.1	35.7	51.9
		④当てはまらない	55.5	44.6	57.9	31.5	43.5
		差 (①－④)	19.7	29.0	19.4	18.9	22.0
42	5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を 振り返る活動をよく行っていたと思えますか	①当てはまる	74.3	72.2	76.2	49.3	64.2
		②どちらかといえば、当てはまる	72.9	70.4	75.0	47.5	63.1
		③どちらかといえば、当てはまらない	68.6	64.9	70.7	43.0	58.6
		④当てはまらない	62.8	55.4	65.0	37.1	52.4
		差 (①－④)	11.5	16.8	11.2	12.2	11.8
43	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学 習の目標 (めあて・ねらい) とまとめを書いて いたと思えますか	①当てはまる	74.1	72.2	75.8	48.8	64.0
		②どちらかといえば、当てはまる	69.1	64.7	72.0	44.0	59.4
		③どちらかといえば、当てはまらない	60.9	52.0	64.0	34.5	50.8
		④当てはまらない	54.7	45.2	59.8	31.2	46.4
		差 (①－④)	19.4	27.0	16.0	17.6	17.6
44	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明 文を書くことは難しいと思えますか	①そう思う	67.9	63.5	71.5	42.6	58.8
		②どちらかといえば、そう思う	74.4	72.9	75.6	49.1	64.2
		③どちらかといえば、そう思わない	76.8	75.1	77.3	51.2	65.8
		④そう思わない	77.4	76.5	78.0	52.9	66.5
		差 (④－①)	9.5	13.0	6.5	10.3	7.7
45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明 したり、文章に書いたりすることは難しいと思 いますか	①そう思う	66.8	62.0	70.0	41.0	56.9
		②どちらかといえば、そう思う	71.8	69.2	73.5	45.6	61.3
		③どちらかといえば、そう思わない	75.4	74.1	77.0	50.9	65.9
		④そう思わない	77.9	76.1	79.5	54.5	68.2
		差 (④－①)	11.1	14.1	9.5	13.5	11.3

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果（教科に関する質問は除く）

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率				
			国語A	国語B	数学A	数学B	理科
1	朝食を毎日食べていますか	①している	77.4	66.3	66.5	43.3	55.0
		②どちらかといえば、している	71.5	60.5	57.0	34.9	46.6
		③あまりしていない	67.7	55.9	50.9	27.6	41.8
		④全くしていない	65.0	53.1	49.8	27.1	38.1
		差（①－④）	12.4	13.2	16.7	16.2	16.9
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	①当てはまる	77.7	66.8	66.1	42.7	54.9
		②どちらかといえば、当てはまる	75.9	64.7	64.4	41.5	53.0
		③どちらかといえば、当てはまらない	69.7	57.6	56.9	34.1	45.8
		④当てはまらない	63.3	48.8	52.2	31.1	41.8
		差（①－④）	14.4	18.0	13.9	11.6	13.1
10	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）	①4時間以上	67.0	56.9	52.3	29.4	42.2
		②3時間以上、4時間より少ない	73.2	61.7	60.5	36.5	49.1
		③2時間以上、3時間より少ない	77.0	65.7	64.7	41.2	53.3
		④1時間以上、2時間より少ない	79.4	68.4	69.5	46.5	57.7
		⑤1時間より少ない	80.4	68.8	70.7	48.8	59.9
		⑥全くしない	74.2	62.0	63.3	40.4	52.8
		差（⑥－①）	7.2	5.1	11.0	11.0	10.6
11	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	①4時間以上	65.2	53.7	50.2	27.8	40.4
		②3時間以上、4時間より少ない	70.1	58.2	57.3	33.3	46.2
		③2時間以上、3時間より少ない	72.9	61.1	61.5	37.4	49.4
		④1時間以上、2時間より少ない	77.6	66.5	67.2	43.7	55.3
		⑤1時間より少ない	80.7	70.1	70.1	47.5	58.8
		⑥全くしない	81.8	71.3	69.8	47.4	59.1
		差（⑥－①）	16.6	17.6	19.6	19.6	18.7
18	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	①している	79.6	68.5	67.7	44.7	56.6
		②どちらかといえば、している	76.4	65.5	64.7	41.4	53.3
		③あまりしていない	72.2	60.7	61.4	37.5	49.5
		④全くしていない	64.0	51.9	52.2	30.8	41.8
		差（①－④）	15.6	16.6	15.5	13.9	14.8
19	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	①よく来る	77.7	66.6	66.8	43.8	55.5
		②時々来る	75.3	64.6	63.3	39.6	51.9
		③あまり来ない	73.7	61.8	60.0	37.5	49.2
		④全く来ない	65.3	52.5	49.5	28.4	40.4
		差（①－④）	12.4	14.1	17.3	15.4	15.1
20	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	①している	79.0	68.2	69.9	47.3	58.7
		②どちらかといえば、している	78.3	67.3	67.9	44.2	55.7
		③あまりしていない	76.1	65.2	63.6	40.0	52.4
		④全くしていない	69.5	57.4	55.1	33.4	45.2
		差（①－④）	9.5	10.8	14.8	13.9	13.5
21	家で、学校の宿題をしていますか	①している	79.9	69.2	69.6	46.4	58.1
		②どちらかといえば、している	71.9	60.2	58.5	34.5	47.2
		③あまりしていない	66.1	54.3	50.7	28.7	40.9
		④全くしていない	54.4	42.6	40.1	22.4	31.5
		差（①－④）	25.5	26.6	29.5	24.0	26.6
23	家で、学校の授業の復習をしていますか	①している	80.5	69.5	71.7	48.5	60.0
		②どちらかといえば、している	79.1	68.0	68.7	45.2	57.0
		③あまりしていない	75.4	64.5	62.7	39.1	51.2
		④全くしていない	67.8	56.1	53.2	31.7	43.4
		差（①－④）	12.7	13.4	18.5	16.8	16.6
25	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	①そう思う	77.5	66.4	65.8	42.4	54.3
		②どちらかといえば、そう思う	76.1	65.3	64.3	41.1	53.1
		③どちらかといえば、そう思わない	74.7	62.9	63.8	40.9	52.4
		④そう思わない	72.3	59.8	60.0	37.9	49.2
		差（①－④）	5.2	6.6	5.8	4.5	5.1
26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	①当てはまる	78.1	67.3	66.8	43.7	55.3
		②どちらかといえば、当てはまる	75.6	64.6	64.0	40.9	53.0
		③どちらかといえば、当てはまらない	73.4	61.1	61.1	37.4	49.8
		④当てはまらない	70.0	59.2	57.5	35.0	46.6
		差（①－④）	8.1	8.1	9.3	8.7	8.7
28	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	①当てはまる	79.9	68.4	68.8	46.4	58.3
		②どちらかといえば、当てはまる	78.7	67.9	67.7	45.0	56.5
		③どちらかといえば、当てはまらない	74.2	63.1	61.9	38.1	50.5
		④当てはまらない	69.1	57.6	56.7	33.0	44.8
		差（①－④）	10.8	10.8	12.1	13.4	13.5

31	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	①よく見る	78.9	67.7	67.4	44.4	56.4
		②時々見る	75.8	64.8	63.7	40.6	52.4
		③あまり見ない	72.1	61.5	62.1	37.6	49.0
		④ほとんど、または、全く見ない	67.7	55.3	55.0	32.8	44.1
		差（①－④）	11.2	12.4	12.4	11.6	12.3
32	学校の規則を守っていますか	①当てはまる	78.1	67.1	67.5	44.4	56.1
		②どちらかといえば、当てはまる	75.3	64.4	63.1	39.6	51.8
		③どちらかといえば、当てはまらない	64.7	51.8	48.0	25.3	37.5
		④当てはまらない	56.3	43.2	40.5	23.3	31.4
		差（①－④）	21.8	23.9	27.0	21.1	24.7
33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	①当てはまる	77.6	66.6	66.1	42.8	54.6
		②どちらかといえば、当てはまる	72.9	61.9	61.3	38.0	50.4
		③どちらかといえば、当てはまらない	69.8	58.5	59.4	37.0	47.5
		④当てはまらない	70.1	55.7	55.0	35.4	46.0
		差（①－④）	7.5	10.9	11.1	7.4	8.6
38	1，2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	①当てはまる	79.1	68.0	68.6	45.5	57.3
		②どちらかといえば、当てはまる	76.4	65.3	63.9	40.5	52.5
		③どちらかといえば、当てはまらない	67.9	56.9	55.0	31.7	43.6
		④当てはまらない	54.8	43.0	41.3	21.8	31.9
		差（①－④）	24.3	25.0	27.3	23.7	25.4
39	1，2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	①当てはまる	77.3	66.7	66.3	43.3	54.7
		②どちらかといえば、当てはまる	77.0	65.9	65.3	42.0	54.1
		③どちらかといえば、当てはまらない	74.9	63.4	62.9	39.6	51.9
		④当てはまらない	65.1	52.2	51.8	30.6	40.9
		差（①－④）	12.2	14.5	14.5	12.7	13.8
41	1，2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	①当てはまる	78.6	67.7	67.3	44.1	56.1
		②どちらかといえば、当てはまる	76.4	65.1	64.7	41.3	53.4
		③どちらかといえば、当てはまらない	71.2	60.1	58.7	35.8	47.3
		④当てはまらない	62.6	50.6	50.8	31.4	39.9
		差（①－④）	16.0	17.1	16.5	12.7	16.2
43	1，2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	①当てはまる	78.1	67.2	66.8	43.2	55.1
		②どちらかといえば、当てはまる	76.5	65.4	64.5	41.6	53.7
		③どちらかといえば、当てはまらない	72.8	61.5	61.4	37.8	49.5
		④当てはまらない	64.7	51.5	52.5	33.1	42.8
		差（①－④）	13.4	15.7	14.3	10.1	12.3
45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	①そう思う	72.0	60.7	60.5	36.8	48.6
		②どちらかといえば、そう思う	76.8	65.9	65.3	41.8	54.2
		③どちらかといえば、そう思わない	80.3	69.3	68.6	46.4	57.5
		④そう思わない	81.0	69.5	68.9	47.0	58.7
		差（④－①）	9.0	8.8	8.4	10.2	10.1

結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

【小学校】肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
26	26	130	25	調査対象学年の児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	1.8	20.4
54	54	135	51	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	7.3	5.1
55	55	135	53	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	小	-2.3	7.0
58	58	135	新	調査対象学年の児童に対して、理科の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	5.0	7.6
97	95	143	H24 86/83	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	5.5	11.5
98	96	143	H24 87/84	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	-1.9	10.3
99	97	143	H24 89/86	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	小	5.4	8.8
107	105	144	95/93	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	小	1.7	6.2
108	106	145	96/94	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	小	1.3	6.6

【小学校】肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
24	24	130	23	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	小	-5.6	-17.5
25	25	130	24	調査対象学年の児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	小	-6.6	-8.2
36	36	132	42	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	小	-1.0	-6.2
38	38	132	39	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	小	-13.7	-10.8
39	39	132	40	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	小	-2.7	-7.1
46	46	133	44	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	小	-7.1	-18.8
47	47	134	45	調査対象学年の児童に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	-9.2	-12.7
48	48	134	46	調査対象学年の児童に対して、前年度に、算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	-15.4	-19.9
49	49	134	新	調査対象学年の児童に対して、前年度に、理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	-6.3	-5.8
60	60	136	60	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	-2.5	-7.7
63	63	136	63	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小	-7.2	-7.7
66	66	137	67/66	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	-6.5	-15.5
70	69	138	H24 57	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	-4.0	-6.7
71	70	138	H24 58	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	-2.3	-6.6
74	73	138	H24 61	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	小	-4.1	-6.4
76	75	139	H24 63	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか	小	-7.8	-7.3
80	79	139	72/70	教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	小	-0.9	-7.3
82	81	140	74/72	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	-2.7	-11.5
83	82	140	75/73	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	小	-2.5	-6.1
84	*	140	H24 75/*	調査対象学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか（複数回実施した場合は、最も長期のもの）	小	-4.6	-7.4
87	85	141	78/76	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	小	-8.0	-6.6
103	101	144	91/89	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	小	-7.4	-9.1

【中学校】肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
27	27	130	26	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補的な学習サポートを実施しましたか	中	-0.8	6.8
45	45	133	43	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	中	7.1	6.9
58	58	135	新	調査対象学年の生徒に対して、理科の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	中	12.1	15.7
67	67	137	68/67	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	中	2.0	7.6
79	78	139	71/69	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	中	-0.5	7.9
92	90	142	83/81	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	中	6.5	6.3
94	92	142	85/83	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）	中	1.4	8.5
96	94	142	87/85	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／数学共通）	中	-6.0	7.1
97	95	143	H24 86/83	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	中	4.6	12.3
98	96	143	H24 87/84	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	中	5.9	10.1
99	97	143	H24 89/86	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	中	9.5	9.2
101	99	143	89/87	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	中	2.9	8.1
102	100	143	90/88	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	中	-0.7	5.3
104	102	144	92/90	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	中	-5.8	6.2
106	104	144	94/92	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	中	-2.2	9.0
112	110	145	101/99	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	中	15.5	9.9

【中学校】肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項	校種	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
16	16	129	15	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	中	-5.8	-6.6
19	19	129	18	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができますか	中	-2.1	-8.5
24	24	130	23	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	中	-37.4	-10.7
25	25	130	24	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	中	-0.8	-7.5
28	28	130	27	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	中	-2.5	-11.4
31	31	131	30	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	中	1.0	-8.4
38	38	132	39	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	中	-12.6	-22.9
40	40	132	41	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	中	-9.9	-5.2
46	46	133	44	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	中	-2.5	-18.6
47	47	134	45	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	中	-5.0	-9.2
48	48	134	46	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	中	-7.5	-9.0
55	55	135	53	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	中	-1.6	-5.0
63	63	136	63	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	中	-2.2	-7.0
66	66	137	67/66	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	中	-6.1	-8.9
76	75	139	H24 63	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行いましたか	中	-4.5	-14.6
81	80	140	73/71	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	中	-7.5	-6.6
82	81	140	74/72	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	中	-6.1	-18.5
83	82	140	75/73	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	中	-1.9	-5.4
87	85	141	78/76	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	中	-10.0	-14.6

Question 1

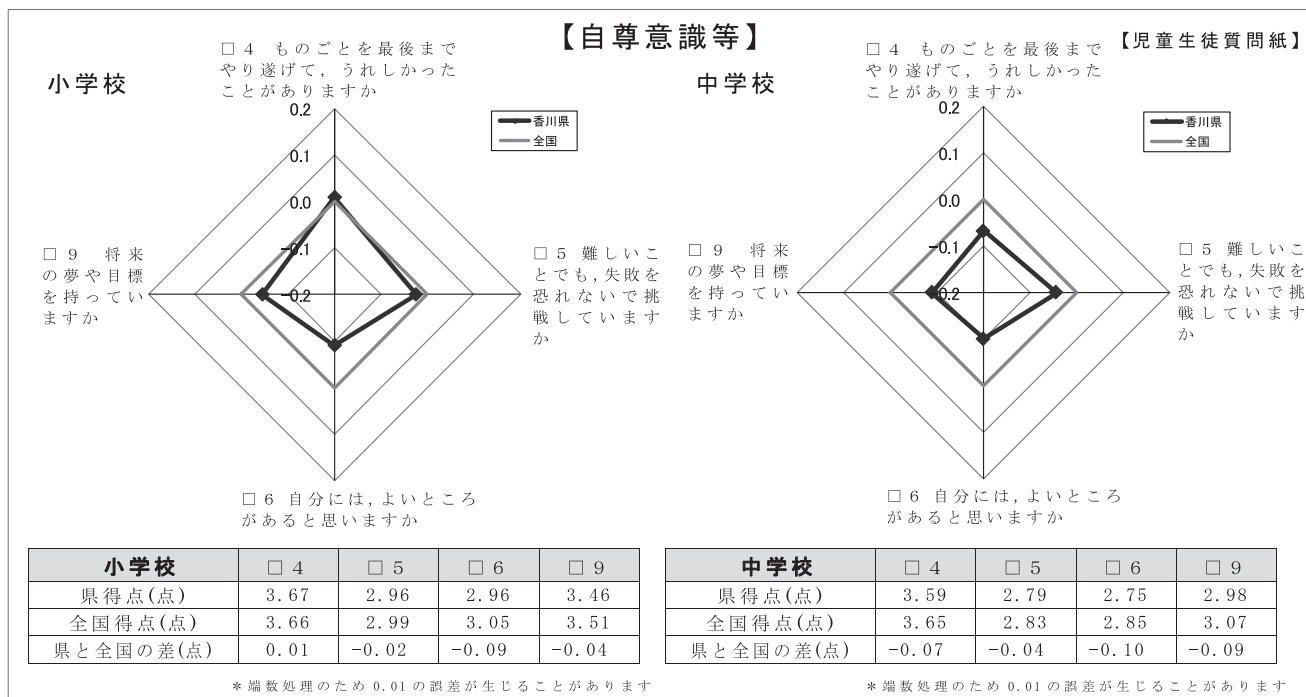
自尊意識等

これまで本県の課題とされてきた「自尊意識等」にかかわる質問紙調査結果については、どのようなところに課題が見られましたか。また、どのような経年変化が見られましたか。

Answer

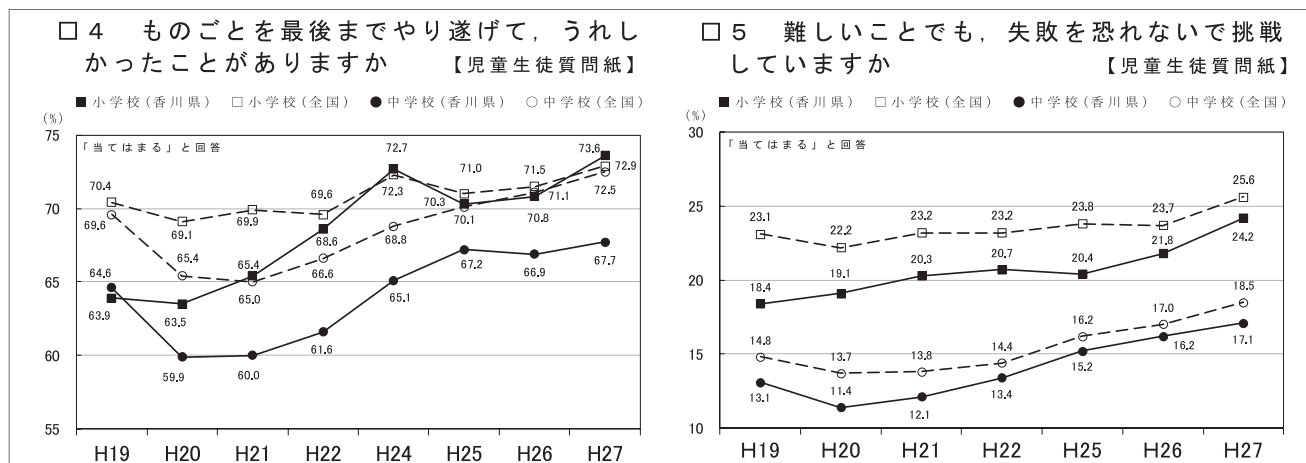
1. 小学校において「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の質問に対して「当てはまる」と回答した児童の割合は全国平均を0.7ポイント上回っている。
2. 中学校では、自尊意識等に関するすべての項目において、全国平均を下回っており、課題が見られる。特に、「自分にはよいところがありますか」の質問について、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均を3.6ポイント下回っている。
3. 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を小学校で2.9ポイント、中学校で4.9ポイント下回っており、引き続き課題がある。

1 自尊意識等に関する4つの項目



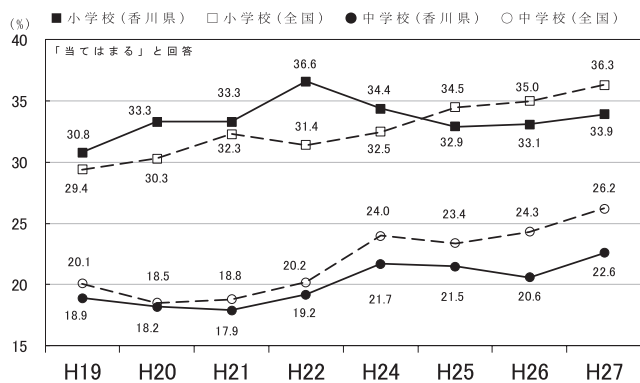
2 課題となる項目の経年変化

p 106



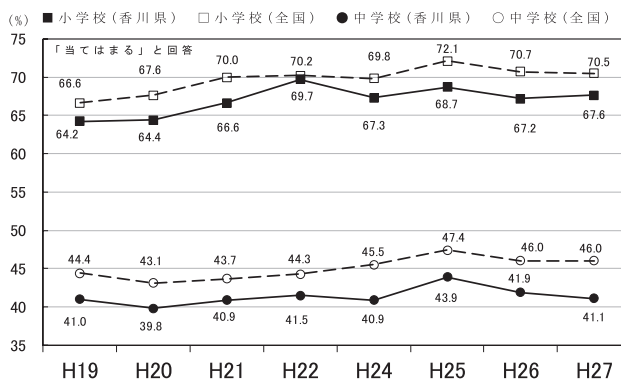
□ 6 自分には、よいところがあると思いますか

【児童生徒質問紙】



□ 9 将来の夢や目標を持っていますか

【児童生徒質問紙】



(参考)

「□ 6 自分には、よいところがあると思いますか」と「□ 24 学校に行くのは楽しいと思いますか」のクロス集計

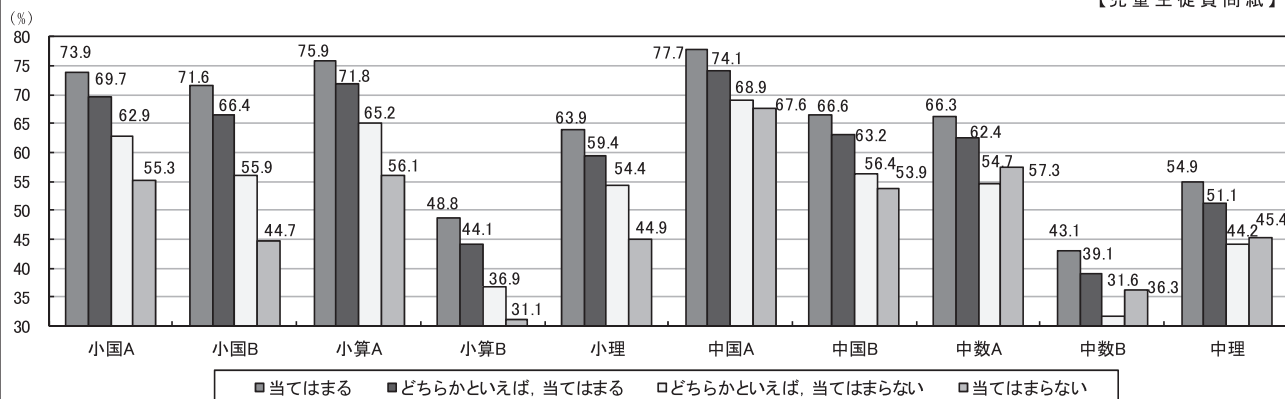
小学校		□ 6	
		肯定的	否定的
□ 24	肯定的	64.5%	19.9%
	否定的	7.0%	7.8%
		その他 0.8%	

「□ 9 将来の夢や目標を持っていますか」と「□ 35 人の役に立つ人間になりたいと思いますか」のクロス集計

小学校		□ 9	
		肯定的	否定的
□ 35	肯定的	80.6%	12.1%
	否定的	4.2%	2.2%
		その他 0.9%	

3 やり遂げてうれしかった経験と平均正答率の関係

「□ 4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率
【児童生徒質問紙】



Question 2

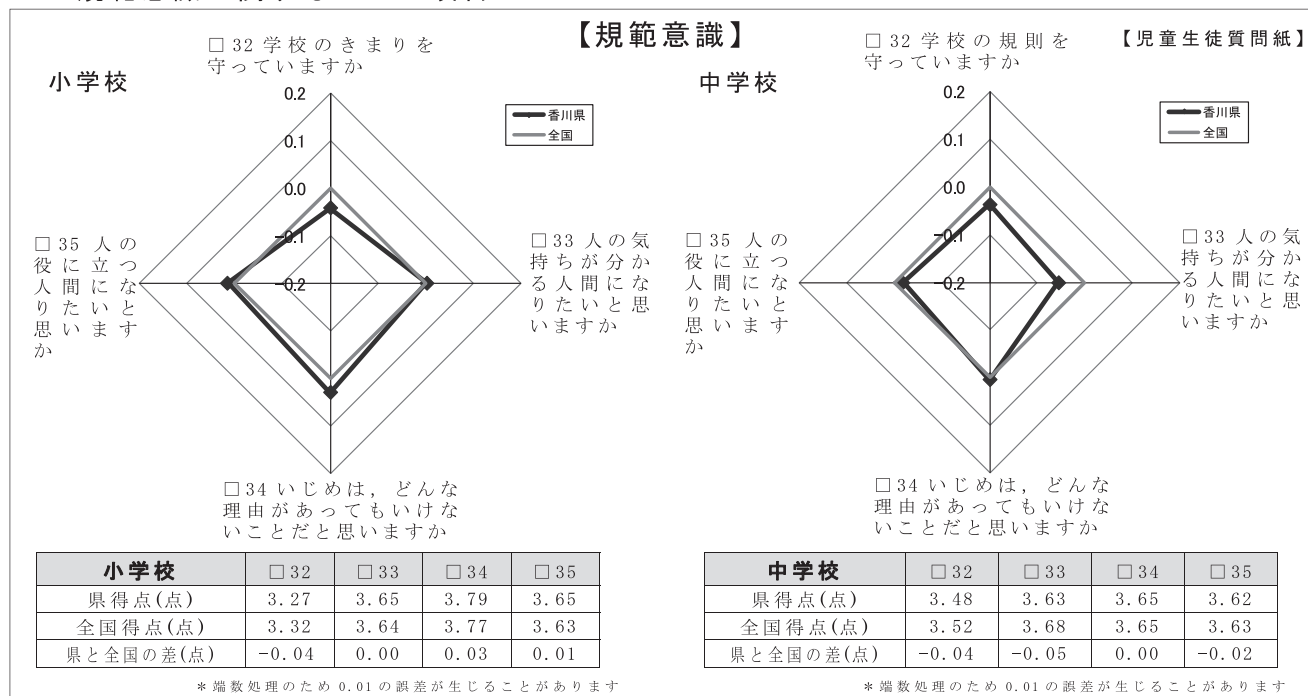
規範意識

昨年度、「規範意識」にかかわる質問紙調査結果について改善傾向が見られましたが、今年度はどのような結果になっていましたか。

Answer

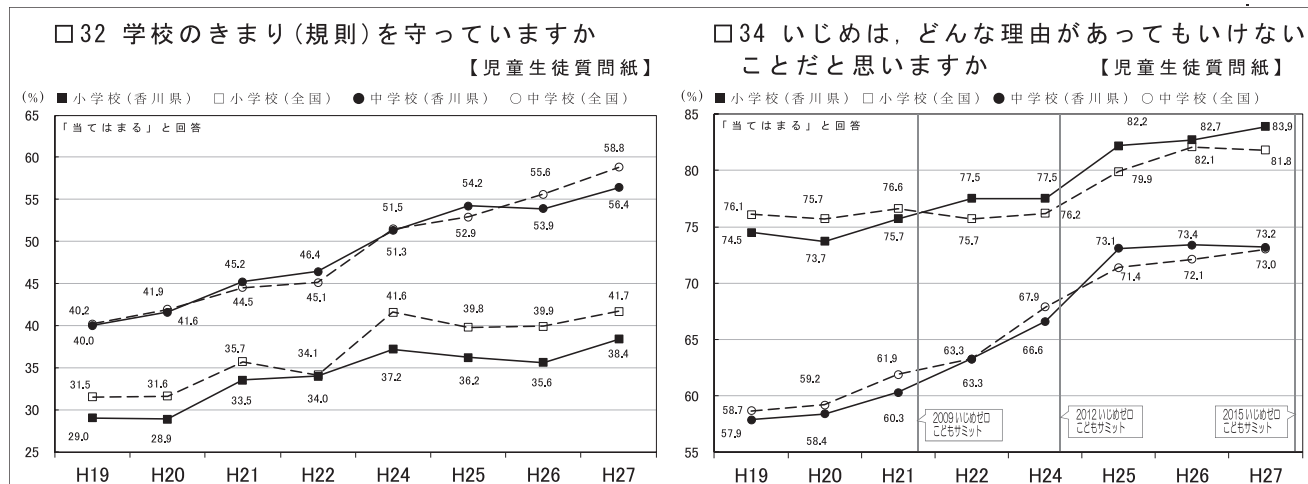
1. 「学校のきまり（規則）を守っていますか」の質問に対して「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を小学校で3.3ポイント、中学校で2.4ポイント下回っているが、小・中学校ともに、調査開始以来増加傾向が見られる。
2. 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、昨年度に比べて小学校で1.2ポイント増加し、中学校で0.2ポイント減少したが、小・中学校ともに、調査開始以来増加傾向が見られる。

1 規範意識に関する4つの項目



2 規則遵守、いじめの意識について

p 112



Question 3

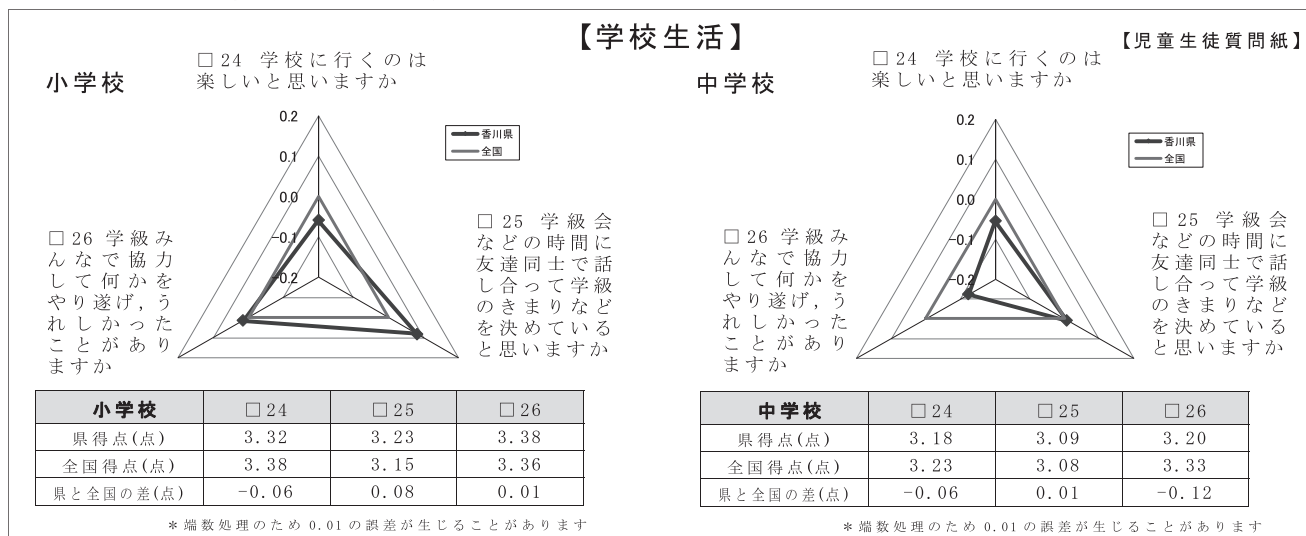
学校生活

「学校生活」にかかわる質問紙調査については、どのような結果になっていましたか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

Answer

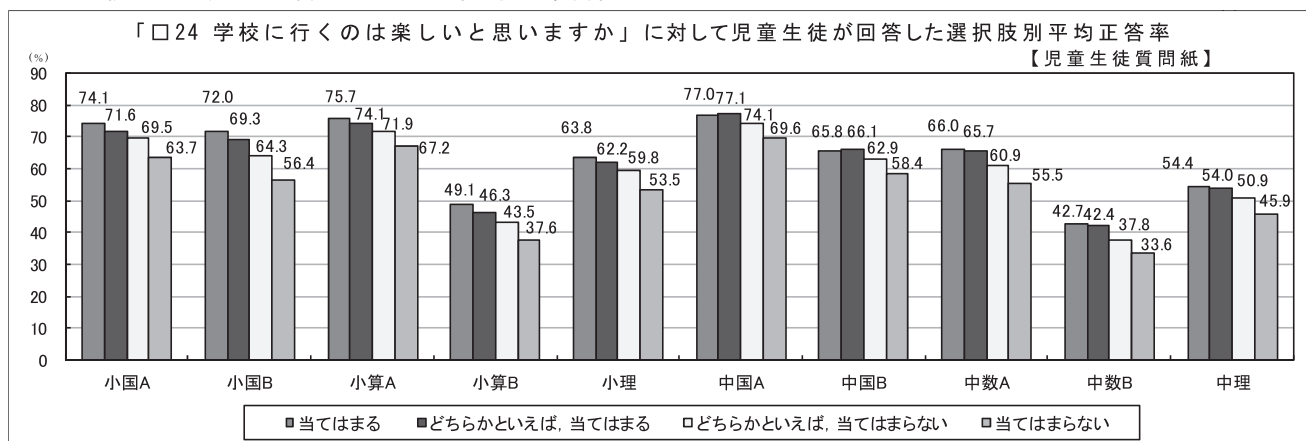
- 1.学校生活に関する3つの項目では、小・中学校ともに「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問で課題が見られる。また、肯定的に回答した児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られる。
- 2.教師が児童生徒のよい点を見付け、伝えるなどの評価をしたかという質問では、「よく行った」と回答した学校の割合が中学校において全国平均を12.7ポイント上回っている。

1 学校生活に関する3つの項目



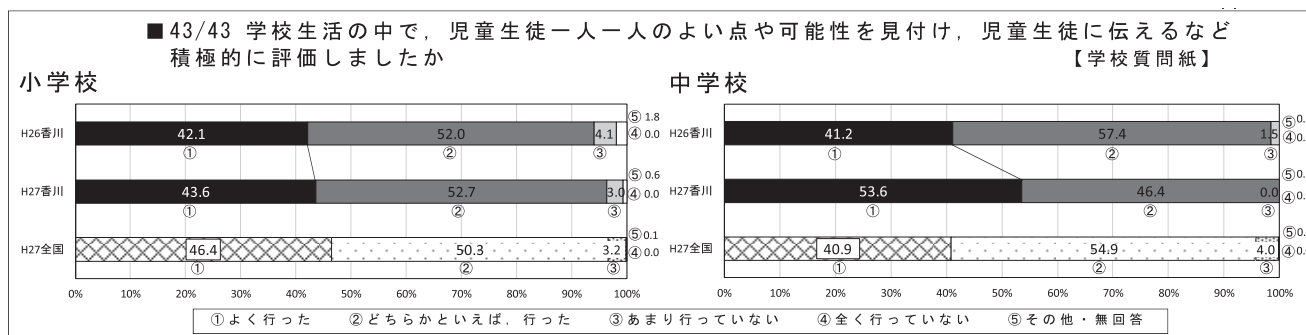
2 学校に対する意識と平均正答率の関係

p 110



3 児童生徒への評価に関する教師の意識

p 133



Question 4

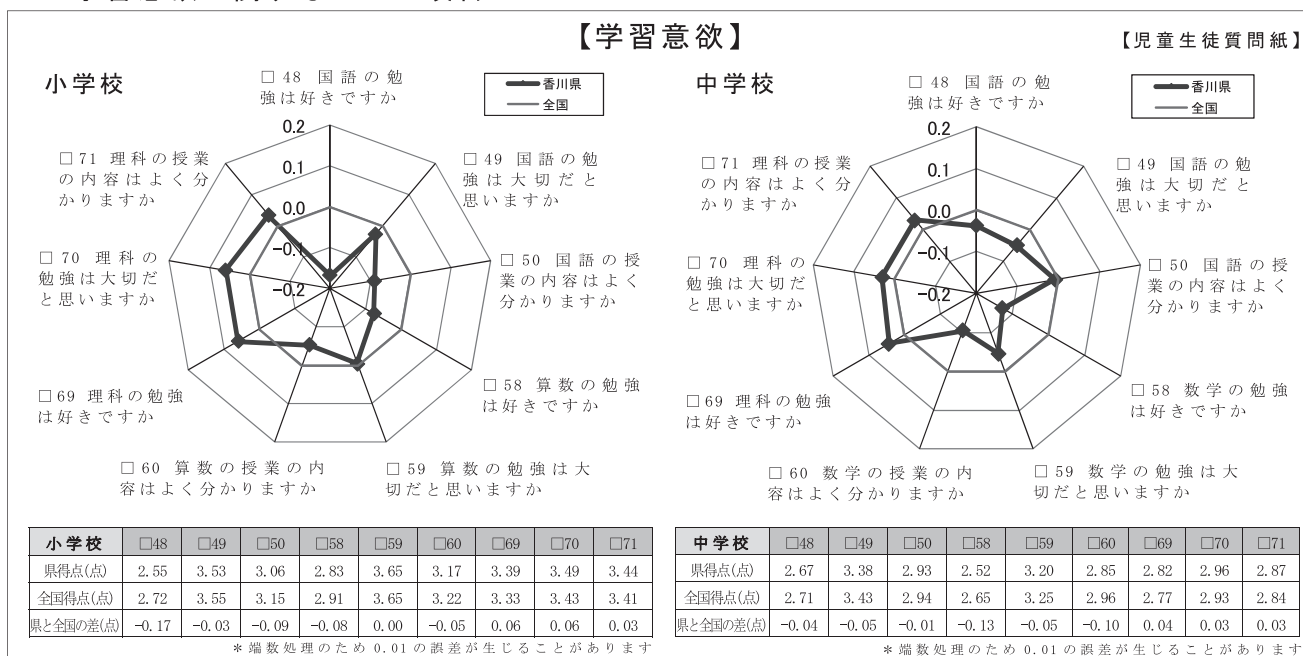
学習意欲

本県の課題とされている「学習意欲」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような経年変化が見られましたか。

Answer

1. 学習意欲に関する項目では、小・中学校ともに、国語、算数・数学は全国を下回り、理科は上回っている。
2. 「勉強は好きですか」と「授業の内容は分かりますか」のクロス集計では、小・中学校ともに、国語、算数・数学においては、20%程度の児童生徒が、「分かりますか」の質問に肯定的に、「好きですか」の質問に否定的に回答している。
3. 中学校国語において、「好きですか」「分かりますか」の質問に対して肯定的に回答している生徒の割合が、昨年度に比べて高くなり、全国平均との差が小さくなっている。

1 学習意欲に関する9つの項目



2 「勉強は好きですか」と「授業の内容はよく分かりますか」のクロス集計

p 115, 117, 119

「□48・58・69 ○○の勉強は好きですか」と「□50・60・71 ○○の授業の内容はよく分かりますか」のクロス集計

小学校

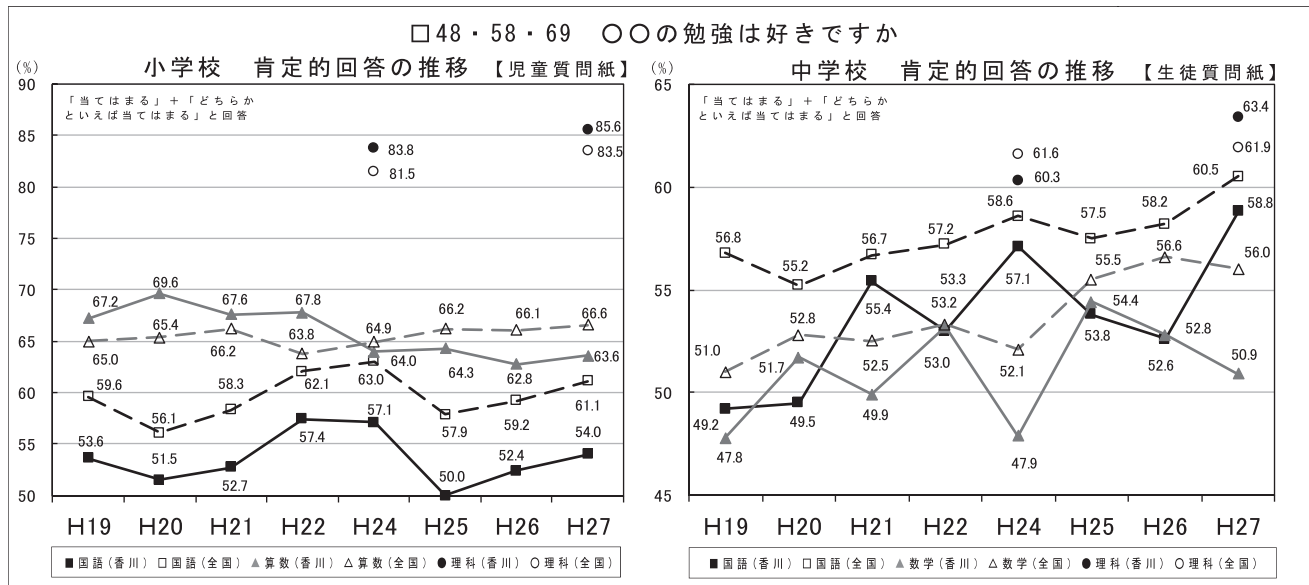
		国語		算数		理科	
		好きですか					
		肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的
分かりますか	肯定的	49.9%	28.2%	59.9%	18.7%	80.4%	8.1%
	否定的	3.6%	17.3%	3.1%	17.3%	4.5%	6.1%
	その他 1.0%		その他 1.0%		その他 0.9%		

中学校

		国語		数学		理科	
		好きですか					
		肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的
分かりますか	肯定的	52.3%	21.3%	45.4%	20.8%	54.9%	12.2%
	否定的	6.3%	19.6%	5.2%	28.0%	8.2%	24.1%
	その他 0.5%		その他 0.6%		その他 0.6%		

3 学ぶことに対する意識

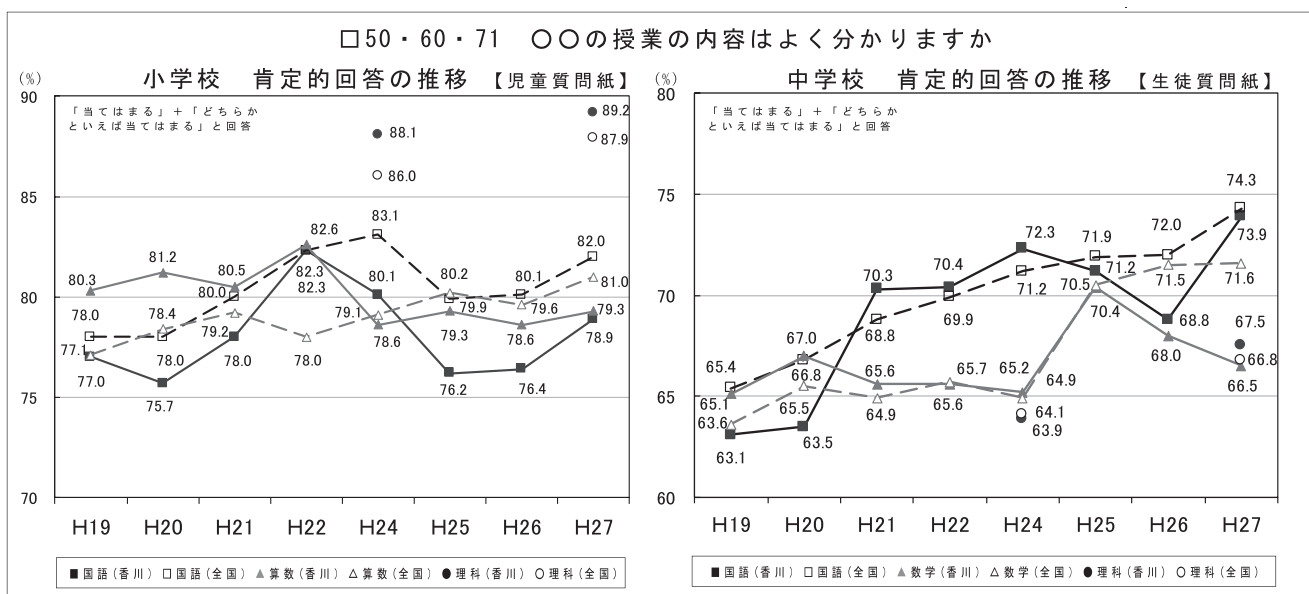
p 115, 117, 119



II 概論

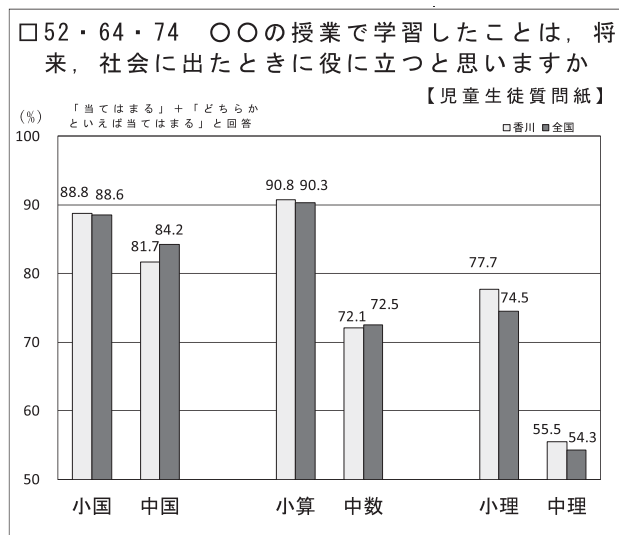
4 授業内容に対する意識

p 115, 117, 119



5 学ぶ意義に対する意識

p 116, 118, 120



Column

◆「○○の勉強が好き」と言える香川の子どもに◆

「○○の勉強が好きですか」に対して肯定的に回答している児童生徒の割合が毎年全国平均を下回っていることは、経年の課題とされています。

子どもたちが「○○の勉強が好き」と言えるために、例えば、国語では、本を読み込んで作者とかかわる、考えたことを表現して他者とかかわるなど、国語本来の楽しさを味わわせるとともに、授業でも楽しいと感じさせることが重要です。

そして、授業改善のためにまずは、「①教師が子どもに付けたい力を明確にする」とともに、「②育てたい子どもの姿を具体的に想定して授業に取り組んでいく」ことが必要です。そして何より、子どもたちに想定した力が少しでも付いたときには、「③教師が見逃さずしっかりと認めましょう」。子どもたちが「できるようになった」と自覚し、「○○の勉強が好き」と自信をもって言えるように授業改善に取り組みましょう。

Question 5

学習状況

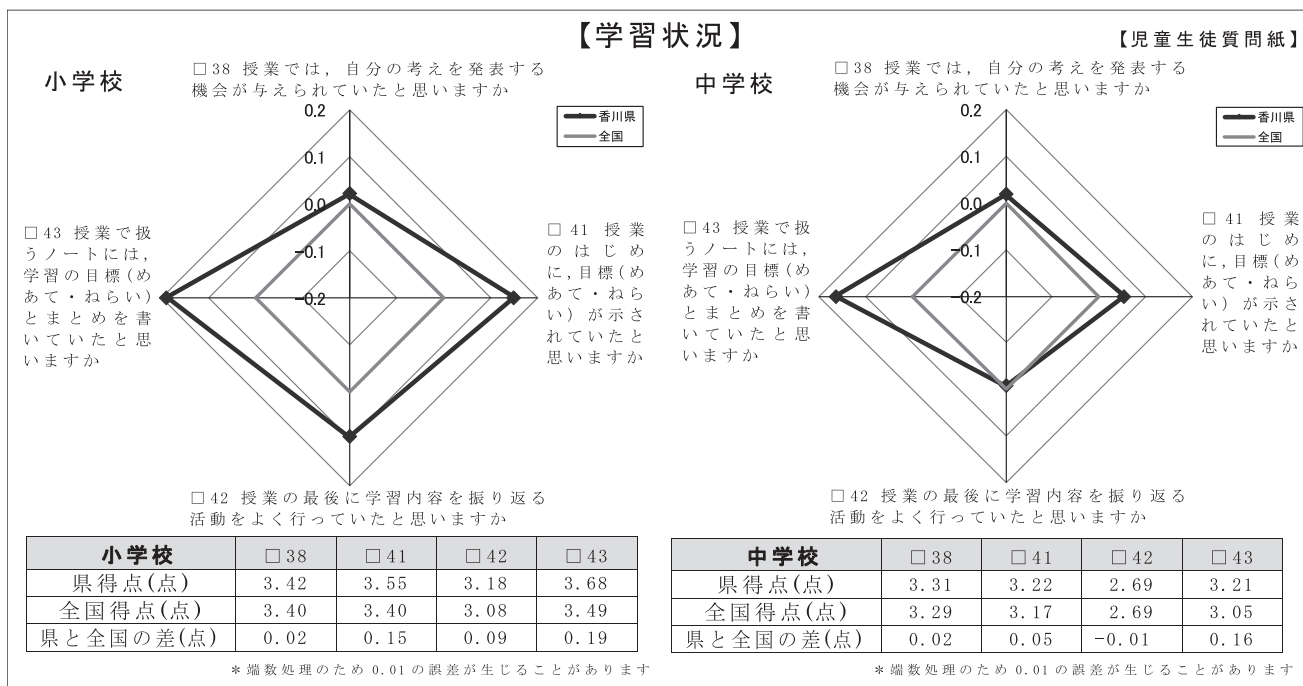
「授業の目標（めあて・ねらい）・振り返り」についての質問紙調査結果については、どのようなところに成果が見られましたか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

（「さぬきの授業 基礎・基本」関連項目）

Answer

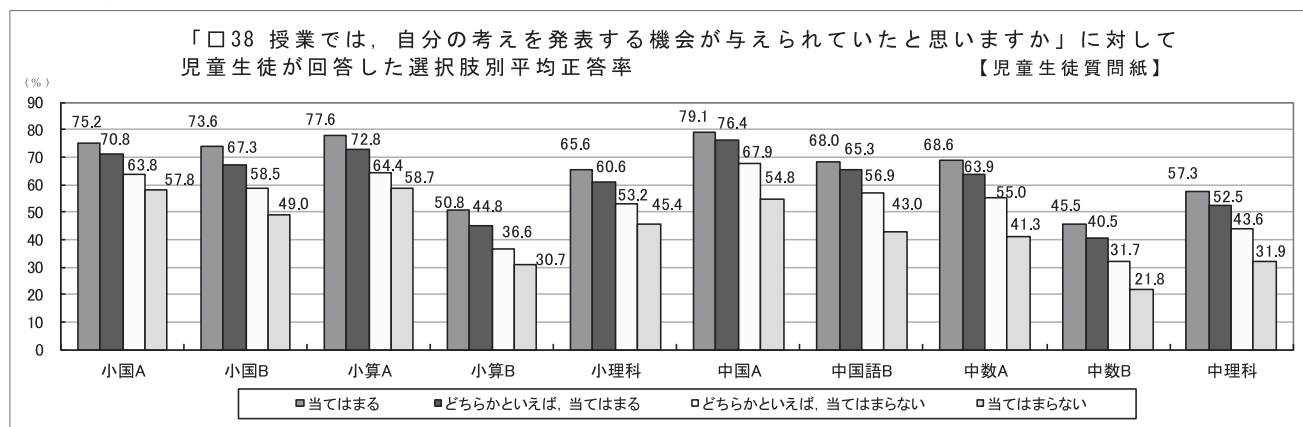
1. 学習状況に関する4つの項目を総合してみると、小・中学校ともに昨年に続いて全国を上回る傾向が見られる。
2. 発表する機会と平均正答率の関係をみると、「当てはまる」と回答した児童生徒ほど平均正答率が高い傾向がある。中学校においては、「当てはまる」と「当てはまらない」と回答した生徒の割合を比べると、5調査区分すべて20ポイント以上の差がある。
3. 「授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れたか」については、中学校で100%の学校が肯定的に回答した。
4. ノートへの記述状況をみると、児童生徒質問紙、学校質問紙ともに、全国を上回った。

1 「学習状況」に関する4つの項目



2 発表する機会と平均正答率の関係

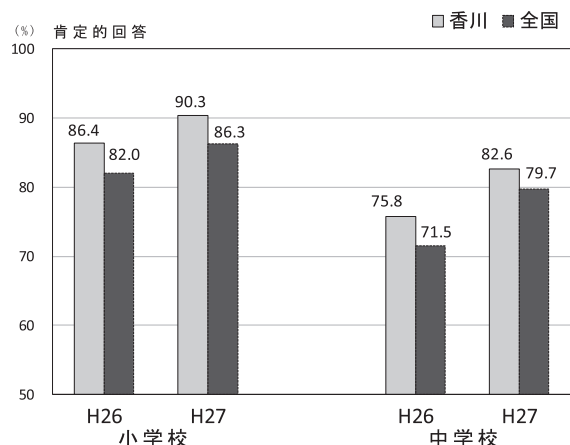
p 113



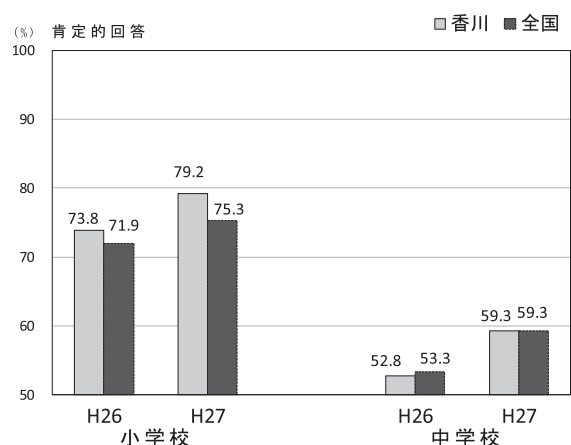
3 授業の目標（めあて・ねらい）や振り返る活動の実施状況

p 114

□41 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか 【児童生徒質問紙】



□42 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか 【児童生徒質問紙】



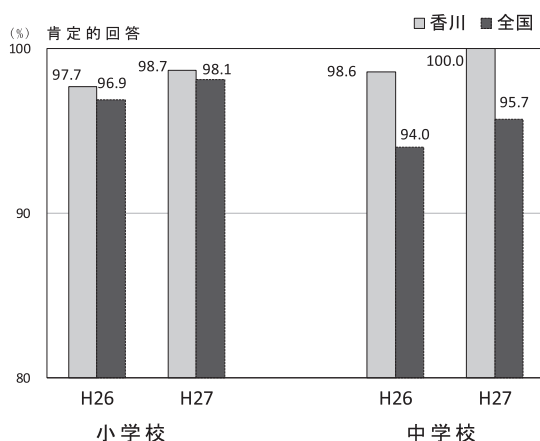
Ⅱ
概
論

p 131

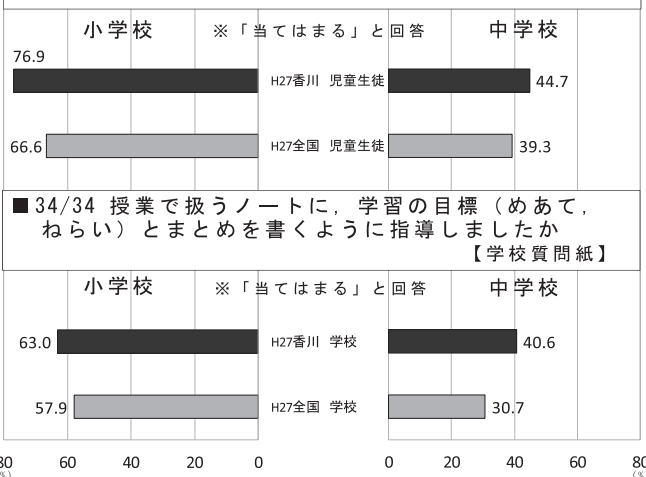
4 ノートへの記述状況

p 114, 131

■29/29 授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか 【学校質問紙】



□43 授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか 【児童生徒質問紙】



Column

◆相手意識をもった発言・交流を◆

小・中学校の各教科等の普通の授業において、児童生徒が意見を発言する機会が多くあります。その際、発言者は、先生だけではなく他の児童生徒にとっても、意見の理由が説得的に伝わるように相手意識をもって説明しているかどうか大切にします。

授業において、相手に自分の意見をうまく伝えるために、理由や話す順番等に気を付けることは、言語活動そのものです。全ての教科で、各教科の特質に応じた言語活動を充実させ、自分の考えを説得的に相手に伝えられるように指導をしていきましょう。

◆見通し・振り返りで学習意欲向上を◆

「見通し」の場面では、児童生徒自身に、「どのような結果になるのだろう」といった結果の見通しをもたせた上で、「どうしたら、その結果が得られるのだろう」といった方法の見通しをもたせることが大切です。

自分の予想や仮説が正しいかどうかかわからないと意識すれば、その課題を学習したい、という意欲につながることができます。

さらに、その授業での学習の結果、自分の予想や仮説が正しかったのかどうかを「振り返り」、その授業で自分は何を学んだのか、どう変容したのかを実感させれば、学習意欲をさらに向上できます。



Question 6

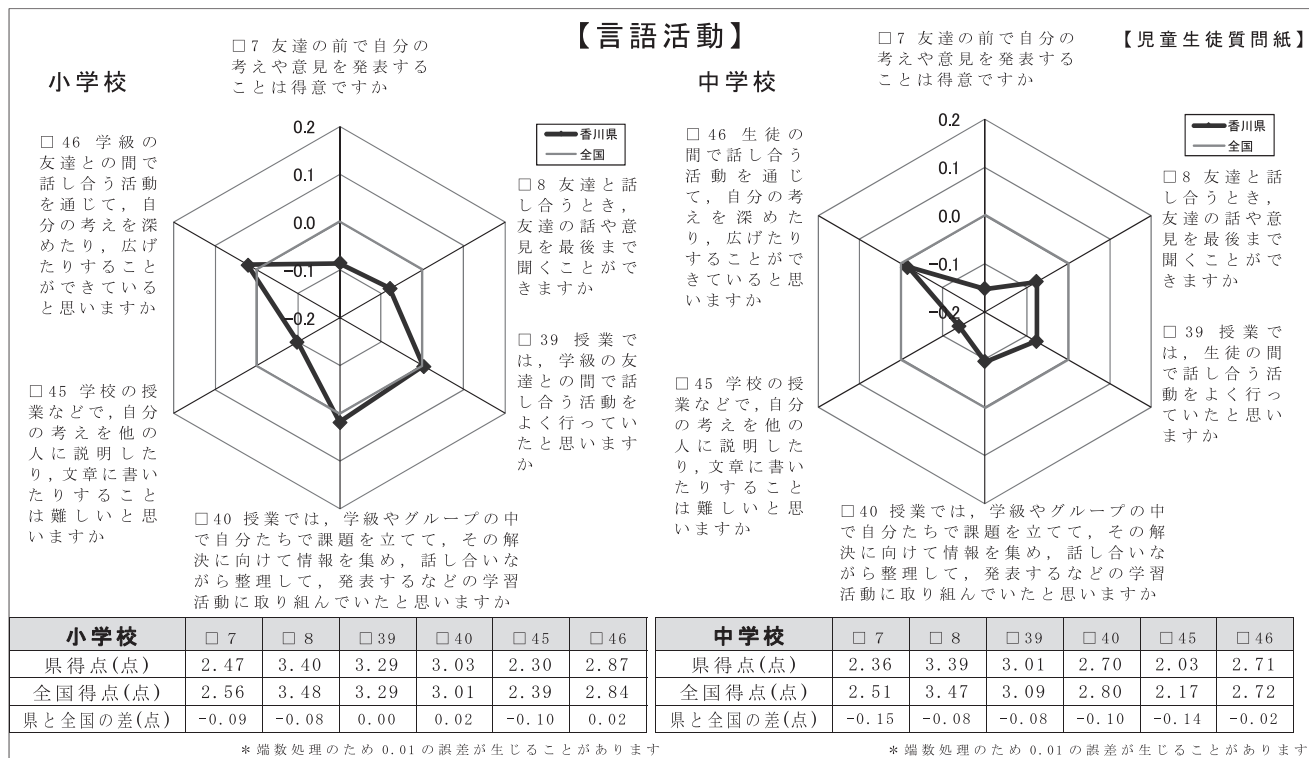
言語活動

「言語活動」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

Answer

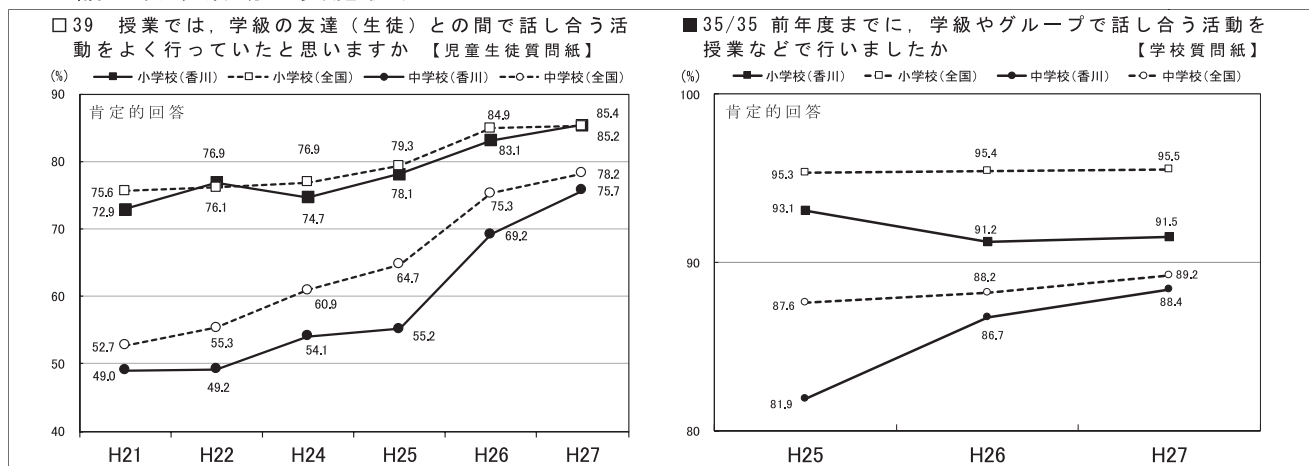
- 1.言語活動に関する質問項目では、特に「友達の前で自分の考えや意見を発表すること」、「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすること」について、課題が見られる。
- 2.話し合う活動の実施状況において、「話し合う活動をよく行っていたと思う」と肯定的に回答している児童生徒の割合は、調査開始以来増加傾向にあり、香川県も同様に増加している。
- 3.考えを深めたり広げたりすることに関する質問において、肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校で 2.9 ポイント、中学校で 1.5 ポイント増加した。また、肯定的に回答した学校の割合は、小・中学校ともに 90%を超えている。

1 言語活動に関する 6 つの項目



2 話し合う活動の実施状況

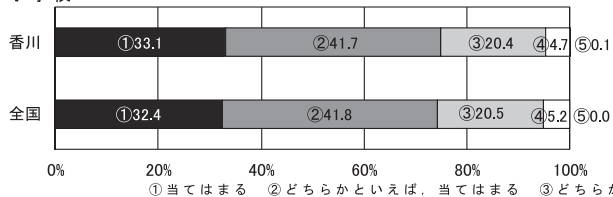
p 113, 132



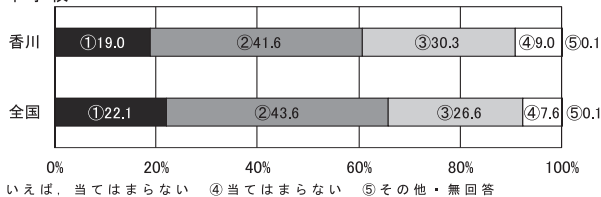
3 課題を立てて解決に向かう学習の実施状況

□40 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか 【児童生徒質問紙】

小学校

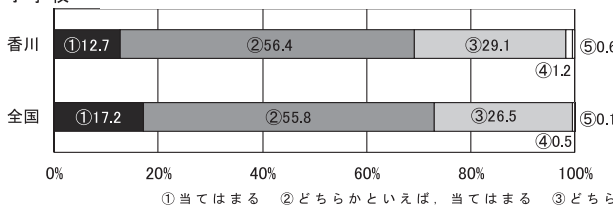


中学校

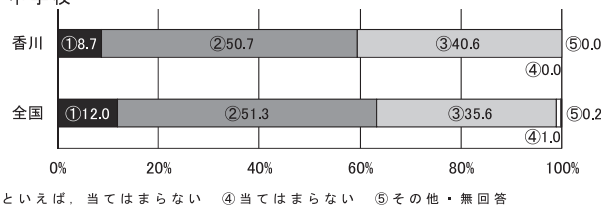


■37/37 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

小学校



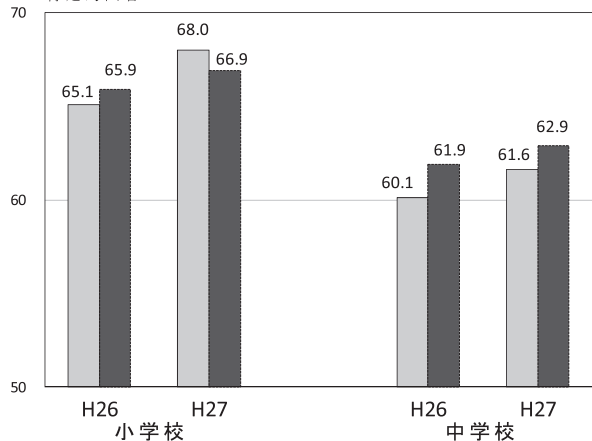
中学校



4 思考を深めたり広げたりする学習の実施状況

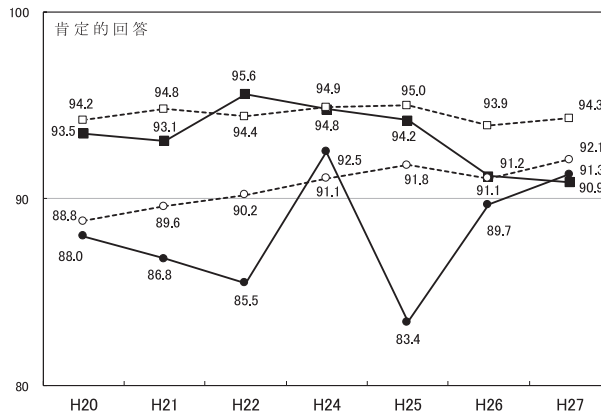
□46 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか 【児童生徒質問紙】

(%) 肯定的回答



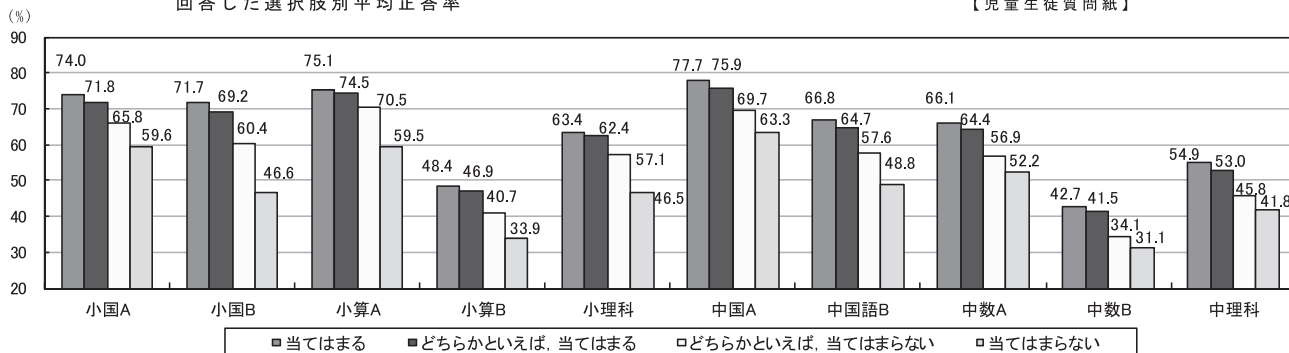
■32/32 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか 【学校質問紙】

(%)



5 友達の話を最後まで聞く意識と平均正答率の関係

「□8 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】



Question 7

家庭学習

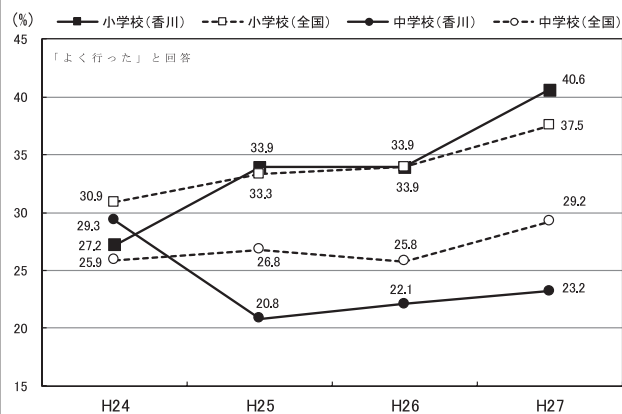
「家庭学習」にかかわる質問紙調査結果については、どのようなところに成果が見られましたか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

Answer

1. 「家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えた」と回答している学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加している。
2. 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答している児童生徒の割合は、全国平均と比較して小学校で 0.6 ポイント上回り、中学校で 1.4 ポイント下回っているが、小・中学校ともに平成 24 年度以降上昇傾向が見られる。
3. 「家で学校の宿題をしていますか」の質問に対して肯定的に回答した児童生徒ほど、全調査区分で平均正答率が高い傾向が見られる。

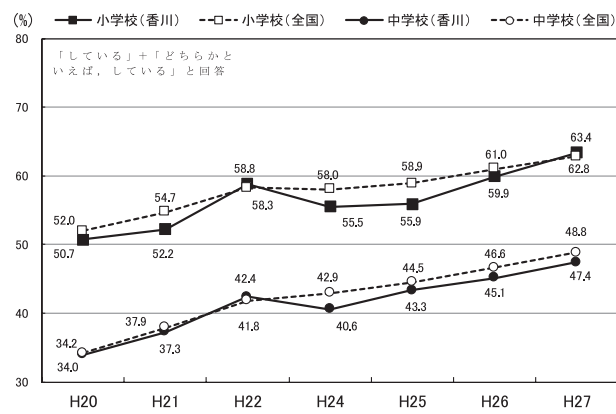
1 家庭学習の課題についての指導 p 142

■ 96/94 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか
【学校質問紙】



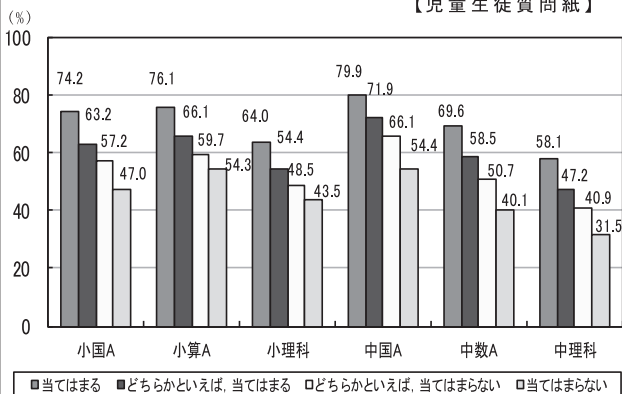
2 家庭での計画的な学習 p 110

□ 20 家で自分で計画を立てて勉強していますか
【児童生徒質問紙】



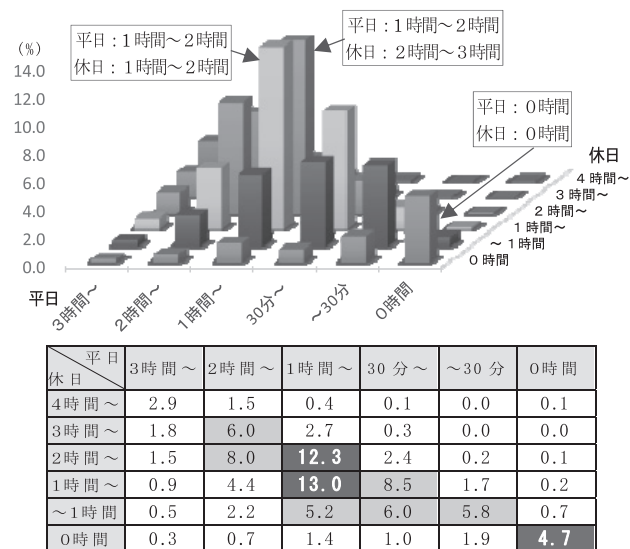
3 家庭での宿題と平均正答率の関係 p 110

「□ 21 家で学校の宿題をしていますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率
【児童生徒質問紙】



4 家庭学習の時間(中学校: 平日, 休日) p 108

「□ 13, 14 家で平日, 休日どれくらいの時間勉強しますか」クロス集計
【生徒質問紙】



Question 8

メディアの利用

昨年度、「メディアの利用」にかかわる質問紙調査結果において利用する児童生徒の割合が高い傾向が見られましたが、今年度はどのような結果になっていましたか。

Ⅱ 概 論

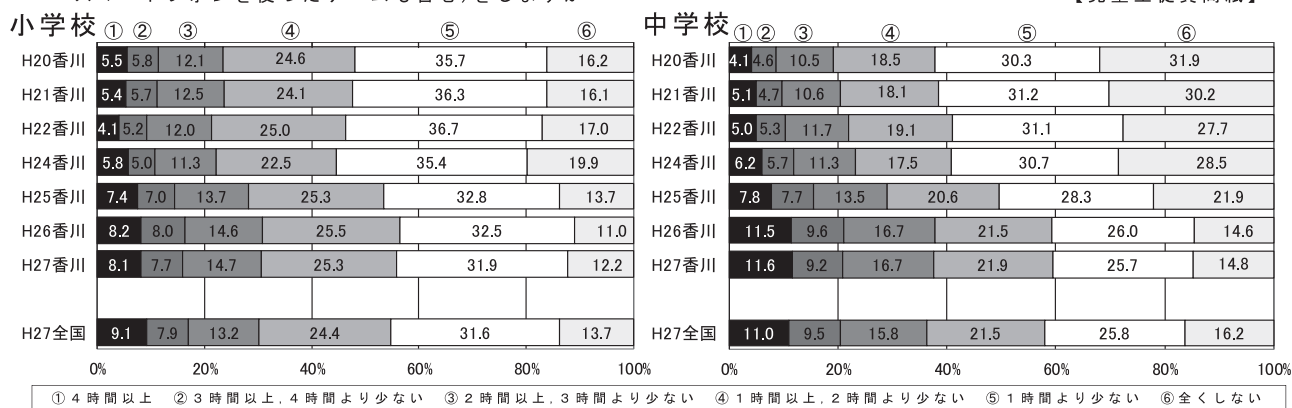
Answer

- 「1日2時間以上ゲームをしている」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を小学校で0.3ポイント、中学校で1.2ポイント上回っている。また、1日当たり、ゲームをする時間が長い児童生徒の方が、全調査区分において平均正答率が低い。
- 1日あたりにゲームをする平均時間は、増加傾向が見られるものの、昨年度に比べてやや減少している。

1 1日当たりのテレビゲームの時間の経年変化

p 108

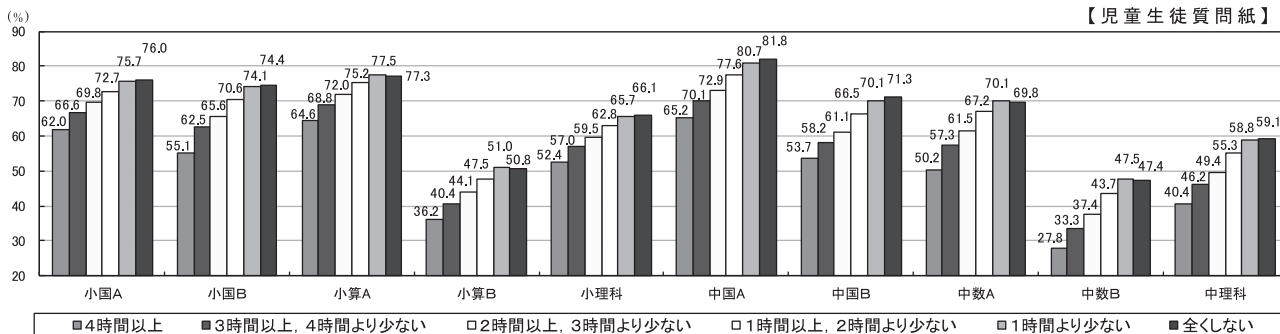
□11 普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか 【児童生徒質問紙】



2 1日当たりのテレビゲームの時間と平均正答率の関係

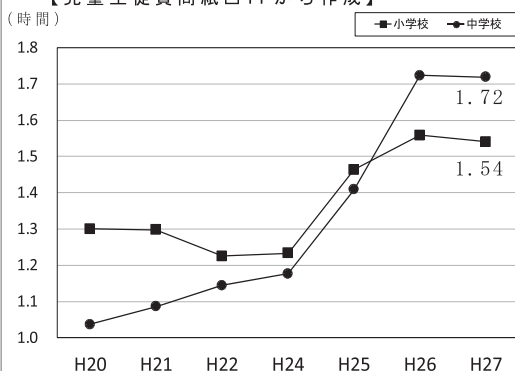
「□11 1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率

【児童生徒質問紙】



3 1日当たりのテレビゲームの平均時間の経年変化

○テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする1日当たりの平均時間
【児童生徒質問紙□11から作成】



○携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている1日当たりの平均時間
【児童生徒質問紙□12から作成】

	小学校	中学校
H26	1.00 時間 (51.7%)	1.94 時間 (73.5%)
H27	1.04 時間 (57.1%)	1.78 時間 (75.6%)

()は、していると回答(回答1～6)した児童生徒の割合。平均時間は、している児童生徒のみの時間で算出した。

※平均時間については、次の集計上の値で算出した。

質問紙の選択肢	集計上の値
4時間以上	4.5時間
3時間以上、4時間より少ない	3.5時間
2時間以上、3時間より少ない	2.5時間
1時間以上、2時間より少ない	1.5時間
30分以上、1時間より少ない	0.75時間
30分より少ない	0.25時間
全くしない	0時間

アクティブ・ラーニングに関わる質問一覧

※「活用ツール」を使って、アクティブ・ラーニングに関わる質問についての自校の状況が確認できます。



アクティブ・ラーニングによる授業改善に向けて

本年度の全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の中で、アクティブ・ラーニングに関わる主な質問項目を取り上げました。自校の状況を把握し、授業改善に生かしていきましょう。

質問 番号	掲載P	質問事項	校 種	香川	全国	香川-全国							
				1	1	1の差							
				1+2	1+2	1+2の差							
7	107	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意 ですか	小	17.5	20.6	-3.1	40	113	前学年までに受けた授業では、学級やグループの中 で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報 を集め、話し合いながら整理して、発表などの学 習活動に取り組んでいたと思いますか	小	33.1	32.4	0.7
			中	47.5	51.2	-3.7				中	74.8	74.2	0.6
8	107	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く ことができますか	小	13.6	17.0	-3.4	41	114	前年度までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ね らい)が示されていたと思いますか	小	19.0	22.1	-3.1
			中	42.5	49.6	-7.1				中	60.6	65.7	-5.1
25	111	学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のき まりなどを決めていますか	小	49.7	55.8	-6.1	42	114	前年度までに受けた授業の最後に学習内容を振り返 る活動をよく行っていたと思いますか	小	67.7	57.5	10.2
			中	91.3	92.9	-1.6				中	90.3	86.3	4.0
26	111	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった ことがありますか	小	49.9	54.7	-4.8	43	114	前年度までに受けた授業で扱うノートには、学習の目 標(めあて、ねらい)とまとめを書いていたと思います か	小	43.4	38.9	4.5
			中	90.6	93.0	-2.4				中	79.2	75.3	3.9
37	113	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情 報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習 活動に取り組んでいますか	小	43.2	38.7	4.5	45	114	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり 、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	小	18.1	19.4	-1.3
			中	83.4	80.5	2.9				中	59.3	59.3	0.0
38	113	前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表す る機会が与えられていたと思いますか	小	36.0	35.9	0.1	46	114	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、 自分の考えを深めたり、広げたりすることができてい ると思いますか	小	76.9	66.6	10.3
			中	78.5	78.3	0.2				中	93.4	87.1	6.3
39	113	前学年までに受けた授業では、学級の友達(生徒)と の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	小	55.3	54.2	1.1	47	115	授業の中で分からないことがあったら、どうす ることが多いですか	小	44.7	39.3	5.4
			中	86.2	86.1	0.1				中	81.5	73.7	7.8
			小	48.7	56.0	-7.3				小	27.3	23.4	3.9
			中	80.2	84.2	-4.0				中	58.8	55.2	3.6
			小	26.1	26.9	-0.8				小	37.6	30.8	6.8
			中	66.3	65.8	0.5				中	69.7	64.4	5.3
			小	12.3	18.1	-5.8				小	26.0	25.2	0.8
			中	48.9	58.0	-9.1				中	68.0	66.9	1.1
			小	57.9	56.9	1.0				小	18.4	18.4	0.0
			中	87.9	86.7	1.2				中	61.6	62.9	-1.3
			小	47.2	46.2	1.0				小	21.6	34.5	6.0
			中	86.9	85.9	1.0				中	24.8	30.8	5.2
			小	46.7	46.7	0.0				小	19.6	32.0	10.7
			中	85.4	85.2	0.2				中	20.9	35.9	7.0
			小	30.1	34.2	-4.1				小	26.1	25.7	0.4
			中	75.7	78.2	-2.5				中	65.1	63.9	1.2

アクティブ・ラーニングによる授業を通して育まれる資質・能力

主体的・協働的な学習を行う中で、「自尊意識等」「規範意識」「社会参画への意識」「学習意欲」等の資質・能力が育まれることが期待できます。

質問 番号	掲載P	質問事項		香川	全国	香川－全国							
				1	1	1の差							
				1+2	1+2	1+2の差							
4	106	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	小	73.6	72.9	0.7	28	111	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	小	26.1	25.7	0.4
			中	94.6	94.5	0.1				中	65.1	63.9	1.2
			大	67.7	72.5	-4.8				大	17.8	18.3	-0.5
5	106	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	小	92.8	94.2	-1.4	29	111	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	小	54.2	55.9	-1.7
			中	24.2	25.6	-1.4				中	14.2	14.8	-0.6
			大	75.6	76.4	-0.8				大	44.1	44.8	-0.7
6	107	自分には、よいところがあると思いますか	小	17.1	18.5	-1.4	32	112	学校のきまり(規則)を守っていますか	小	8.7	8.8	-0.1
			中	66.9	68.8	-1.9				中	32.4	32.9	-0.5
			大	33.9	36.3	-2.4				大	38.4	41.7	-3.3
			小	72.0	76.4	-4.4	35	112	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	89.9	91.1	-1.2
			中	22.6	26.2	-3.6				中	56.4	58.8	-2.4
			大	63.6	68.1	-4.5				大	93.5	94.4	-0.9
			小	73.3	71.6	1.7				小	73.3	71.6	1.7
			中	93.5	93.7	-0.2				中	93.5	93.7	-0.2
			大	71.4	72.0	-0.6				大	92.8	93.7	-0.9

アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ

アクティブ・ラーニングで授業を変えよう!

Leaf.1 平成 27 年 6 月

Q2 なぜ、アクティブ・ラーニングなの?

A2

「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要だからです。

中教審諮問^{※1}では、次の3つのことが必要とされており、学習指導要領には、内容だけでなく方法や評価についてふられています。

- ①「何を教えるか」という知識の質や量の改善
- ②「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視
- ③「どのような力が身に付いたか」に関する学習評価の在り方

Q1 アクティブ・ラーニングって…なに?

A1

自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習のことです。

PISAなどの国際調査によると、日本は学習意欲や自己肯定感が低く、香川県は全国学力・学習状況調査におけるこの項目で、全国の中で低い結果となっています。そのため、主体的・協働的に学ぶ学習(アクティブ・ラーニング)の充実が必要です。

Q3 授業をどのように変えればいいのか?

A3

学習の主体を、教師から児童生徒に転換していくことです。

国内外の学力調査では、判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べることについて課題があることや、自己肯定感や学習意欲、社会参画の意識等が国際的に見て低いことが指摘されており、子どもの自信を育み能力を引き出すことが求められています。

Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校 国語 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 国語Aについて、県と全国の平均正答率の比較（+2.3 ポイント）等から、全国平均より上位の結果であることがうかがえる。
- 国語Bについて、県と全国の平均正答率の比較（+4.1 ポイント）等から、全国平均より上位の結果であることがうかがえる。

■平成 27 年度調査結果の集計値

小学校国語 A	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差 (pt)
県 (公立)	8,542	165	10.1 / 14	72.3	2.3
全国 (公立)	1,061,264	20,004	9.8 / 14	70.0	

小学校国語 B	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差 (pt)
県 (公立)	8,543	165	6.3 / 9	69.5	4.1
全国 (公立)	1,061,093	20,003	5.9 / 9	65.4	

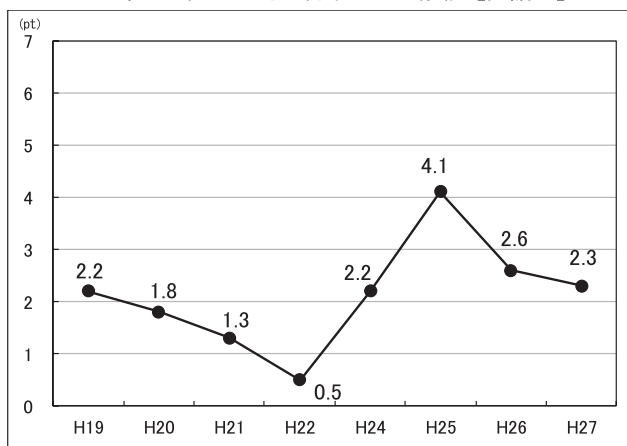
■平成 19 年度～平成 27 年度の県と全国の調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

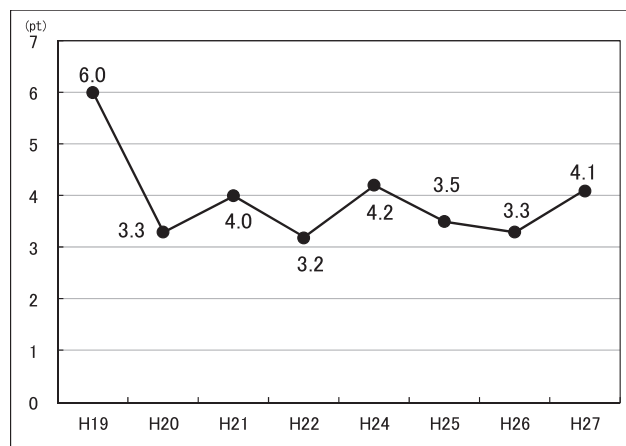
小学校国語 A	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県 (公立) 平均正答率 (%)	83.9	67.2	71.2	83.8	83.8	66.8	75.5	72.3
全国 (公立) 平均正答率 (%)	81.7	65.4	69.9	83.3	81.6	62.7	72.9	70.0
県と全国との差 (pt)	2.2	1.8	1.3	0.5	2.2	4.1	2.6	2.3

小学校国語 B	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県 (公立) 平均正答率 (%)	68.0	53.8	54.5	81.0	59.8	52.9	58.8	69.5
全国 (公立) 平均正答率 (%)	62.0	50.5	50.5	77.8	55.6	49.4	55.5	65.4
県と全国との差 (pt)	6.0	3.3	4.0	3.2	4.2	3.5	3.3	4.1

県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



■平成 27 年度領域等別調査結果

学習指導要領の領域等	国語 A				国語 B			
	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項
県（公立） 平均正答率（%）	56.9	86.9	56.1	79.8		66.2	72.3	
全国（公立） 平均正答率（%）	53.0	86.0	55.2	77.2		61.1	68.1	
県と全国との差(pt)	3.9	0.9	0.9	2.6		5.1	4.2	

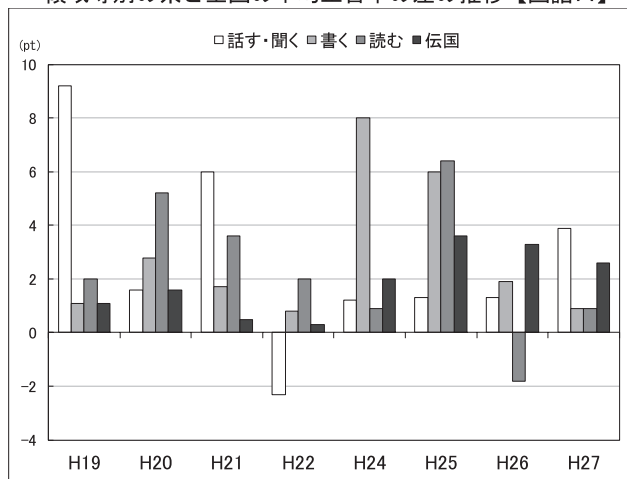
■平成 19 年度～平成 27 年度の領域等別調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

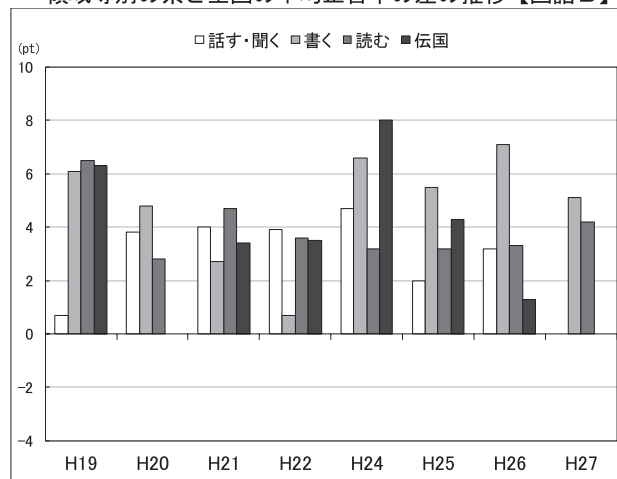
国語 A	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	話すこと・ 聞くこと	県(%)	65.8	77.7	74.0	80.9	80.6	48.7	73.7	56.9
		国(%)	56.6	76.1	68.0	83.2	79.4	43.2	72.4	53.0
		差(pt)	9.2	1.6	6.0	▲2.3	1.2	5.5	1.3	3.9
	書くこと	県(%)	86.4	56.1	87.1	68.5	65.5	59.0	74.1	86.9
		国(%)	85.3	53.3	85.4	67.7	57.5	53.0	72.2	86.0
		差(pt)	1.1	2.8	1.7	0.8	8.0	6.0	1.9	0.9
	読むこと	県(%)	69.3	49.7	72.3	76.1	83.0	66.5	66.7	56.1
		国(%)	67.3	44.5	68.7	74.1	82.1	60.1	68.5	55.2
		差(pt)	2.0	5.2	3.6	2.0	0.9	6.4	▲1.8	0.9
	伝統的な 言語文化 と国語の 特質に関 する事項	県(%)	87.9	66.8	64.7	86.1	88.3	66.2	77.0	79.8
		国(%)	86.8	65.2	64.2	85.8	86.3	62.6	73.7	77.2
		差(pt)	1.1	1.6	0.5	0.3	2.0	3.6	3.3	2.6

国語 B	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	話すこと・ 聞くこと	県(%)	71.6	76.8	65.3	79.3	67.7	66.8	54.4	
		国(%)	70.9	73.0	61.3	75.4	63.0	64.8	51.2	
		差(pt)	0.7	3.8	4.0	3.9	4.7	2.0	3.2	
	書くこと	県(%)	67.8	53.9	17.2	92.3	53.4	49.3	41.5	66.2
		国(%)	61.7	49.1	14.5	91.6	46.8	43.8	34.4	61.1
		差(pt)	6.1	4.8	2.7	0.7	6.6	5.5	7.1	5.1
	読むこと	県(%)	64.2	51.1	61.2	77.0	58.9	51.1	60.6	72.3
		国(%)	57.7	48.3	56.5	73.4	55.7	47.9	57.3	68.1
		差(pt)	6.5	2.8	4.7	3.6	3.2	3.2	3.3	4.2
	伝統的な 言語文化 と国語の 特質に関 する事項	県(%)	83.3		63.1	76.5	63.2	68.1	71.1	
		国(%)	77.0		59.7	73.0	55.2	63.8	69.8	
差(pt)		6.3		3.4	3.5	8.0	4.3	1.3		

領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



■設問別調査結果【国語A】

平成27年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果【国語A：主として知識】

香川県一児童(公立)

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県(公立)	全国(公立)	対象児童数	香川県(公立)	全国(公立)
	165	20,004		8,542	1,061,264

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	香川ー全国(pt)
全体		14	72.3	70.0	2.3
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	56.9	53.0	3.9
	書くこと	1	86.9	86.0	0.9
	読むこと	4	56.1	55.2	0.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	79.8	77.2	2.6
	国語への関心・意欲・態度	0			
評価の観点	話す・聞く能力	1	56.9	53.0	3.9
	書く能力	1	86.9	86.0	0.9
	読む能力	4	56.1	55.2	0.9
	言語についての知識・理解・技能	9	79.8	77.2	2.6
問題形式	選択式	7	67.2	66.4	0.8
	短答式	7	77.4	73.7	3.7
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国 (pt)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率
1ー1	漢字を読む (友人を家に招く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			5-6 (1)ウ (7)					○		○		98.6	97.5	0.2	0.7	1.1	-0.5
1ー2	漢字を読む (自分の意ををつらぬく)				5-6 (1)ウ (7)					○		○		94.5	96.0	0.8	0.9	-1.5	-0.1
1ー3	漢字を読む (全員がすぐに承知した)				5-6 (1)ウ (7)					○		○		97.1	92.5	0.8	2.5	4.6	-1.7
1二1	漢字を書く (シャワーをあげる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			5-6 (1)ウ (7)					○		○		68.9	58.4	7.5	17.2	10.5	-9.7
1二2	漢字を書く (鳥の姿を観察する)				5-6 (1)ウ (7)					○		○		75.6	76.5	3.7	5.7	-0.9	-2.0
1二3	漢字を書く (びょういんに行く)				5-6 (1)ウ (7)					○		○		84.9	74.9	1.8	4.7	10.0	-2.9
2一	文の主語として適切なものを選択する	文の中における主語を捉える			1-2 (1)イ (2)					○	○			48.3	53.1	0.4	0.6	-4.8	-0.2
2二	文の型として適切なものを選択する	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える			3-4 (1)イ (5)					○	○			75.5	71.7	0.2	0.5	3.8	-0.3
3	聞き方の説明として適切なものを選択する	話の内容に対する聞き方を工夫する	5-6 エ					○				○		56.9	53.0	0.1	0.5	3.9	-0.4
4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する	具体的な事例を挙げて説明する文章を書く		3-4 ウ					○			○		86.9	86.0	0.1	0.3	0.9	-0.2
5一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるままとりを選択する	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える		5-6 ウ					○		○			59.1	59.5	0.7	1.6	-0.4	-0.9
5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く				5-6 ウ					○		○			21.8	19.8	3.6	7.7	2.0
6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	登場人物の相互関係を捉える		5-6 エ					○		○			68.9	67.5	1.4	2.6	1.4	-1.2
7	応募のきまりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る		5-6 イ	3-4 (1)イ (5)					○	○	○		74.8	73.9	2.5	4.3	0.9	-1.8

■設問別調査結果【国語Ｂ】

平成２７年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果 【国語Ｂ：主として活用】 香川県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、４月２１日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	165	20,003		8,543	1,061,093

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川ー全国 (pt)
			香川県 (公立)	全国 (公立)	
	全体	9	69.5	65.4	4.1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	6	66.2	61.1	5.1
	読むこと	6	72.3	68.1	4.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	61.3	55.4	5.9
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	6	66.2	61.1	5.1
	読む能力	6	72.3	68.1	4.2
	言語についての知識・理解・技能	0			
	問題形式	3	71.4	68.6	2.8
問題形式	選択式	2	83.2	80.8	2.4
	短答式	4	61.3	55.4	5.9
	記述式				

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問別集 概要																						
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国 (pt)				
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率	無解答率		
1ー	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする		5・6 イ							○			○			77.7	74.6	0.4	0.5	3.1	-0.1
1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける		5・6 ウ							○			○			74.4	70.8	0.5	0.6	3.6	-0.1
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く		5・6 ウ				○			○				○		39.8	34.7	1.8	4.0	5.1	-2.2
2ーア	【ア】に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える			3・4 イ							○			○		77.9	75.5	2.2	3.6	2.4	-1.4
2ーイ	【イ】に入る言葉として適切な内容を書き抜く					3・4 イ							○			○		88.4	86.0	3.0	5.6	2.4
2二	【文章】の要旨をまとめて書く	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える		5・6 ウ	5・6 ウ			○			○	○			○		82.3	78.4	3.7	7.0	3.9	-3.3
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く		5・6 エ	5・6 ウ			○			○	○			○		47.7	41.6	4.8	8.7	6.1	-3.9
3ー	〈絵3〉の場面が始まるままとまりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える			3・4 ウ							○			○		61.9	60.4	7.0	9.7	1.5	-2.7
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する		5・6 ウ	3・4 ア			○			○	○			○		75.5	66.6	8.4	15.1	8.9	-6.7

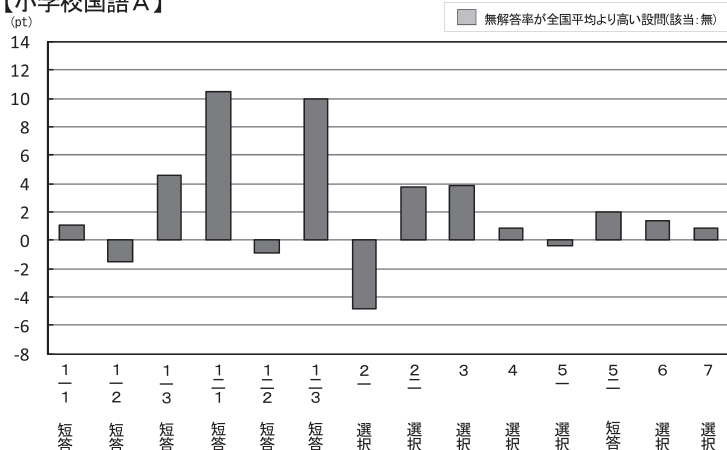
調査結果に特徴のうかがえる設問

- 小学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、23問中11問（47.8%）であった。
- 小学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、23問中1問（4.3%）であった。
- 小学校国語の調査において、正答率が50%以下であった設問は、23問中4問（17.4%）であった。

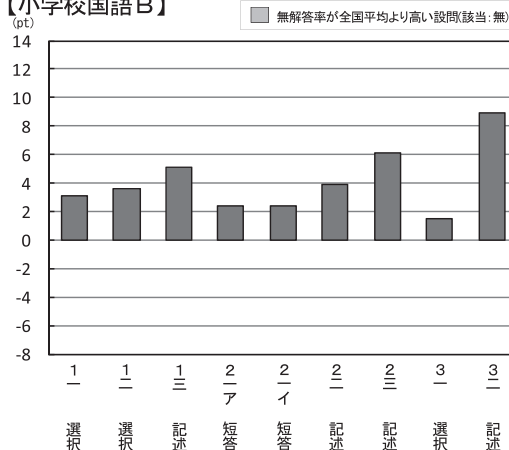
設問別の県と全国の正答率の差

【領域等】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 伝達的な言語文化と国語の特質に関する事項	：話す ：書く ：読む ：伝達	国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能
		選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

【小学校国語A】



【小学校国語B】



正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【小学校国語A】（全14問中5問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
1-3	漢字を読む (全員がすぐに承知した)	伝達	言語	短答	97.1	0.8	4.6
1-2-1	漢字を書く (シャワーをあびる)	伝達	言語	短答	68.9	7.5	10.5
1-2-3	漢字を書く (びょういんに行く)	伝達	言語	短答	84.9	1.8	10.0
2-2	文の型として適切なものを選択する	伝達	言語	選択	75.5	0.2	3.8
3	聞き方の説明として適切なものを選択する	話す	話す	選択	56.9	0.1	3.9

【小学校国語B】（全9問中6問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
1-1	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	書く	書く	選択	77.7	0.4	3.1
1-2	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	書く	書く	選択	74.4	0.5	3.6
1-3	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	書く	関心 書く	記述	39.8	1.8	5.1
2-2	【文章】の要旨をまとめて書く	書く 読む	関心 書く 読む	記述	82.3	3.7	3.9
2-3	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	書く 読む	関心 書く 読む	記述	47.7	4.8	6.1
3-2	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	書く 読む	関心 書く 読む	記述	75.5	8.4	8.9

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【小学校国語A】（全14問中1問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
2一	文の主語として適切なものを選択する	伝国	言語	選択	48.3	0.4	▲4.8

【小学校国語B】（全9問） なし

■正答率が低い設問（50%以下）

【小学校国語A】（全14問中2問）

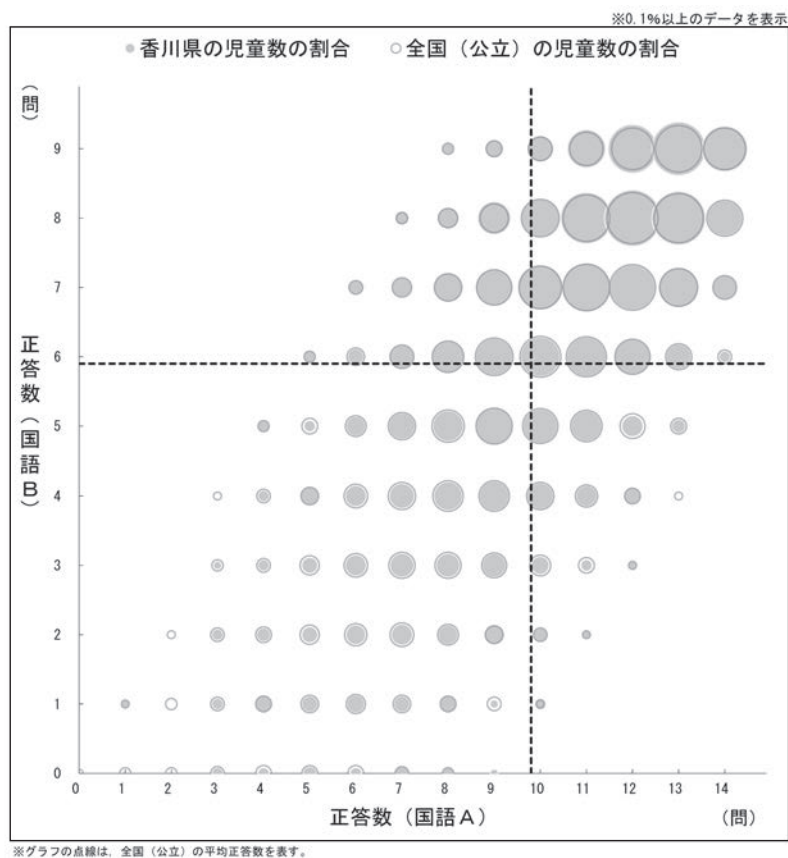
設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
2一	文の主語として適切なものを選択する	伝国	言語	選択	48.3	0.4	▲4.8
5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	読む	読む	短答	21.8	3.6	2.0

【小学校国語B】（全9問中2問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	書く	関心書く	記述	39.8	1.8	5.1
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	書く 読む	関心 書く 読む	記述	47.7	4.8	6.1

■小学校 国語A－国語Bの相関

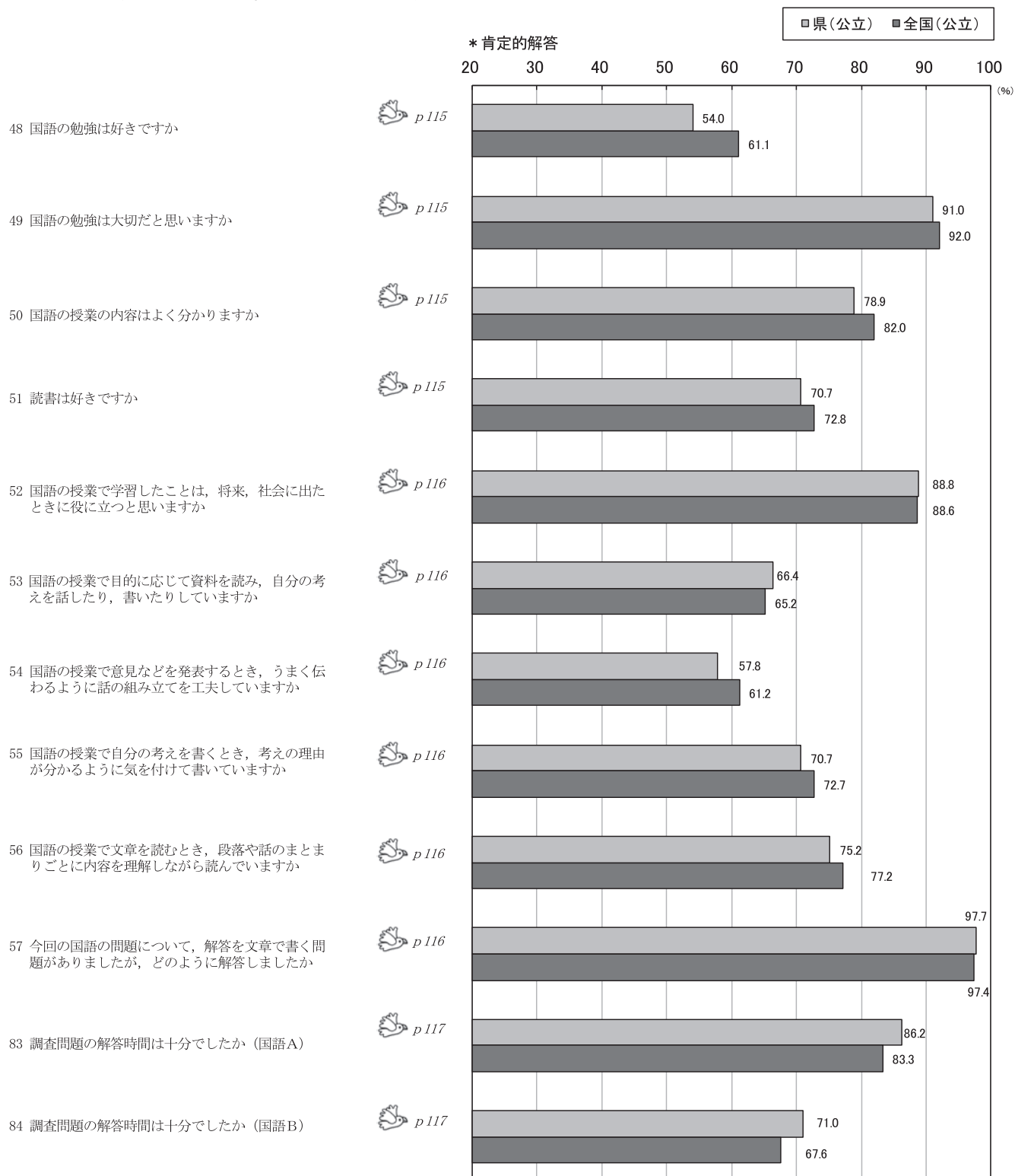
児童数	8,526		
全国（公立）国語A平均正答数	9.8		
全国（公立）国語B平均正答数	5.9		
児童の正答数分布状況 (左：児童数 右：児童数の割合(%))	国語A・国語Bともに平均以上	4,694	55.1
	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	718	8.4
	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	1,141	13.4
	国語A・国語Bともに平均未満	1,973	23.1
相関係数	0.685		



学 習 意 欲

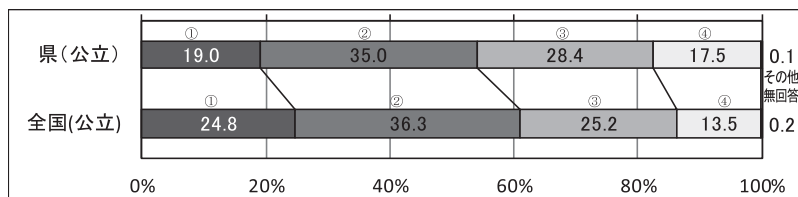
- 「48 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて昨年度と同様に低い。
- 「50 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて昨年度と同様に低い。

■学習意欲（小学校国語）に関わる質問の全国との比較



□48 国語の勉強は好きですか

p 115

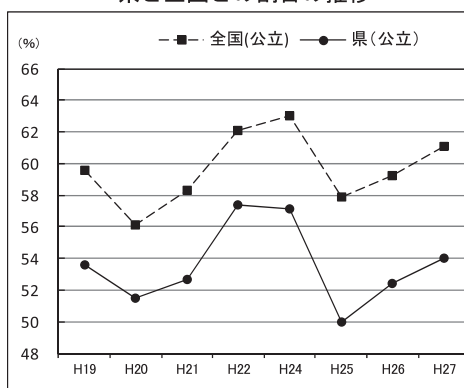


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	53.6	51.5	52.7	57.4	57.1	50.0	52.4	54.0
全国(公立)	59.6	56.1	58.3	62.1	63.0	57.9	59.2	61.1
県と全国の差	▲6.0	▲4.6	▲5.6	▲4.7	▲5.9	▲7.9	▲6.8	▲7.1

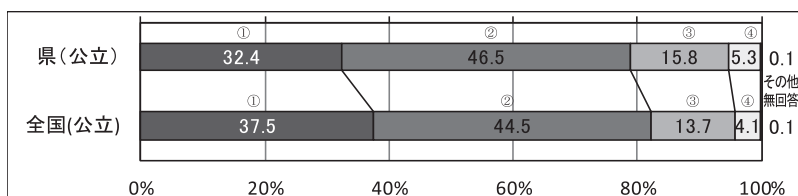
質問 48 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



Ⅲ
小
国
語

□50 国語の授業の内容はよく分かりますか

p 115

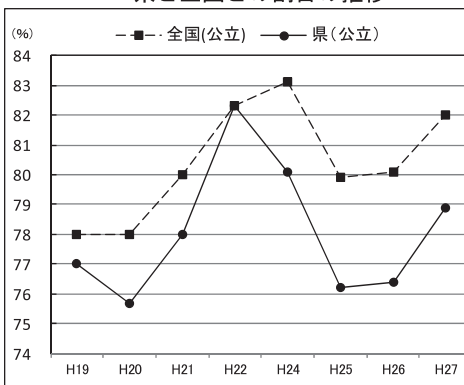


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

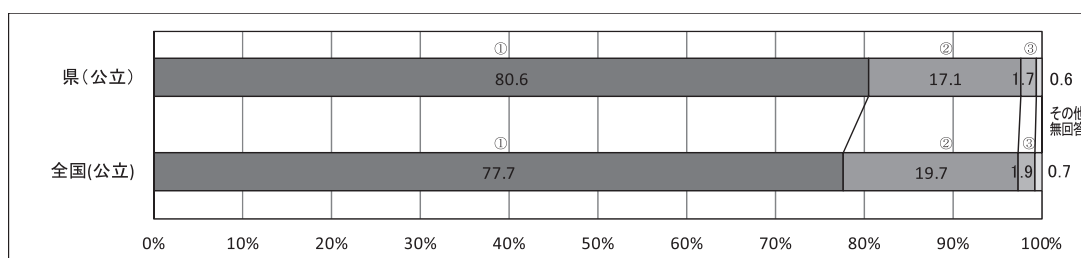
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	77.0	75.7	78.0	82.3	80.1	76.2	76.4	78.9
全国(公立)	78.0	78.0	80.0	82.3	83.1	79.9	80.1	82.0
県と全国の差	▲1.0	▲2.3	▲2.0	0.0	▲3.0	▲3.7	▲3.7	▲3.1

質問 50 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



p 116

□57 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか



①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった ③書く問題は全く解答しなかった

小学校国語A

調査結果から授業改善へ

文の構成について理解できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 国語A **2**ー 1 2

問題番号		解答類型		県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
2	一 1 2	1	1にイ, 2にウと解答しているもの	48.3	53.1	◎
		2	1にイ, 2にアまたはイと解答しているもの	25.7	23.9	
		3	1にア, 2にアと解答しているもの	0.7	0.9	
		4	1にエ, 2にエと解答しているもの	1.3	1.1	
		9	上記以外の解答	23.7	20.5	
		0	無解答	0.4	0.6	
		正答率		48.3	53.1	

2
次の一と二の問いに答えましょう。

一 1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 ア 降っていた雨が、急にやんだ。
ウ エ

2 ア ぼくの妹の誕生日は、五月二日だ。
イ ウ エ

分析・考察

- **2**ーの設問は、文の中における主語を捉える問題である。本県の正答率は48.3%で、全国の正答率を4.8ポイント下回っている。
- 解答類型2（1の文の主語として「雨が」は捉えられるが、2の文の主語である「誕生日は」が捉えられない）の本県の反応率は25.7%であった。これは、「ぼくの」や「妹の」などの人を表す語句を主語として誤って捉えたものと考えられる。

授業改善のポイント

【文の中における主語と述語、修飾と被修飾との関係などに注意する】

文章の内容を理解するためには、それぞれの文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解することが大切である。主語と述語との照応関係が理解できるよう、述語との関係を考えながら主語を補ったり、置き換えたりする活動や、自分の文章の見直しをする活動を普段から取り入れることが必要である。

〈各学年の発達段階に応じた指導事例〉

第1学年以上

事例1 文の定義を理解する

- 1つの段落の中にいくつの文があるか捉える。
- 1文の中の主語や述語に印を付ける。

第3学年以上

事例2 接続語の果たす役割について理解する。

第5学年以上

事例3 文と文との意味のつながりを考えながら分かりやすい文にする。

(参照) 平成25年度【小学校】「授業アイディア例」P7～P8

小学校国語A

調査結果から授業改善へ

新聞のコラムを読んで、表現の工夫をとらえることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 国語A 5 二

Ⅲ 小国語

5

次は、読書のことについて書かれた新聞の「コラム」(筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事)です。この「コラム」は、全体の内容が1から5までのまじりに分かれていますが、これをよく読んで、あとの二つの問いに答えましょう。

【コラム】

記事の中の▼は、まじりを表す印です。

1▼四月二十三日は「子ども読書の日」です。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しさを味わう日である。2▼子供ころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子が、おどろいた。3▼ある作家の言葉に、「読書という▼

1▼四月二十三日は「子ども読書の日」です。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しさを味わう日である。2▼子供ころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子が、おどろいた。3▼ある作家の言葉に、「読書という▼

※1「読書」は「かき表」のこと。
※2「楽心」は「子供」のこと。

筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点(。)や読点(、)はかぎ(「」)は字数にふくみません。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

問題番号	解答類型	県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
5 二	1 「読書という」と解答しているもの	21.8	19.8	◎
	2 「ある作家の」と解答しているもの	4.9	3.7	
	3 「子ども読書」や「世界本の日」、あるいは「セロ弾きの」と解答しているもの	18.2	23.4	
	9 上記以外の解答	51.5	45.5	
	0 無解答	3.6	7.7	
	正答率	21.8	19.8	

分析・考察

○表現の工夫の中で、引用箇所を正しく捉えられるかどうかをみる設問である。本県の正答率は21.8%である。

○解答類型3の反応率は18.2%である。これは「引用」した場合はかぎ(「」)で括るということについては捉えてはいるが、本や文章、話の内容から必要な語句や文を抜き出して書くという捉えができていないと考えられる。引用については、昨年度も出題されていたが、引き続き指導の充実が求められる。

授業改善のポイント

【目的に応じて、適切に引用する】

小学校学習指導要領解説国語科第3学年及び第4学年「C読むこと」エは、自分の考えをまとめるために、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、引用や要約することを示している。「引用」とは、本や文章の一節や文、語句等を引いてくることであり、実生活で生きて働く国語の能力として、目的に応じて、適切に引用ができるようになることは極めて大切である。このため、かぎ(「」)で括ることなど、引用の仕方を指導するとともに、引用したことについて、児童が自分の思いや考えを書くことなども指導することが必要である。

これらの指導においては、目的によって、どの文献のどこをどの程度引用するかが決まってくることから、「自分の考えを補説したい」、「説得力を高めたり、具体例を挙げて読み手を納得させたりしたい」などの目的意識もたせることが必要である。児童が引用する目的意識や必要性を十分にもてる言語活動を位置付け、課題解決の過程において指導を行うことが必要である。

(参照) 平成26年度【小学校】「授業アイディア例」P9～P10

第5学年以上：指導事例

討論会において「相手の意見を引用するなどして、自分の質問や意見を述べる」ことをねらった事例

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 国語B 1 三

1

東小学校の新聞委員会の木村さんたちは、月ごとの学校の様子を新聞にまとめて地域の方々に伝え
ています。木村さんたちは、次の「ふれあい新聞（六月号）」を書いていきます。これをよく読んで、あ
との問いに答えましょう。

【ふれあい新聞（六月号）】

交流で広がる 心の輪

五月十二日（火）、東小学校において、
地いきのおじいさんやおばあさんとふれ
あう交流会を開きました。

交流会では、
六年生の進行
のもと、「お手
玉」「けん玉」な
ど、一年生の西島あや
どのコーナーに
分かれて、
いっしょに遊
びました。

おじいさん
やおばあさん
から遊び方
や上手にでき
るコツを教え
ていただきました。
そのほ



あやとりでほうきをつくったよ

ふれあい

6月号
2015年(平成27年)
5月29日
東小学校
新聞委員会

にこにこしていました。
また、参加された中田
とよさんは、
ア

心の輪が広がった一日
でした。
(木村・三上)

子ども遊び 昔は？
交流会に参加してく
ださった方々五十三名
に、子どものころ好き
だった遊びをたずねた
ところ、左のような結
果になりました。

子ども遊び
好きだった遊び

- ・おにごっこ
- ・かくれんぼ
- ・あやとり
- ・ゴム遊び
- ・お手玉
- ・こま
- ・じんとり
- ・けん玉

など

【編集後記】
多くのお
じいさんや
おばあさん
が交流会に
参加してく
ださり、とてもうれ
しかったです。
昔の遊びをしながら、
いろいろなお話をうか
がうことができました。
また交流できることを
楽しみにしています。
(木村)

地いきの方々ふれあう
行事や活動の予定

7月11日（土）
東小バザー
9月26日（土）
東小運動会
10月16日（金）
ふれあい読書会
11月21日（土）
東小祭り

行事の日が近くなりま
したら、ちらしをお配り
します。
地いきのみなさん、ぜひ
ご参加ください。

三 【ふれあい新聞（六月号）】の
感想をのせることにしました。次の「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて
書きます。あとの条件に合わせて書きましょう。

【中田とよさんへのインタビューの様子】

（話した内容）

あやとりのコーナーに参加してよかったわ。
それはね、一年生のみんなに様々な形を教えてあ
げたら喜んでくれたからなの。
みなさんも準備が大変だったことでしょうね。
町で会ったときにはいつでも声をかけてください。
今度の案内も楽しみにして待っていますね。

（表情や声の調子）

中田とよさん

- ・目を細めている
- ・明るい声

（条件）

○部についての理由が分かる言葉を、（話した内容）の中から「」を使って取り出し、
その言葉と（表情や声の調子）の中の内容を合わせて、一文で書くこと。
○書き出しに続けて、四十字以上、七十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数
にふくむ。

問題番号	解答類型
1 三	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を合わせて書いている。 a 「（一年生のみんなに）様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」 b 目を細めながら明るい声 ※「目を細めている」、「明るい声」のいずれかの一方のみを取り上げているものを含む。 ② 一文で書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内で書いている。

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
1 三	1 条件①a, bの両方と、条件②, ③を満たしているもの	39.8	34.7	◎
	2 条件①a, bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.0	0.0	
	3 条件①a, bの両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする	2.7	3.0	
	4 条件①a またはbのいずれか一方を満たしているもの。 ※条件②, ③を満たしているかどうかは不問とする。	48.3	50.2	
	9 上記以外の解答	7.4	8.1	
	0 無解答	1.8	4.0	
正答率		39.8	34.7	

- 1** 三の設問は、地域の方々との交流会の様子がより読み手に伝わるように、記事の中に参加者の声を取り上げて書く場面を設定している。ここでは、中田さんの「あやとりのコーナーに参加してよかったわ。」という感想の理由を、【中田とよさんへのインタビューの様子】の中の〈話した内容〉から取り出した上で、〈表情や声の調子〉と関係付けながら書くことが求められる。本県の正答率は39.8%であり、経年指摘されている複数の内容を関係付けて書くことに対して依然として課題があると考えられる。

授業改善のポイント

【目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して記事を書く】

取材した内容を新聞記事として書く際、事実と感想、意見等とを区別するとともに、目的や意図に応じ、伝えたい内容が十分に伝わるように、取材した複数の内容を整理して書くことが必要である。

また、自分の考えを分かりやすく伝えることのよさが実感できるよう、授業以外でも意図的に記事を書く機会を設定することも必要であろう。

取材した複数の内容を整理して記事を書くための指導例

1 インタビューの話の内容等を見直す

インタビューの際、取材した相手の話の内容や相手から受ける印象、自分が感じたこと、考えたことなどについてメモをとる。そのメモを見直し、インタビューした相手の話した言葉や様子等を取り上げて記事を書く指導が考えられる。

メモを読み返し、相手が繰り返し話している内容や相手の印象的な様子などに着目させる。相手の話した言葉や相手の様子などを書き加えることで、参加者の気持ちをより的確に伝えることにつながるということ指導する。

2 写真資料等で活動の様子などを確かめる

写真資料等を振り返り、活動の様子などを描写する指導が考えられる。写真資料等からは、参加者の行動の様子を読み取ることができる場合がある。具体的な事実を書き加えることで、活動の様子などについて読み手により分かりやすく伝えることができるということを指導する。

3 参加者の意見や感想を聞く

取材した行事等における参加者の意見や感想を参考にする指導が考えられる。取材でインタビューした相手にとどまらず、複数の参加者に意見などをも幅広く求めることで、多様な視点から記事を書いたり、記事に書く内容を根拠付けたりすることができる。

表現した記事は、互いに読み合ったり、発表をする場を設けたりして交流をする場を設定する。他の人から評価を受けたり、多くの表現の良さに触れたりすることで自分の学習活動を振り返ることができるようにする。

(参照) 平成25年度【小学校】「授業アイデア例」P11～P12

第5学年以上：指導事例

リーフレットの編集において「自分の考えが伝わるように、表現の効果などについて工夫できる」ことをねらった事例



P77～79【中学校 国語Bも参照のこと】

2 小学校 算数

<調査区分の分析・検証>

概 要

- 算数Aについて、県と全国平均正答率の比較（－0.9ポイント）等から、全国平均よりやや下位の結果であることがうかがえる。
- 算数Bについて、県と全国平均正答率の比較（＋2.0ポイント）等から、全国平均より上位の結果であることがうかがえる。

■平成 27 年度調査結果の集計値

小学校算数 A	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差 (pt)
県 (公立)	8,543	165	11.9 / 16	74.3	▲0.9
全国 (公立)	1,061,301	20,004	12.0 / 16	75.2	

小学校算数 B	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差 (pt)
県 (公立)	8,545	165	6.1 / 13	47.0	2.0
全国 (公立)	1,061,063	20,001	5.9 / 13	45.0	

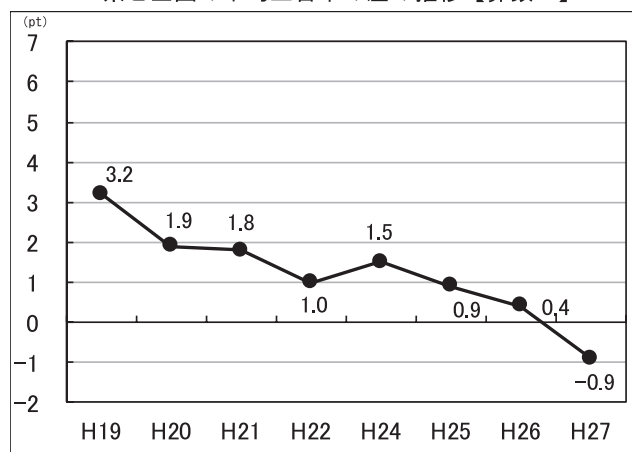
■平成 19 年度～平成 27 年度の県と全国調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

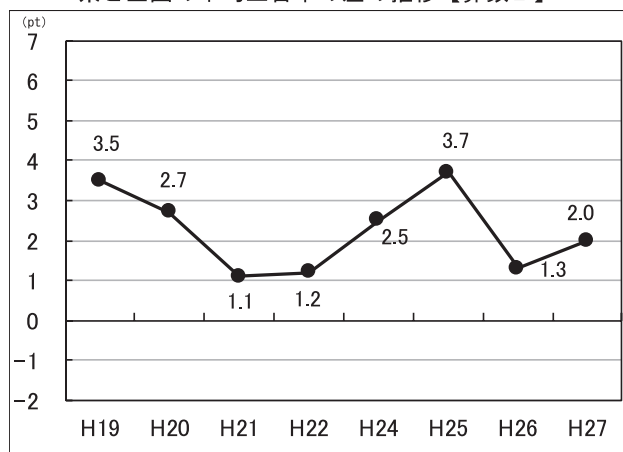
小学校算数 A	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県 (公立) 平均正答率 (%)	85.3	74.1	80.5	75.2	74.8	78.1	78.5	74.3
全国 (公立) 平均正答率 (%)	82.1	72.2	78.7	74.2	73.3	77.2	78.1	75.2
県と全国の差 (pt)	3.2	1.9	1.8	1.0	1.5	0.9	0.4	▲0.9

小学校算数 B	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県 (公立) 平均正答率 (%)	67.1	54.3	55.9	50.5	61.4	62.1	59.5	47.0
全国 (公立) 平均正答率 (%)	63.6	51.6	54.8	49.3	58.9	58.4	58.2	45.0
県と全国の差 (pt)	3.5	2.7	1.1	1.2	2.5	3.7	1.3	2.0

県と全国平均正答率の差の推移【算数 A】



県と全国平均正答率の差の推移【算数 B】



■平成 27 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域	算数 A				算数 B			
	数と計算	量と測定	図 形	数量関係	数と計算	量と測定	図 形	数量関係
県（公立） 平均正答率（%）	78.5	71.8	62.7	86.6	44.4	43.1	46.6	45.4
全国（公立） 平均正答率（%）	80.1	71.3	64.5	84.9	42.4	41.7	45.6	43.0
県と全国との差（pt）	▲1.6	0.5	▲1.8	1.7	2.0	1.4	1.0	2.4

■平成 19 年度～平成 27 年度の領域別調査結果

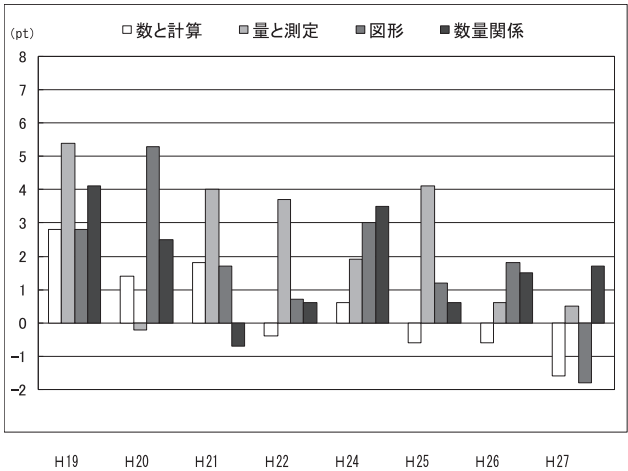
※H22・24 年度は抽出調査

算数 A	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	数と計算	県（%）	84.3	78.2	84.6	73.7	75.6	79.6	81.2	78.5
		国（%）	81.5	76.8	82.8	74.1	75.0	80.2	81.8	80.1
		差（pt）	2.8	1.4	1.8	▲0.4	0.6	▲0.6	▲0.6	▲1.6
	量と測定	県（%）	91.5	56.0	82.5	77.8	73.6	72.4	75.4	71.8
		国（%）	86.1	56.2	78.5	74.1	71.7	68.3	74.8	71.3
		差（pt）	5.4	▲0.2	4.0	3.7	1.9	4.1	0.6	0.5
	図 形	県（%）	88.9	78.0	83.0	83.8	75.6	73.7	73.6	62.7
		国（%）	86.1	72.7	81.3	83.1	72.6	72.5	71.8	64.5
		差（pt）	2.8	5.3	1.7	0.7	3.0	1.2	1.8	▲1.8
	数量関係	県（%）	79.5	74.9	63.5	66.3	77.9	84.0	82.8	86.6
		国（%）	75.4	72.4	64.2	65.7	74.4	83.4	81.3	84.9
		差（pt）	4.1	2.5	▲0.7	0.6	3.5	0.6	1.5	1.7

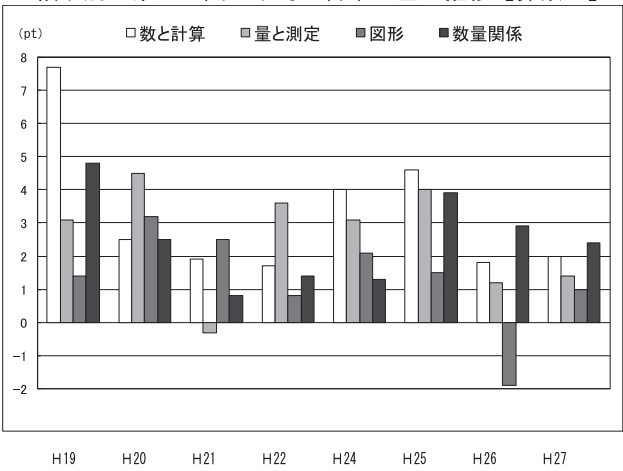
Ⅲ
小
算
数

算数 B	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	数と計算	県（%）	66.6	67.7	57.7	57.5	58.0	52.9	63.1	44.4
		国（%）	58.9	65.2	55.8	55.8	54.0	48.3	61.3	42.4
		差（pt）	7.7	2.5	1.9	1.7	4.0	4.6	1.8	2.0
	量と測定	県（%）	61.1	57.8	59.6	36.9	63.9	60.0	57.7	43.1
		国（%）	58.0	53.3	59.9	33.3	60.8	56.0	56.5	41.7
		差（pt）	3.1	4.5	▲0.3	3.6	3.1	4.0	1.2	1.4
	図 形	県（%）	73.9	64.4	58.9	42.8	65.4	80.8	63.8	46.6
		国（%）	72.5	61.2	56.4	42.0	63.3	79.3	65.7	45.6
		差（pt）	1.4	3.2	2.5	0.8	2.1	1.5	▲1.9	1.0
	数量関係	県（%）	70.3	47.4	57.6	55.7	50.8	58.8	59.1	45.4
		国（%）	65.5	44.9	56.8	54.3	49.5	54.9	56.2	43.0
		差（pt）	4.8	2.5	0.8	1.4	1.3	3.9	2.9	2.4

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数 A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数 B】



■設問別調査結果【算数A】

平成27年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果【算数A:主として知識】

香川県一児童(公立)

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県(公立)	全国(公立)	対象児童数	香川県(公立)	全国(公立)
	165	20,004		8,543	1,061,301

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川ー全国(pt)
			香川県(公立)	全国(公立)	
	全体	16	74.3	75.2	-0.9
学習指導要領の領域	数と計算	7	78.5	80.1	-1.6
	量と測定	3	71.8	71.3	0.5
	図形	4	62.7	64.5	-1.8
	数量関係	2	86.6	84.9	1.7
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	7	77.4	77.2	0.2
	数量や図形についての知識・理解	9	71.9	73.6	-1.7
問題形式	選択式	5	69.3	70.5	-1.2
	短答式	11	76.6	77.3	-0.7
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国(pt)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率
1(1)	8、9ー0、78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	4A (2)アウ							○	○			66.0	71.0	0.3	0.6	-5.0	-0.3
1(2)	5、21＋0、7は0、01が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く	単位となる小数の幾つ分で、小数の大きさを表すことができる	4A (2)ア 4A (5)アイ					○				○		76.2	74.3	0.4	1.1	1.9	-0.7
1(3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	加法における計算の確かめの方法を理解している	2A (2)ウ 3A (2)ウ 4A (5)イ							○		○		75.9	82.0	0.9	2.0	-6.1	-1.1
2(1)	28＋72を計算する	繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることができる	2A (2)ア					○			○			98.2	98.2	0.1	0.2	0.0	-0.1
2(2)	6、79ー0、8を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	4A (5)イ					○			○			66.6	69.5	0.5	0.7	-2.9	-0.2
2(3)	5／9ー1／4を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	5A (4)オ					○			○			80.5	81.4	1.1	1.8	-0.9	-0.7
2(4)	5／6÷7を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	5A (4)カ					○			○			86.4	84.2	1.6	4.1	2.2	-2.5
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	3B (3)イ					○			○			76.7	74.8	0.4	1.0	1.9	-0.6
4(1)	90°、180°、270°、360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることができる	4B (2)アイ							○	○			81.6	81.3	0.2	0.3	0.3	-0.1
4(2)	分度器の目盛りを読み、180°よりも大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B (2)アイ					○			○			57.1	58.0	0.2	0.5	-0.9	-0.3
5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができる	3C (1)アウ							○	○			50.0	50.6	0.9	1.6	-0.6	-0.7
5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる	3C (1)ア 4C (5)ウ 5C (1)ウ							○		○		60.3	64.5	1.3	2.4	-4.2	-1.1
6(1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く	示された見取図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることができる	2C (1)ウ 4C (2)ア 5C (1)イ							○		○		73.7	75.4	1.0	2.1	-1.7	-1.1
6(2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解している	1C (1)ウ 4C (2)ア							○	○			66.8	67.6	2.0	3.4	-0.8	-1.4
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	グラフに表されている事柄を読み取ることができる	3D (3)ア 5D (4)							○	○			81.9	81.8	1.4	2.3	0.1	-0.9
8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができる	3D (2)ア 4D (2)ア							○		○		91.3	88.1	2.8	4.6	3.2	-1.8

■設問別調査結果【算数B】

平成27年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果【算数B：主として活用】

香川県一児童(公立)

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県(公立)	全国(公立)	対象児童数	香川県(公立)	全国(公立)
	165	20,001		8,545	1,061,063

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川ー全国(pt)
			香川県(公立)	全国(公立)	
全体		13	47.0	45.0	2.0
学習指導要領の領域	数と計算	4	44.4	42.4	2.0
	量と測定	3	43.1	41.7	1.4
	図形	7	46.6	45.6	1.0
	数量関係	3	45.4	43.0	2.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	38.3	35.3	3.0
	数量や図形についての技能	2	58.1	58.7	-0.6
	数量や図形についての知識・理解	2	75.0	74.9	0.1
問題形式	選択式	3	72.7	70.6	2.1
	短答式	5	42.3	42.2	0.1
	記述式	5	36.2	32.5	3.7

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国(pt)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率
1(1)	平行四辺形を構成することができる。四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している			4C (1)イ					○	○			95.8	95.2	0.0	0.1	0.6	-0.1
1(2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している			4C (1)アイ					○	○			54.2	54.6	0.6	1.0	-0.4	-0.4
1(3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見いだし、その図形の性質を記述できる			4C (1)アイ			○					○	29.3	27.7	7.6	14.3	1.6	-6.7
2(1)	トマトを7個買うとき、最も安くする買い方を選び、そのときの代金を書く	単位量当たりの大きさをを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができる		5B (4)ア		4D (2)ア		○				○		65.2	64.8	0.2	0.3	0.4	-0.1
2(2)	20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができる				5D (3)		○				○		15.2	13.1	1.8	4.5	2.1	-2.7
2(3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見いだし、正しい求め方と答えを書く	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できる				5D (3)		○				○		55.9	51.0	6.6	12.8	4.9	-6.2
3(1)	周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどの目盛りのところを持てばよいかを書く	正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる	3A (4)ア 5A (1)イ		3C (1)ア			○				○		29.1	32.5	4.5	6.7	-3.4	-2.2
3(2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、②の角が30°になるわけを書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、②の角が30°になる理由を記述できる			3C (1)アイ 5C (1)イウ			○				○		53.6	49.1	11.4	18.9	4.5	-7.5
4(1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる	4A (2)アイ					○				○		50.9	52.6	1.4	2.4	-1.7	-1.0
4(2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる	4A (2)アウ					○				○		68.1	62.0	2.7	3.9	6.1	-1.2
4(3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述できる	4A (2)アイウ					○				○		29.7	22.3	8.3	15.3	7.4	-7.0
5(1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる	4B (1)アイ 5B (1)イ		2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ			○				○		12.8	12.5	12.7	21.0	0.3	-8.3
5(2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができる	4B (1)アイ 5B (1)ア		2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ			○				○		51.2	47.8	11.0	17.3	3.4	-6.3

Ⅲ 小 算 数

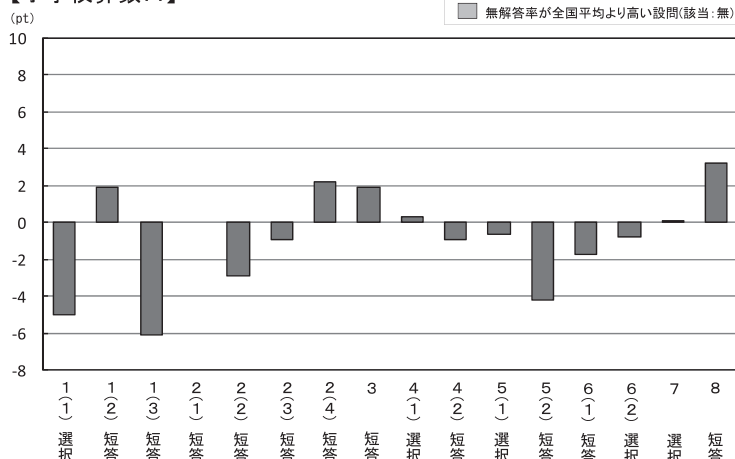
調査結果に特徴のうかがえる設問

- 小学校算数の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、29問中6問(20.7%)であった。
- 小学校算数の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、29問中4問(13.8%)であった。
- 小学校算数の調査において、正答率が50%以下であった設問は、29問中6問(20.7%)であった。

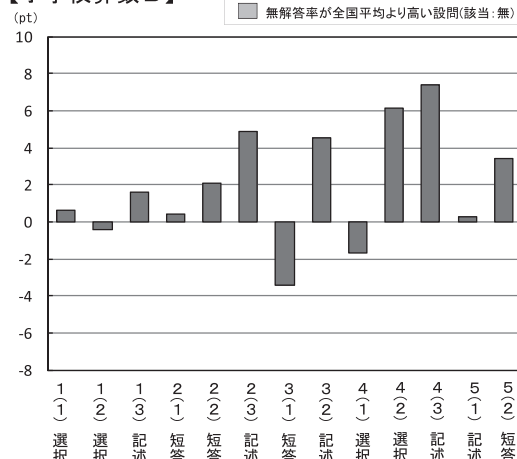
設問別の県と全国の正答率の差

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 量と測定 図形 数量関係	算数への関心・意欲・態度 数値的な考え方 数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解	関心 考え 技能 知識
		選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

【小学校算数A】



【小学校算数B】



正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【小学校算数A】（全16問中1問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	数量	知識	短答	91.3	2.8	3.2

【小学校算数B】（全13問中5問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
2 (3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く	数量	考え	記述	55.9	6.6	4.9
3 (2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、⑦の角が30°になるわけを書く	図形	考え	記述	53.6	11.4	4.5
4 (2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	計算	考え	選択	68.1	2.7	6.1
4 (3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	計算	考え	記述	29.7	8.3	7.4
5 (2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	量測 図形	考え	短答	51.2	11.0	3.4

■正答率が全国より３ポイント以上低い設問

【小学校算数Ａ】（全１６問中３問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
１（１）	８．９－０．７８の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	計算	知識	選択	66.0	0.3	▲5.0
１（３）	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	計算	知識	短答	75.9	0.9	▲6.1
５（２）	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	図形	知識	短答	60.3	1.3	▲4.2

【小学校算数Ｂ】（全１３問中１問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
３（１）	周の長さが２４ｍの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどこの目盛りのところを持てばよいかを書く	計算 図形	考え	短答	29.1	4.5	▲3.4

■正答率が低い設問（５０％以下）

【小学校算数Ａ】（全１６問中１問）

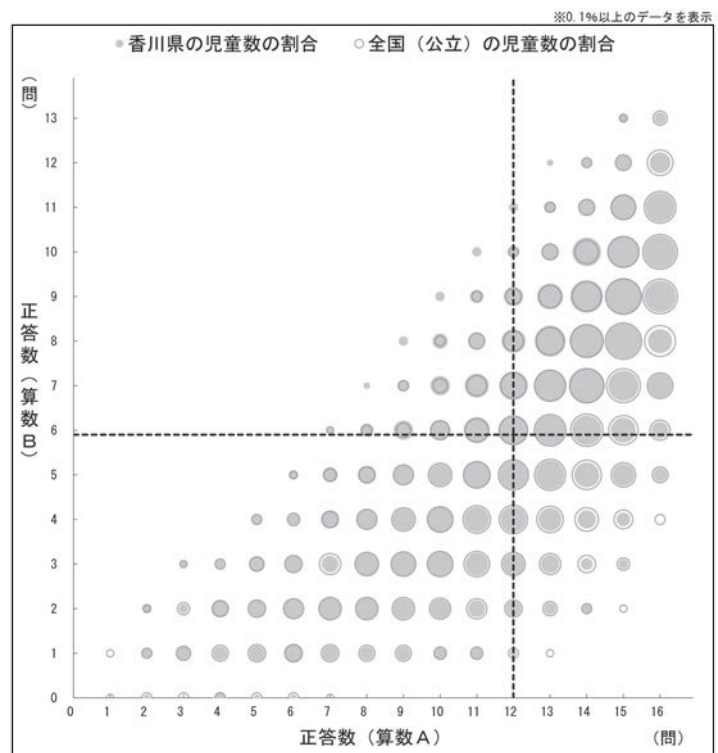
設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
５（１）	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	図形	知識	選択	50.0	0.9	▲0.6

【小学校算数Ｂ】（全１３問中５問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
１（３）	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	図形	考え	記述	29.3	7.6	1.6
２（２）	２０％増量した商品の内容量が４８０ｍＬであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	数量	考え	短答	15.2	1.8	2.1
３（１）	周の長さが２４ｍの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどこの目盛りのところを持てばよいかを書く	計算 図形	考え	短答	29.1	4.5	▲3.4
４（３）	目標に達するには、１２月に３０００個のキャップを集めればよいわけを書く	計算	考え	記述	29.7	8.3	7.4
５（１）	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	量測 図形	考え	記述	12.8	12.7	0.3

■小学校 算数Ａ－算数Ｂの相関

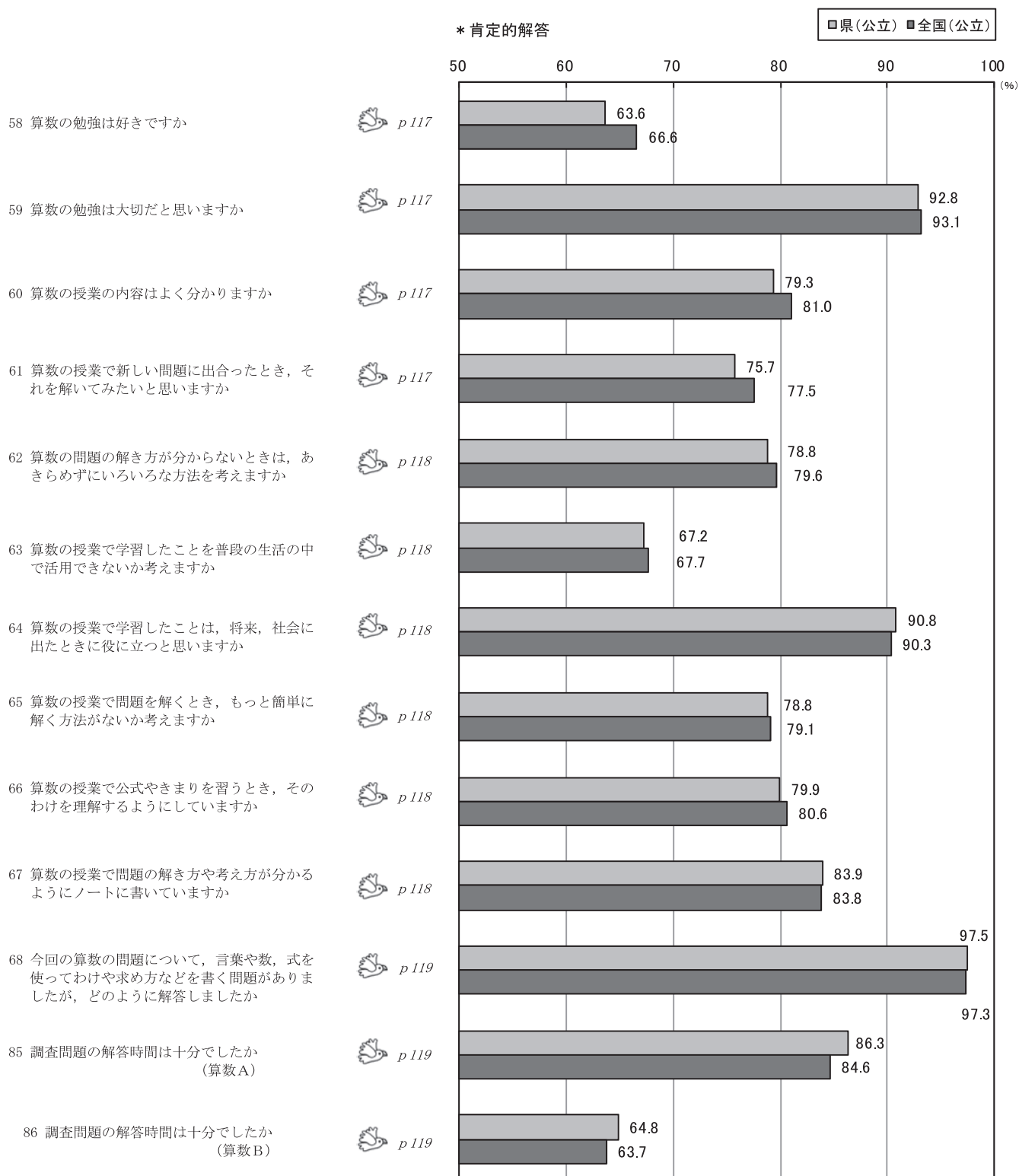
児童数		8,526	
全国（公立）算数Ａ平均正答数		12.0	
全国（公立）算数Ｂ平均正答数		5.9	
児童の正答数分布状況 (左：児童数 右：児童数の割合 (%))	算数Ａ・算数Ｂともに平均以上	4,169	48.9
	算数Ａは平均以上 算数Ｂは平均未満	1,109	13.0
	算数Ａは平均未満 算数Ｂは平均以上	732	8.6
	算数Ａ・算数Ｂともに平均未満	2,516	29.5
相関係数		0.712	



学 習 意 欲

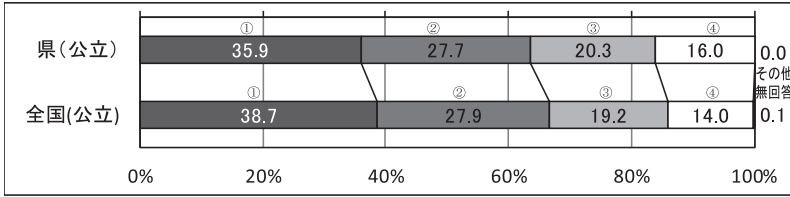
○ 「58 算数の勉強は好きですか」の質問と「60 算数の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国平均を下回っているが、どちらも上昇傾向にある。

■学習意欲（小学校算数）に関わる質問の全国との比較



□58 算数の勉強は好きですか

p 117

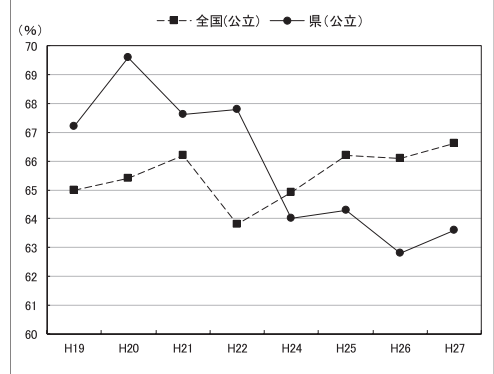


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

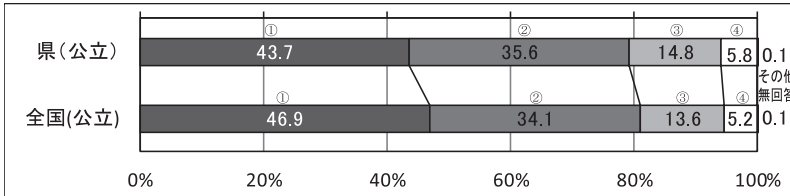
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	67.2	69.6	67.6	67.8	64.0	64.3	62.8	63.6
全国(公立)	65.0	65.4	66.2	63.8	64.9	66.2	66.1	66.6
県と全国の差	2.2	4.2	1.4	4.0	▲0.9	▲1.9	▲3.3	▲3.0

質問 58 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



□60 算数の授業の内容はよく分かりますか

p 117

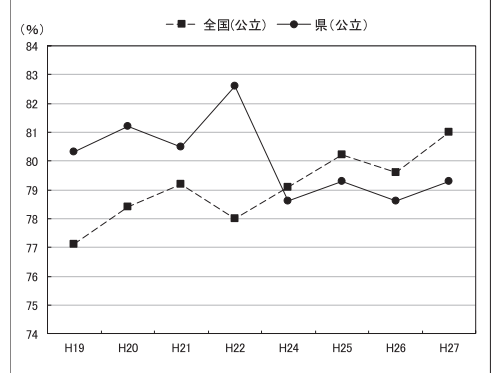


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

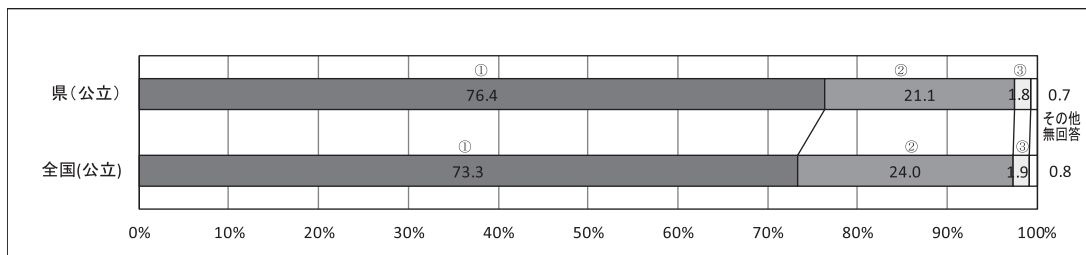
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	80.3	81.2	80.5	82.6	78.6	79.3	78.6	79.3
全国(公立)	77.1	78.4	79.2	78.0	79.1	80.2	79.6	81.0
県と全国の差	3.2	2.8	1.3	4.6	▲0.5	▲0.9	▲1.0	▲1.7

質問 60 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



□68 今回の算数の問題の中で、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました、どのように解答しましたか

p 119



①全ての書く問題で最後まで解答
を書こうと努力した

②書く問題で解答しなかったり、
解答を書くことを途中で諦め
たりしたものがあった

③書く問題は全く解答しなかった

小学校算数A

調査結果から授業改善へ

計算の結果を適切に見積もることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数A **1**(1), **2**(2)

1 次の問題に答えましょう。

(1) $8.9 - 0.78$ のおよその答えとしてふさわしいものを、下の**1**から**4**までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 0.1
- 2** 1
- 3** 0.8
- 4** 8

2 次の計算をしましょう。

(2) $6.79 - 0.8$

問題番号	解答類型	県正答率(%)	全国正答率(%)	正答
1 (1)	1 0.1 と解答しているもの	14.7	11.2	
	2 1 と解答しているもの	4.8	3.9	
	3 0.8 と解答しているもの	12.4	11.7	
	4 8 と解答しているもの	66.0	71.0	◎
	9 上記以外の解答	1.9	1.5	
	0 無解答	0.3	0.6	
正答率		66.0	71.0	

問題番号	解答類型	県正答率(%)	全国正答率(%)	正答
2 (2)	1 5.99 と解答しているもの	66.6	69.5	◎
	2 59.9 または 599 と解答しているもの	0.5	0.4	
	3 0.599 と解答しているもの	1.3	1.1	
	4 6.71 または 67.1 または 671 と解答しているもの	14.3	13.1	
	5 0.671 と解答しているもの	8.1	6.5	
	6 6.19 と解答しているもの	0.9	0.8	
	7 7.59 または 6.87 または 14.79 と解答しているもの	1.1	1.2	
	9 上記以外の解答	6.7	6.7	
	0 無解答	0.5	0.7	
正答率		66.6	69.5	

分析・考察

- 1**(1)は、単に計算技能の習熟をみる設問ではなく、末尾の位のそろっていない小数の減法をする際に、答えの見積もりが適切にできるかどうかに焦点化して出題されている。本県の正答率は66.0%で、全国正答率を5.0ポイント下回っている。
- 解答類型1と2を合わせた本県の反応率が19.5%である。末尾をそろえて計算の結果を捉えていると考えられる。また、解答類型3の本県の反応率が12.4%である。小数点の処理を誤っていると考えられる。
- 2**(2)は、**1**(1)と同様に末尾の位がそろっていない小数の計算の定着状況をみる設問である。本県の正答率は66.6%で、全国正答率を2.9ポイント下回っている。解答類型4と5を合わせた本県の反応率が22.4%であることから、位をそろえず末尾をそろえて計算していると考えられる。

授業改善のポイント

【計算の結果を適切に見積もることができるようにする】

右表は、末尾のそろっていない小数の計算の類似問題と正答率の推移である。本県の正答率は、平成24年以降、全国平均を下回っており、課題がある設問である。

計算の大きな誤りを防ぐためには、計算の手順を理解するだけでなく、計算の結果を

問題番号	設問の概要	県正答率(%)	全国正答率(%)	全国との差(pt)
H20 A 1 (3)	$6 + 0.5$ を計算する	86.5	82.9	3.6
H22 A 1 (4)	$8 - 0.5$ を計算する	86.0	83.2	2.8
H24 A 1 (3)	$4.6 - 0.21$ を計算する	59.7	63.1	▲3.4
H25 A 1 (2)	$0.75 + 0.9$ を計算する	63.5	71.3	▲7.8
H26 A 1 (3)	$9 - 0.8$ を計算する	82.8	83.8	▲1.0
H27 A 2 (2)	$6.79 - 0.8$ を計算する	66.6	69.5	▲2.9

適切に見積もることが大切である。例えば「1に近い、100に近いなど、きりのよい数に近づけて考えること」「半分より大きい、半分より小さいなど、基準を設けて考えること」「四捨五入や切り上げ、切り捨てなどの処理をして考えること」などの見積りの経験を通して見積もることのよさに気付かせ、場面や状況に応じて見積もる方法を選択できるようにするなど、結果を見積もる経験を豊かにすることが大切である。

指導に当たっては、例えば「ひかれる数の8.9に対して、0.78は1より小さい数だから、計算の結果はひかれる数の8.9とあまり変わらない。」といった判断について話し合う場を設けることも考えられる。計算技能の指導に当たっては、単に正誤の○×を付けるだけでなく、どこでつまづきがあったのかを指導することに加え、どのようにすれば同じようなつまづきを防ぐことができるのかという指導が大切である。

小学校算数A

調査結果から授業改善へ

計算の結果を振り返って確かめることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数A 1(3)

1 次の問題に答えましょう。

- (3) $6.3 + 0.22$ の答えを 6.52 と求めました。
この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。
下の㉠, ㉡, ㉢に入る数を書きましょう。

㉠ — ㉡ を計算して, ㉢ になるかどうかを確かめます。

問題番号	解答類型			県対率 (%)	全国対率 (%)	正答
	ウ	エ	オ			
1 (3)	1	0.22 と解答	6.3 と解答しているもの	58.6	63.6	◎
	2	6.52 と解答	6.3 と解答	17.3	18.4	◎
	3	6.3 と解答	0.22 と解答	6.3	4.8	
	4		6.52 と解答	0.6	0.6	
	5	0.22 と解答	6.3 と解答	0.9	0.7	
	6		6.52 と解答	0.3	0.4	
	9	上記以外の解答			15.0	9.5
	0	無解答			0.9	2.0
	正答率			75.9	82.0	

分析・考察

- 1(3)は、加法における計算の確かめの方法を理解しているかどうかをみる問題である。本県の正答率は75.9%で、全国の正答率を6.1ポイント下回っている。
- 1(3)の解答類型3～6を合わせた本県の反応率は8.1%である。自分の解答を問題文に当てはめて読み直すなど、結果を振り返って確かめることができてないと考えられる。

授業改善のポイント

【計算の結果を確かめる方法を、学習した単元以外でも活用できるようにする】

計算の結果を確かめることは、計算の結果の誤りを防ぐ上で有効であり、加法及び減法の計算においては、加法と減法が逆算の関係になっていることを基に、計算の結果を振り返って確かめることが大切である。

計算の確かめをすることは、学習した単元だけにとどめることなく、学習した単元以外でもその考え方を活用することが大切である。

指導に当たっては、第2学年で学習した整数の加法や減法を基に計算の結果を確かめる方法について確認する活動を取り入れることが考えられる。これは、第3学年以降の3位数や4位数の加法及び減法、小数や分数の加法及び減法にも適用できるよう継続した指導が大切である。乗法や除法についても同様である。さらに、結果を振り返って確かめることは、計算の確かめだけでなく、資料の集計等においても必要であり、その方法の具体的な指導を繰り返す必要がある。

【学習した単元以外での活用】

〔第2学年〕

$$\begin{array}{r} 81 \\ - 39 \\ + 42 \\ \hline 81 \end{array}$$

ひかれる数
ひく数
答え

〔第4学年〕

$$\begin{array}{r} 6.52 \\ - 6.3 \\ + 0.22 \\ \hline 6.52 \end{array}$$

2年生で学習した計算の確かめは、4年生になっても使える。

【児童自身が自分の学びを見通したり、振り返ったりする工夫をする】

見通しでは、単に授業展開を予め理解させることなく、何をどのように学んでいくとよいかを児童自身が考えられるようにする工夫が求められる。また、振り返りでは、授業展開を振り返ったり、授業の結論をまとめたりすることに加え、自分が授業を通じて何を学び、どのような変容があったのかを実感できるような工夫が求められる。このように児童自身が自分の学びを見通したり、振り返ったりすることは、主体的に学ぶ態度をはぐくむ上でも重要である。

小学校算数B

調査結果から授業改善へ

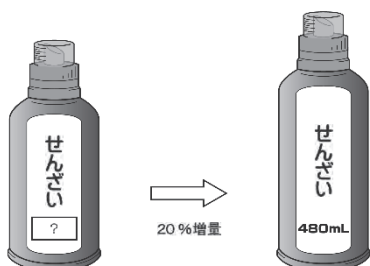
示された情報から基準量を求める場面と捉え、数量の関係を表現する活動を取り入れて比較量と割合から基準量を求めることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数B2 (2)

② たか子さんは、おつかいに行きます。

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。
増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。



問題番号	解答類型	式	答え	県対応率 (%)	全国対応率 (%)	正答
1	480 ÷ 1.2 □ × 1.2 = 480 480 ÷ 120 × 100 (増量後のせんざいの量) ÷ 1.2 と解答		400 と解答しているもの	15.2	13.1	◎
2	類型1以外の式を解答 無解答			1.0	1.3	
3	類型1の式を解答			0.5	0.3	
4	増量前の量の1%や10%に当たる量を求める式を解答 例 480 ÷ 120 例 480 ÷ 12			0.0	0.0	
5	増量後の量の1.2倍、12倍、120倍にあたる量を求める式を解答 例 480 × 1.2		400以外の答えを解答しているもの	3.5	1.8	
6	増量後の80%に当たる量を求める式を解答 例 480 × 0.8		無解答	32.2	27.6	
7	480 ÷ 0.2 480 ÷ 20 480 × 0.2 480 × 20 と解答			34.5	36.6	
8	480 - 20 480 - 0.2 480 - 120 480 - 1.2 と解答			3.4	5.4	
9	上記以外の解答			7.7	9.3	
0	無解答			1.8	4.5	
正答率				15.2	13.1	

分析・考察

- ②(2)の本県の正答率は、15.2%であり、全国平均を2.1ポイント上回ってはいるが、示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。
- 解答類型6の反応率が32.2%である。増量後の量を基準量として20%減量した量が、増量前の量になると捉え、増量後の量の80%に当たる量を求める式を解答しているものである。
- 解答類型7の反応率が34.5%である。20%増量前後の数量関係を捉えることができずに、設問に示された量と割合を乗除の式に表わそうとしていると考えられる。

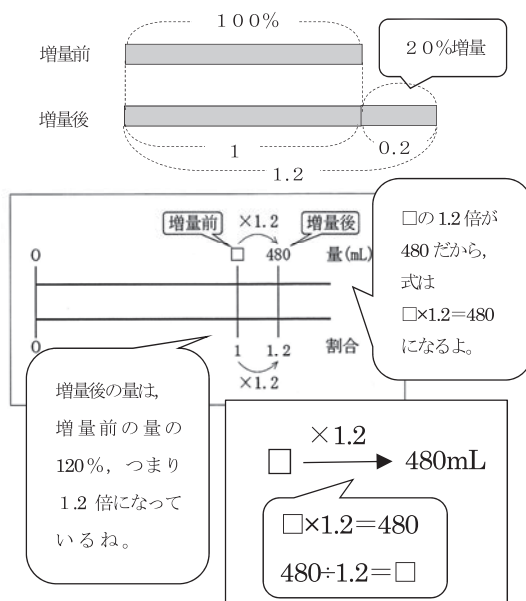
授業改善のポイント

【数量の関係を図等で表現する】

日常生活においては割合が様々な場面に用いられている。商品の広告などで「20%増量」や「3割引」などの表現に出合うことは多い。その際、どの程度、得になるのかを判断するなど、日常生活と関連付けながら、基準量と比較量、割合の関係を的確に捉えることが大切である。

指導に当たっては、「20%増量」であれば、0.2ではなく1.2を用いるなど、基準量を求めるために割合を捉え直すことを指導する必要がある。

また、基準量と比較量、割合の関係を的確にとらえるようにするためには、右のような図や数直線に表すことが考えられる。増量前の量を□として、「□の1.2倍が480だから、式は □ × 1.2 = 480 になる」というように数量の関係を整理した上で、基準量を求めることができるようにすることが大切である。

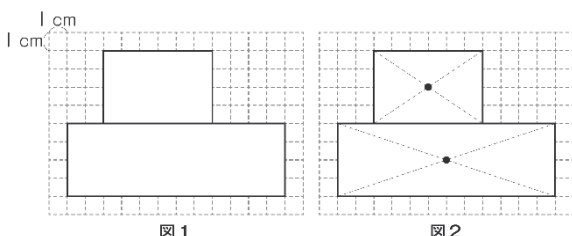


示された考えを基に、根拠となる事柄を過不足なく説明することができるようにする。

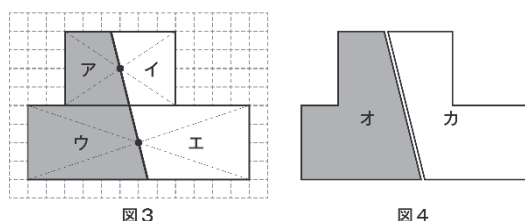
授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数B5 (1)

(1) 図1のような2つの長方形を組み合わせた図形の面積を2等分します。まず、図2のように、2つの長方形について対角線が交わる点をそれぞれ見つけます。



次に、図3のように、2つの点を通る直線を引きます。すると、2つの長方形を組み合わせた図形は、図4のように、オとカに分けることができます。



このようにすると、オとカの面積は等しくなります。なぜ、オとカの面積が等しくなるのですか。

そのわけを、言葉や数、アからカまでの記号を使って書きましょう。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
5 (1)	(正答の条件) 次の①、②、③の全てまたは①、②を書いている。 ① アとイ、ウとエの面積がそれぞれ等しいことを示す数や言葉 ② オがアとウ、カがイとエをそれぞれ合わせたことを示す数や言葉 ③ 同じ面積や図形を合わせていることから、オとカの面積が等しいことを示す数や言葉 (正答例) ・アとイの面積は等しく、ウとエの面積も等しいです。オは、アとウを合わせた図形で、カは、イとエを合わせた図形です。同じ面積の図形を合わせているので、オとカの面積は等しくなります。 ・アとイは面積が $4 \times 6 \div 2 = 12$、ウとエは面積が $4 \times 12 \div 2 = 24$ です。オは、アとウを合わせた図形で、面積は $12 + 24 = 36$ カは、イとエを合わせた図形で、面積は $12 + 24 = 36$ です。オもカも面積が $36 \text{ (cm}^2\text{)}$ だから、オとカの面積は等しくなります。			
1	言葉で①、②、③の全てまたは①、②を書いているもの	12.7	12.2	◎
2	数または言葉を使って①、②、③の全てまたは①、②を書いているもの	0.1	0.2	◎
3	①、③または①を書いているもの	36.0	31.8	
4	②、③または②を書いているもの	6.2	5.8	
5	③を書いているもの	6.8	6.6	
6	オとカが合同であることを書いているもの	0.8	0.9	
9	上記以外の解答	24.6	21.5	
0	無解答	12.7	21.0	
正答率		12.8	12.5	

分析・考察

- 5 (1)の設問は、長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を言葉や数、記号を用いて記述できるかどうかをみる設問である。本県の正答率は12.8%である。
- 解答類型3の反応率が36.0%である。その中には「アとイは等しい。ウとエも等しい。だからオとカも等しい。」というような誤答がある。このように解答した児童は、「オとカがそれぞれ等しい面積に分けられた図形どうしを合わせた図形であること」の記述ができていない。
- 無解答の反応率が全国の21.0%に比べて本県は12.7%であったことから、示された考えに基づいて発展的に考察する記述式の設問に、粘り強く取り組もうとしている姿勢がみられる。

授業改善のポイント

【根拠となる事柄を過不足なく説明できるようにする】

相手に的確に伝わるようにするためには、根拠となる事柄を過不足なく説明することが大切である。このため算数の学習においては、前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えたり説明したりすることを大切にしている。

指導に当たっては、「アとイは等しい。ウとエも等しい。だからオとカも等しい。」というような根拠が不足した説明をした児童がいた場合は、教師が補足の説明を加えるのではなく、発言した児童や他の児童にどこが不足しているかを考えさせることが大切である。

また、根拠が不足した説明を示して、「もっと詳しく言えませんか。」と考えさせ、解決のために必要な根拠を満たす説明となっているかを話し合う活動を取り入れることも考えられる。そして、模範となる説明の仕方を理解させた後に、類似問題を説明させることにより、学んだことを定着させることも大切である。

3 小学校 理科 <調査区分の分析・検証>

概 要

○ 理科について、県と全国平均正答率の比較（+1.5 ポイント）等から、全国平均より上位の結果であることがうかがえる。

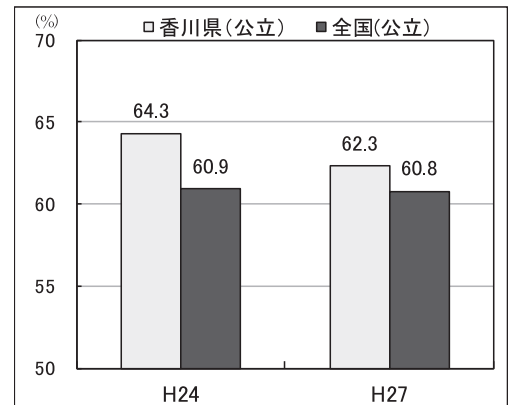
■平成 27 年度調査結果の集計値

小学校理科	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差 (pt)
県 (公立)	8,555	165	14.9 / 24	62.3	1.5
全国(公立)	1,060,792	19,861	14.6 / 24	60.8	

■平成 24 年度と平成 27 年度の県と全国の調査結果

小学校理科	H24	H27
県(公立) 平均正答率 (%)	64.3	62.3
全国(公立) 平均正答率 (%)	60.9	60.8
県と全国との差 (pt)	3.4	1.5

県と全国平均正答率【理科】



■平成 27 年度区分等別調査結果

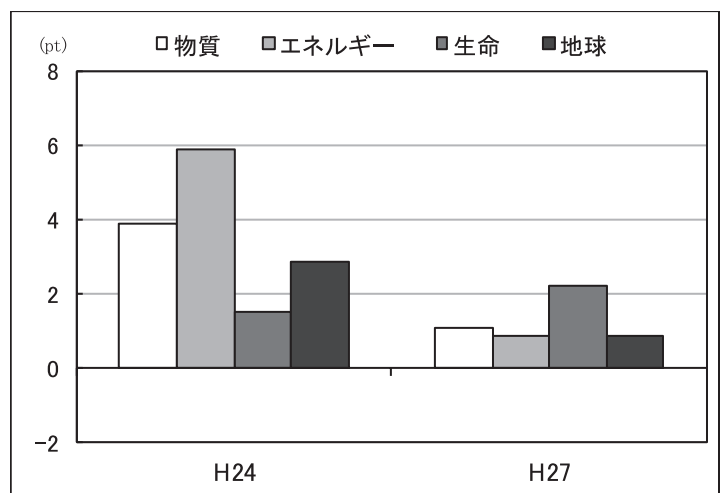
学習指導要領の区分等	理科			
	物質	エネルギー	生命	地球
県 (公立) 平均正答率 (%)	58.5	66.5	63.4	58.7
全国(公立) 平均正答率 (%)	57.4	65.6	61.2	57.8
県と全国との差 (pt)	1.1	0.9	2.2	0.9

■平成 24 年度と平成 27 年度の区分等別調査結果

※H24 年度は抽出調査

理 科	年度		H24	H27
	物 質	県 (%)	65.3	58.5
		国 (%)	61.4	57.4
		差(pt)	3.9	1.1
	エ ネ ル ギ ー	県 (%)	65.7	66.5
		国 (%)	59.8	65.6
		差(pt)	5.9	0.9
	生 命	県 (%)	70.1	63.4
		国 (%)	68.6	61.2
		差(pt)	1.5	2.2
	地 球	県 (%)	53.5	58.7
		国 (%)	50.6	57.8
		差(pt)	2.9	0.9

区分等別の県と全国平均正答率の差の推移【理科】



設問別調査結果【理科】

平成27年度全国学力・学習状況調査	小学校調査
設問別調査結果【理科】	
香川県－児童(公立)	

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県(公立)	全国(公立)	対象児童数	香川県(公立)	全国(公立)
	165	19,861		8,555	1,060,792

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)			
			香川県(公立)	全国(公立)	香川ー全国(pt)	
全体		24	62.3	60.8	1.5	
枠組み	主として「知識」に関する問題	9	64.1	61.3	2.8	
	主として「活用」に関する問題	15	61.2	60.5	0.7	
学習指導要領の区分等	A区分	物質	7	58.5	57.4	1.1
		エネルギー	6	66.5	65.6	0.9
	B区分	生命	6	63.4	61.2	2.2
		地球	7	58.7	57.8	0.9
		自然事象への関心・意欲・態度	0			
評価の観点	科学的な思考・表現	15	61.2	60.5	0.7	
	観察・実験の技能	5	59.0	55.5	3.5	
	自然事象についての知識・理解	4	70.4	68.6	1.8	
問題形式	選択式	18	64.0	62.9	1.1	
	短答式	3	68.5	63.6	4.9	
	記述式	3	45.8	45.3	0.5	

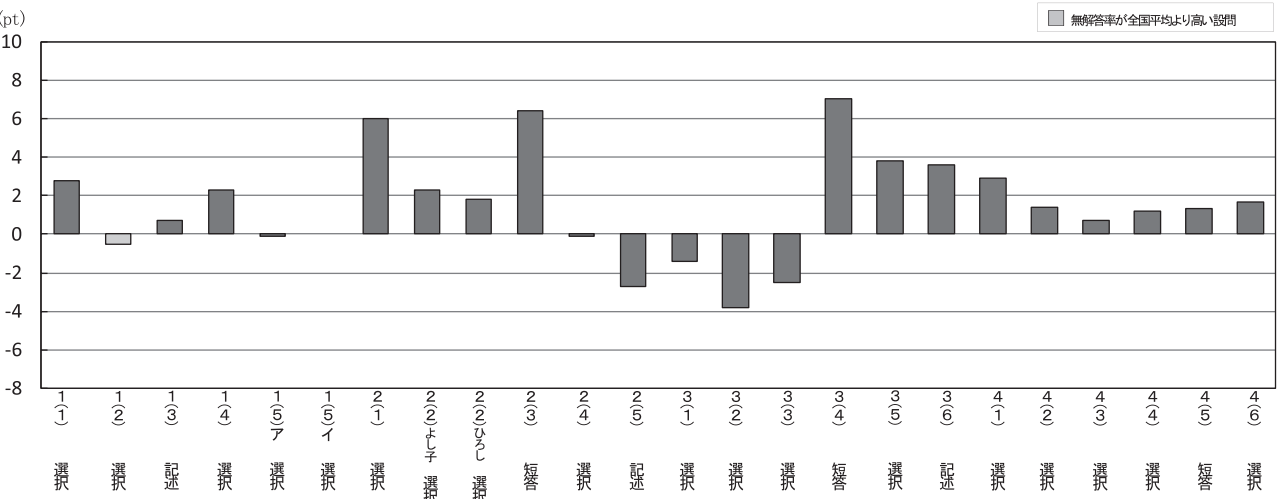
※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	枠組み 主として「知識」に関する問題	学習指導要領の区分等 主として「活用」に関する問題	A区分 物質 エネルギー	B区分 生命 地球	評価の観点 自然事象への関心・意欲・態度 科学的な思考・表現 観察・実験の技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	正答率(%) 香川県(公立)	正答率(%) 全国(公立)	無解答率(%) 香川県(公立)	無解答率(%) 全国(公立)	香川－全国(pt)	正答率	無解答率
1(1)	振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ	振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想できる		○	5A (2/7)		○	○	80.4	77.6	0.1	0.2	2.8	-0.1	
1(2)	振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ	振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できる		○	5A (2/7)		○	○	60.7	61.2	0.8	0.7	-0.5	0.1	
1(3)	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書く	熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述できる		○	4A (2/7)	5A (2/7)	○	○	63.5	62.8	0.6	1.1	0.7	-0.5	
1(4)	電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ	電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用できる		○	3A (4/7) 5A (2/7) (3/7)		○	○	55.5	53.2	0.9	1.3	2.3	-0.4	
1(5)ア	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる		○	4A (3/7) 5A (2/7)		○	○	72.6	72.7	0.5	0.9	-0.1	-0.4	
1(5)イ				○	4A (3/7) 5A (2/7)		○	○	66.2	66.2	0.5	1.0	0.0	-0.5	
2(1)	メダカのめずとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	メダカの雌雄を見分ける方法を理解している	○		5B (2/7)			○	84.0	78.0	0.2	0.3	6.0	-0.1	
2(2)よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ	生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析できる		○	5B (1/7) (2/7) イウ		○	○	78.6	76.3	0.3	0.6	2.3	-0.3	
2(2)ひろし				○	5B (1/7) (2/7) イウ		○	○	70.8	69.0	0.4	0.8	1.8	-0.4	
2(3)	示された器具(顕微鏡)の名称を書く	顕微鏡の名称を理解している	○		5B (2/1)		○	○	68.0	61.6	9.4	16.1	6.4	-6.7	
2(4)	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている	○		5B (2/1)		○	○	37.8	37.9	0.7	1.0	-0.1	-0.3	
2(5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く	植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる		○	5B (1/7)	3B (3/7)	○	○	41.5	44.2	1.5	2.8	-2.7	-1.3	
3(1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	水蒸気は水が気体になったものであることを理解している	○		4A (2/7)			○	80.5	81.9	0.2	0.5	-1.4	-0.3	
3(2)	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ	予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想できる		○	4A (2/1)		○	○	50.2	54.0	0.4	0.7	-3.8	-0.3	
3(3)	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できる		○	4A (2/1)		○	○	49.2	51.7	0.5	1.1	-2.5	-0.6	
3(4)	示された器具(メスシリンダー)の名称を書く	メスシリンダーの名称を理解している	○		5A (1/1)		○	○	77.7	70.7	5.7	10.7	7.0	-5.0	
3(5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けている	○		5A (1/1)		○	○	55.5	51.7	2.5	2.9	3.8	-0.4	
3(6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる		○	5A (1/1)		○	○	32.5	28.9	3.3	5.7	3.6	-2.4	
4(1)	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析できる		○			○	○	43.9	41.0	1.2	2.0	2.9	-0.8	
4(2)	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ	月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解している	○			4B (4/7)		○	57.5	56.1	1.1	2.0	1.4	-0.9	
4(3)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている	○			4B (4/7)	○	○	56.0	55.3	1.1	2.2	0.7	-1.1	
4(4)	観察した星座や雲の動きを選ぶ	星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できる		○		4B (4/7)	○	○	66.2	65.0	1.7	3.0	1.2	-1.3	
4(5)	水が水蒸気になる現象について、その名称を書く	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している	○			4B (3/1)		○	59.8	58.5	9.1	15.2	1.3	-6.1	
4(6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ	打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析できる		○		4B (3/1)	○	○	85.9	84.2	2.4	4.2	1.7	-1.8	

調査結果に特徴のうかがえる設問

- 小学校理科の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、24 問中5 問（20.8 %）であった。
- 小学校理科の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、24 問中1 問（4.2 %）であった。
- 小学校理科の調査において、正答率が50%以下であった設問は、24 問中5 問（20.8%）であった。

■設問別の県と全国正答率の差



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問（全24 問中5 問）

設問番号	設問の概要	枠組み	区分等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
2 (1)	メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	知識	生命	知識	選択	84.0	0.2	6.0
2 (3)	示された器具（顕微鏡）の名称を書く	知識	生命	技能	短答	68.0	9.4	6.4
3 (4)	示された器具（メスシリンダー）の名称を書く	知識	物質	技能	短答	77.7	5.7	7.0
3 (5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	知識	物質	技能	選択	55.5	2.5	3.8
3 (6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	活用	物質	思考	記述	32.5	3.3	3.6

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問（全24 問中1 問）

設問番号	設問の概要	枠組み	区分等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
3 (2)	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ	活用	物質	思考	選択	50.2	0.4	▲3.8

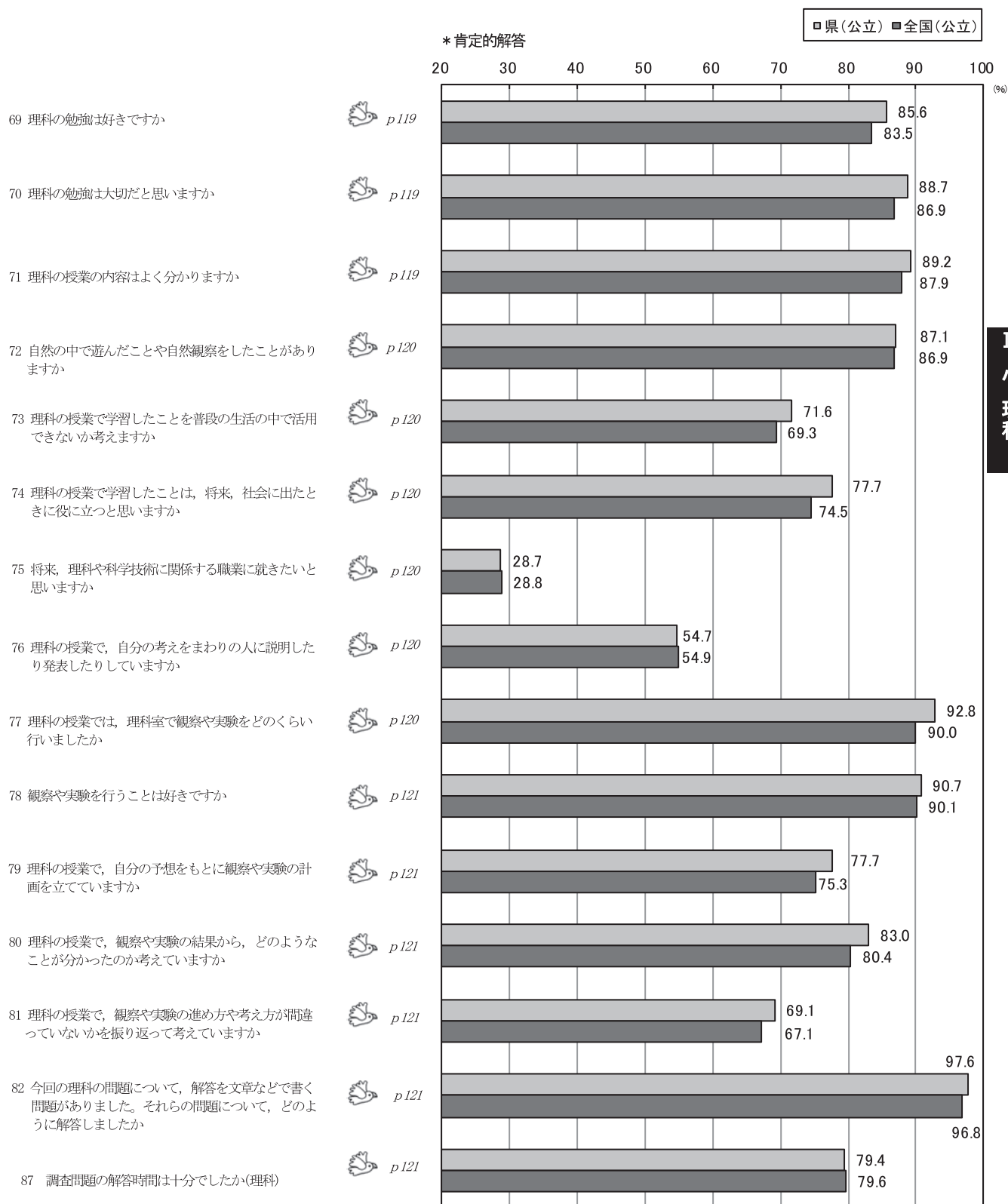
■正答率が低い設問（50 %以下）（全24 問中5 問）

設問番号	設問の概要	枠組み	区分等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
2 (4)	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	知識	生命	技能	選択	37.8	0.7	▲0.1
2 (5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く	活用	生命地球	思考	記述	41.5	1.5	▲2.7
3 (3)	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	活用	物質	思考	選択	49.2	0.5	▲2.5
3 (6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	活用	物質	思考	記述	32.5	3.3	3.6
4 (1)	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	活用	地球	思考	選択	43.9	1.2	2.9

学 習 意 欲

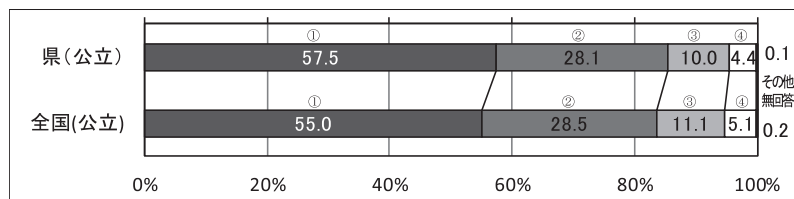
○ 「69 理科の勉強は好きですか」の質問と「71 理科の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国平均を上回っている。

■学習意欲（小学校理科）に関わる質問の全国との比較



□69 理科の勉強は好きですか

p 119

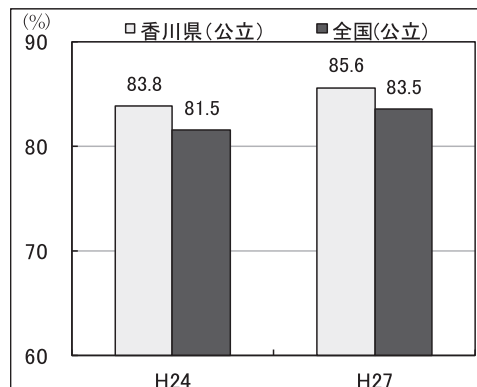


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

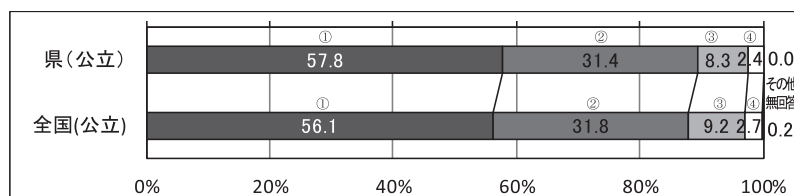
	H24	H27
県(公立)	83.8	85.6
全国(公立)	81.5	83.5
県と全国の差	2.3	2.1

質問 69 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



□71 理科の授業の内容はよく分かりますか

p 119

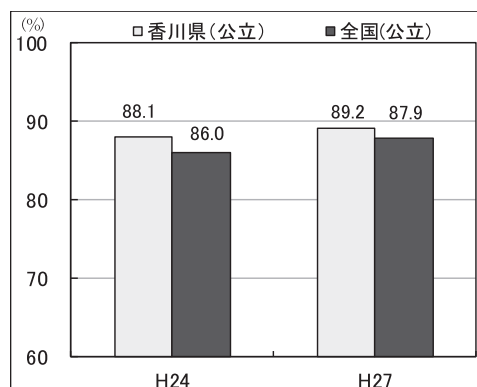


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

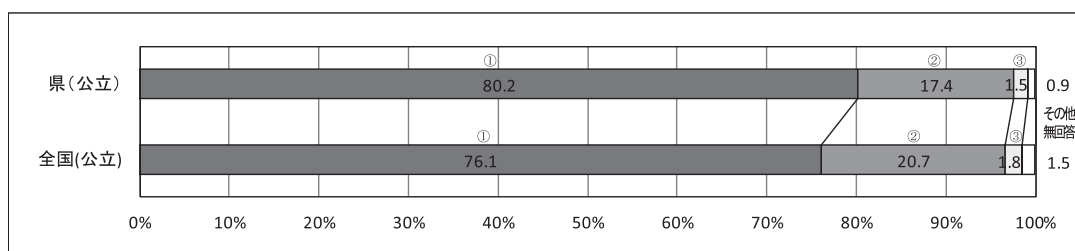
	H24	H27
県(公立)	88.1	89.2
全国(公立)	86.0	87.9
県と全国の差	2.1	1.3

質問 71 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



□82 今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

p 121



①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった ③書く問題は全く解答しなかった

小学校理科

調査結果から授業改善へ

予想通りになっていた場合に得られる結果を見通して実験を構想できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 理科 3 (2)

(2) ふっとうしているお湯に紅茶の葉を入れると、ポットの中で紅茶の葉が動いていました。

紅茶の葉が動くのは、あたためられたお湯が動いているからかな。

そこで、ゆかりさんたちは、紅茶の葉が動いているようすから、「水はどのようにあたまっていくのだろうか」という問題を立てて、予想したことを図に表しました。

ビーカーに水を入れ、ビーカーの底のはしを熱すると・・・

あたためられた水が、上の方に動いて、上から順にあたたまると思うよ。

熱せられたところから順に熱が伝わって、水があたたまると思うよ。

あたためられた水が、横の方に動いてから上の方に動き、上から順にあたたまると思うよ。

あたためられた水が、横の方に動いて、下から順にあたたまると思うよ。

ゆかりさんたちは、自分たちの予想が正しいかどうかを調べるために、A、B、Cの3本の温度計を、下の図のようにビーカーに入れて実験することになりました。

ゆかりさん

3本の温度計の温度が高くなる順番で確かめることができそうだよ。

ゆかりさんの予想が正しければ、どの温度計から順に温度が高くなっていきますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 B→A→C
2 B→C→A
3 C→A→B
4 C→B→A

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答
3 (2)	1 1 と解答しているもの	14.9	14.9	
	2 2 と解答しているもの	4.6	5.2	
	3 3 と解答しているもの	29.1	24.5	
	4 4 と解答しているもの	50.2	54.0	◎
	9 上記以外の解答	0.8	0.7	
	0 無解答	0.4	0.7	
正答率		50.2	54.0	

分析・考察

- 3 (2) の設問は、水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶことができるかどうかをみる設問である。
- 本県の正答率は50.2%で、全国の正答率を3.8ポイント下回っている。解答類型3 (C→A→B) の本県の反応率は29.1%であった。これは、ゆかりさんの「あたためられた水が、横の方に動いてから上の方に動き、上から順にあたたまると」という予想について、実験方法と照らし合わせ、ゆかりさんの予想が一致した場合に得られる結果を見通して考えることができず、温められた水は下から順に温まるという考えから判断したものと考えられる。予想の図で描かれているように、複数の矢印による温まり方の表現に慣れていないことがその一因と考えられる。また、問題の文章を確実に理解できず、「実際の水の温まり方を選ぶもの」と思い込んだり、「ゆかりさんの予想」という言葉が示すものを実験装置の図の右にある「3本の温度計の温度が…」という文言の情報と誤読したりしてしまった児童が選択に困り、解答類型の1 (上から温まる) や3を選んだものと思われる。

授業改善のポイント

【実験計画時に予想が合っていた場合に得られる結果について話し合う】

本設問のように、実験には温度計等の測定器具を用いて目に見えない事象の変化を数値や色等で捉え、その情報をもとに課題を検証するものがある。その場合、予想が一致したときに得られる結果を見通して実験を計画することが大切である。

指導に当たっては、本設問のように3本の温度計やサーモインクを用いた実験方法を考える学習活動が考えられる。その際、予想通りであれば、どのように温度が高くなるのか実験結果の見通しをもち、その内容を図や実際の実験器具を用いて発表したり説明したりするなどの学習活動が大切である。それにより、自分の考えと異なる他者の予想に対しても、結果の見通しをもつことができる。予想が異なるにもかかわらず結果の見通しが同じになるのであれば、実験が成立しないことに気づき、実験方法を修正できるようにする。

【テキストをもとに追究課題や実験方法を理解する】

本設問を児童に再度考えさせる場を設定し、自分が問題のどの部分でつまづいていたのかを認識させることが大切である。その際、ペアやグループで取り組むようにし、他者の説明から自分の課題に気付くことができるようにする。

4 中学校 国語 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 国語Aについて、県と全国平均正答率の比較（+0.2ポイント）等から、全国平均よりやや上位の結果であることがうかがえる。
- 国語Bについて、県と全国平均正答率の比較（-0.9ポイント）等から、全国平均よりやや下位の結果であることがうかがえる。

■平成 27 年度調査結果の集計値

中学校国語A	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,590	69	25.1 / 33	76.0	0.2
全国(公立)	1,016,451	9,689	25.0 / 33	75.8	

中学校国語B	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,598	69	5.8 / 9	64.9	▲0.9
全国(公立)	1,016,575	9,689	5.9 / 9	65.8	

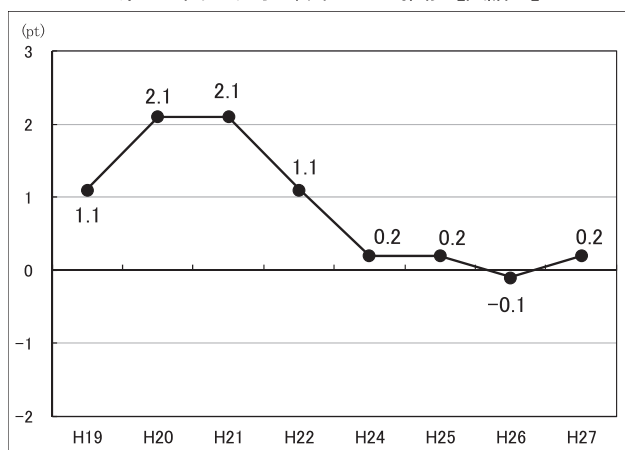
■平成 19 年度～平成 27 年度の県と全国の調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

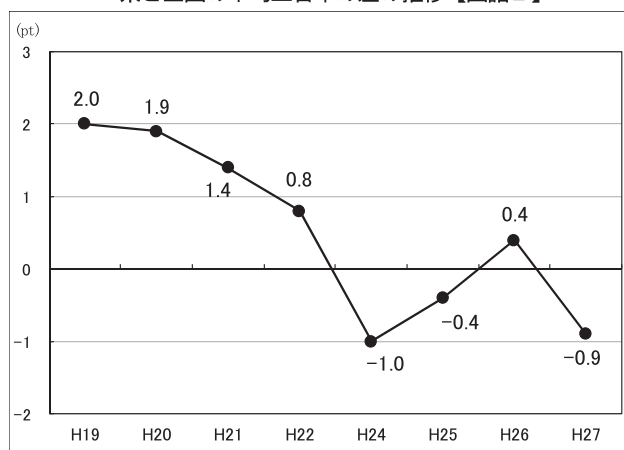
中学校国語A	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率 (%)	82.7	75.7	79.1	76.2	75.3	76.6	79.3	76.0
全国(公立)平均正答率 (%)	81.6	73.6	77.0	75.1	75.1	76.4	79.4	75.8
県と全国の差 (pt)	1.1	2.1	2.1	1.1	0.2	0.2	▲0.1	0.2

中学校国語B	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率 (%)	74.0	62.7	75.9	66.1	62.3	67.0	51.4	64.9
全国(公立)平均正答率 (%)	72.0	60.9	74.5	65.3	63.3	67.4	51.0	65.8
県と全国の差 (pt)	2.0	1.9	1.4	0.8	▲1.0	▲0.4	0.4	▲0.9

県と全国平均正答率の差の推移【国語A】



県と全国平均正答率の差の推移【国語B】



■平成 27 年度領域等別調査結果

学習指導要領の領域等	国語 A				国語 B			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝達的な言語文化と国語の特質に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝達的な言語文化と国語の特質に関する事項
県（公立） 平均正答率（%）	79.6	74.1	85.2	73.4	72.6	35.2	61.1	
全国（公立） 平均正答率（%）	79.7	73.6	86.1	72.9	72.2	36.7	62.6	
県と全国との差（pt）	▲0.1	0.5	▲0.9	0.5	0.4	▲1.5	▲1.5	

■平成 19 年度～平成 27 年度の領域等別調査結果

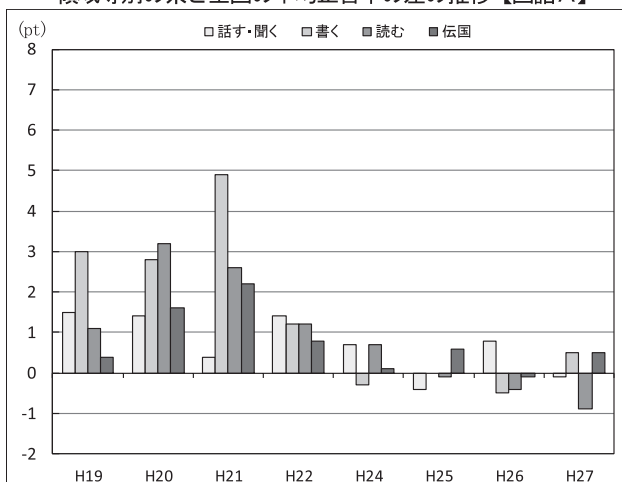
※H22・24 年度は抽出調査

国語 A	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	話すこと・ 聞くこと	県(%)	91.6	81.5	87.2	75.6	88.4	77.2	73.1	79.6
		国(%)	90.1	80.1	86.8	74.2	87.7	77.6	72.3	79.7
		差(pt)	1.5	1.4	0.4	1.4	0.7	▲0.4	0.8	▲0.1
	書くこと	県(%)	76.4	58	69.5	72.3	87.8	64.5	82.9	74.1
		国(%)	73.4	55.2	64.6	71.1	88.1	64.5	83.4	73.6
		差(pt)	3.0	2.8	4.9	1.2	▲0.3	0.0	▲0.5	0.5
	読むこと	県(%)	81.7	74.2	78.3	77.8	66.1	79.9	82.5	85.2
		国(%)	80.6	71	75.7	76.6	65.4	80.0	82.9	86.1
		差(pt)	1.1	3.2	2.6	1.2	0.7	▲0.1	▲0.4	▲0.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県(%)	80.7	76.8	78.2	76.6	73.8	78.1	78.6	73.4
		国(%)	80.3	75.2	76	75.8	73.7	77.5	78.7	72.9
差(pt)		0.4	1.6	2.2	0.8	0.1	0.6	▲0.1	0.5	

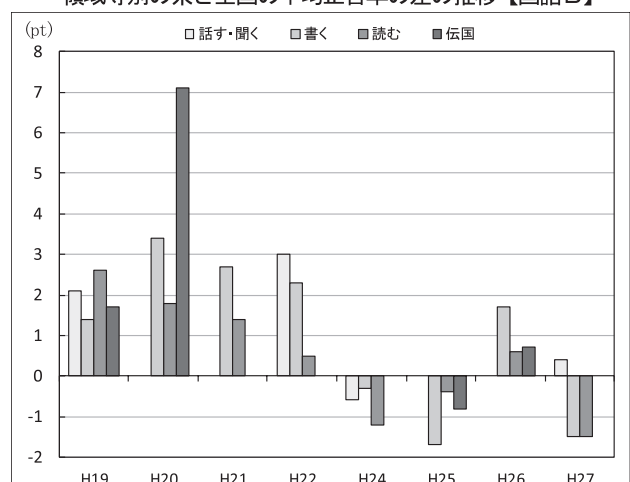
国語B	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	話すこと・ 聞くこと	県(%)	83.4			48.6	59.3			72.6
		国(%)	81.3			45.6	59.9			72.2
		差(pt)	2.1			3.0	▲0.6			0.4
	書くこと	県(%)	65.8	50.1	75.2	62.5	57.1	61.0	42.7	35.2
		国(%)	64.4	46.7	72.5	60.2	57.4	62.7	41.0	36.7
		差(pt)	1.4	3.4	2.7	2.3	▲0.3	▲1.7	1.7	▲1.5
	読むこと	県(%)	73.2	62.7	75.9	68.0	60.3	67.4	49.8	61.1
		国(%)	70.6	60.9	74.5	67.5	61.5	67.8	49.2	62.6
		差(pt)	2.6	1.8	1.4	0.5	▲1.2	▲0.4	0.6	▲1.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県(%)	70.2	67.7				63.8	57.5	
		国(%)	68.5	60.6				64.6	56.8	
		差(pt)	1.7	7.1				▲0.8	0.7	

Ⅲ 中国語

領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



設問別調査結果【国語A】

平成27年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

設問別調査結果【国語A：主として知識】

香川県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	69	9,689		8,590	1,016,451
分類	区分	対象設問数 （問）	平均正答率（％）		
			香川県（公立）	全国（公立）	香川－全国（pt）
学習指導要領の領域等	全体	33	76.0	75.8	0.2
	話すこと・聞くこと	4	79.6	79.7	-0.1
	書くこと	5	74.1	73.6	0.5
	読むこと	5	85.2	86.1	-0.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	73.4	72.9	0.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	79.6	79.7	-0.1
	書く能力	5	74.1	73.6	0.5
	読む能力	5	85.2	86.1	-0.9
	言語についての知識・理解・技能	19	73.4	72.9	0.5
問題形式	選択式	23	75.9	75.5	0.4
	短答式	10	76.5	76.7	-0.2
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国(pt)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率
1ー	スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する	相手の反応を踏まえて話す	1イ				○			○				92.6	93.0	0.2	0.1	-0.4	0.1	
1二	「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい表現に直す	聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す	1ウ				○				○			66.8	65.0	10.0	12.0	1.8	-2.0	
2ー	意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する	意見を支える根拠の明確さについて助言する	1オ					○		○				81.3	79.8	0.3	0.2	1.5	0.1	
2二	意見文を直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書く	1エ					○		○				84.5	83.6	0.3	0.2	0.9	0.1	
3ー	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	表現の技法について理解する				1(1)イ(オ)				○	○			60.8	58.3	0.6	0.4	2.5	0.2	
3二	一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ					○				88.0	88.7	0.3	0.2	-0.7	0.1	
3三	嘉助の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ					○		○		88.6	89.8	0.5	0.3	-1.2	0.2	
4ー	棒グラフの 部の変化の内容を適切に書く	伝えたい事実を明確に書く	1ウ					○				○		68.6	67.6	4.3	4.2	1.0	0.1	
5ー	「なぜ、排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する	文章から適切な情報を得て、考えをまとめる			2オ					○		○		92.9	93.6	0.4	0.2	-0.7	0.2	
6ー	「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて要旨を捉える			1イ					○		○		70.8	71.3	0.4	0.3	-0.5	0.1	
6二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	表現の特徴を捉える			1エ					○		○		85.7	87.1	0.5	0.4	-1.4	0.1	
7ー	二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する	伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える			2イ				○			○		69.8	70.6	1.0	0.7	-0.8	0.3	
7二	要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く			2ウ				○			○		66.3	66.4	8.9	8.6	-0.1	0.3	
8ー	インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら聞き取る	1エ					○				○		83.0	84.6	1.0	0.6	-1.6	0.4	
8二	意図に合った質問として適切なものを選択する		1エ						○				○		76.2	76.1	1.1	0.7	0.1	0.4
9ー1	漢字を書く(ビョウソク五メートルの風が吹く)	文脈に即して漢字を正しく書く				2(1)ウ(イ)					○		○	86.7	88.5	2.6	2.2	-1.8	0.4	
9ー2	漢字を書く(地図のシュクシャクを調べる)					2(1)ウ(イ)						○		○	71.2	72.1	9.1	10.1	-0.9	-1.0
9ー3	漢字を書く(アマったお金を貯金する)					2(1)ウ(イ)						○		○	75.1	70.9	12.1	15.9	4.2	-3.8
9二1	漢字を読む(詳細に述べる)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1)ウ(ア)					○		○	76.3	78.2	5.4	5.1	-1.9	0.3	
9二2	漢字を読む(シャツの袖をまくる)					2(1)ウ(ア)						○		○	90.6	94.1	1.8	1.2	-3.5	0.6
9二3	漢字を読む(学校のことが新聞に載る)					2(1)ウ(ア)						○		○	96.7	97.2	1.8	1.3	-0.5	0.5

9三ア	適切な語句を選択する（将来は、気象予報士になりたい）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				2(1) イ(イ)						○	○			96.8	97.6	0.8	0.5	-0.8	0.3
9三イ	適切な語句を選択する（彼がこの討論の火花を切った）					1(1) イ(ウ)						○	○			56.4	55.5	1.4	0.9	0.9	0.5
9三ウ	適切な敬語を選択する（私が先生のお宅に参ります）					2(1) イ(ア)						○	○			86.3	84.1	1.0	0.7	2.2	0.3
9三エ	適切な語句を選択する（彼女は、学級の壁の下の力持ちと言える存在だ）					1(1) イ(ウ)						○	○			73.1	70.8	1.0	0.8	2.3	0.2
9三オ	適切な語句を選択する（たなびく雲の間から、春の光がもれている）					1(1) イ(ウ)						○	○			46.6	49.0	1.1	0.7	-2.4	0.4
9三カ	適切な語句を選択する（新聞を読む習慣を身に付ける）					2(1) イ(イ)						○	○			87.7	86.9	1.2	0.9	0.8	0.3
9四①	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	単語の類別について理解する				1(1) イ(エ)						○	○			62.2	62.3	1.3	0.9	-0.1	0.4
9四②						1(1) イ(エ)						○	○			36.9	33.7	1.3	1.1	3.2	0.2
9五	運筆の際の説明に対応する部分として適切なものを選択する	毛筆を用いて、楷書で文字を書く				1(2) ア						○	○			85.9	85.9	1.1	0.8	0.0	0.3
9六	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する	手紙の書き方を理解して書く				1(2) ア						○	○			61.1	58.2	1.5	1.2	2.9	0.3
9七1	漫画の言葉に対応する部分として適切なものを古典の文章の中から選択する	漫画の内容を参考にして、登場人物の思いやものの見方を想像する				2(1) ア(イ)						○	○			77.4	75.3	1.9	1.4	2.1	0.5
9七2	古典の作品名を漢字で書く	代表的な古典の作品に関心をもつ				1(1) ア(イ)						○	○			66.4	66.7	10.0	9.9	-0.3	0.1

■設問別調査結果【国語B】

平成27年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

設問別調査結果【国語B：主として活用】

香川県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	69	9,689		8,598	1,016,575

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（％）		
			香川県（公立）	全国（公立）	香川－全国（pt）
	全体	9	64.9	65.8	-0.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	72.6	72.2	0.4
	書くこと	3	35.2	36.7	-1.5
	読むこと	6	61.1	62.6	-1.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	35.2	36.7	-1.5
	話す・聞く能力	3	72.6	72.2	0.4
	書く能力	3	35.2	36.7	-1.5
	読む能力	6	61.1	62.6	-1.5
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	6	79.8	80.3	-0.5
	短答式	0			
	記述式	3	35.2	36.7	-1.5

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等					評価の観点				問題形式		正答率（％）		無解答率（％）		香川－全国（pt）	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率	無解答率
1一	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	状況に応じて、資料を活用して話す	2ウ					○				○		75.6	73.2	0.4	0.2	2.4	0.2
1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	効果的な資料を作成し、活用して話す	2ウ					○				○		86.5	87.3	0.5	0.4	-0.8	0.1
1三	演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く	2ウ	1ウ			○	○	○				○	55.8	56.2	3.8	2.8	-0.4	1.0
2一	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する			1イ					○		○		81.5	82.6	0.5	0.3	-1.1	0.2
2二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える			1イ					○		○		67.3	67.8	0.6	0.3	-0.5	0.3
2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く		2ウ	2オ		○		○	○		○		23.7	23.0	4.0	3.7	0.7	0.3
3一	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	表現の工夫について自分の考えをもつ			1エ					○		○		86.3	88.6	1.1	0.5	-2.3	0.6
3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する				2ウ					○		○		81.3	82.6	1.2	0.7	-1.3	0.5
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	2ウ		○		○	○		○		26.2	31.1	11.1	11.2	-4.9	-0.1

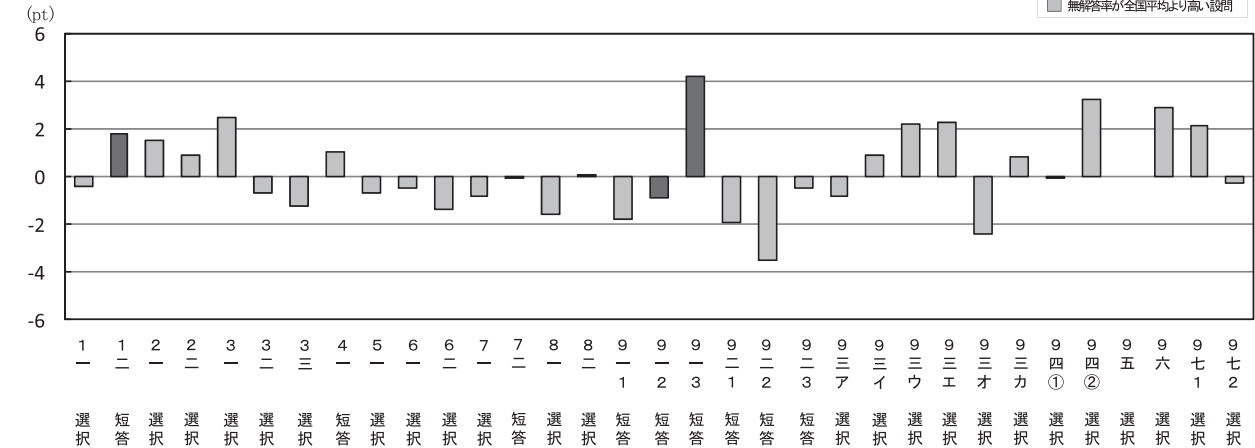
調査結果に特徴のうかがえる設問

- 中学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、42 問中2問（4.8%）であった。
- 中学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、42 問中2問（4.8%）であった。
- 中学校国語の調査において、正答率が50%以下であった設問は、42 問中4問（9.5%）であった。

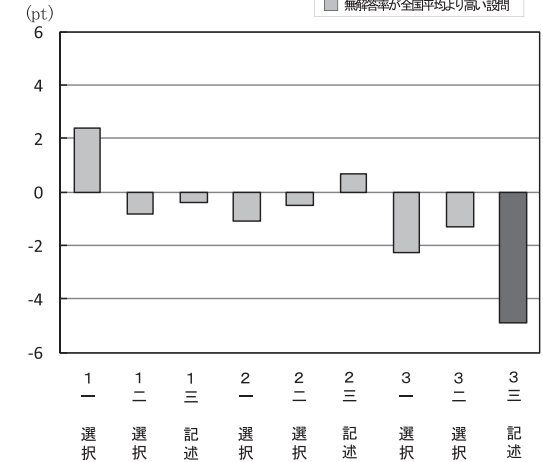
■設問別の県と全国の正答率の差

【領域等】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語生活と国語の発展に関する事項	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語生活についての知識・理解・技能	国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

【中学校国語A】



【中学校国語B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【中学校国語A】（全33問中2問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
9-3	漢字を書く（アマったお金を貯金する）	伝国	言語	短答	75.1	12.1	4.2
9四②	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	伝国	言語	選択	36.9	1.3	3.2

【中学校国語B】（全9問）なし

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【中学校国語A】（全33問中1問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
9二2	漢字を讀む（シャツの袖をまくる）	伝国	言語	短答	90.6	1.8	▲3.5

【中学校国語B】（全9問中1問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	書く読む	関心書く読む	記述	26.2	11.1	▲4.9

■正答率が低い設問（50%以下）

【中学校国語A】（全33問中2問）

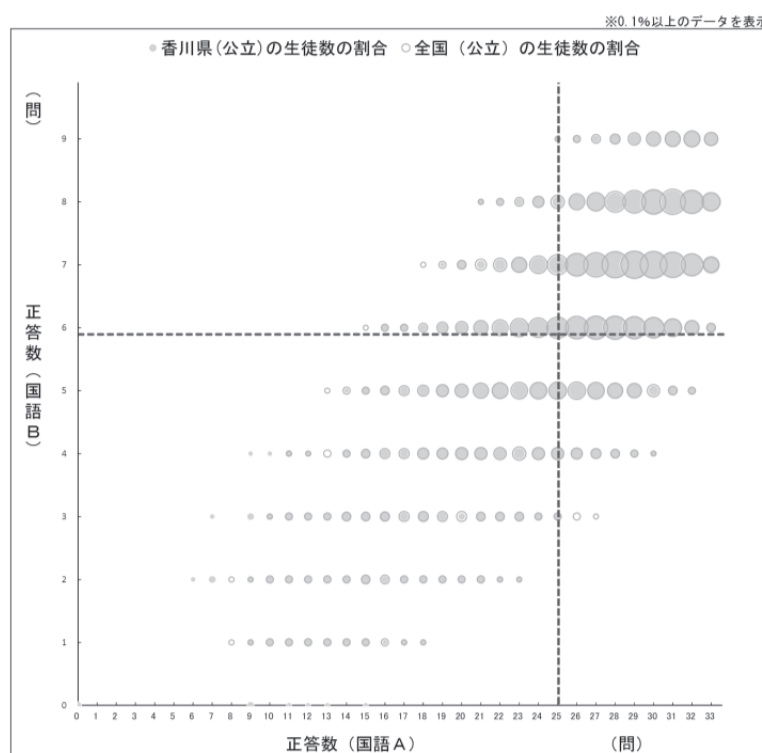
設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
9三オ	適切な語句を選択する（たなびく雲の間から、春の光がもれている）	伝国	言語	選択	46.6	1.1	▲2.4
9四②	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	伝国	言語	選択	36.9	1.3	3.2

【中学校国語B】（全9問中2問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	書く読む	関心書く読む	記述	23.7	4.0	0.7
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	書く読む	関心書く読む	記述	26.2	11.1	▲4.9

■中学校 国語A—国語Bの相関

生徒数		8,582	
全国（公立）国語A平均正答数		25.0	
全国（公立）国語B平均正答数		5.9	
生徒の正答数分布状況（左：生徒数 右：生徒数の割合（%））	国語A・国語Bともに平均以上	4,702	54.8
	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	808	9.4
	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	879	10.2
	国語A・国語Bともに平均未満	2,193	25.6
相関係数		0.740	

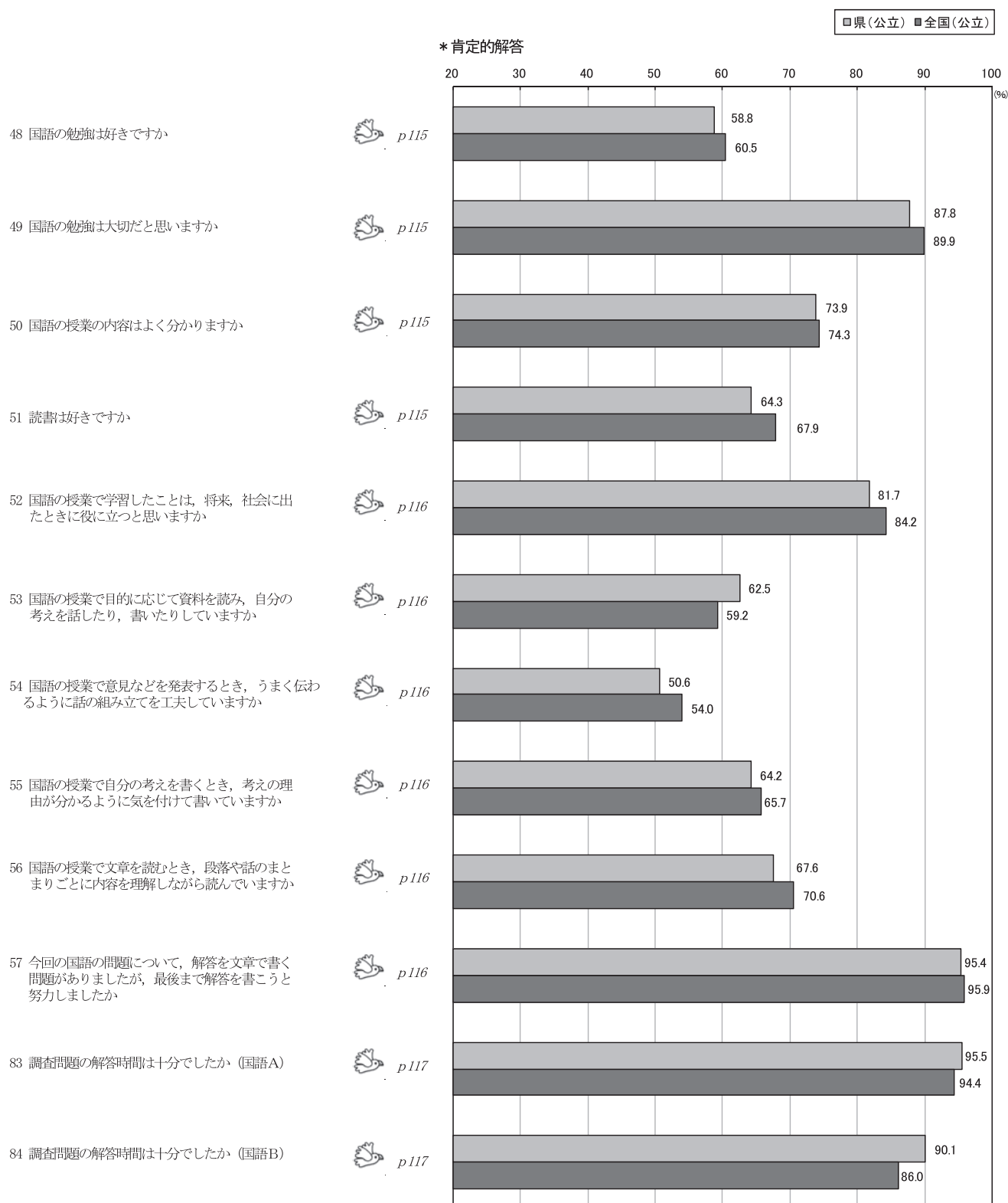


※グラフの点線は、全国（公立）の平均正答数を表す。

学 習 意 欲

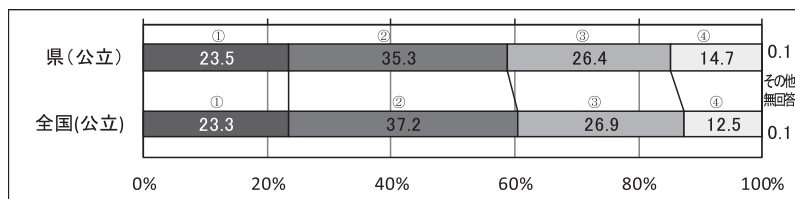
- 「48 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて低い。
- 「50 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べてやや低い。

■学習意欲（中学校国語）に関わる質問の全国との比較



□48 国語の勉強は好きですか

p115

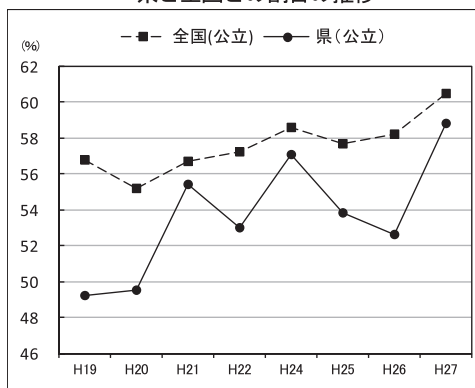


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

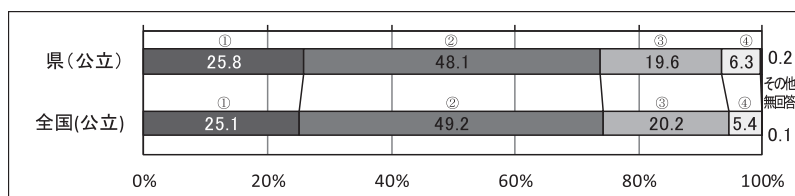
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	49.2	49.5	55.4	53.0	57.1	53.8	52.6	58.8
全国(公立)	56.8	55.2	56.7	57.2	58.6	57.7	58.2	60.5
県と全国の差	▲7.6	▲5.7	▲1.3	▲4.2	▲1.5	▲3.9	▲5.6	▲1.7

質問48に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□50 国語の授業の内容はよく分かりますか

p115

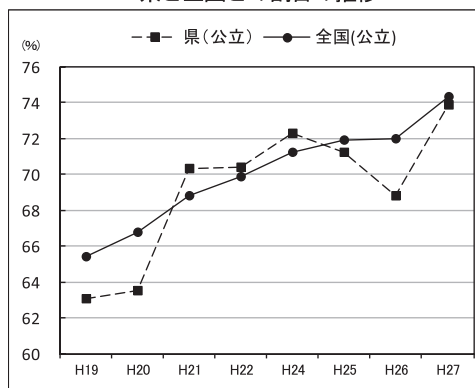


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

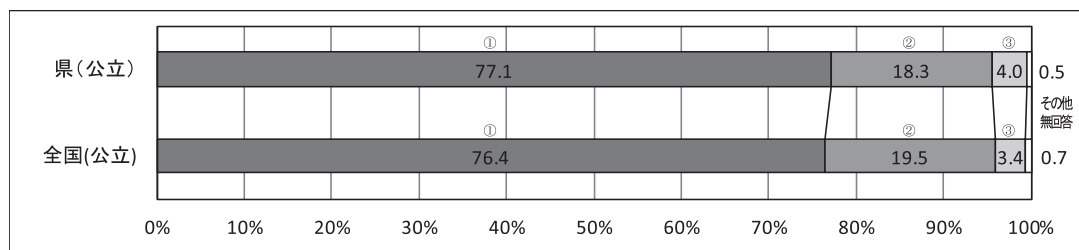
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	63.1	63.5	70.3	70.4	72.3	71.2	68.8	73.9
全国(公立)	65.4	66.8	68.8	69.9	71.2	71.9	72.0	74.3
県と全国の差	▲2.3	▲3.3	1.5	0.5	1.1	▲0.7	▲3.2	▲0.4

質問50に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□57 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

p116



①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した

②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった

③書く問題は全く解答しなかった

手紙の構成を理解して書くことができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語A 9六

問題 番号	解答類型	県反 応率 (%)	全国 反応 率(%)	正答
9 六	1 1と解答しているもの	19.9	22.1	
	2 2と解答しているもの	61.1	58.2	◎
	3 3と解答しているもの	9.5	10.5	
	4 4と解答しているもの	7.9	8.0	
	9 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無回答	1.5	1.2	
	正答率	61.1	58.2	

- 1 差出人が誰かを明確にするため、「松田 洋子」は、「十月一日」と同じ高さに書く。
- 2 相手に敬意を示すため、「小山 健様」は、「松田 洋子」や「十月一日」より高い位置に書く。
- 3 名前の方が重要なので、「松田 洋子」と「小山 健様」は、「十月一日」より高い位置に書く。
- 4 日付は重要ではない情報なので、「十月一日」は、「松田 洋子」や「小山 健様」と同じ高さに書く。

六次は、松田洋子さんが、職場体験でお世話になった小山健さんへ書いたお礼の「手紙の下書き」です。松田さんは、「手紙の下書き」の後付けの部分について正しく直すことにしました。直し方とその理由として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

「手紙の下書き」

拝啓

さわやかな季節となりました。お元気で過ごしてでしょうか。

さて、先日の職場体験の際には大変お世話になりました。私たちの質問についてねいにお答えくださりましてありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の御健康をお祈りいたします。

敬具

十月一日

松田 洋子

小山 健様

分析・考察

- 平成24年度の学力・学習状況調査【小学校】国語B 1三で課題が見られたことを踏まえて、手紙の書き方を理解して書く問題が出題されている。正答率は61.1%であった。
- 解答類型1の反応率は19.9%，解答類型3の反応率は9.5%である。これらは、相手の名前を自分の名前や日付より高い位置に書いて相手への敬意を表すという後付けの形式の意味を理解できていないものと考えられる。

授業改善のポイント

【手紙の基本的な形式に込められた意味を理解し、相手や目的に応じた手紙が書けるようにする】

手紙を書く際には、伝える相手の立場や気持ちに配慮し、手紙の基本的な形式を理解して書くように指導することが大切である。その際、手紙の形式に込められた相手への敬意についても考えさせるようにすることが重要である。

指導に当たっては、各教科等で依頼状や礼状を実際に書くなどの学習活動を取り入れ、相手意識を明確に持ちながら手紙を書くことが有効である。また、丁寧に推敲することも併せて指導することが必要である。

【手紙を推敲するポイント】

- 手紙の形式を守っているか。
(前文、主文、末文、後付け、日付・差出人の署名、宛名とそれを書く位置など)
- 伝える情報に漏れがないか。
- 言葉遣いは適切か。失礼なところはないか。

調査結果から授業改善へ

資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語B 1 三

三 森田さんは、聞き手に「演習をもつてもらうために、発表の中で、オカリナを演奏することにした。あなたなら、どのタイミングで演奏しますか。次の「演奏するタイミング」のA、Bから一つ選び、どちらの「演奏するタイミング」を選んで、読み流して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしても構いません。

＜演奏するタイミング＞

A フリフリン 2の発音のとき
B フリフリン 3の発音のとき

条件1 フリフリンの内容と結びつけて、理由を具体的に書くこと。
条件2 五十字以上、八十字以内で書くこと。

実際にオカリナを演奏する

【フリフリン】

1 オカリナとは

- ハトに似た形の笛
- イタリア生まれ

イタリア語では「小さなガチョウ」

2 オカリナの特徴

吹き口 音色は？ 材質は？ 指穴の数は？

3 気軽に楽しめる

- リコーダーと似た指使い
- 持ち運びやすい大きさ
- 簡単な曲ならすぐ吹ける！！

【ノート】

発表の流れ	その他の情報
■ 聞き手を見てから話し始める (> 始めの言葉)	
1 ○ オカリナはハトの形に似た楽器。 ○ イタリアで生まれ世界に広まった。 ○ イタリア語では「小さなガチョウ」 という意味である。	※ ガチョウの頭の形に似ているなど 様々な説がある。
■ 聞かずに聞かずに聞く	
2 ○ 材質は？→ 素焼きの陶器のものが多く。 ○ 音色は？→ 吹き口から息を吹き込むと、温かみのある音色が出る。 ○ 指穴の数は？→ 12個が多い。 (表裏に10個、裏側に2個)	※ プラスチックのものもある。 ※ イタリアでは、10個が多い。
3 ○ リコーダーと同じような指使い。 ○ ポケットに入るくらい大きさ。 ○ 簡単な曲なら、すぐ吹けるようになり、吹ける曲が増えると、ますます楽しくなる。	※ いろいろな形や大きさのオカリナがある。
■ 感想がないか尋ねる (> 終わりの言葉)	

1 森田さんは、国語の時間に、自分の特技についてスピーチをする準備をしています。次は、発表の際に使用する「フリフリン」と「ノート」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(フリフリンとノート)にある「1」から「3」は、発表の際に使う順番を表します。

(フリフリン) 森田さんは、聞き手に「演習をもつてもらうために、発表の中で、オカリナを演奏することにした。あなたなら、どのタイミングで演奏しますか。次の「演奏するタイミング」のA、Bから一つ選び、どちらの「演奏するタイミング」を選んで、読み流して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしても構いません。

問題番号	解答類型
1	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① AとBのいずれか一つの「演奏するタイミング」を選んで、その記号を塗り潰している。 ② 【ノート】の内容と結びつけて、〈演奏するタイミング〉を選んだ理由を具体的に書いている。 ③ 五十字以上、八十字以内で書いている。

問題番号		解答類型		県反応率 (%)	全国反応率 (%)		正答
1	三	1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	55.8	56.2		◎
		2	条件①、②を満たし、条件③を満たさずに解答しているもの	0.6	0.2		
		3	条件①、③を満たし、条件②を満たさずに解答しているもの	33.8	34.6		
		9	上記以外の解答	6.0	6.2		
		0	無解答	3.8	2.8		
			正答率	55.8	56.2		

分析・考察

- 資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明することは、平成22年度の調査(中学校国語B②)においても課題があると分析されている。それを受け本設問では目的や状況、相手に応じてフリフリンを使って効果的に資料を提示する工夫について、その理由を根拠をもって説明する場面が設定されている。
- 設問三は、55.8%である。解答類型3の反応率は33.8%である。理由をノートの内容と結びつけて具体的に説明することができないことが原因であると考えられる。経年の課題とされている授業改善が継続して必要である。

授業改善のポイント

【聞き手の理解を促すために、作成した資料を目的や相手に合わせて再構成し、その理由を説明する】

スピーチやプレゼンテーションをする際には、話の要点を明らかにし、聞き手の理解を促すために、資料を効果的に活用する必要がある。同時にどのような資料を、どのタイミングで提示するのかを、事前に使用する目的や効果などを確認して考えることが大切である。

具体的には、聞き手の理解を促すために作成した資料を目的や相手に応じて再構成し、その理由を説明しながら報告し合う活動を取り入れる。報告の際には、なぜそうするかが説明できるよう考えさせることに重点を置く。また、相手や目的を変えて2回報告をし合う機会を取り入れる。2回の内容を比較することにより、資料の有効性を確認することが大切である。

(参照) 平成22年度【中学校】「授業アイディア例」P5

問題番号	解答類型
3	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 最後の一文があった方がよいか、ない方がよいかを明確にして、自分の考えを書いている。 ② 話の展開を適切に取り上げて、理由を書いている。 ③ 五十字以上、八十字以内で書いている。

問題番号	解答類型	県立率 (%)	全国立率 (%)	正答
3	1 条件①、②、③を満たして解答しているもの	26.2	31.1	◎
	2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないうで解答しているもの	0.5	0.1	
	3 条件①、③を満たし、条件②を満たさないうで解答しているもの	59.3	54.1	
	4 条件②、③を満たし、条件①を満たさないうで解答しているもの	0.0	0.2	
	9 上記以外の解答	2.9	3.3	
	0 無解答	11.1	11.2	
	正答率	26.2	31.1	

分析・考察

○経年の課題として、文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことがある。本設問では、最後の一文がある場合とない場合とで読み手が受ける印象がどのように違うかを捉えた上で、どちらかの立場に立ち、話の展開を根拠に自分の考えを書くことが求められている。正答率は26.2%であり、引き続き課題があると考えられる。

○解答類型3の反応率は59.3%であった。最後の一文があったほうがよいか、ない方がよいかについて、自分の考えとその理由は書いているが、話の展開を取り上げて書くことができていない、あるいは、話の展開を取り上げているだけで、理由を書くことができていないという実態がうかがえる。自分の考えを相手に説得できるように説明するための根拠として、話の展開を取り上げることに大きな課題があると考えられる。

授業改善のポイント

【文章の展開について、根拠を明確にして自分の考えをもち、相手に説得的に伝える】

文学的な文章は、文章の展開の工夫が面白さの要因の一つとなっていることがある。また、個々の場面を豊かに想像しながら読むことは、作品への理解を深めるとともに、読書の楽しさを広げることにつながる。

文章の展開について自分の考えをもたせるためには、作品の全体像を捉えた上で場面の役割等を分析的に考えさせる必要がある。例えば、この場面がなかったらどのように作品全体の印象が変わるかなどについて、根拠を示しながら書いたり、話し合ったりする学習活動が考えられる。その際、自分の考えを支える根拠が明確に示されているかどうかを検討することが大切である。

指導に当たっては、第2学年「読むこと」の言語活動例ア「詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること」を具体化して行う。

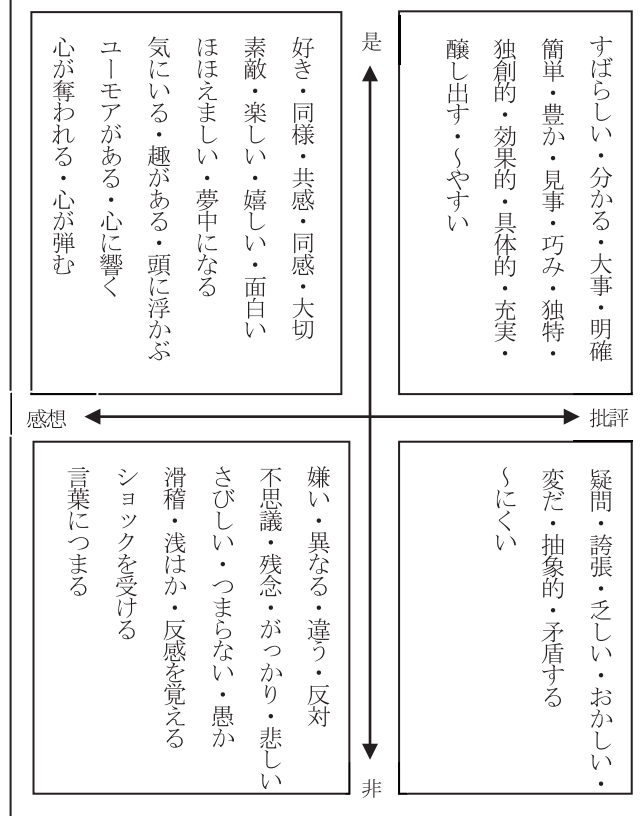
生徒の思考や判断を促すために、感想語彙の使い分けに着目させる方法が考えられる。(右図参照) 例えば単に「共感」などの語を使えばよいということではなく、何に着目してどのように考えて判断した結果「共感」という感想に至ったのかを明らかにすることである。

自分の考えを明確にした後、それぞれが着目した感想や比較した内容についてグループで交流を行う。その際、自分の考えの根拠が相手に説得的に伝わったか、相手の考えの根拠が自分は納得できたのかという点に注意させながら交流させることで、自分のものの見方や考え方をより広くさせたり深くさせたりすることが大切である。

(参照) 言語活動の充実に関する指導事例集

(中学校版) P45, 46

【感想や批評に関する語彙の使い分けの例】



5 中学校 数学 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 数学Aについて、県と全国平均正答率の比較（±0.0ポイント）等から、全国平均と同等であることがうかがえる。
- 数学Bについて、県と全国平均正答率の比較（－0.3ポイント）等から、全国平均よりやや下位の結果であることがうかがえる。

■平成 27 年度調査結果の集計値

中学校数学A	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,602	69	23.2 / 36	64.4	0.0
全国(公立)	1,016,737	9,687	23.2 / 36	64.4	

中学校数学B	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,602	69	6.2 / 15	41.3	▲0.3
全国(公立)	1,016,548	9,687	6.2 / 15	41.6	

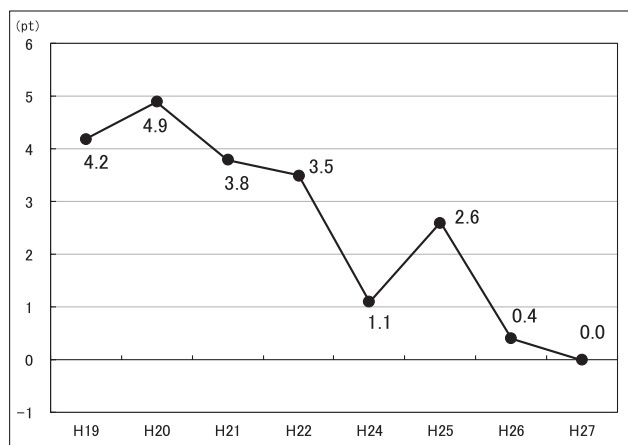
■平成 19 年度～平成 27 年度の県と全国の調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

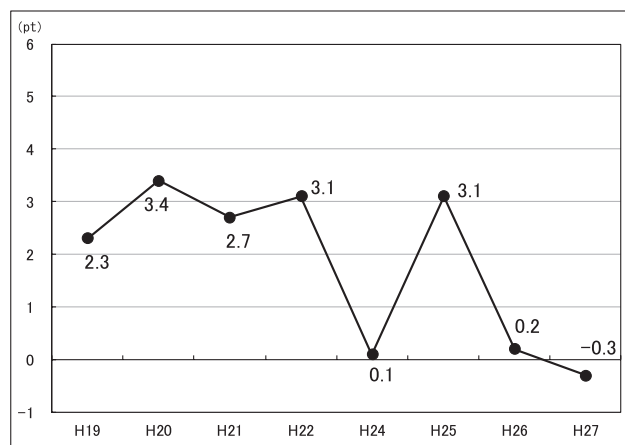
中学校数学A	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率 (%)	76.1	68.0	66.5	68.1	63.2	66.3	67.8	64.4
全国(公立)平均正答率 (%)	71.9	63.1	62.7	64.6	62.1	63.7	67.4	64.4
県と全国の差 (pt)	4.2	4.9	3.8	3.5	1.1	2.6	0.4	0.0

中学校数学B	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)平均正答率 (%)	62.9	52.6	59.6	46.4	49.4	44.6	60.0	41.3
全国(公立)平均正答率 (%)	60.6	49.2	56.9	43.3	49.3	41.5	59.8	41.6
県と全国の差 (pt)	2.3	3.4	2.7	3.1	0.1	3.1	0.2	▲0.3

県と全国平均正答率の差の推移【数学A】



県と全国平均正答率の差の推移【数学B】



■平成 27 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域	数学 A				数学 B			
	数と式	図形	関数	資料の活用	数と式	図形	関数	資料の活用
県(公立) 平均正答率(%)	68.4	63.1	61.4	62.4	63.5	38.2	31.0	29.1
全国(公立) 平均正答率(%)	67.7	63.4	61.7	63.0	63.2	39.0	30.7	31.2
県と全国との差(pt)	0.7	▲0.3	▲0.3	▲0.6	0.3	▲0.8	0.3	▲2.1

■平成 19 年度～平成 27 年度の領域別調査結果

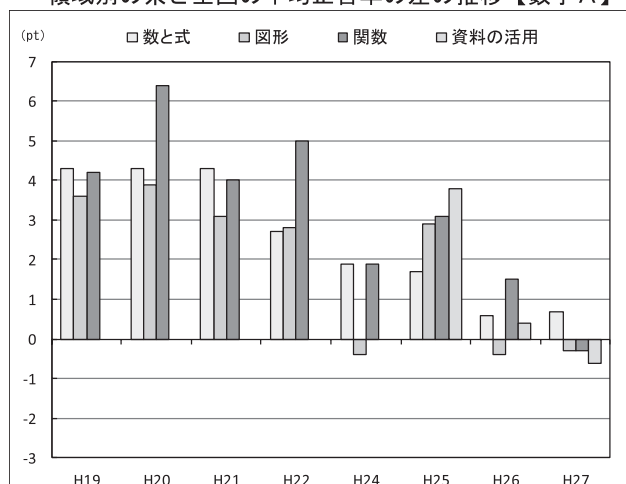
※H22・24 年度は抽出調査

数学 A	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	数と式	県(%)	78.7	72.3	71.6	77.9	69.4	74.4	78.0	68.4
		国(%)	74.4	68.0	67.3	75.2	67.5	72.7	77.4	67.7
		差(pt)	4.3	4.3	4.3	2.7	1.9	1.7	0.6	0.7
	図形	県(%)	79.1	66.6	67.7	67.1	66.3	67.5	66.0	63.1
		国(%)	75.5	62.7	64.6	64.3	66.7	64.6	66.4	63.4
		差(pt)	3.6	3.9	3.1	2.8	▲0.4	2.9	▲0.4	▲0.3
	関数	県(%)	70.1	65.0	60.2	59.3	54.0	61.8	59.5	61.4
		国(%)	65.9	58.6	56.2	54.3	52.1	58.7	58.0	61.7
		差(pt)	4.2	6.4	4.0	5.0	1.9	3.1	1.5	▲0.3
	資料の活用	県(%)						50.6	59.5	62.4
		国(%)						46.8	59.1	63.0
		差(pt)						3.8	0.4	▲0.6

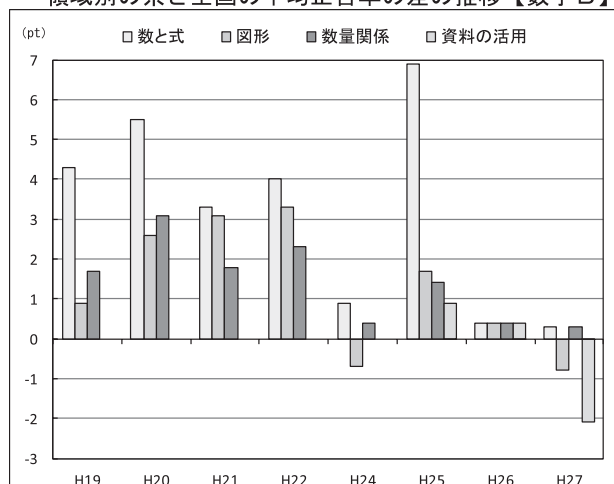
数学 B	年度		H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	数と式	県(%)	52.5	59.7	64.7	47.2	41.8	48.6	58.7	63.5
		国(%)	48.2	54.3	61.4	43.2	40.9	41.7	56.9	63.2
		差(pt)	4.3	5.4	3.3	4.0	0.9	6.9	1.8	0.3
	図形	県(%)	54.0	60.2	60.6	43.5	59.0	46.5	59.1	38.2
		国(%)	53.1	57.6	57.5	40.2	59.7	44.8	58.6	39.0
		差(pt)	0.9	2.6	3.1	3.3	▲0.7	1.7	0.5	▲0.8
	関数	県(%)	69.6	47.8	55.9	47.8	40.2	41.4	63.7	31.0
		国(%)	67.9	44.7	54.1	45.5	39.8	40.0	64.4	30.7
		差(pt)	1.7	3.1	1.8	2.3	0.4	1.4	▲0.7	0.3
	資料の活用	県(%)						43.1	54.9	29.1
		国(%)						42.2	55.9	31.2
		差(pt)						0.9	▲1.0	▲2.1

Ⅲ
中
学

領域別の県と全国平均正答率の差の推移【数学 A】



領域別の県と全国平均正答率の差の推移【数学 B】



■設問別調査結果【数学A】

平成27年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

設問別調査結果【数学A:主として知識】

香川県一生徒(公立)

・以下の集計値ノグラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	香川県(公立)	全国(公立)
	69	9,687		8,602	1,016,737
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	香川ー全国(pt)
学習指導要領の領域	全体	36	64.4	64.4	0.0
	数と式	12	68.4	67.7	0.7
	図形	12	63.1	63.4	-0.3
	関数	8	61.4	61.7	-0.3
	資料の活用	4	62.4	63.0	-0.6
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	17	65.2	65.0	0.2
	数量や図形などについての知識・理解	19	63.7	63.9	-0.2
問題形式	選択式	19	64.6	64.6	0.0
	短答式	17	64.2	64.2	0.0
	記述式	0			

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国(pt)	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率
1(1)	12:9と等しい比を選ぶ	比の意味を理解している	小6数量(1)								○	○		91.2	93.6	0.3	0.1	-2.4	0.2
1(2)	$12-2\times(-6)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる	1(1)ウ						○			○		83.0	83.7	2.0	1.2	-0.7	0.8
1(3)	a が正の数のとき、 $a\times(-2)$ の結果について、正しい記述を選ぶ	正の数と負の数の乗法について理解している	1(1)イ							○	○			78.5	75.7	0.5	0.3	2.8	0.2
1(4)	ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温との差から、前日の最低気温を求める	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	1(1)アエ							○		○		75.3	75.4	2.1	1.3	-0.1	0.8
2(1)	$5x-x$ を計算する	一次式の減法の計算ができる	1(2)ウ						○			○		84.7	85.3	2.7	1.6	-0.6	1.1
2(2)	赤いテープの長さが a cmで、白いテープの長さの $3/5$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	1(2)エ						○			○		22.8	22.2	7.9	9.0	0.6	-1.1
2(3)	等式 $2x-y=5$ を y について解く	等式を目的に応じて変形することができる	2(1)ウ						○			○		69.4	64.2	6.8	6.8	5.2	0.0
2(4)	連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n とすると、それらの和が中央の整数の3倍になることを、 n を用いた式で表す	文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解している	2(1)イ							○		○		56.3	57.0	8.7	7.9	-0.7	0.8
3(1)	一元一次方程式 $7x=5x+4$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	1(3)イ							○	○			79.0	79.4	0.8	0.5	-0.4	0.3
3(2)	一元一次方程式 $1.2x-6=0.5x+1$ を解く	小数を含む一元一次方程式を解くことができる	1(3)ウ						○			○		75.2	73.8	8.2	7.1	1.4	1.1
3(3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる	2(2)ウ						○		○			49.5	44.9	1.1	0.9	4.6	0.2
3(4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 4x+2y=5 \\ x+y=2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ						○			○		55.6	56.8	11.6	10.4	-1.2	1.2
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	1(1)ア							○	○			58.1	59.1	1.3	1.0	-1.0	0.3
4(2)	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に4cm平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる	1(1)イ						○			○		54.3	54.5	3.0	2.2	-0.2	0.8
5(1)	直方体において、与えられた辺に垂直な面を書く	空間における直線と平面の垂直について理解している	1(2)ア							○		○		46.9	47.4	3.0	1.9	-0.5	1.1
5(2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ	直角三角形の斜辺を軸とする回転によって構成される空間図形の形を理解している	1(2)イ							○	○			82.7	83.4	0.7	0.3	-0.7	0.4
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	与えられた投影図から空間図形を読み取ることができる	1(2)イ						○			○		81.1	83.8	0.8	0.4	-2.7	0.4
5(4)	与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ	与えられた式を用いて体積を求めることができる立体を理解している	1(2)ウ							○	○			57.3	56.4	1.8	1.4	0.9	0.4
6(1)	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	同位角の意味を理解している	2(1)ア							○	○			79.0	80.3	0.9	0.4	-1.3	0.5
6(2)	四角形を五角形に変えたときの、内角の和の変化について正しい記述を選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	2(1)イ							○	○			68.6	69.7	1.5	0.9	-1.1	0.6
7(1)	ひし形ABCDにおいて、 $AC\perp BD$ が表す性質を選ぶ	ひし形の「対角線は垂直に交わる」という性質を、記号を用いた表現から読み取ることができる	2(2)ウ						○			○		74.3	76.1	1.0	0.5	-1.8	0.5
7(2)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア							○		○		74.3	76.1	8.1	6.8	-1.8	1.3
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している	2(2)ウ							○	○			52.4	48.1	1.7	0.9	4.3	0.8
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	2(1)ア (2)イ							○	○			28.2	25.8	1.9	1.2	2.4	0.7
9	y が x の関数でない事象を選ぶ	関数の意味を理解している	1(1)ア							○	○			81.5	81.5	1.5	0.9	0.0	0.6

10 (1)	反比例のグラフを選ぶ	反比例のグラフが x 軸、 y 軸に限りなく近づく2つのなめらかな曲線であることを理解している			1 (1) エ					○	○		61.5	61.7	1.8	1.2	-0.2	0.6
10 (2)	比例 $y=2x$ のグラフ上の点 A の x 座標が3のときの y 座標を求める	与えられた比例の式について、そのグラフ上の点の x 座標を基に y 座標を求めることができる			1 (1) ウ、エ					○		○	65.8	64.9	9.5	9.8	0.9	-0.3
10 (3)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる			1 (1) エ					○		○	50.4	49.3	15.2	17.2	1.1	-2.0
11	一次関数の表から、 x と y の関係を表した式を選ぶ	一次関数の表から、 x と y の関係を式で表すことができる			2 (1) イ					○		○	65.0	64.7	1.8	1.4	0.3	0.4
12 (1)	時間と道のりの関係を表すグラフから、速さが最も速い区間を選ぶ	時間と道のりの関係を表すグラフについて、グラフの傾きが速さを表すことを理解している			2 (1) イ						○	○	50.1	49.9	1.9	1.3	0.2	0.6
12 (2)	時間と道のりの関係を表すグラフを基に、出発してから15分後にいる地点までの家からの道のりを求める	時間と道のりの関係を表すグラフから、与えられた時間における道のりを読み取ることができる			2 (1) イ					○		○	82.8	83.8	9.0	8.5	-1.0	0.5
13	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している			2 (1) ウ						○	○	34.0	37.9	2.8	2.3	-3.9	0.5
14 (1)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる			1 (1) ア					○		○	40.3	46.0	9.7	9.7	-5.7	0.0
14 (2)	度数分布表について、ある階級の度数を求める	与えられた資料の度数分布表について、ある階級の度数を求めることができる			1 (1) ア					○		○	77.1	75.9	9.4	9.4	1.2	0.0
15 (1)	セットメニューの選び方の総数を求める	起こり得る場合を順序よく整理し、場合の数を求めることができる			小6 数量 (5)					○		○	76.6	74.8	6.1	5.2	1.8	0.9
15 (2)	さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している			2 (1) ア						○	○	55.7	55.4	2.7	2.1	0.3	0.6

■設問別調査結果【数学B】

平成27年度全国学力・学習状況調査

設問別調査結果【数学B：主として活用】

香川県一生涯（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	69	9,687		8,602	1,016,548
分類	区分	対象設問数 （問）	平均正答率（％）		香川－全国（pt）
			香川県（公立）	全国（公立）	
学習指導要領の領域	全体	15	41.3	41.6	-0.3
	数と式	4	63.5	63.2	0.3
	図形	4	38.2	39.0	-0.8
	関数	5	31.0	30.7	0.3
	資料の活用	2	29.1	31.2	-2.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	13	42.6	42.8	-0.2
	数学的な技能	2	33.1	34.2	-1.1
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	4	46.2	47.9	-1.7
	短答式	4	45.8	47.4	-1.6
	記述式	7	35.9	34.8	1.1

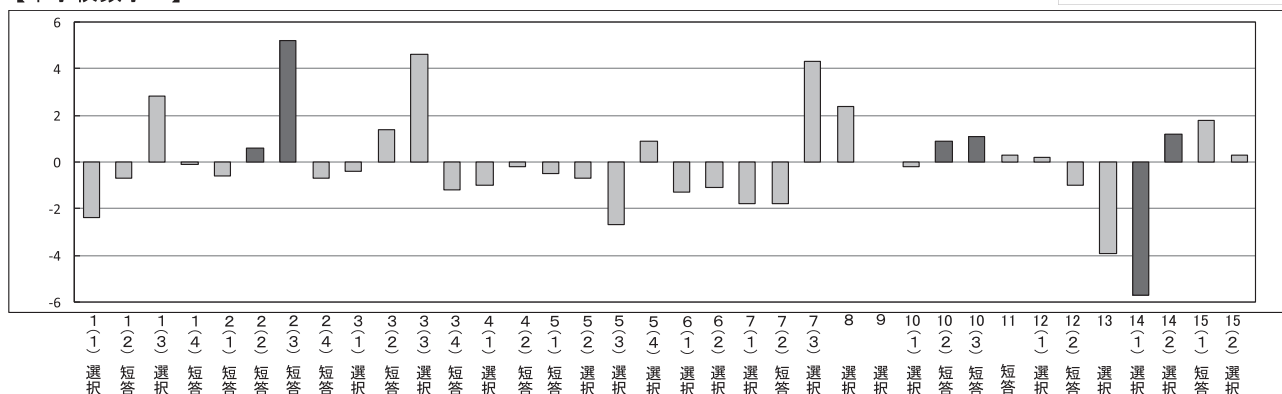
※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)		香川ー全国 (pt)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率
1（１）	投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			1 (1) エ、オ			○			○		30.8	29.3	20.8	21.1	1.5	-0.3
1（２）	投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ	必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる			1 (1) エ、オ			○			○		34.7	35.1	1.2	0.9	-0.4	0.3
1（３）	映像の明るさを２倍にするための投映画面の面積の表え方を選び、その理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる			1 (1) エ、オ			○			○		14.4	11.7	5.9	5.6	2.7	0.3
2（１）	連続する３つの整数が１９、２０、２１のとき、それらの和が中央の整数の３倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2 (1) イ、ウ					○			○		77.1	78.8	7.4	6.0	-1.7	1.4
2（２）	連続する３つの整数の和が中央の整数の３倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	2 (1) イ、ウ					○			○		45.0	43.1	23.1	24.0	1.9	-0.9
2（３）	連続する５つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	2 (1) イ、ウ					○			○		65.2	63.8	19.0	19.4	1.4	-0.4
3（１）	ポップアップカードを９０°に開いたとき、四角形ＥＦＧＨが正方形になる場合のＥＦの長さを求める	平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる	1 (2) イ 2 (2) ウ					○			○		39.9	42.6	10.0	8.7	-2.7	1.3
3（２）	四角形ＥＦＧＨがいつでも平行四辺形になるように点Ｆの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することができる	1 (2) イ 2 (2) ウ					○			○		22.3	21.2	45.4	48.2	1.1	-2.8
4（１）	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる	2 (2) ア、ウ					○			○		40.6	42.5	2.0	1.2	-1.9	0.8
4（２）	正方形ＡＢＣＤを平行四辺形ＡＢＣＤに変えても、ＡＥ＝ＣＦとなることの証明を完成する	発展的に考え、条件を変えた場合について証明することができる	2 (2) イ、ウ					○			○		49.8	49.6	20.9	18.6	0.2	2.3
5（１）	１回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			小5 数量 (3) 1 (1) イ			○	*		○		35.4	39.1	26.5	26.8	-3.7	-0.3
5（２）	２回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言いきれないと主張することでもできる理由を、グラフを基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1 (1) イ			○			○		22.7	23.3	29.1	29.7	-0.6	-0.6
5（３）	記名のある落とし物を１個１点、ない落とし物を１個２点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することができる	2 (1) イ					○			○		66.8	67.3	2.2	1.5	-0.5	0.7
6（１）	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における２つの数量の関係が比例であることを判断できる	2 (1) イ					○			○		42.8	46.5	2.0	1.3	-3.7	0.7
6（２）	底面になる円の半径の長さが9cmのとき、表や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する	与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	2 (1) イ					○			○		32.2	30.8	14.9	17.1	1.4	-2.2

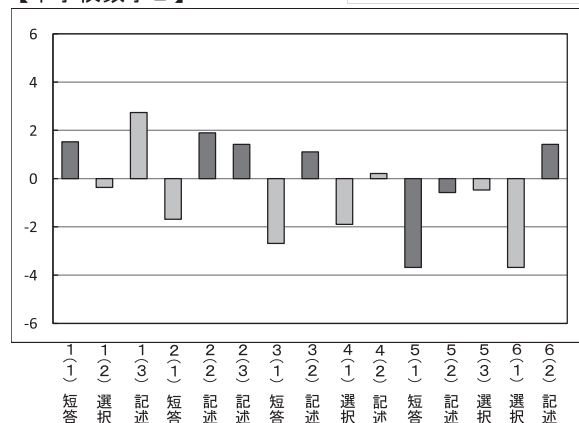
- 中学校数学の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、51問中3問(5.9%)であった。
- 中学校数学の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、51問中4問(7.8%)であった。
- 中学校数学の調査において、正答率が50%以下であった設問は、51問中18問(35.3%)であった。

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と式	数学への関心・意欲・態度	選択式：選択
図形	数学的な見方や考え方	短答式：短答
関数	数学的な技能	記述式：記述
資料の活用	数量や図形についての知識・理解	

■ 無解答率が全国平均より高い設問



■ 無解答率が全国平均より高い設問



【中学校数学A】（全36問中3問）

設問 番号	設問の概要	領域	評価 観点	問題 形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との 差 (pt)
2 (3)	等式 $2x - y = 5$ を y について解く	数式	技能	短答	69.4	6.8	5.2
3 (3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	数式	技能	選択	49.5	1.1	4.6
7 (3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	図形	知識	選択	52.4	1.7	4.3

【中学校数学A】（全36問中2問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	正答率(%)	無解答率(%)	全国との差(pt)
13	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	関数	知識	選択	34.0	2.8	▲3.9
14(1)	反復横とびの記録の中央値を求める	資活	技能	短答	40.3	9.7	▲5.7

【中学校数学B】（全 15 問中 2 問）

設問 番号	設問の概要	領域	評価 観点	問題 形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との 差(pt)
5（1）	1 回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える	資活	技能	短答	35.4	26.5	▲3.7
6（1）	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について、正しい記述を選ぶ	関数	考え	選択	42.8	2.0	▲3.7

■正答率が低い設問（50%以下）

【中学校数学A】（全 36 問中 6 問）

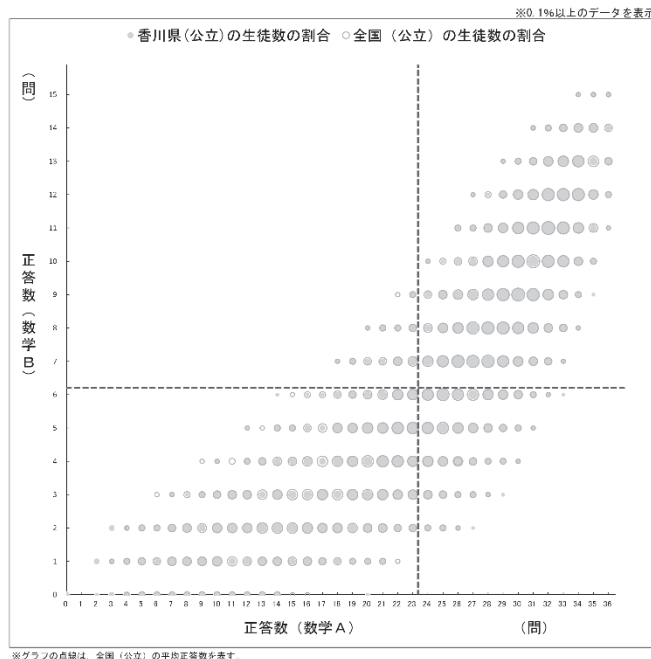
設問 番号	設問の概要	領域	評価 観点	問題 形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との 差(pt)
2（2）	赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $3/5$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す	数式	技能	短答	22.8	7.9	0.6
3（3）	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	数式	技能	選択	49.5	1.1	4.6
5（1）	直方体において、与えられた辺に垂直な面を書く	図形	知識	短答	46.9	3.0	▲0.5
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	図形	知識	選択	28.2	1.9	2.4
13	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	関数	知識	選択	34.0	2.8	▲3.9
14（1）	反復横とびの記録の中央値を求める	資活	技能	短答	40.3	9.7	▲5.7

【中学校数学B】（全 15 問中 12 問）

設問 番号	設問の概要	領域	評価 観点	問題 形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との 差(pt)
1（1）	投影距離と投影画面の高さの関係を式で表す	関数	技能	短答	30.8	20.8	1.5
1（2）	投影画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投影距離を選ぶ	関数	考え	選択	34.7	1.2	▲0.4
1（3）	映像の明るさを 2 倍にするための投影画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する	関数	考え	記述	14.4	5.9	2.7
2（2）	連続する 3 つの整数の和が中央の整数の 3 倍になることの説明を完成する	数式	考え	記述	45.0	23.1	1.9
3（1）	ポップアップカードを 90° に開いたとき、 四角形 EFGH が正方形になる場合の EF の長さを求める	図形	考え	短答	39.9	10.0	▲2.7
3（2）	四角形 EFGH がいつでも平行四辺形になるように点 F の位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形	考え	記述	22.3	45.4	1.1
4（1）	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ	図形	考え	選択	40.6	2.0	▲1.9
4（2）	正方形 ABCD を平行四辺形 ABCD' に変えても、 $AE=CF$ となることの証明を完成する	図形	考え	記述	49.8	20.9	0.2
5（1）	1 回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える	資活	技能	短答	35.4	26.5	▲3.7
5（2）	2 回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言いきれないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する	資活	考え	記述	22.7	29.1	▲0.6
6（1）	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について、正しい記述を選ぶ	関数	考え	選択	42.8	2.0	▲3.7
6（2）	底面になる円の半径の長さが 8 cm のとき、表や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する	関数	考え	記述	32.2	14.9	1.4

■中学校 数学A－数学Bの相関

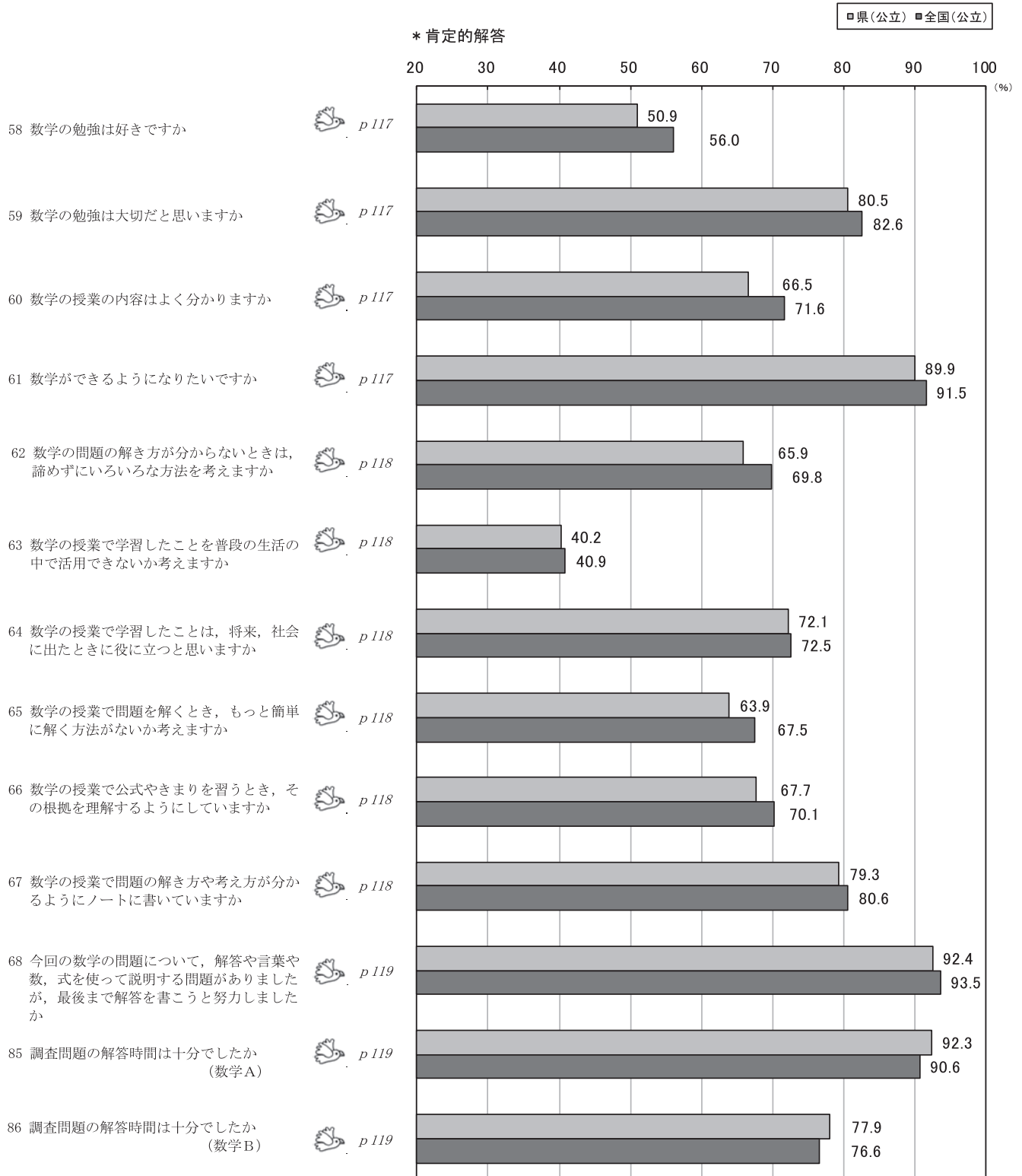
生徒数		8,591	
全国（公立）数学A平均正答数		23.2	
全国（公立）数学B平均正答数		6.2	
生徒の正答数分布状況 (左:児童数 右:児童数の割合(%))	数学A・数学Bともに平均以上	3,563	41.5
	数学Aは平均以上 数学Bは平均未満	1,219	14.2
	数学Aは平均未満 数学Bは平均以上	274	3.2
	数学A・数学Bともに平均未満	3,535	41.1
相関係数		0.809	



学 習 意 欲

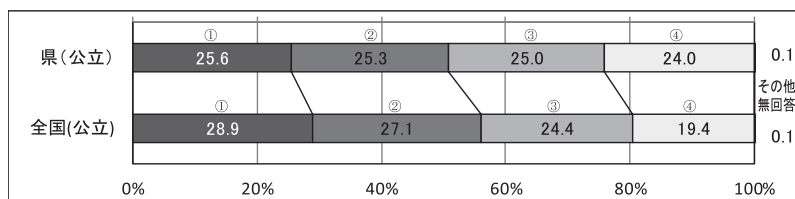
- 「58 数学の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて低い。
- 「60 数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて低い。

■学習意欲（中学校数学）に関わる質問の全国との比較



□58 数学の勉強は好きですか

p 117

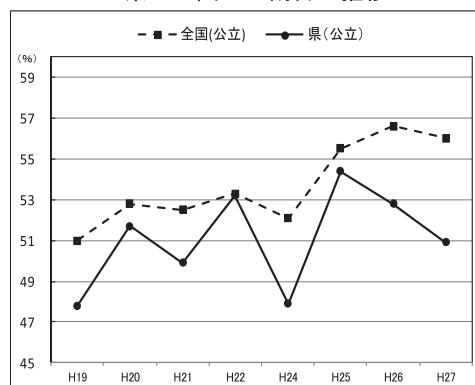


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

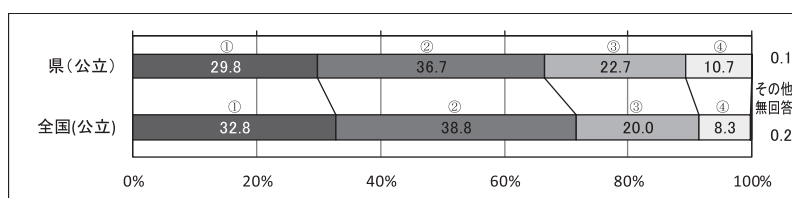
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	47.8	51.7	49.9	53.2	47.9	54.4	52.8	50.9
全国(公立)	51.0	52.8	52.5	53.3	52.1	55.5	56.6	56.0
県と全国の差	▲3.2	▲1.1	▲2.6	▲0.1	▲4.2	▲1.1	▲3.8	▲5.1

質問 58 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□60 数学の授業の内容はよく分かりますか

p 117

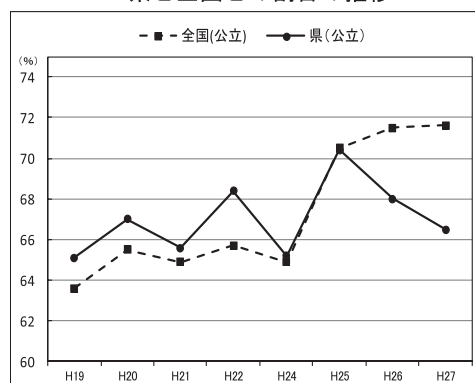


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

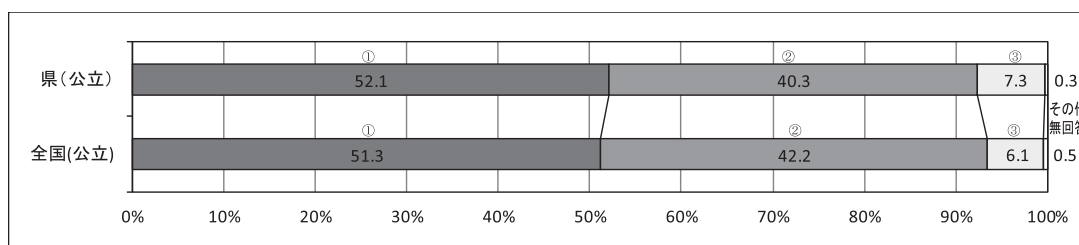
	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
県(公立)	65.1	67.0	65.6	68.4	65.2	70.4	68.0	66.5
全国(公立)	63.6	65.5	64.9	65.7	64.9	70.5	71.5	71.6
県と全国の差	1.5	1.5	0.7	2.7	0.3	▲0.1	▲3.5	▲5.1

質問 60 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□68 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました、最後まで解答を書こうと努力しましたか

p 119



①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答がなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった ③書く問題は全く解答しなかった

中学校数学 A

調査結果から授業改善へ

具体的な事象の中に見いだした数量の関係を、文字を用いた式で適切に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学A 2 (4)

(4) 次の問題について考えます。

問題

「連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍になる」
ことを、文字式を使って説明しなさい。

連続する3つの整数の和は、例えば、
 $1, 2, 3$ のとき $1 + 2 + 3 = 6$
 となり、6は中央の整数である2の3倍です。

「連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍になる」ことは、次のように考えると、説明することができます。

- ① 連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n として、
連続する3つの整数を n , $n+1$, $n+2$ と表す。
- ② それらの和が中央の整数の3倍になることを示すために、
それらの和を $3 \times (\text{□})$ の形の式に変形する。

このとき、上の に当てはまる式を、 n を用いて書きなさい。

問題 番号	解答類型		県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答
2 (4)	1	$n + 1$ と解答しているもの	56.3	57.0	◎
	2	n と解答しているもの	2.2	1.9	
	3	$n + 2$ と解答しているもの	4.1	3.8	
	4	言葉を用いて中央の整数になることを解答しているもの	0.0	0.0	
	5	上記4以外で、整数という言葉を用いて解答しているもの	0.0	0.1	
	9	上記以外の解答	28.5	29.4	
	0	無解答	8.7	7.9	
	正答率		56.3	57.0	

分析・考察

- 2(4)の設問は、文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解し、適切に表現できるかどうかをみる問題である。本県の（正答率／無解答率）は（56.3％／8.7％）であり、全国の正答率を0.7ポイント下回っている。解答類型9の反応率が28.5％と高く、 n や $n+2$ 以外の誤答も様々にあると考えられる等、課題がうかがえる。
- 本設問を受ける形で、本年度はB2(2)において、連続する3つの整数の和が、中央の数の3倍になることを説明する問題が出題されたが、本県の正答率は45.0％であった。決して正答率が高いとは言えないが、平成24年度調査B2(1)に出題された同趣旨の説明する問題における本県の正答率40.4％と比べると、本年度の正答率が4.6ポイント上回っていることがわかる。このことから、事柄が成り立つ理由を説明する際には、本設問のように、まず説明するための構想を立て、それを文字式で表現させておくことが有効であることがうかがえる。

授業改善のポイント

【文字式と具体的な数を関連付けたり，説明のための構想を文字式で表現したりできるようにする】

指導に当たっては、文字を用いた式で数量及び数量の関係を表すことができるようにするために、具体的な数で考えさせたり、文字を用いて説明するための構想を立て、それを文字式で表現したりする場面を設定することが考えられる。また、様々な誤答が考えられるため、それらを取り上げて正しく修正する活動を授業に取り入れることも大切である。

設問②(4)を使って授業を行う際には、まず事象を的確に捉えることができるように、1, 2, 3以外の連続する3つの整数をいくつか挙げさせ、連続する3つの整数の和は中央の整数の3倍になることを帰納的に理解させることが必要である。次に、一番小さい整数を n としたとき、中央の数や一番大きい数がどのように表されるかについて、例えば「5, 6, 7」を取り上げ、「5, $5+1$, $5+2$ 」とみることができ、連続する3つの整数は、 n , $n+1$, $n+2$ と表されることを理解させることが必要である。さらに、「中央の整数の3倍」であることは文字式を使うと $3 \times (n+1)$ と表されることについて、言葉の式($3 \times (\text{中央の整数})$)と併せて理解できるようにすることが大切である。また、連続する3つの整数のうち、真ん中の整数や最も大きい整数を n とした場合の説明の構想を立て、文字式で表現させた上で実際に説明させることも有効である。

反比例のグラフの特徴について、表や式と関連付けて理解できるようにする。

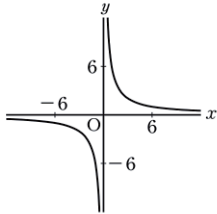
授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学 A 10 (1)

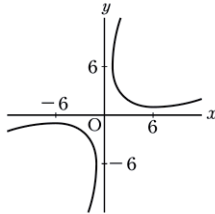
(1) 下のアからエまでの中に、反比例

$y = \frac{6}{x}$ のグラフがあります。
正しいものを1つ選びなさい。

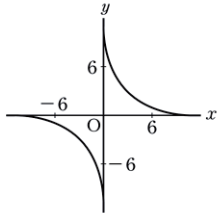
ア



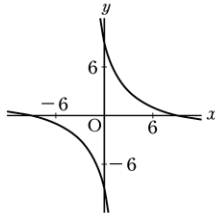
イ



ウ



エ



問題 番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答
10 (1)	1 ア と解答しているもの	61.5	61.7	◎
	2 イ と解答しているもの	8.4	8.3	
	3 ウ と解答しているもの	22.1	22.7	
	4 エ と解答しているもの	6.2	6.0	
	9 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	1.8	1.2	
	正答率	61.5	61.7	

【参考 平成 24 年度調査 A 10 (2) における選択肢と反応率】

	ア	イ	ウ	エ	オ
県	53.2%	9.8%	26.6%	5.3%	3.1%
国	52.2%	9.7%	27.7%	5.6%	3.4%

分析・考察

○10(1)の設問は、反比例のグラフが x 軸、 y 軸に限りなく近づく2つのなめらかな曲線であることを理解しているかどうかをみる問題である。

○本県の正答率は61.5%であり、全国の正答率を0.2ポイント下回っている。誤答については、「ウ」の反応率が22.1%であり、グラフを伸ばしていくと、最終的には x 軸や y 軸に重なっていくものと考えている生徒が4分の1程度いることがわかる。平成24年度調査 A 10 (2) に同趣旨の設問が出題されたが、本県の(正答率/「ウ」の反応率)は(53.2%/26.6%)であった。平成24年度の選択肢は5つあり、その種類も本年度とは異なるため、一概に改善傾向にあるとは言えない。一方、本年度の調査において、グラフの端が x 軸や y 軸から離れていたり、 x 軸や y 軸と交わったりすると考えている生徒が比較的多いことも判明し、反比例のグラフの端が x 軸、 y 軸に限りなく近づいていくが交わらないことの理解について課題があることが浮き彫りとなった。

授業改善のポイント

【反比例のグラフの特徴を表や式と関連付ける】

反比例のグラフは、 x 軸と y 軸のそれぞれに限りなく近づくが交わらない2つの曲線となることを理解できるようにするために、 x 、 y の値がともに整数となる座標についてのみ調べるのではなく、 x 、 y が整数でない場合や x の値が極端に大きい値や小さい値についても調べる活動を取り入れることが考えられる。例えば、 x の値を0.1刻みなど細かくとってグラフの通る点を調べる活動を通して、グラフがなめらかな曲線になることを確認したり、 x の値を限りなく大きくしても y の値が0とならないことを表や式から判断させたりすることが大切である。また、本設問を使って授業を行う際には、「「ア」のグラフを y 軸方向にさらに延ばすとどうなるか。」といった発問を行い、イ、ウ、エのようなグラフにはならない理由を、表や式を使って説明する活動を取り入れることが有効であると考えられる。

2 連続する3つの整数の和がどんな数になるかを調べます。

1, 2, 3 のとき $1 + 2 + 3 = 6 = 3 \times 2$
 3, 4, 5 のとき $3 + 4 + 5 = 12 = 3 \times 4$
 10, 11, 12 のとき $10 + 11 + 12 = 33 = 3 \times 11$

これらの結果から、次のように予想できます。

予想

連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍になる。

(3) 連続する3つの整数を、連続する5つの整数に変えた場合、その和がどんな数になるかを調べます。

1, 2, 3, 4, 5 のとき $1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15$
 5, 6, 7, 8, 9 のとき $5 + 6 + 7 + 8 + 9 = 35$
 14, 15, 16, 17, 18 のとき $14 + 15 + 16 + 17 + 18 = 80$
 ……

連続する5つの整数の和は、中央の整数に着目すると、どんな数になると予想できますか。前ページの予想のように、「～は、～になる。」という形で書きなさい。

問題番号	解答類型	県 反応 率 (%)	全国 反応 率 (%)	正 答
2 (3)	(正答の条件) 「○○は、◇◇になる。」という形で、次の(a), (b)または(a), (c)の条件を満たし、成り立つ事柄を記述している。 (a) ○○が、「連続する5つの整数の和」である。 (b) ◇◇が、「中央の整数の5倍」である。 (c) ◇◇が、「5の倍数」または「中央の整数の倍数」である。			
	(正答例) 例 連続する5つの整数の和は、中央の整数の5倍になる。 (解答類型1)			
	1 (a), (b)の条件を満たしているもの	60.8	58.8	◎
	2 (a)に関する記述が十分でなく、(b)の条件を満たしているもの	1.3	1.6	○
	4 (a), (c)の条件を満たしているもの	2.3	2.5	◎
	5 (a)に関する記述が十分でなく、(c)の条件を満たしているもの	0.3	0.4	○
	7 (a)の条件を満たし、(b), (c)以外に成り立つ事柄を記述しているもの	0.5	0.4	○
	0 無解答	19.0	19.4	
正答率		65.2	63.8	

分析・考察

- 2(3)の設問は出題された問題を発展的に考え、予想した事柄を説明することができるかどうかをみる問題である。
- 本県の(正答率/無解答率)は(65.2%/19.0%)であり、全国の正答率を1.4ポイント上回っている。過去の同趣旨の設問における本県の(正答率/無解答率)をみると、平成24年度B2(2)の、連続する3つの偶数の和が6の倍数になることを予想するという設問において、(56.8%/25.7%)であった。本年度も平成24年度も、問題を発展的に考えるという設問の前段階では、連続する3つの整数の和は、中央の数の3倍(平成24年度は、3の倍数)になることを説明する設問が設定されており、本県の(27年度正答率/24年度正答率)は、(45.0%/40.4%)であった。これらの結果から、発展的に考え、新たに予想した事柄を説明する際には、その前段階に設定されている、理由を説明する問題をきちんと理解させておくことも大切であることがうかがえる。

授業改善のポイント

【事柄を予想し、前提と結論を明確にして表現できるようにする】

数や図形に関する性質を考察する場面では、生徒自らが事柄を予想できるように指導することや、帰納したり類推したりして予想を立て、その予想について、前提と結論を明確にして表現できるように指導することが大切である。また、問題を解決した後、その条件を変える視点などを示し、生徒自らが新たな事柄を見いだすことができるように指導することも必要である。その際、変える条件(前提)と、その結果(結論)について関連付けて捉えられるようにすることが大切である。

指導に当たっては、文字式を用いて説明を行う際、まず、生徒が具体例を考える場面を設定した上で、どのようなことが予想できるかを議論する場面を設定し、生徒と共に前提と結論を確認し、それをノート等に「～は・・・である。」と命題の形で記述させることが大切である。また、予想する際には、正しい予想だけでなく、誤った予想も取り上げ、全体でそれらが正しいかどうかを説明する活動を取り入れることも有効である。

調査結果から授業改善へ

様々な情報の中から，課題の解決や自分の主張を説明する上で必要な情報を適切に選択し，的確に処理したり，判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりできるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

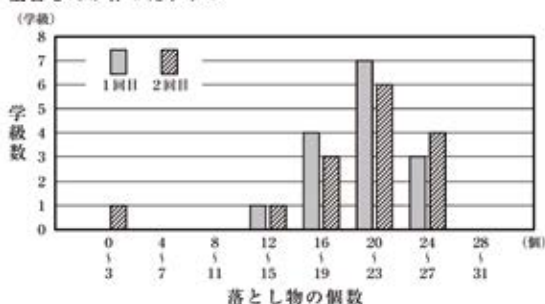
中学校 数学B 5 (1)，(2)

- 5 生活委員会では，落とし物を減らすために，全15学級で落とし物調査を行うことにしました。(中略)

拓也さんが作った表

		1回目	2回目
種類	文房具	201	212
	ハンカチ・タオル	49	28
	その他	55	50
落とし物の合計		305	290
落とし物の合計の平均値 (1学級あたりの落とし物の個数)		20.3	19.3

優香さんが作ったグラフ



- (1) 拓也さんが作った表の1回目の調査で，落とし物の合計のうち，文房具の占める割合を求める式を答えなさい。ただし，実際に割合を求める必要はありません。

- (2) 二人は，調査結果について話し合っています。

拓也さん「落とし物の合計の平均値が20.3個から19.3個に減ったから，1回目より2回目の方が落とし物の状況はよくなったね。」
優香さん「でも，平均値だけで判断していいのかな。グラフ全体を見ると，よくなったとは言いきれないよ。」

グラフを見ると，優香さんのように「1回目より2回目の方が落とし物の状況がよくなったとは言いきれない」と主張することもできます。そのように主張することができる理由を，優香さんが作ったグラフの1回目と2回目の調査結果を比較して説明しなさい。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
5 (1)	1 201÷305 または，201÷305 を用いた正しい式を解答しているもの	35.4	39.1	◎
	3 305÷201 または，305÷201 を用いた式を解答しているもの	16.7	13.8	
	0 無解答	26.5	26.8	
	正答率	35.4	39.1	

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)
5 (2)	0 無解答	29.1	29.7
	正答率	22.7	23.3

分析・考察

- 5(1)の設問は，与えられた情報から必要な情報を選択し，的確に処理することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は35.4%と全国の正答率を3.7ポイント下回っており，低い状況にある。また，表中の数のうち，解決に必要な情報(201と305)を選択できていないと思われる生徒が無解答を含めて50%近くおり，課題がうかがえる。
- 5(2)の設問は，資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は22.7%と全国の正答率を0.6ポイント下回っており，低い状況にある。正答の理由として，「落とし物が24～27個の学級が増えたから」が大部分を占めており，「落とし物が極端に少ない学級が平均値を下げていること」や「最頻値が変わらないこと」，「中央値が含まれる階級が変わらないこと」を理由に挙げている生徒はかなり少ない。判断の理由を多面的に考えることに課題があることも想定される。

授業改善のポイント

【代表値や相対度数などを求める必要性や意味を理解しやすい問題場面を設定する】

資料の傾向を読み取るために，目的意識をもって代表値や相対度数などを求める活動を通して，その必要性や意味を実感できるように問題場面を工夫することが大切である。例えば，総度数の異なる2つ以上の資料を比較する場面を取り上げ，階級の度数をそのまま比較することが適切でないことを理解させ，相対度数の必要性と意味について理解を深められるようにすることが考えられる。また，資料から読み取れる事柄について，平均値以外の代表値に目を向けさせたり，判断の理由をお互いに伝え合い，他者の主張を批判的に考察したりできるようにすることも大切である。

6 中学校 理科 <調査区分の分析・検証>

概 要

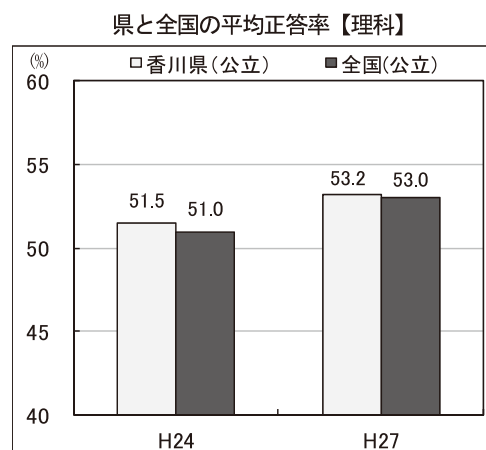
○ 理科について、県と全国の平均正答率の比較（+0.2 ポイント）等から、全国平均よりやや上位の結果であることがうかがえる。

■平成 27 年度調査結果の集計値

中学校理科	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差 (pt)
県 (公立)	8,612	69	13.3 / 25	53.2	0.2
全国(公立)	1,016,572	9,689	13.3 / 25	53.0	

■平成 24 年度と平成 27 年度の県と全国の調査結果

中学校理科	H24	H27
県(公立) 平均正答率 (%)	51.5	53.2
全国(公立) 平均正答率 (%)	51.0	53.0
県と全国の差 (pt)	0.5	0.2



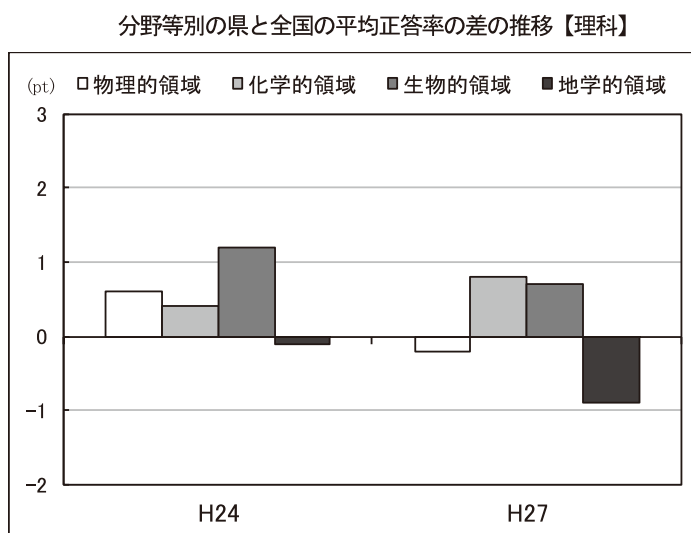
■平成 27 年度分野等別調査結果

学習指導要領の分野等	理科			
	物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
県 (公立) 平均正答率 (%)	48.7	57.0	62.9	45.5
全国(公立) 平均正答率 (%)	48.9	56.2	62.2	46.4
県と全国との差 (pt)	▲0.2	0.8	0.7	▲0.9

■平成 24 年度と平成 27 年度の分野等別調査結果

※H24 年度は抽出調査

理 科	年度		H24	H27
	物理的 領域	県(%)	46.5	48.7
		国(%)	45.9	48.9
		差(pt)	0.6	▲0.2
	化学的 領域	県(%)	57.3	57.0
		国(%)	56.9	56.2
		差(pt)	0.4	0.8
	生物的 領域	県(%)	51.9	62.9
		国(%)	50.7	62.2
		差(pt)	1.2	0.7
	地学的 領域	県(%)	51.9	45.5
		国(%)	52.0	46.4
差(pt)		▲0.1	▲0.9	



設問別調査結果【理科】

平成27年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

設問別調査結果【理科】

香川県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	69	9,689		8,612	1,016,572

分類	区分	対象設問数 （問）	平均正答率（%）		
			香川県（公立）	全国（公立）	香川－全国（pt）
	全体	25	53.2	53.0	0.2
枠組み	主として「知識」に関する問題	7	64.6	63.8	0.8
	主として「活用」に関する問題	18	48.7	48.8	-0.1
学習指導要領の分野等	第1分野 物理的領域	7	48.7	48.9	-0.2
	化学的領域	7	57.0	56.2	0.8
	生物学的領域	6	62.9	62.2	0.7
	地学的領域	6	45.5	46.4	-0.9
		0			
評価の観点	自然現象への関心・意欲・態度	0			
	科学的な思考・表現	18	48.7	48.8	-0.1
	観察・実験の技能	2	45.9	46.8	-0.9
	自然現象についての知識・理解	5	72.1	70.6	1.5
	選択式	16	52.5	53.1	-0.6
問題形式	短答式	4	63.4	61.6	1.8
	記述式	5	47.3	45.8	1.5

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

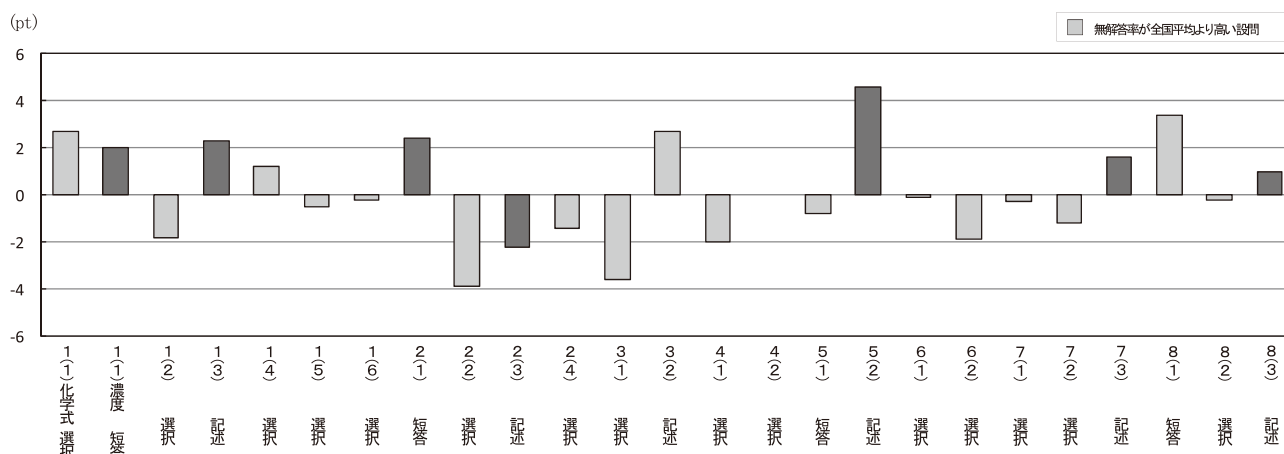
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	枠組み		学習指導要領の分野等				評価の観点				問題形式		正答率(%)		無解答率(%)		香川ー全国(pt)		
			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野 物理的領域	第2分野 化学的領域	第2分野 生物学的領域	第2分野 地学的領域	自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率
1(1)化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	塩化ナトリウムを化学式で表すことができる	○			(4)イ(ア)						○	○		82.3	79.6	0.4	0.3	2.7	0.1	
1(1)濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる	○			(2)イ(ア)					○		○		47.0	45.0	16.2	17.6	2.0	-1.4	
1(2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる	○			(2)イ(イ)				○				○	30.8	32.6	0.4	0.3	-1.8	0.1	
1(3)	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	○			(2)ア(イ)				○			○		55.3	53.0	16.9	18.8	2.3	-1.9	
1(4)	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから、温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ	グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることができる	○			(4)ア(ア) ウ(イ)				○			○		74.8	73.6	0.7	0.4	1.2	0.3	
1(5)	ベーキングパウダーの原材料で、気体の発生に関係しているのが、炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ	炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画することができる	○			(4)ア(ア)				○			○		51.2	51.7	1.1	0.8	-0.5	0.3	
1(6)	他者の考えを検討して改善し、炭酸水素ナトリウムとクエン酸の混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ	他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる	○			(4)ア(ア)				○			○		57.5	57.7	1.7	1.2	-0.2	0.5	
2(1)	天気図から風力を読み取る	天気図の記号から風力を読み取ることができる	○			(4)ア(ア)						○	○		80.3	77.9	9.0	9.0	2.4	0.0	
2(2)	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	天気図の記号から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測することができる	○			(4)ア(ア)					○		○		44.7	48.6	0.8	0.5	-3.9	0.3	
2(3)	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができる	○			(4)イ(ア)				○			○		12.3	14.5	6.5	6.7	-2.2	-0.2	
2(4)	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を推論する	気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画することができる	○	(1)イ(イ)		(4)イ(ア)				○			○		60.8	62.2	0.8	0.5	-1.4	0.3	
3(1)	13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ	露点を測定する場面において、最も高い湿度の時刻を指摘することができる				(4)ア(ア) イ(ア)				○			○		32.9	36.5	1.0	0.6	-3.6	0.4	
3(2)	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる	○			(4)イ(ア)				○			○		41.7	39.0	1.2	0.8	2.7	0.4	
4(1)	実験の結果から、凸レンズによる実像ができるときの、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することができる	○	(1)ア(イ)						○			○		41.7	43.7	1.0	0.6	-2.0	0.4	
4(2)	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ	他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明することができる	○	(1)ア(イ)						○			○		50.3	50.3	1.6	1.1	0.0	0.5	
5(1)	抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○	(3)ア(イ)								○	○		58.8	59.6	18.5	15.6	-0.8	2.9	
5(2)	電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができる		(3)イ(ウ)						○			○		61.4	56.8	27.0	30.7	4.6	-3.7	
6(1)	音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる	○	(1)ア(ウ)						○			○		40.0	40.1	1.5	0.8	-0.1	0.7	
6(2)	音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することができる		(1)ア(ウ)						○			○		28.0	29.9	1.5	1.0	-1.9	0.5	
7(1)	消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名称を表すことができる	○			(3)イ(ア)									71.9	72.2	1.6	0.9	-0.3	0.7	
7(2)	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘することができる	○			(3)イ(ア)				○			○		75.2	76.4	1.7	1.1	-1.2	0.6	
7(3)	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する	見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができる	○			(3)イ(ア)				○			○		58.9	57.3	25.6	27.8	1.6	-2.2	
8(1)	背骨のある動物の名称を答える	背骨のある動物を、セキツイ動物と表すことができる	○			(3)ウ(ア) イ(ア)									67.3	63.9	11.3	10.4	3.4	0.9	
8(2)	えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	平均値を求める場面において、平均値を求める理由を説明することができる	○			(3)イ(ア)				○			○		55.5	55.7	2.0	1.4	-0.2	0.6	
8(3)	課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する	他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述することができる				(3)イ(ア)				○			○		48.4	47.4	23.3	25.5	1.0	-2.2	

調査結果に特徴のうかがえる設問

- 中学校理科の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、25問中2問（8.0%）であった。
- 中学校理科の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、25問中2問（8.0%）であった。
- 中学校理科の調査において、正答率が50%以下であった設問は、25問中10問（40.0%）であった。

■設問別の県と全国の高正答率の差

【分野等】	【評価観点】	【問題形式】
物理的領域：物理 化学的領域：化学 生物的領域：生物 地学的領域：地学	自然現象への関心・意欲・態度：関心 科学的な思考・表現：思考 観察・実験の技能：技能 自然現象についての知識・理解：知識	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問（全25問中2問）

設問番号	設問の概要	枠組み	分野等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
5 (2)	電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	活用	物理	思考	記述	61.4	27.0	4.6
8 (1)	背骨のある動物の名称を答える	知識	生物	知識	短答	67.3	11.3	3.4

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問（全25問中2問）

設問番号	設問の概要	枠組み	分野等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
2 (2)	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	知識	地学	技能	選択	44.7	0.8	▲3.9
3 (1)	13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ	活用	地学	思考	選択	32.9	1.0	▲3.6

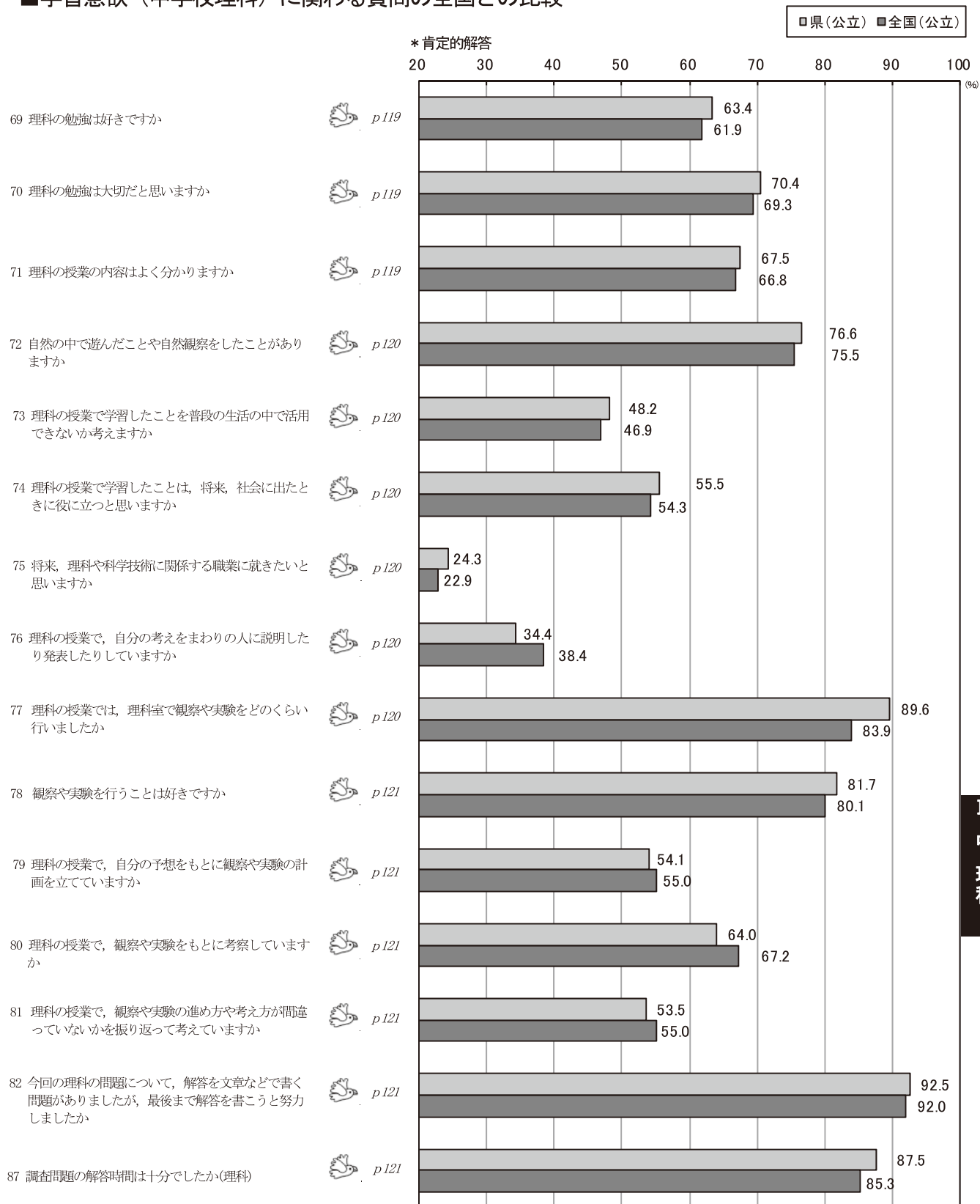
■正答率が低い設問（50%以下）（全25問中10問）

設問番号	設問の概要	枠組み	分野等	評価観点	問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)	全国との差 (pt)
1 (1) 濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	知識	化学	技能	短答	47.0	16.2	2.0
1 (2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	活用	化学	思考	選択	30.8	0.4	▲1.8
2 (2)	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	知識	地学	技能	選択	44.7	0.8	▲3.9
2 (3)	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	活用	地学	思考	記述	12.3	6.5	▲2.2
3 (1)	13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ	活用	地学	思考	選択	32.9	1.0	▲3.6
3 (2)	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	活用	地学	思考	選択	41.7	1.2	2.7
4 (1)	実験の結果から、凸レンズによる実像ができるときの、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	活用	物理	思考	選択	41.7	1.0	▲2.0
6 (1)	音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	活用	物理	思考	選択	40.0	1.5	▲0.1
6 (2)	音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	活用	物理	思考	選択	28.0	1.5	▲1.9
8 (3)	課題に対して適切な（課題に正対した）考察になるよう修正する	活用	生物	思考	記述	48.4	23.3	1.0

学 習 意 欲

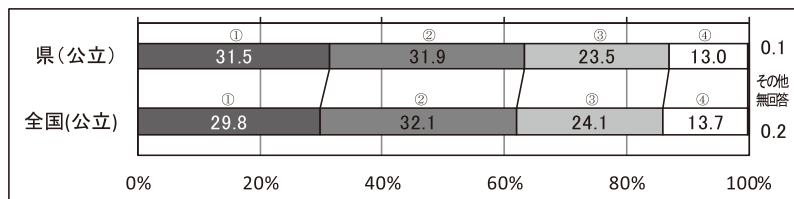
○ 「69 理科の勉強は好きですか」の質問と「71 理科の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国平均を上回っている。

■学習意欲（中学校理科）に関わる質問の全国との比較



□69 理科の勉強は好きですか

p 119

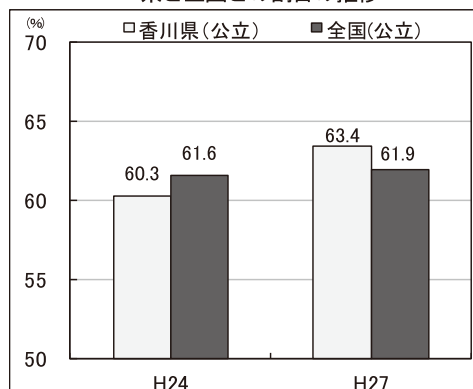


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

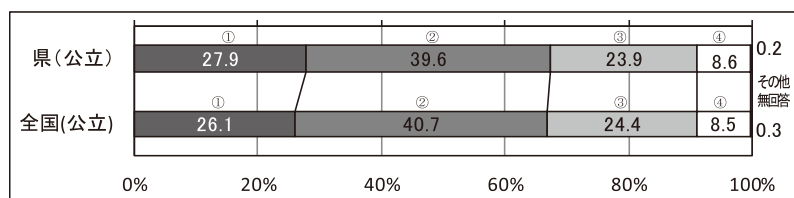
	H24	H27
県(公立)	60.3	63.4
全国(公立)	61.6	61.9
県と全国の差	▲1.3	1.5

質問 69 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□71 理科の授業の内容はよく分かりますか

p 119

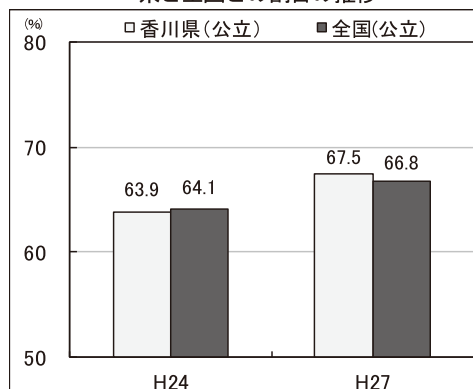


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

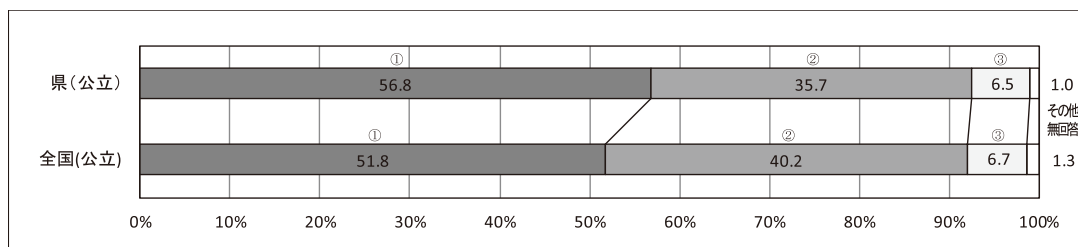
	H24	H27
県(公立)	63.9	67.5
全国(公立)	64.1	66.8
県と全国の差	▲0.2	0.7

質問 71 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□82 今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

p 121



①全ての書く問題で最後まで解答
を書こうと努力した

②書く問題で解答しなかったり、
解答を書くことを途中で諦め
たりしたものがあつた

③書く問題は全く解答しなかった

調査結果から授業改善へ

雲の成因に関する知識を活用して、資料を基に他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 理科 2 (3)

2 石森さんの学校では、先生が飛行機に乗ったときには撮影した写真や天気図などの資料をもとに気象について学習しました。

(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

資料1 (S島に関すること)

- 図1は、1月24日に南側から撮影したS島の写真。
- 図2は、S島を撮影したときの天気図。
- 図3は、S島を撮影したときの、風の吹く方向に沿ったS島の断面図。
- 表は、S島の1月23日から1月25日までの1日の平均気温と1日の平均湿度の記録。

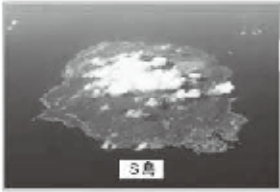


図1

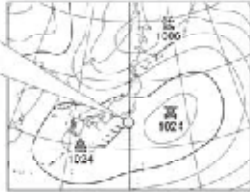


図2

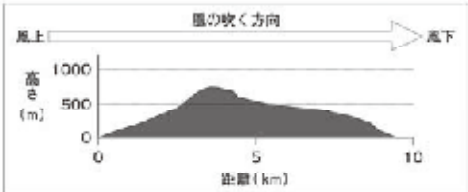


図3

月 日	1月23日	1月24日	1月25日
1日の平均気温(℃)	5.9	9.2	12.8
1日の平均湿度(%)	65	71	54

(3) 若菜さんは、S島の上空だけに雲ができることに疑問をもったので、資料1の図2、図3と表をもとに、その理由を下のアからエのように考えました。その理由を見直したところ、誤りに気づきました。誤りのあるものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。また、選んだものを正しく書き直しなさい。

ア 水蒸気を比較的多くふくんだ空気のかたまりは、S島の山の斜面に沿って上昇する。
イ 上昇した空気のかたまりが膨張し、温度が下がる。
ウ 空気のかたまりの温度が、露点に達する。
エ 水滴が冷やされて水蒸気になり、雲ができる。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
1	エを選択し、(a)、(b)を満たしているもの	11.4	13.3	◎
2	エを選択し、(a)を満たしているが、(b)を満たしていないもの	0.2	0.3	○
3	エを選択し、(b)を満たしているが、(a)を満たしていないもの	0.7	0.9	○
4	エを選択し、(a)、(b)以外の解答又は無解答	28.1	27.6	
5	アを選択し、水蒸気量について、「比較的多くふくんだ」という記述を書き直しているもの	0.5	0.4	
2 (3)	6 アを選択し、上昇気流について、「S島の斜面に沿って」という記述を書き直しているもの	1.0	1.3	
7	アを選択し、(a)、(b)以外の解答又は無解答	13.0	12.7	
8	イ、ウを選択しているもの	38.5	36.5	
9	上記以外の解答	0.1	0.2	
0	無解答	6.5	6.7	
正答率		12.3	14.5	

(正答の条件)
エを選択し、次の(a)、(b)を満たしているもの。
(a) 水蒸気が水滴(氷の粒)に状態変化することについて記述している。
(b) 水蒸気が冷やされることについて記述している。
例 水蒸気が冷やされて水滴(氷の粒)になり、雲ができる。

分析・考察

- 本設問は、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明できるかをみる設問である。水の状態変化については平成24年度の本調査(小学校第6学年)において本県の児童に課題が見られていた。
- 本県の正答率は12.3%で、全国の正答率を2.2ポイント下回っている。雲の成因に関する知識を活用して、資料を基に他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することに課題があると考ええる。
- 解答類型8(イ、ウを選択しているもの)の本県の反応率は38.5%であった。これは、空気の体積と気温の関係が十分に理解できていないものと考ええる。また、解答類型4(エを選択し、(a)、(b)以外の解答又は無解答)の本県の反応率は28.1%であった。雲が水滴(氷の粒)であると理解できていないこと、水の状態変化に関する知識が依然として定着できていないことが課題と考ええる。

授業改善のポイント

【考察などを検討して改善する際は、多面的、総合的に思考できるようにする】

科学的な思考力や表現力を育成する上で、考察などをより適切にするために検討して改善する際は、多面的、総合的に思考できるようにすることが大切である。

指導に当たっては、天気図や地形の断面図、気温や湿度などの複数の資料を使って、島の上空だけに雲ができる理由を多面的・総合的に考察する学習場面が考えられる。その際、状態変化の概念が形成できていない生徒がいると考えられるので、小学校第4学年の学習内容を振り返り、水の状態変化の知識を確認したり、気圧と露点の関係を調べる実験と関連させたりすることが大切である。

◆◆参考：観察・実験について◆◆

観察・実験をするだけでなく、見通しと考察を！

本年度の全国学力・学習状況調査における学校質問紙では、香川県は全国に比べて理科の授業で観察や実験を積極的に行っていることが明らかになりました（P139、質問 78/77 参照）。また、それに伴って、児童生徒質問紙でも、「実験を週に 1 回以上行っている」という回答が全国に比べて高くなっています（P120、質問 77 参照）。このような取組の成果が、児童生徒質問紙の「理科の勉強が好き」や「観察や実験は好き」という回答が全国を上回ったことにつながっていると考えられます。

一方、次のような問題で課題が見られました。

実験結果を分析して解釈する問題に課題（中学校）

4 孝太さんの学級では、凸レンズやヒトの目のつくりについて調べたり実験を行ったりしました。
(1)と(2)の各問いに答えなさい。

ノートの一部

課題 I
凸レンズによってできる像には、どのようなきまりがあるのだろうか。

【方法】
① 焦点距離が10cmの凸レンズを用意する。
② 凸レンズと物体の距離を変え、はっきりした像ができるようにスクリーンを動かす。
そのときの凸レンズとスクリーンの距離と、像の大きさを調べる(図1)。

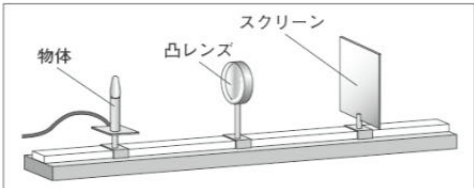


図 1

【結果】
表

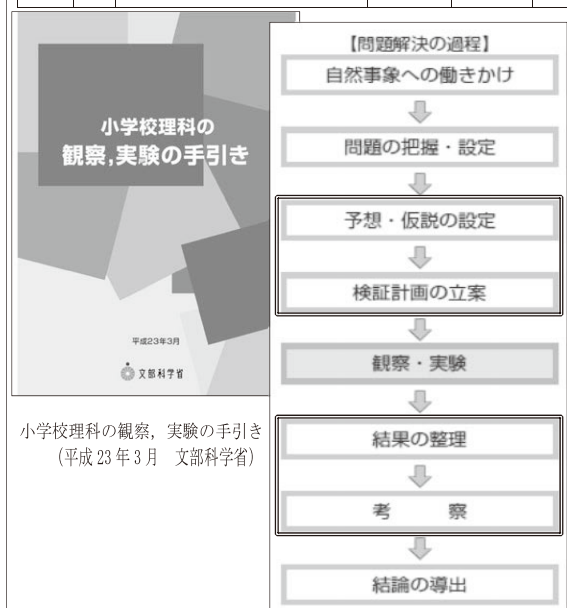
凸レンズと物体の距離 (cm)	15	20	25	30	35
凸レンズとスクリーンの距離 (cm)	30	20	17	15	14
像の大きさ (cm)	10.0	5.0	3.5	2.5	2.0

【考察】
【結果】の表から、凸レンズと物体の距離が長くなると、凸レンズとスクリーンの距離が なり、像の大きさが なるというきまりがあると考えられる。

(1) 【考察】の , に当てはまる正しいものを、それぞれ下のア、イから1つ選びなさい。

X	ア 長く	イ 短く
Y	ア 大きく	イ 小さく

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
4 (1)	1 Xをア, Yもアと解答しているもの	9.9	9.0	
	2 Xをア, Yをイと解答しているもの	17.4	17.3	
	3 Xをイ, Yをアと解答しているもの	29.9	29.2	
	4 Xをイ, Yもイと解答しているもの	41.7	43.7	◎
	9 上記以外の解答	0.2	0.1	
	0 無解答	1.0	0.6	



小学校についても P67 に示したように、実験の見通しに関する問題に課題が見られました。また、中学校において「理科の実験で、観察や実験の結果をもとに考察していますか」という質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は全国平均を 3.2 ポイント下回り、課題が見られました。香川県は実験をよく行っているものの、実験前に実験結果の見通しをもったり、実験後に実験結果から考察したりする過程に十分時間がかけられていない傾向がうかがえます。つまり、実験や観察はよく行っており、その結果、好きにはなっているが、他方で、実験の見通しをもったり、進め方や考え方が間違っていないかを振り返ったりすることへの指導は十分ではないことが考えられます。

実験前後の指導を心がけることで、観察や実験の目的意識が高まります。その結果、学習意欲がさらに向上するとともに、実験を計画する力や、結果を見通す力、結果から考察する力も向上すると思われます。



IV 質 問 紙 調 査 結 果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

1段目：香川県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢（質問の選択項目は、P105を参照）								その他 ※	無回答	1の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			1+2の差
【基本的生活習慣】															
1	106	1	朝食を毎日食べていますか	小	86.3	9.1	3.6	1.0					0.0	0.0	-1.3
					87.6	8.0	3.4	0.9					0.0	0.0	-0.2
				中	83.1	10.2	4.9	1.8					0.0	0.1	-0.7
83.8	9.7	4.7	1.9						0.0	0.0	-0.2				
2	106	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	37.1	42.8	16.3	3.9					0.0	0.0	-2.1
					39.2	40.3	16.6	3.9					0.0	0.0	0.4
				中	33.0	43.2	18.9	4.8					0.0	0.1	1.6
31.4	43.8	19.7	5.0						0.0	0.1	1.0				
3	106	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	58.7	32.2	7.4	1.7					0.0	0.0	-1.3
					60.0	31.0	7.1	1.8					0.0	0.0	-0.1
				中	57.0	34.6	6.7	1.5					0.0	0.1	0.8
56.2	35.9	6.3	1.5						0.0	0.2	-0.5				
【自尊意識】															
4	106	4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった ことがありますか	小	73.6	21.0	4.2	1.2					0.0	0.0	0.7
					72.9	21.6	4.2	1.3					0.0	0.0	0.1
				中	67.7	25.1	5.4	1.7					0.0	0.1	-4.8
72.5	21.7	4.4	1.4						0.0	0.0	-1.4				
5	106	5	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦してい ますか	小	24.2	51.4	20.9	3.4					0.0	0.0	-1.4
					25.6	50.8	20.3	3.2					0.0	0.0	-0.8
				中	17.1	49.8	27.9	5.1					0.0	0.1	-1.4
18.5	50.3	27.0	4.2						0.0	0.1	-1.9				
6	107	6	自分には、よいところがあると思いますか	小	33.9	38.1	18.3	9.6					0.0	0.0	-2.4
					36.3	40.1	16.1	7.5					0.0	0.0	-4.4
				中	22.6	41.0	24.9	11.3					0.0	0.1	-3.6
26.2	41.9	22.3	9.5						0.0	0.1	-4.5				
【学習状況《言語活動》】															
7	107	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは 得意ですか	小	17.5	30.0	35.0	17.4					0.0	0.0	-3.1
					20.6	30.6	33.0	15.8					0.0	0.0	-3.7
				中	13.6	28.9	37.5	19.8					0.0	0.1	-3.4
17.0	32.6	35.1	15.2						0.0	0.1	-7.1				
8	107	9	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後ま で聞くことができますか	小	49.7	41.6	7.7	0.9					0.1	0.0	-6.1
					55.8	37.1	6.1	1.0					0.0	0.0	-1.6
				中	49.9	40.7	8.0	1.2					0.0	0.1	-4.8
54.7	38.3	5.9	1.0						0.0	0.1	-2.4				
【将来に関する意識】															
9	107	10	将来の夢や目標を持っていますか	小	67.6	17.9	7.9	6.5					0.1	0.0	-2.9
					70.5	16.0	7.5	5.9					0.1	0.0	-1.0
				中	41.1	27.5	19.8	11.3					0.0	0.1	-4.9
46.0	25.7	17.5	10.6						0.0	0.2	-3.1				
【基本的生活習慣】															
10	107	11	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時 間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり しますか（テレビゲームをする時間は除く）	小	15.9	15.8	25.0	28.4	13.6	1.2			0.1	0.0	-3.3
					19.2	16.9	23.1	25.3	13.5	1.9			0.1	0.0	-4.4
				中	14.8	13.9	26.7	28.1	14.5	1.9			0.0	0.0	-0.2
15.0	15.5	25.2	27.6		14.6	2.0			0.0	0.1	-1.8				
11	108	12	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時 間、テレビゲームをしますか（コンピュータゲ ーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマート フォンを使ったゲームも含む）	小	8.1	7.7	14.7	25.3	31.9	12.2			0.1	0.0	-1.0
					9.1	7.9	13.2	24.4	31.6	13.7			0.1	0.0	-1.2
				中	11.6	9.2	16.7	21.9	25.7	14.8			0.0	0.1	0.6
11.0	9.5	15.8	21.5		25.8	16.2			0.0	0.1	0.3				
12	108	13	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時 間、携帯電話やスマートフォンで通話やメー ル、インターネットをしますか（携帯電話やス martフォンを使ってゲームをする時間は除 く）	小	2.8	2.6	4.2	7.8	11.4	28.3	42.8		0.1	0.0	-0.3
					3.1	2.6	4.1	7.1	11.1	30.0	42.0		0.1	0.0	-0.3
				中	9.6	7.2	12.9	15.7	13.7	16.5	24.0		0.3	0.1	-0.3
9.9	8.3	13.1	16.3		14.2	16.5	21.4		0.3	0.1	-1.4				
【学習時間等】															
13	108	14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾や家庭教師を含む）	小	7.8	14.6	39.3	26.9	8.9	2.3			0.2	0.0	-3.3
					11.1	14.6	37.0	25.1	9.1	3.0			0.1	0.0	-3.3
				中	7.9	22.9	35.2	18.4	9.7	5.8			0.0	0.1	-2.5
10.4	25.3	33.3	17.0		8.6	5.3			0.0	0.1	-4.9				
14	108	15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当 たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習 塾や家庭教師を含む）	小	3.8	6.2	13.9	35.2	32.2	8.6			0.1	0.0	-2.9
					6.7	5.2	12.6	32.2	33.0	10.2			0.0	0.0	-1.9
				中	5.0	11.1	24.6	28.8	20.4	10.0			0.0	0.1	-0.5
5.5	12.2	24.0	27.0		20.6	10.6			0.1	0.1	-1.6				
15	109	16	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	小	53.7	20.0	9.1	9.1	7.8				0.2	0.1	1.0
					52.7	23.4	7.2	8.3	8.1				0.2	0.1	-2.4
				中	34.2	18.2	12.0	29.5	5.8				0.1	0.2	-4.7
38.9	19.7	8.7	27.3		5.2				0.1	0.1	-6.2				
16	109	17	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか （教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	小	6.9	10.4	22.4	28.6	14.8	16.8			0.1	0.0	-0.6
					7.5	10.1	20.1	26.5	15.8	19.9			0.1	0.0	-0.3
				中	6.9	9.3	15.7	17.8	12.5	37.6			0.0	0.1	0.6
6.3	8.7	15.6	21.6		12.7	35.0			0.0	0.1	1.2				
17	109	18	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読ん だり、借りたりするために、学校図書館・学校 図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか （教科書や参考書、漫画や雑誌除く）	小	3.1	18.3	30.3	26.8	21.3				0.1	0.0	-0.3
					3.4	14.2	23.1	28.4	30.7				0.2	0.1	3.8
				中	2.2	6.2	12.3	25.9	53.1				0.0	0.2	0.0
2.2	6.0	11.4	23.1		57.0				0.0	0.2	0.0				

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢（質問の選択項目は、P105を参照）								その他 ※	無回答	1の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			1＋2の差
【家庭でのコミュニケーション等】															
18	109	19	家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしますか	小	53.6	25.9	16.0	4.4					0.1	0.0	0.4
				中	53.2	26.3	15.9	4.5					0.1	0.0	0.0
19	109	20	家の人（兄弟姉妹除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	小	43.4	30.3	19.9	6.3					0.0	0.1	-0.2
				中	43.6	30.1	20.0	6.3					0.0	0.1	0.0
				小	83.7	13.5	2.3	0.4					0.0	0.0	1.9
				中	81.8	14.8	2.8	0.5					0.0	0.0	0.6
				中	55.4	31.4	9.8	3.0					0.0	0.4	5.4
					50.0	33.4	12.3	3.9					0.0	0.4	3.4
【学習時間等】															
20	110	21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	小	27.1	36.3	27.3	9.4					0.0	0.0	-0.3
				中	27.4	35.4	28.1	9.1					0.0	0.0	0.6
21	110	22	家で、学校の宿題をしていますか	小	15.5	31.9	36.0	16.5					0.0	0.1	-1.0
				中	16.5	32.3	36.3	14.8					0.0	0.1	-1.4
22	110	23	家で、学校の授業の予習をしていますか	小	85.4	10.6	3.2	0.7					0.0	0.0	-2.0
				中	87.4	9.4	2.5	0.7					0.0	0.0	-0.8
23	110	24	家で、学校の授業の復習をしていますか	小	64.8	23.7	8.4	3.0					0.0	0.1	-1.0
				中	65.8	23.5	7.9	2.6					0.1	0.1	-0.8
24	110	25	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	15.0	26.1	40.0	18.8					0.1	0.0	-1.7
				中	16.7	26.7	37.3	19.2					0.0	0.0	-2.3
25	110	26	家で、学校の授業の予習をしていますか	小	10.6	23.6	36.9	28.7					0.0	0.2	-1.3
				中	11.9	23.4	37.3	27.2					0.0	0.2	-1.1
26	110	27	家で、学校の授業の復習をしていますか	小	28.5	33.4	27.3	10.7					0.1	0.0	5.2
				中	23.3	31.2	30.6	14.8					0.0	0.0	7.4
				中	16.9	33.1	32.0	17.9					0.0	0.1	-1.6
					18.5	33.5	31.4	16.5					0.0	0.1	-2.0
【学校生活等】															
24	110	25	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	52.1	33.0	9.8	5.1					0.0	0.0	-3.2
				中	55.3	31.7	8.8	4.2					0.0	0.0	-1.9
25	111	新	学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思 いますか	小	44.5	35.6	12.9	6.9					0.0	0.1	-3.0
				中	47.5	34.6	11.5	6.3					0.0	0.0	-2.0
26	111	27	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、う れしかったことがありますか	小	43.2	40.2	12.8	3.8					0.0	0.0	4.5
				中	38.7	41.8	15.1	4.3					0.0	0.0	2.9
27	111	28	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、う れしかったことがありますか	小	36.0	42.5	16.1	5.3					0.0	0.1	0.1
				中	35.9	42.4	15.9	5.6					0.0	0.1	0.2
28	111	29	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、う れしかったことがありますか	小	55.3	30.9	10.1	3.6					0.0	0.1	1.1
				中	54.2	31.9	10.0	3.7					0.0	0.2	0.1
				中	48.7	31.5	12.5	6.1					0.0	1.2	-7.3
					56.0	28.2	9.5	5.1					0.0	1.3	-4.0
【地域との関わり】															
27	111	29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小	36.4	30.0	19.6	13.9					0.1	0.0	-0.5
				中	36.9	30.0	19.3	13.7					0.1	0.0	-0.5
				中	18.2	27.3	28.5	25.8					0.0	0.1	0.7
					17.5	27.3	28.5	26.6					0.0	0.1	0.7
【社会に対する興味・関心】															
28	111	30	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心 がありますか	小	26.1	39.0	24.9	9.9					0.0	0.0	0.4
				中	25.7	38.2	25.5	10.6					0.0	0.0	1.2
29	111	31	地域や社会をよくするために何をすべきかを考 えることができますか	小	17.8	36.4	31.2	14.4					0.0	0.1	-0.5
				中	18.3	37.6	29.9	14.1					0.0	0.1	-1.7
30	111	32	新聞を読んでいますか	小	14.2	29.9	37.0	18.9					0.1	0.0	-0.6
				中	14.8	30.0	36.1	19.0					0.0	0.0	-0.7
31	112	33	テレビのニュース番組やインターネットの ニュースを見ますか（携帯電話やスマートフ ォンを使う場合も含む）	小	8.7	23.7	43.2	24.4					0.0	0.1	-0.1
				中	8.8	24.1	41.5	25.5					0.0	0.1	-0.5
32	112	34	学校のきまり（規則）を守っていますか	小	8.5	18.7	24.7	47.9					0.1	0.0	-0.2
				中	8.7	15.0	21.9	54.3					0.0	0.0	3.5
33	112	36	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いま すか	小	8.0	14.1	21.1	56.4					0.0	0.3	1.2
				中	6.8	12.0	19.1	61.8					0.0	0.2	3.3
34	112	37	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	小	52.5	31.3	10.4	5.8					0.1	0.0	-0.4
				中	52.9	31.4	9.6	6.0					0.0	0.1	-0.5
35	112	38	人の役に立つ人間になりたいと思いま すか	小	45.1	35.8	11.8	6.6					0.0	0.7	-4.0
				中	49.1	34.8	10.2	5.3					0.0	0.6	-3.0
【規範意識】															
32	112	34	学校のきまり（規則）を守っていますか	小	38.4	51.5	9.1	1.1					0.0	0.0	-3.3
				中	41.7	49.4	7.7	1.2					0.0	0.0	-1.2
33	112	36	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いま すか	小	56.4	37.1	4.9	1.5					0.0	0.1	-2.4
				中	58.8	35.6	4.4	1.1					0.0	0.1	-0.9
34	112	37	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	小	73.0	20.4	4.7	1.9					0.0	0.0	0.9
				中	72.1	21.8	4.4	1.7					0.0	0.0	-0.5
35	112	38	人の役に立つ人間になりたいと思いま すか	小	72.4	20.7	4.4	2.4					0.0	0.1	-3.0
				中	75.4	19.5	3.3	1.7					0.0	0.1	-1.8
36	112	39	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	小	83.9	12.8	2.1	1.2					0.0	0.0	2.1
				中	81.8	14.4	2.5	1.1					0.0	0.0	0.5
37	112	40	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	小	73.2	20.6	4.3	1.9					0.0	0.1	0.2
				中	73.0	20.7	4.4	1.8					0.0	0.1	0.1
38	112	41	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	小	73.3	20.2	4.3	2.2					0.0	0.0	1.7
				中	71.6	22.1	4.3	1.9					0.0	0.0	-0.2
39	112	42	いじめは、どんな理由があってもいけないこ とだと思いますか	小	71.4	21.4	4.6	2.5					0.0	0.1	-0.6
				中	72.0	21.7	4.1	2.1					0.0	0.1	-0.9

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P105を参照)								その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			
【学習に対する関心・意欲・態度《総合的な学習の時間》】															
36	113	39	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	小	47.6	39.1	10.0	3.1					0.1	0.0	4.5
					43.1	42.3	11.3	3.1					0.1	0.2	1.3
				中	26.5	48.3	18.3	6.7					0.0	0.1	0.6
					25.9	48.7	18.6	6.6					0.0	0.2	0.2
37	113	40	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小	26.1	40.2	25.7	7.9					0.0	0.0	-0.8
					26.9	38.9	25.9	8.0					0.1	0.2	0.5
				中	12.3	36.6	37.2	13.8					0.0	0.1	-5.8
					18.1	39.9	30.1	11.5					0.0	0.3	-9.1
【学習状況《言語活動》】															
38	113	42	前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	小	57.9	30.0	8.7	3.2					0.1	0.0	1.0
					56.9	29.8	9.9	3.3					0.0	0.0	1.2
				中	47.2	39.7	9.6	3.5					0.0	0.1	1.0
					46.2	39.7	10.9	3.1					0.0	0.1	1.0
39	113	43	前学年までに受けた授業では、学級の友達（生徒）との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	小	46.7	38.7	12.0	2.5					0.0	0.0	0.0
					46.7	38.5	12.1	2.6					0.0	0.0	0.2
				中	30.1	45.6	19.6	4.6					0.0	0.1	-4.1
					34.2	44.0	18.0	3.8					0.0	0.1	-2.5
40	113	新	前学年までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	小	33.1	41.7	20.4	4.7					0.1	0.0	0.7
					32.4	41.8	20.5	5.2					0.0	0.0	0.6
				中	19.0	41.6	30.3	9.0					0.0	0.1	-3.1
					22.1	43.6	26.6	7.6					0.0	0.1	-5.1
【学習状況《指導状況》】															
41	114	44	前学年までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	小	67.7	22.6	6.9	2.7					0.1	0.0	10.2
					57.5	28.8	10.3	3.3					0.1	0.0	4.0
				中	43.9	38.7	13.4	3.8					0.0	0.1	2.0
					41.9	37.8	15.7	4.6					0.0	0.1	2.9
42	114	45	前学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	小	43.4	35.8	15.8	4.9					0.1	0.1	4.5
					38.9	36.4	18.7	5.8					0.0	0.1	3.9
				中	18.1	41.2	32.0	8.6					0.0	0.1	-1.3
					19.4	39.9	31.6	8.9					0.0	0.1	0.0
43	114	新	前学年までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて、ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	小	76.9	16.5	4.7	1.7					0.1	0.1	10.3
					66.6	20.5	8.7	4.1					0.1	0.1	6.3
				中	44.7	36.8	13.7	4.5					0.0	0.3	5.4
					39.3	34.4	18.4	7.6					0.0	0.3	7.8
【学習状況《言語活動》】															
44	114	46	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	小	43.8	26.7	18.0	11.4					0.1	0.0	10.4
					33.4	26.7	22.5	17.3					0.1	0.1	10.4
				中	43.4	25.9	17.2	13.4					0.0	0.1	6.7
					36.7	27.7	20.6	15.0					0.0	0.1	4.9
45	114	47	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	小	27.3	31.5	25.1	16.0					0.1	0.0	3.9
					23.4	31.8	26.4	18.3					0.1	0.1	3.6
				中	37.6	32.1	20.2	10.1					0.0	0.1	6.8
					30.8	33.6	23.3	12.2					0.0	0.1	5.3
46	114	48	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小	26.0	42.0	24.6	7.3					0.1	0.0	0.8
					25.2	41.7	25.5	7.5					0.1	0.1	1.1
				中	18.4	43.2	29.4	8.9					0.0	0.1	0.0
					18.4	44.5	28.5	8.3					0.0	0.2	-1.3
【学習状況《指導状況》】															
47	115	49	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか	小	14.2	7.4	34.5	21.6	4.6	11.2	6.0		0.4	0.2	-1.9
					16.1	8.7	30.8	23.1	4.3	11.2	5.2		0.2	0.4	-3.2
				中	8.4	11.2	32.0	6.0	18.3	11.1	10.7		2.2	0.2	-2.2
					10.6	10.3	35.9	5.7	15.1	12.3	7.0		2.8	0.2	-1.3
【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】															
48	115	50	国語の勉強は好きですか	小	19.0	35.0	28.4	17.5					0.1	0.0	-5.8
					24.8	36.3	25.2	13.5					0.1	0.1	-7.1
				中	23.5	35.3	26.4	14.7					0.0	0.1	0.2
					23.3	37.2	26.9	12.5					0.0	0.1	-1.7
49	115	51	国語の勉強は大切だと思いますか	小	64.9	26.1	5.9	3.1					0.1	0.0	-1.0
					65.9	26.1	5.6	2.3					0.0	0.1	-1.0
				中	53.9	33.9	8.2	3.9					0.0	0.1	-1.7
					55.6	34.3	7.2	2.8					0.0	0.1	-2.1
50	115	52	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	32.4	46.5	15.8	5.3					0.1	0.0	-5.1
					37.5	44.5	13.7	4.1					0.0	0.1	-3.1
				中	25.8	48.1	19.6	6.3					0.0	0.2	0.7
					25.1	49.2	20.2	5.4					0.0	0.1	-0.4
【学習時間等】															
51	115	53	読書は好きですか	小	46.5	24.2	16.2	13.0					0.1	0.0	-2.4
					48.9	23.9	15.7	11.5					0.0	0.1	-2.1
				中	43.1	21.2	17.7	17.8					0.1	0.1	-1.8
					44.9	23.0	16.8	15.0					0.1	0.1	-3.6
【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】															
52	116	54	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	58.8	30.0	8.2	2.9					0.1	0.0	2.0
					56.8	31.8	8.4	2.9					0.0	0.1	0.2
				中	42.6	39.1	13.3	4.8					0.0	0.1	-2.7
					45.3	38.9	11.6	4.0					0.0	0.1	-2.5
53	116	55	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	小	23.7	42.7	26.9	6.6					0.0	0.0	0.6
					23.1	42.1	27.5	7.1					0.0	0.1	1.2
				中	20.0	42.5	29.0	8.3					0.0	0.1	2.3
					17.7	41.5	32.0	8.7					0.0	0.1	3.3

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P105を参照)								その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8				
54	116	56	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく 伝わるように話の組み立てを工夫していますか	小	17.9	39.9	32.1	10.0					0.0	0.0	-3.5	
					21.4	39.8	29.4	9.2					0.0	0.1	-3.4	
				中	13.3	37.3	37.7	11.5					0.0	0.1	-1.1	
					14.4	39.6	35.6	10.2					0.0	0.2	-3.4	
55	116	57	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理 由が分かるように気を付けて書いていますか	小	28.7	42.0	22.5	6.7					0.0	0.0	-3.4	
					32.1	40.6	21.3	5.9					0.0	0.1	-2.0	
				中	22.0	42.2	27.4	8.3					0.0	0.2	0.0	
					22.0	43.7	26.8	7.3					0.0	0.2	-1.5	
56	116	58	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまと まりごとに内容を理解しながら読んでいますか	小	34.5	40.7	18.5	6.2					0.1	0.0	-2.7	
					37.2	40.0	17.5	5.2					0.1	0.1	-2.0	
				中	24.3	43.3	25.0	7.2					0.0	0.2	-1.3	
					25.6	45.0	23.0	6.2					0.0	0.2	-3.0	
57	116	59	今回の国語の問題について、解答を文章で書く 問題がありましたが、どのように解答しましたか 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題 がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	小	80.6	17.1	1.7						0.5	0.1	2.9	
					77.7	19.7	1.9						0.4	0.3	0.3	
				中	77.1	18.3	4.0						0.0	0.5	0.7	
					76.4	19.5	3.4						0.0	0.7	-0.5	
【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】																
58	117	62	算数・数学の勉強は好きですか	小	35.9	27.7	20.3	16.0					0.0	0.0	-2.8	
					38.7	27.9	19.2	14.0					0.0	0.1	-3.0	
				中	25.6	25.3	25.0	24.0					0.0	0.1	-3.3	
					28.9	27.1	24.4	19.4					0.0	0.1	-5.1	
59	117	63	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	小	74.8	18.0	4.3	2.8					0.0	0.0	0.3	
					74.5	18.6	4.5	2.3					0.0	0.1	-0.3	
				中	47.1	33.4	12.5	6.8					0.0	0.1	-0.9	
					48.0	34.6	12.0	5.2					0.0	0.1	-2.1	
60	117	64	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	小	43.7	35.6	14.8	5.8					0.1	0.0	-3.2	
					46.9	34.1	13.6	5.2					0.0	0.1	-1.7	
				中	29.8	36.7	22.7	10.7					0.0	0.1	-3.0	
					32.8	38.8	20.0	8.3					0.0	0.2	-5.1	
61	117	65	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それ を解いてみたいと思いますか 数学ができるようになりたいと思いますか	小	49.2	26.5	15.6	8.7					0.0	0.0	-3.5	
					52.7	24.8	14.6	7.7					0.0	0.1	-1.8	
				中	72.2	17.7	5.4	4.5					0.0	0.1	-1.7	
					73.9	17.6	4.9	3.3					0.0	0.2	-1.6	
62	118	66	算数・数学の問題の解き方が分からないとき は、諦めずにいろいろな方法を考えますか	小	45.2	33.6	15.8	5.3					0.1	0.0	-0.3	
					45.5	34.1	15.1	5.1					0.0	0.1	-0.8	
				中	30.0	35.9	23.9	10.1					0.0	0.2	-2.7	
					32.7	37.1	22.3	7.7					0.0	0.2	-3.9	
63	118	67	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活 の中で活用できないか考えますか	小	35.8	31.4	22.6	10.1					0.1	0.0	0.3	
					35.5	32.2	22.2	10.0					0.0	0.1	-0.5	
				中	14.9	25.3	35.2	24.4					0.1	0.1	0.2	
					14.7	26.2	36.0	22.9					0.0	0.2	-0.7	
64	118	68	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社 会に出たときに役に立つと思いますか	小	70.9	19.9	6.4	2.7					0.0	0.0	2.4	
					68.5	21.8	6.8	2.7					0.0	0.2	0.5	
				中	38.8	33.3	18.5	9.3					0.0	0.1	0.9	
					37.9	34.6	18.7	8.6					0.1	0.2	-0.4	
65	118	69	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡 単に解く方法がないか考えますか	小	47.0	31.8	15.4	5.7					0.1	0.0	0.1	
					46.9	32.2	15.1	5.5					0.0	0.2	-0.3	
				中	31.2	32.7	25.0	11.0					0.0	0.1	-2.3	
					33.5	34.0	23.2	9.1					0.0	0.2	-3.6	
66	118	70	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、 そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか	小	45.2	34.7	15.0	5.0					0.1	0.0	-1.4	
					46.6	34.0	14.5	4.7					0.0	0.2	-0.7	
				中	31.8	35.9	23.0	9.1					0.0	0.1	-0.8	
					32.6	37.5	21.8	7.8					0.0	0.2	-2.4	
67	118	71	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分 かるようにノートに書いていますか	小	55.1	28.8	12.2	3.8					0.2	0.0	-0.1	
					55.2	28.6	11.8	4.2					0.1	0.2	0.1	
				中	46.1	33.2	14.2	6.2					0.0	0.2	0.3	
					45.8	34.8	13.6	5.5					0.0	0.3	-1.3	
68	119	72	今回の算数の問題について、言葉や数、式を 使って、わけや求め方などを書く問題がありま したが、どのように解答しましたか 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を 使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を 書こうと努力しましたか	小	76.4	21.1	1.8						0.4	0.3	3.1	
					73.3	24.0	1.9						0.4	0.4		
				中	52.1	40.3	7.3						0.0	0.3	0.8	
					51.3	42.2	6.1						0.0	0.5		
【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】																
69	119	H24 67	理科の勉強は好きですか	小	57.5	28.1	10.0	4.4						0.1	0.0	2.5
					55.0	28.5	11.1	5.1					0.0	0.2	2.1	
				中	31.5	31.9	23.5	13.0					0.0	0.1	1.7	
					29.8	32.1	24.1	13.7					0.0	0.2	1.5	
70	119	H24 68	理科の勉強は大切だと思いますか	小	63.0	25.7	8.5	2.8					0.0	0.0	3.3	
					59.7	27.2	9.7	3.1					0.0	0.2	1.8	
				中	34.7	35.7	20.4	9.1					0.0	0.1	1.9	
					32.8	36.5	21.7	8.6					0.0	0.3	1.1	
71	119	H24 69	理科の授業の内容はよく分かりますか	小	57.8	31.4	8.3	2.4					0.0	0.0	1.7	
					56.1	31.8	9.2	2.7					0.0	0.2	1.3	
				中	27.9	39.6	23.9	8.6					0.0	0.2	1.8	
					26.1	40.7	24.4	8.5					0.0	0.3	0.7	

質問 番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P105を参照)								その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			
72	120	H24 70	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	小	67.3	19.8	9.2	3.6					0.1	0.0	0.8
					66.5	20.4	9.2	3.6					0.0	0.2	0.2
				中	46.7	29.9	15.9	7.3					0.0	0.2	0.2
73	120	H24 72	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	40.1	31.5	20.4	7.9					0.0	0.0	2.7
					37.4	31.9	21.7	8.7					0.0	0.2	2.3
				中	19.0	29.2	34.3	17.3					0.0	0.1	0.9
74	120	H24 73	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	18.1	28.8	34.7	18.1					0.0	0.3	1.3
					48.6	29.1	16.1	6.1					0.1	0.0	4.2
				中	44.4	30.1	17.7	7.5					0.0	0.2	3.2
75	120	H24 74	理科や科学技術に関係する職業に就きたいと考えますか	小	23.8	31.7	29.5	14.9					0.0	0.2	1.8
					22.0	32.3	30.1	15.2					0.0	0.4	1.2
				中	14.6	14.1	26.5	44.8					0.1	0.0	-0.1
76	120	H24 75	理科の授業で、自分の考え(や考察)をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	小	14.7	14.1	25.7	45.2					0.1	0.2	-0.1
					10.7	13.6	26.9	48.5					0.0	0.2	1.5
				中	9.2	13.7	26.0	50.7					0.0	0.3	1.4
77	120	新	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	小	22.9	31.8	31.3	13.9					0.1	0.0	0.2
					22.7	32.2	31.3	13.5					0.0	0.3	-0.2
				中	12.1	22.3	39.0	26.4					0.0	0.1	-0.3
78	121	H24 76	観察や実験を行うことは好きですか	小	12.4	26.0	38.2	23.0					0.0	0.4	-4.0
					59.8	33.0	5.5	1.6					0.1	0.0	14.0
				中	45.8	44.2	7.2	2.3					0.1	0.3	2.8
79	121	H24 77	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	小	54.5	35.1	6.5	3.6					0.0	0.3	15.3
					39.2	44.7	11.5	4.0					0.0	0.5	5.7
				中	73.7	17.0	6.0	3.2					0.1	0.1	2.3
80	121	H24 78	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えて(結果をもとに考察して)いますか	小	71.4	18.7	6.4	3.2					0.0	0.3	0.6
					55.3	26.4	11.9	6.1					0.0	0.2	3.4
				中	51.9	28.2	13.0	6.4					0.0	0.4	1.6
81	121	H24 79	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	小	41.8	35.9	17.2	5.0					0.0	0.1	2.4
					39.4	35.9	18.9	5.5					0.0	0.3	2.4
				中	18.7	35.4	33.4	12.4					0.0	0.2	0.3
82	121	H24 81	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	18.4	36.6	33.0	11.6					0.0	0.4	-0.9
					47.2	35.8	13.0	3.9					0.1	0.1	2.8
				中	44.4	36.0	15.0	4.2					0.0	0.3	2.6
83	117	60	国語A(20分[45分])は十分でしたか	小	26.1	37.9	26.0	9.8					0.0	0.2	-1.9
					28.0	39.2	23.7	8.6					0.0	0.4	-3.2
				中	31.6	37.5	23.2	7.6					0.0	0.1	1.3
84	117	61	国語B(40分[45分])は十分でしたか	小	30.3	36.8	24.1	8.4					0.1	0.4	2.0
					18.6	34.9	32.5	13.7					0.0	0.2	-0.5
				中	19.1	35.9	31.8	12.7					0.0	0.5	-1.5
85	119	73	算数[数学]A(20分[45分])は十分でしたか	小	80.2	17.4	1.5						0.4	0.5	4.1
					76.1	20.7	1.8						0.5	1.0	0.8
				中	56.8	35.7	6.5						0.0	1.0	5.0
86	119	74	算数[数学]B(40分[45分])は十分でしたか	小	51.8	40.2	6.7						0.0	1.3	0.5
					50.2	36.0	11.4	2.3					0.1	0.1	1.0
				中	49.2	34.1	13.5	2.6					0.1	0.4	2.9
87	121	新	理科(40分[45分])は十分でしたか	小	73.7	21.8	3.2	1.0					0.0	0.3	8.0
					65.7	28.7	4.0	1.1					0.0	0.5	1.1
				中	33.9	37.1	23.1	5.8					0.1	0.1	-0.8
88	119	75	算数[数学]C(20分[45分])は十分でしたか	小	34.7	32.9	25.3	6.6					0.1	0.4	3.4
					60.5	29.6	8.1	1.6					0.0	0.3	9.0
				中	51.5	34.5	11.4	2.1					0.0	0.5	4.1
89	119	76	算数[数学]D(20分[45分])は十分でしたか	小	51.6	34.7	10.8	2.8					0.1	0.1	-0.3
					51.9	32.7	11.8	3.0					0.1	0.5	1.7
				中	67.2	25.1	5.9	1.5					0.0	0.2	7.9
90	119	77	算数[数学]E(20分[45分])は十分でしたか	小	59.3	31.3	7.1	1.7					0.0	0.5	1.7
					33.7	31.1	27.1	7.9					0.1	0.1	-1.1
				中	34.8	28.9	27.5	8.3					0.1	0.5	1.1
91	119	78	算数[数学]F(20分[45分])は十分でしたか	小	48.9	29.0	16.8	5.1					0.0	0.2	4.6
					44.3	32.3	18.4	4.5					0.0	0.5	1.3
				中	48.5	30.9	17.0	3.5					0.1	0.1	-1.8
92	121	新	理科(40分[45分])は十分でしたか	小	50.3	29.3	16.3	3.5					0.1	0.5	-0.2
					58.6	28.9	9.9	2.3					0.0	0.2	6.1
				中	52.5	32.8	11.7	2.5					0.0	0.5	2.2

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

児童生徒質問紙 選択肢一覧

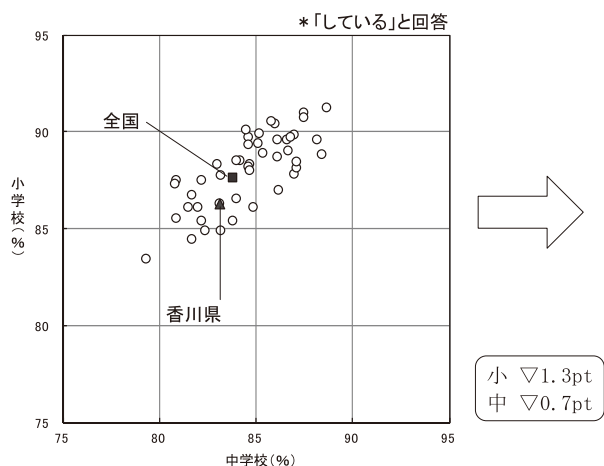
質問番号	選 択 肢			
1～3, 18, 20～23	1 している 3 あまりしていない	2 どちらかといえば, している 4 全くしていない		
4～ 9, 26～29, 32～43, 48～56, 58～67, 69～76, 78～81	1 当てはまる 3 どちらかといえば, 当てはまらない	2 どちらかといえば, 当てはまる 4 当てはまらない		
10	1 4時間以上 3 2時間以上, 3時間より少ない 5 1時間より少ない	2 3時間以上, 4時間より少ない 4 1時間以上, 2時間より少ない 6 全く見たり, 聞いたりしない		
11, 14	1 4時間以上 3 2時間以上, 3時間より少ない 5 1時間より少ない	2 3時間以上, 4時間より少ない 4 1時間以上, 2時間より少ない 6 全くしない		
12	1 4時間以上 3 2時間以上, 3時間より少ない 5 30分以上, 1時間より少ない 7 携帯電話やスマートフォンを持っていない	2 3時間以上, 4時間より少ない 4 1時間以上, 2時間より少ない 6 30分より少ない		
13	1 3時間以上 3 1時間以上, 2時間より少ない 5 30分より少ない	2 2時間以上, 3時間より少ない 4 30分以上, 1時間より少ない 6 全くしない		
15	1 学習塾に通っていない 2 学校の勉強より進んだ内容や, 難しい内容を勉強している 3 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している 4 上記2, 3の両方の内容を勉強している 5 上記2, 3の内容のどちらともいえない			
16	1 2時間以上 3 30分以上, 1時間より少ない 5 10分より少ない	2 1時間以上, 2時間より少ない 4 10分以上, 30分より少ない 6 全くしない		
17	1 だいたい週に4回以上行く 3 月に1～3回程度行く 5 ほとんど, または, 全く行かない	2 週に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く		
19	1 よく来る 2 時々来る 3 あまり来ない 4 全く来ない			
24, 25, 44～46	1 そう思う 3 どちらかといえば, そう思わない	2 どちらかといえば, そう思う 4 そう思わない		
30	1 ほぼ毎日読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる	2 週に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど, または, 全く読まない		
31	1 よく見る 2 時々見る 3 あまり見ない 4 ほとんど, または, 全く見ない			
47	1 その場で先生に尋ねる 3 友達に尋ねる 5 学習塾の先生（家庭教師の先生も含みます。）に尋ねる 6 自分で調べる	2 授業が終わってから先生に尋ねに行く 4 家の人に尋ねる 7 そのままにしておく		
57, 68, 82	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり, 解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった			
77	1 週1回以上 2 月1回以上 3 学期に1回以上 4 ほとんど, または, 全く行っていない			
83～87	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった			

2 児童生徒質問紙回答結果グラフ

【基本的生活習慣】

朝食

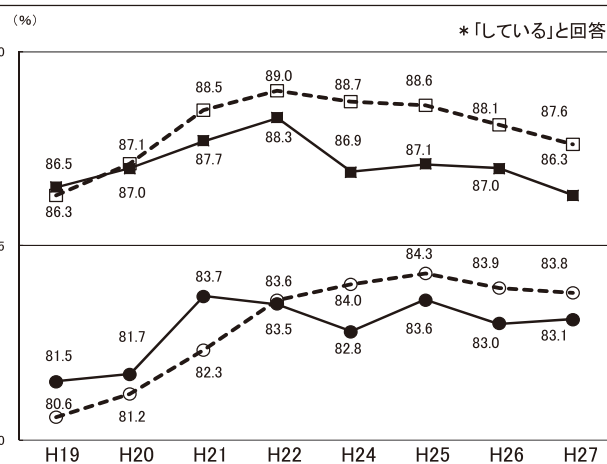
□1 朝食を毎日食べていますか



【経年変化】

□1 朝食を毎日食べていますか

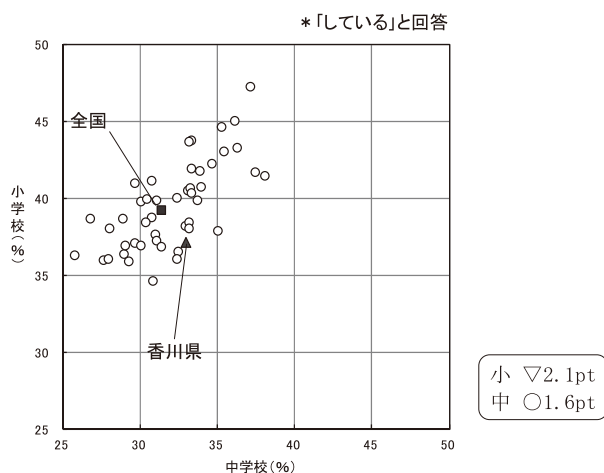
—■— 小学校(県) —□— 小学校(全国) —●— 中学校(県) —○— 中学校(全国)



【基本的生活習慣】

寝る時刻

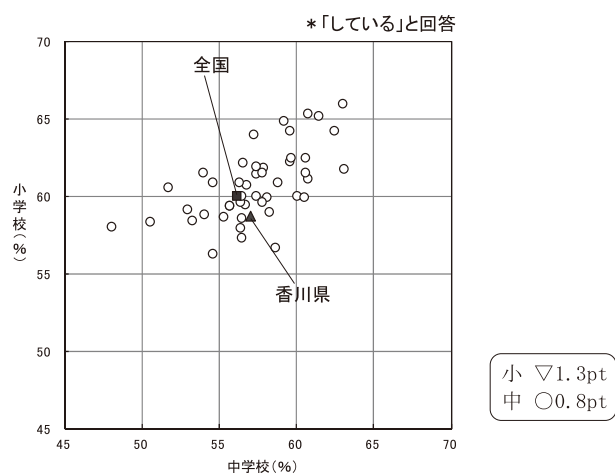
□2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



【基本的生活習慣】

起きる時刻

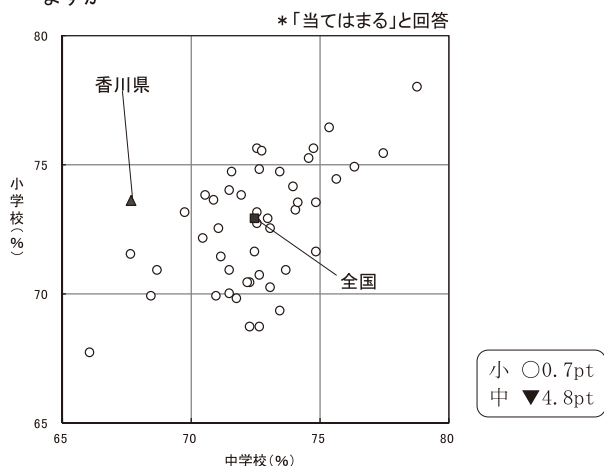
□3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



【自尊意識】

やりとげてうれしかった

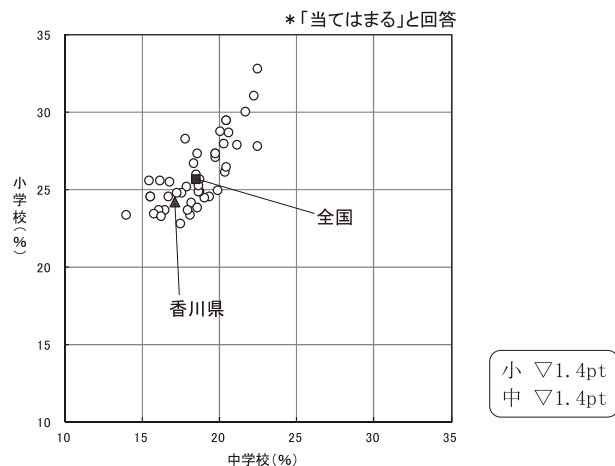
□4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



【自尊意識】

失敗を恐れずに挑戦する

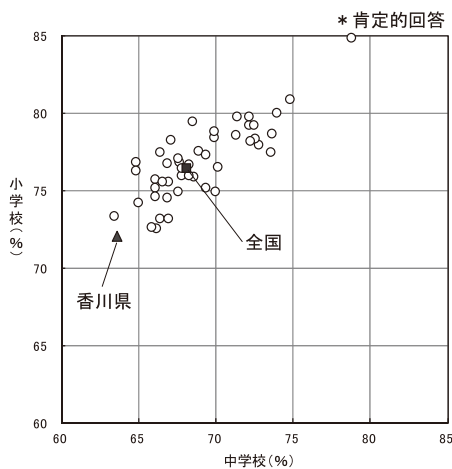
□5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



【自尊意識】

自分にはよいところがある

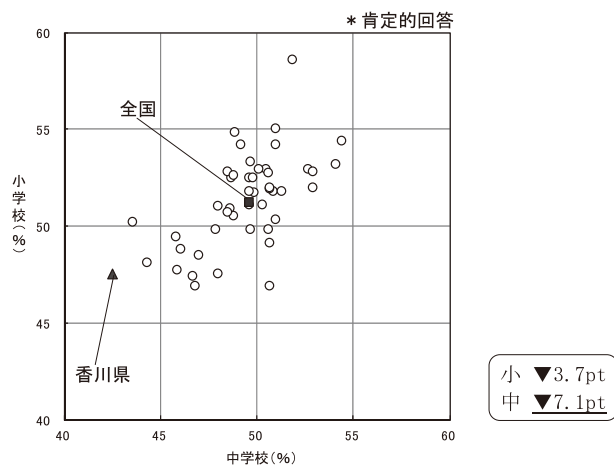
□6 自分には、よいところがあると思いますか



【学習状況《言語活動》】

友達の前での発表は得意

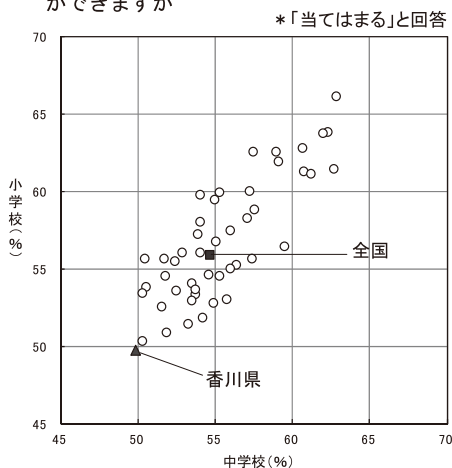
□7 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



【学習状況《言語活動》】

友達の意見を最後まで聞く

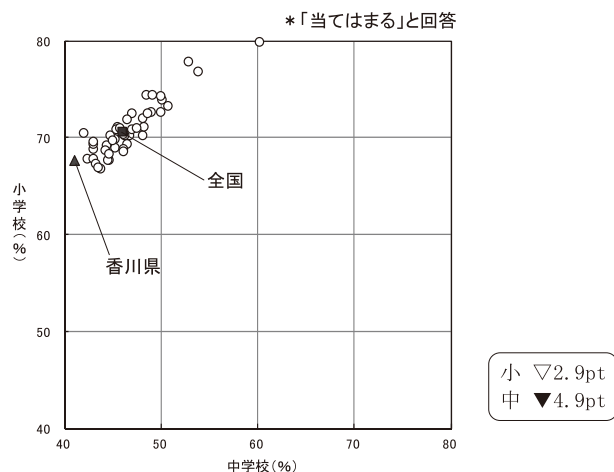
□8 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか



【将来に関する意識】

将来の夢や希望

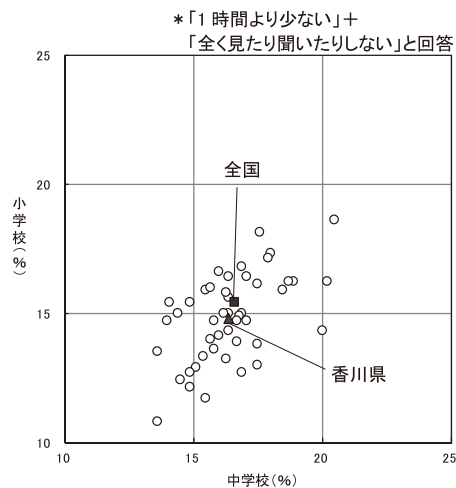
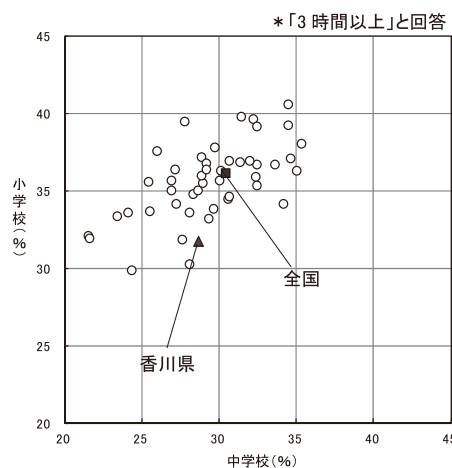
□9 将来の夢や目標を持っていますか



【基本的生活習慣】

テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間

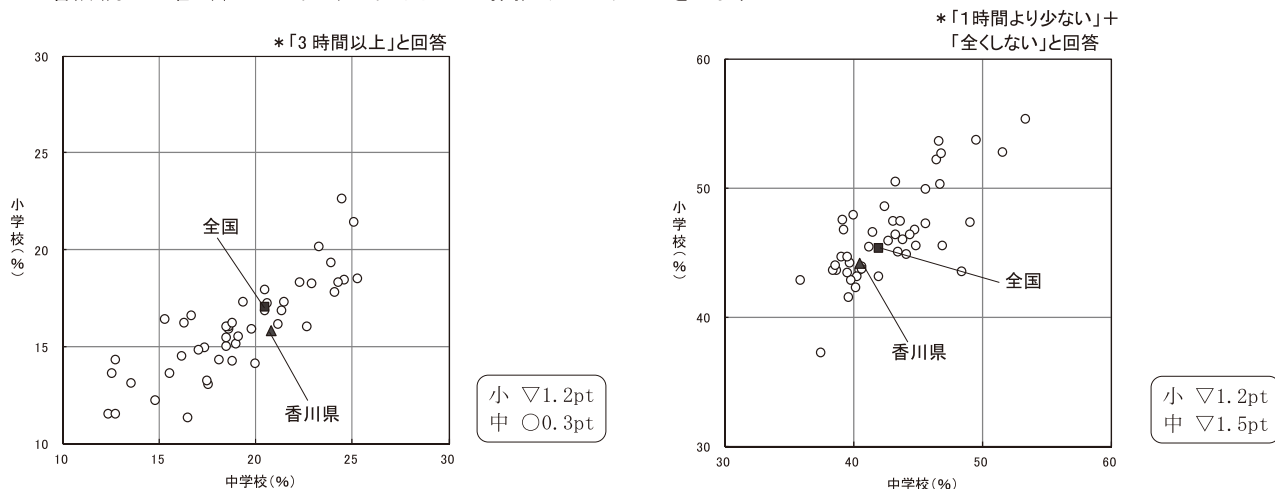
□10 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



【基本的生活習慣】

テレビゲームをする時間

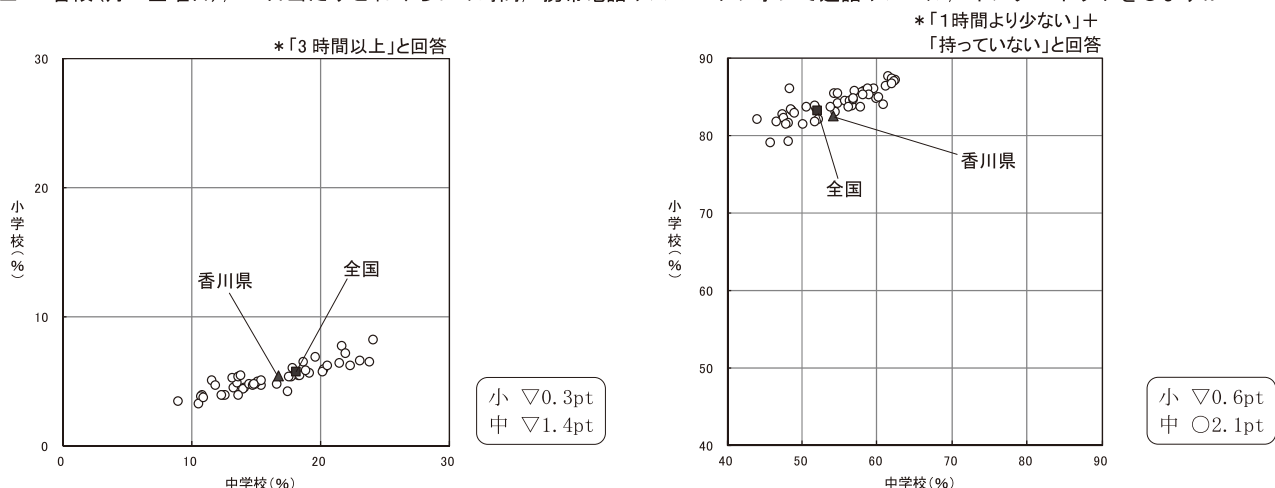
□11 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



【基本的生活習慣】

携帯電話やスマートフォンで、通話やインターネットをする時間

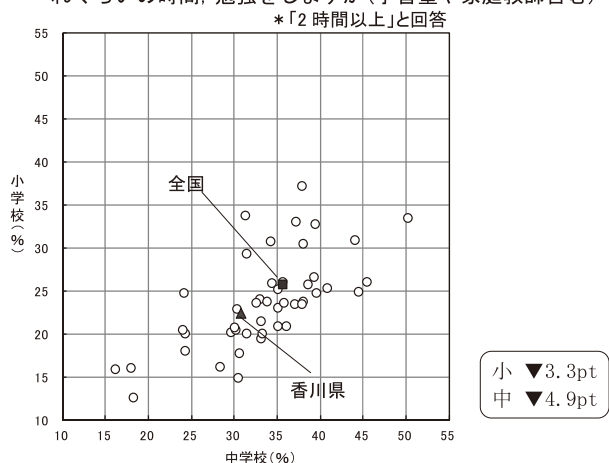
□12 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



【学習時間等】

普段の学習時間

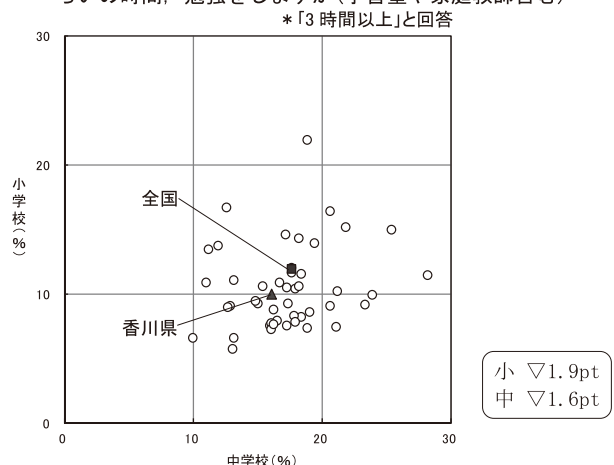
□13 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



【学習時間等】

土日の学習時間

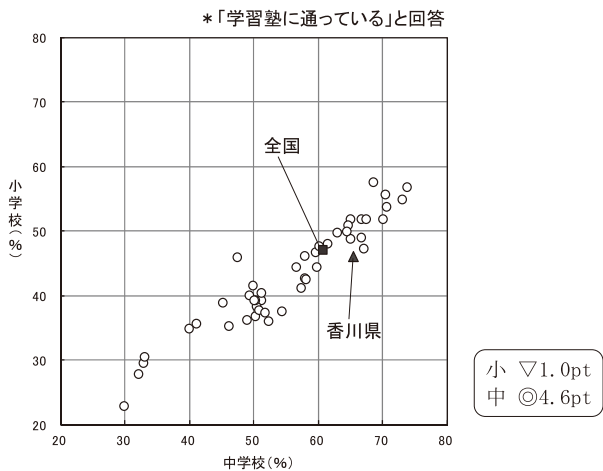
□14 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



【学習時間等】

学習塾

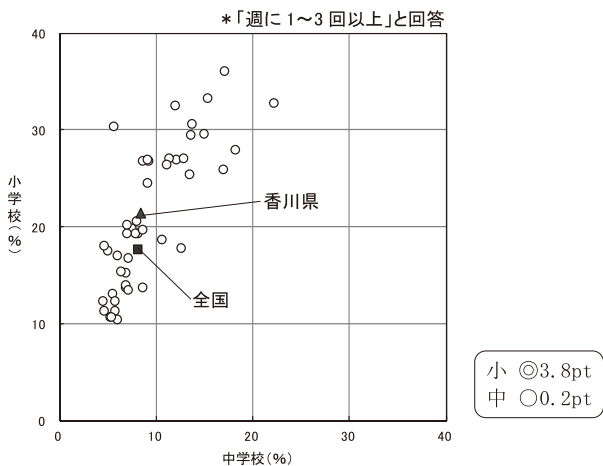
□15 学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか



【学習時間等】

図書館の利用

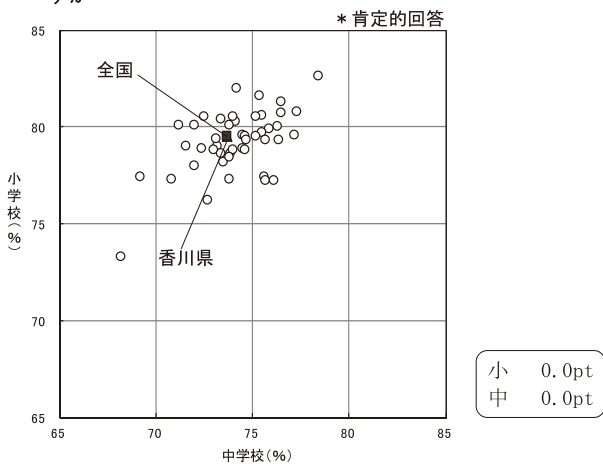
□17 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)



【家庭でのコミュニケーション等】

家の人と学校での出来事を話している

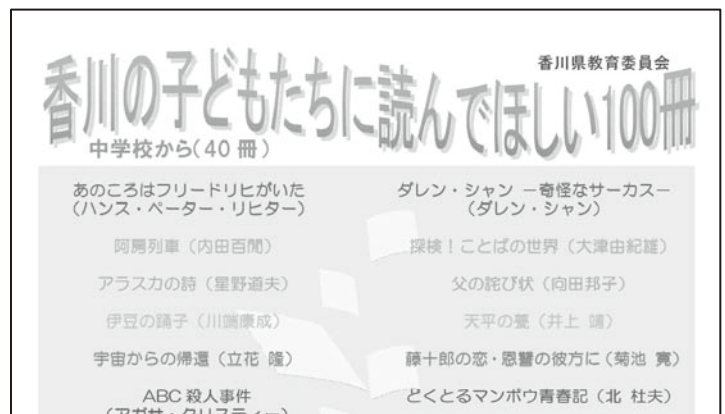
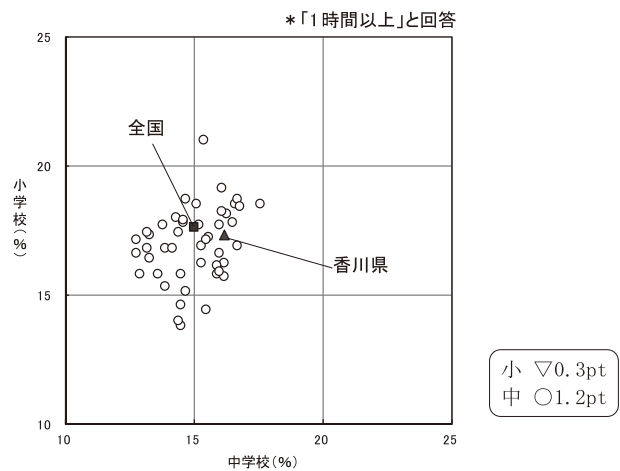
□18 家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



【学習時間等】

読書時間

□16 学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)

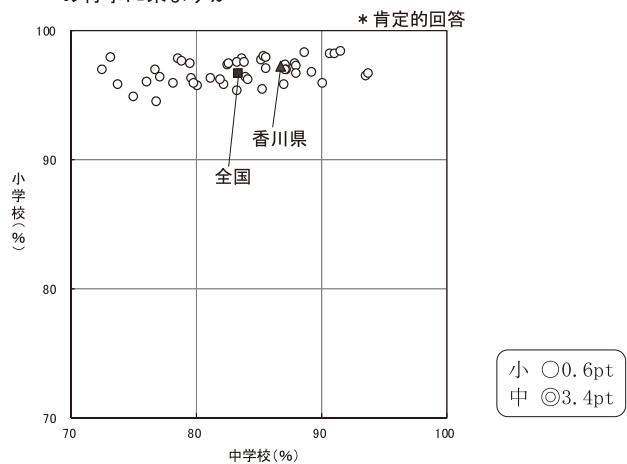


参考: 香川県教育委員会
「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」より

【家庭でのコミュニケーション等】

授業参観への参加

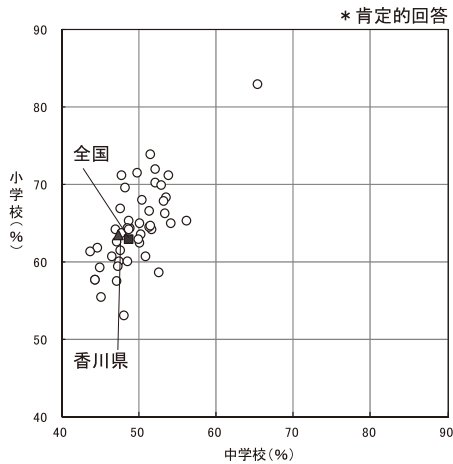
□19 家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



【学習時間等】

計画的な勉強

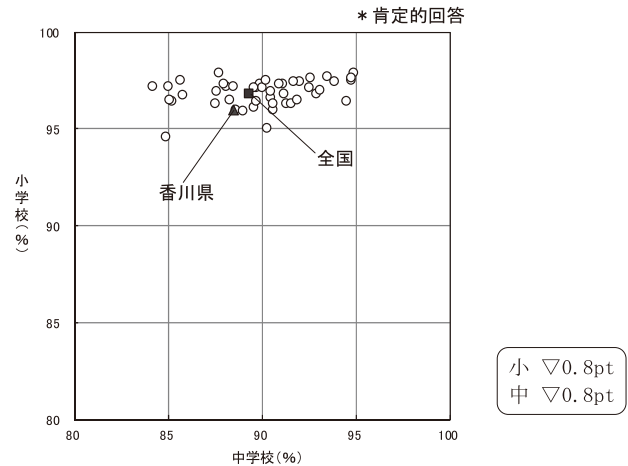
□20 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



【学習時間等】

宿題

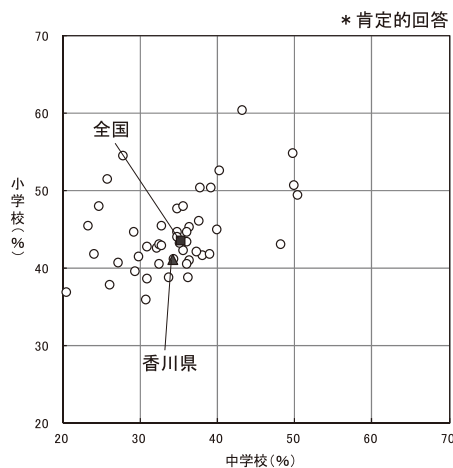
□21 家で、学校の宿題をしていますか



【学習時間等】

予習

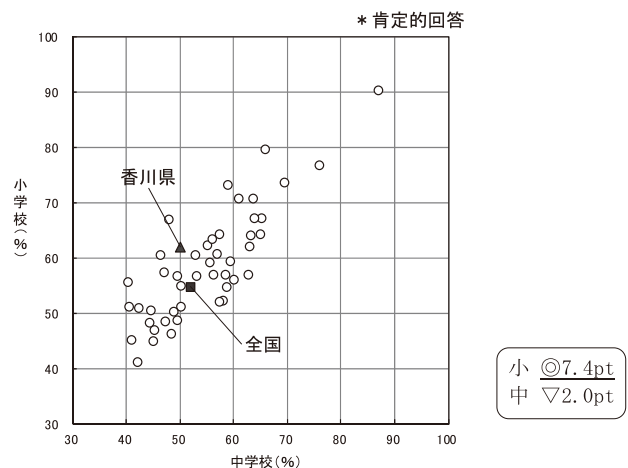
□22 家で、学校の授業の予習をしていますか



【学習時間等】

復習

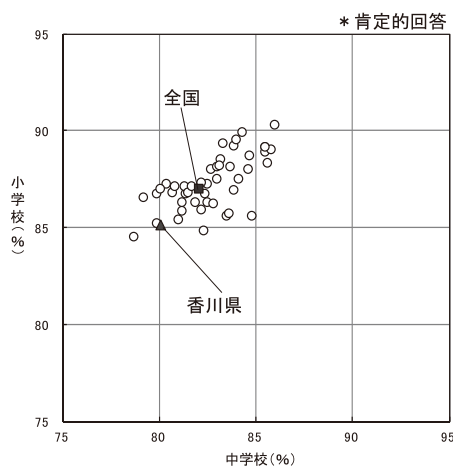
□23 家で、学校の授業の復習をしていますか



【学校生活等】

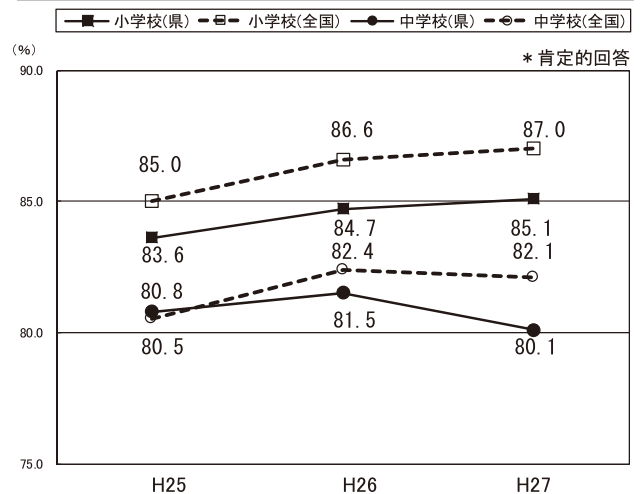
学校に行くのは楽しい

□24 学校に行くのは楽しいと思いますか



【経年変化】

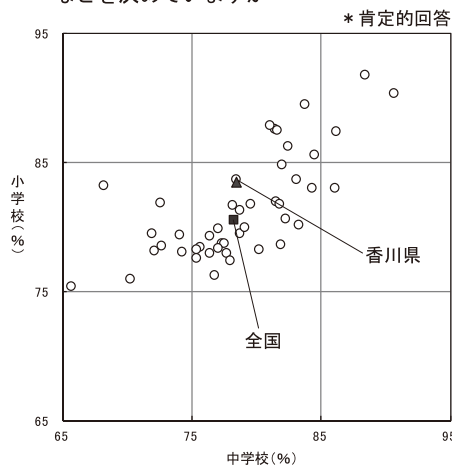
□24 学校に行くのは楽しいと思いますか



【学校生活等】

話し合って学級のきまりを決める

□25 学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていきますか

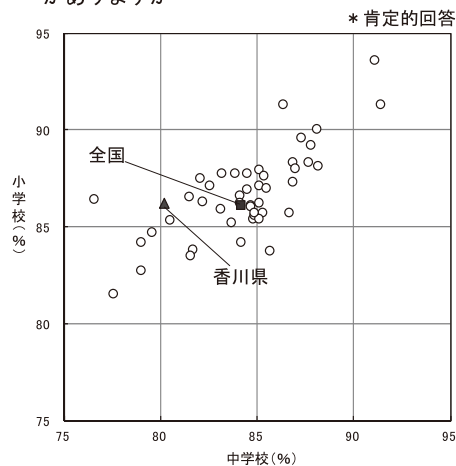


小 ○2.9pt
中 ○0.2pt

【学校生活等】

学級みんなでやり遂げる

□26 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

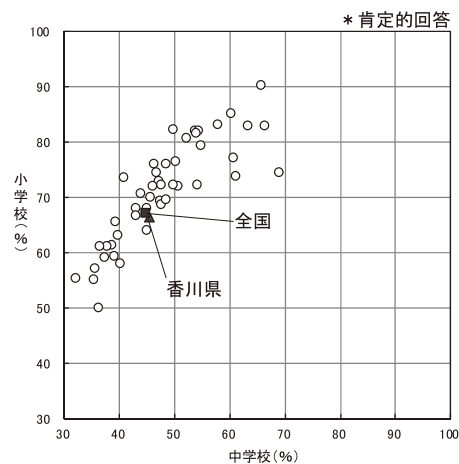


小 ○0.1pt
中 ▼4.0pt

【地域との関わり】

地域の行事への参加

□27 今住んでいる地域の行事に参加していますか

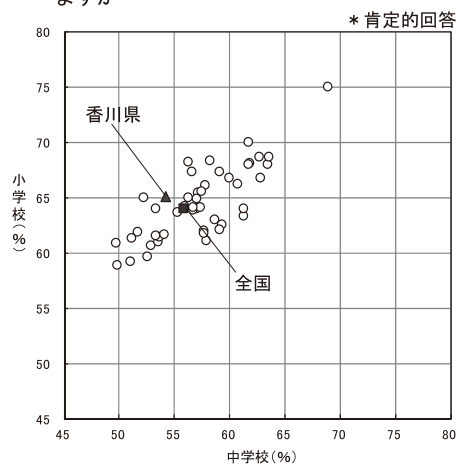


小 ▽0.5pt
中 ○0.7pt

【社会に対する興味・関心】

地域の出来事への関心

□28 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

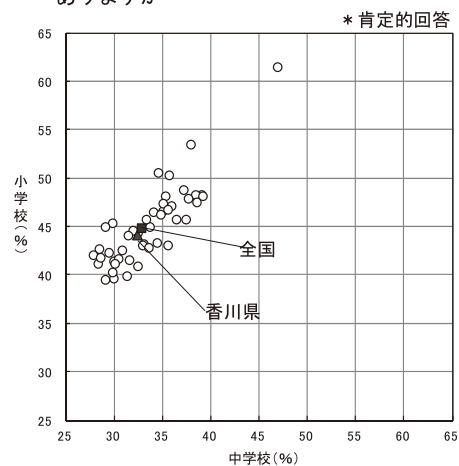


小 ○1.2pt
中 ▽1.7pt

【社会に対する興味・関心】

何をすべきか考える

□29 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

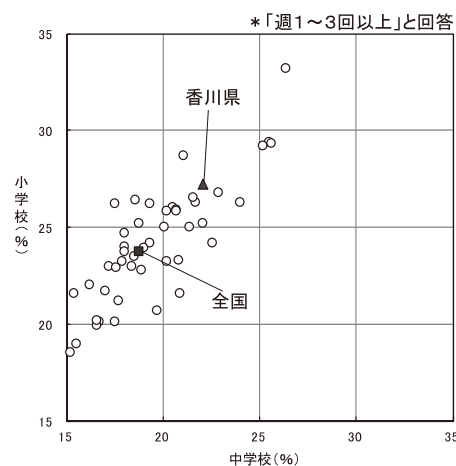


小 ▽0.7pt
中 ▽0.5pt

【社会に対する興味・関心】

新聞を読んでいる

□30 新聞を読んでいますか

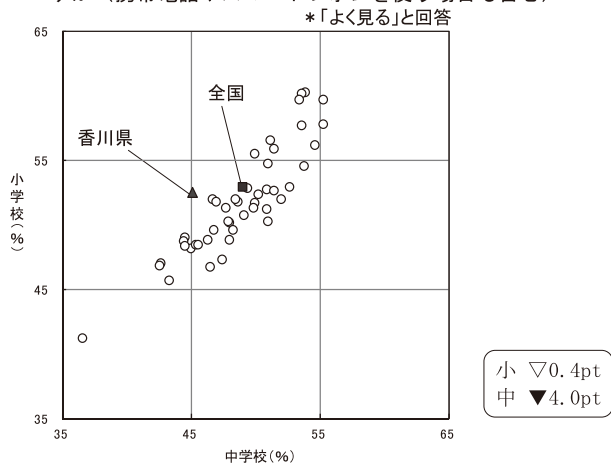


小 ◎3.5pt
中 ◎3.3pt

【社会に対する興味・関心】

ニュース番組を見る

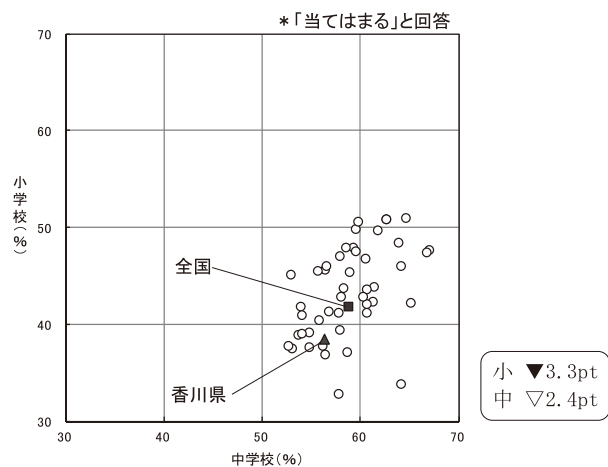
□31 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む）



【規範意識】

きまりを守っている

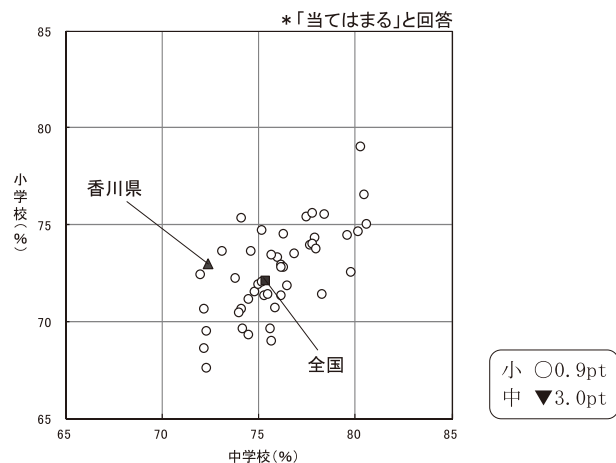
□32 学校のきまり（規則）を守っていますか



【規範意識】

人の気持ちが分かる人間になりたい

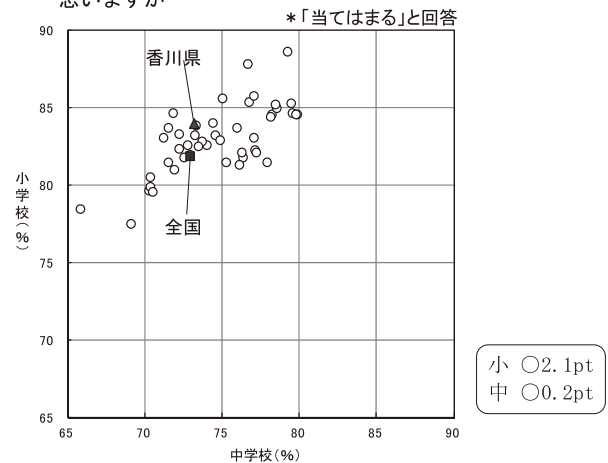
□33 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか



【規範意識】

いじめは、いけないことだ

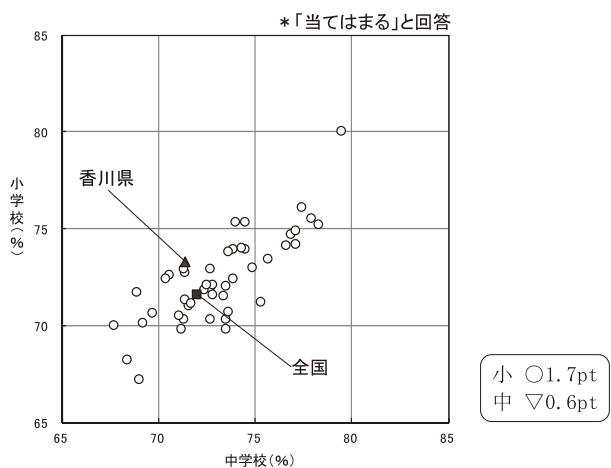
□34 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【規範意識】

人の役に立つ人間になりたい

□35 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



自由子給付制度実施事業 保護者用

教育相談のご案内

一人で悩まず、ご相談ください

香川県教育センター

電話で相談したいときは

- 子育て電話相談 [18時] 通年 9:00~21:00 ☎ 087-813-2040
- 24時間いじめ電話相談 [18時] 通年 24時間 ☎ 087-813-1620
- 24時間子供SOSダイヤル [18時] 通年 24時間 ☎ 0570-0-78310
- 子どものネットトラブル相談 [18時] 月~金曜 [18時]・年末年始除く 9:00~17:00 ☎ 087-813-3850

メールで相談したいときは

Kesoudan@kagawa-edu.jp

【返信には時間がかかることがあります】

相談内容など、相談者のプライバシーが守られます。

自由子給付制度実施事業 児童・生徒用

教育相談のご案内

ひとりじゃないよ

香川県教育センター

相談したいときは

相談 [18時] 通年 9:00~21:00
☎ 087-813-3119

め電話相談 [18時] 通年 18:00~21:00
☎ 087-813-1620

1505ダイヤル [18時] 通年 24時間
☎ 0570-0-78310

子どものネットトラブル相談 [18時] 月~金曜 [18時]・年末年始除く 9:00~17:00
☎ 087-813-3850

メールで相談したいときは

Kesoudan@kagawa-edu.jp

【返信には時間がかかることがあります】

相談内容など、相談者のプライバシーが守られます。

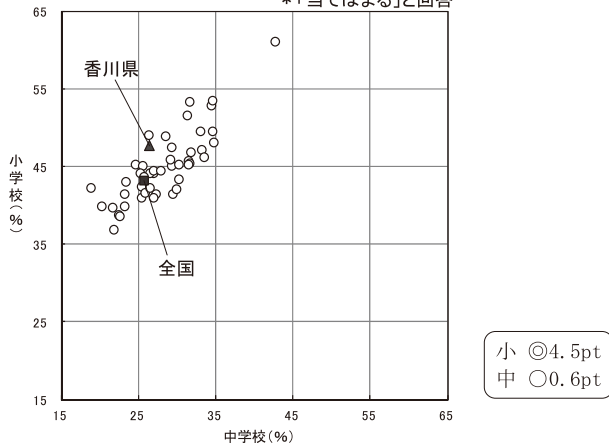
参考：香川県教育センター
「教育相談カード
児童・生徒用、保護者用」
より

【学習に対する関心・意欲・態度《総合的な学習の時間》】

将来, 社会に出たときに役立つ

- 36 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

*「当てはまる」と回答

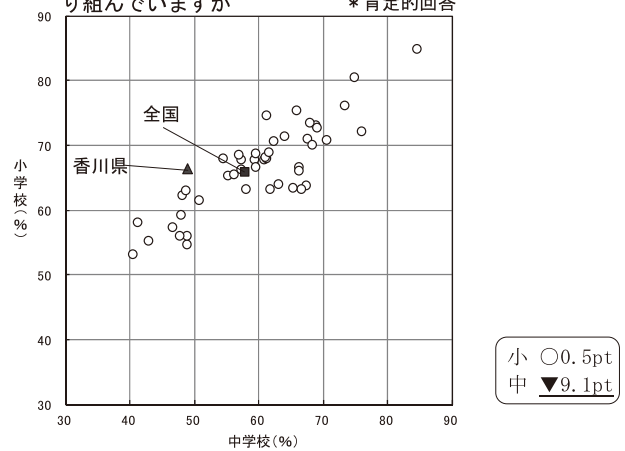


【学習に対する関心・意欲・態度《総合的な学習の時間》】

探究的な学習への取り組み

- 37 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

*肯定的回答

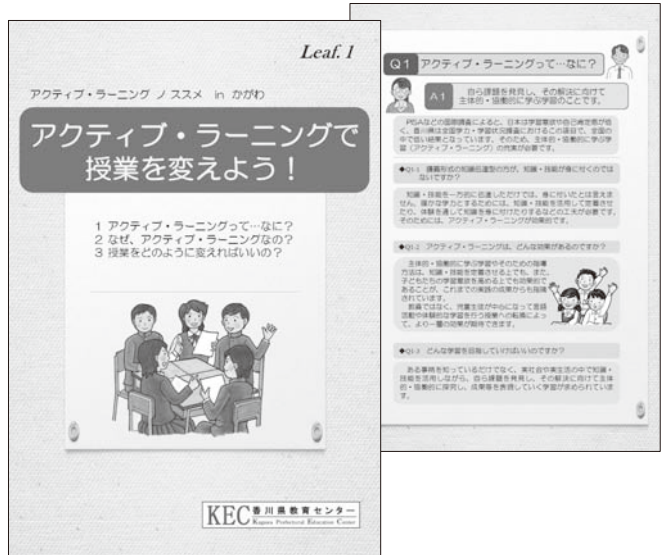
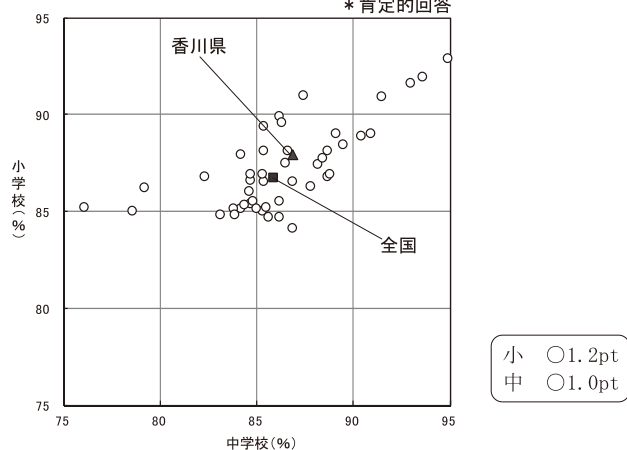


【学習状況《言語活動》】

発表する機会

- 38 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

*肯定的回答



参考: 香川県教育センター

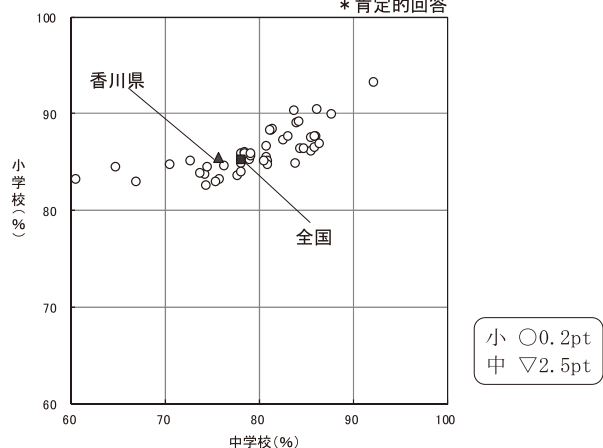
「アクティブ・ラーニング ノ ススめ in かがわ」Leaf.1
より

【学習状況《言語活動》】

話し合う活動

- 39 前学年までに受けた授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか

*肯定的回答

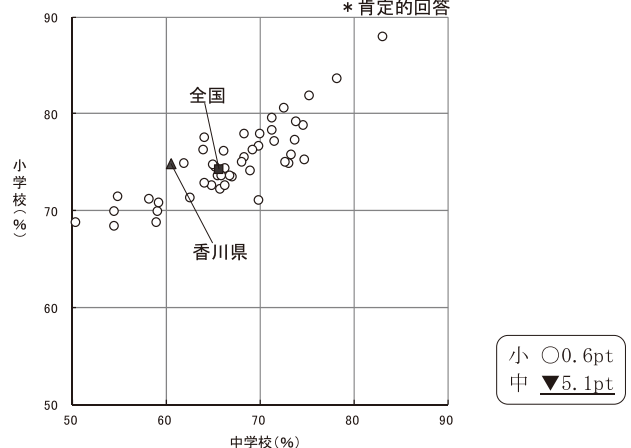


【学習状況《言語活動》】

課題を立てて解決に向けて話し合う

- 40 前学年までに受けた授業では、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか

*肯定的回答

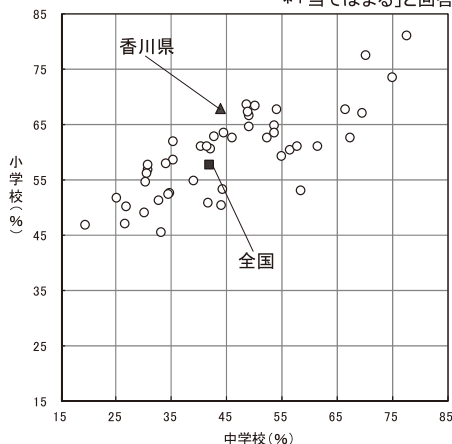


【学習状況《指導状況》】

はじめに目標が示されている

- 41 前学年までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

*「当てはまる」と回答



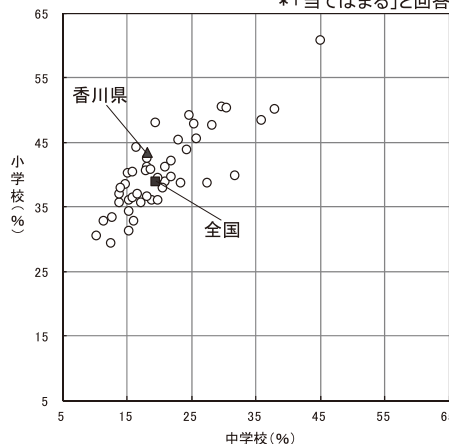
小 ◎10.2pt
中 ○2.0pt

【学習状況《指導状況》】

振り返る活動を行っている

- 42 前学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

*「当てはまる」と回答



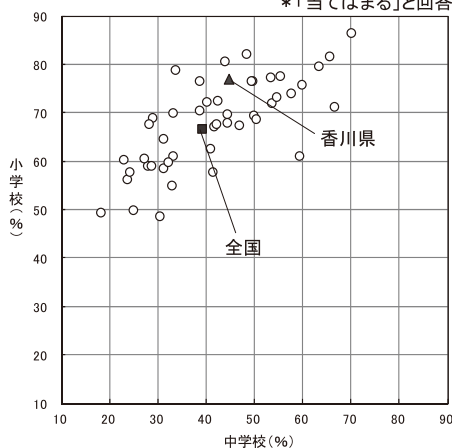
小 ◎4.5pt
中 ▼1.3pt

【学習状況《指導状況》】

ノートに目標とまとめを書いている

- 43 前学年までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思いますか

*「当てはまる」と回答



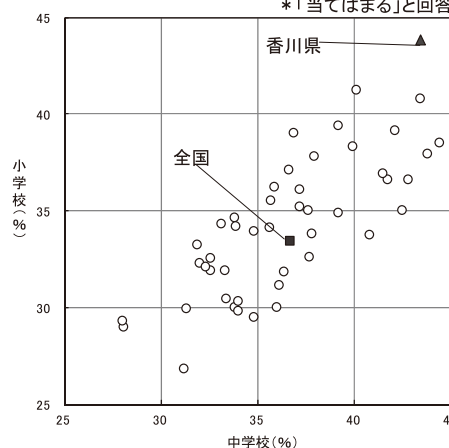
小 ◎10.3pt
中 ◎5.4pt

【学習状況《言語活動》】

感想文や説明文を書くことは難しい

- 44 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

*「当てはまる」と回答



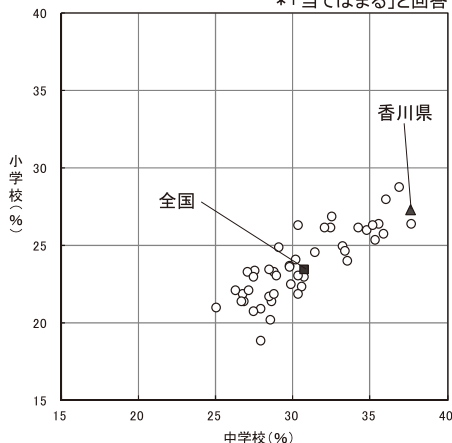
小 ◎10.4pt
中 ◎6.7pt

【学習状況《言語活動》】

説明したり、文章を書いたりするのは難しい

- 45 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

*「当てはまる」と回答



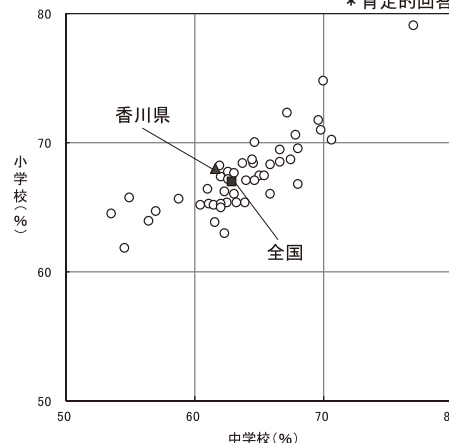
小 ◎3.9pt
中 ◎6.8pt

【学習状況《言語活動》】

考えを深めたり、広げたりする

- 46 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

*肯定的回答

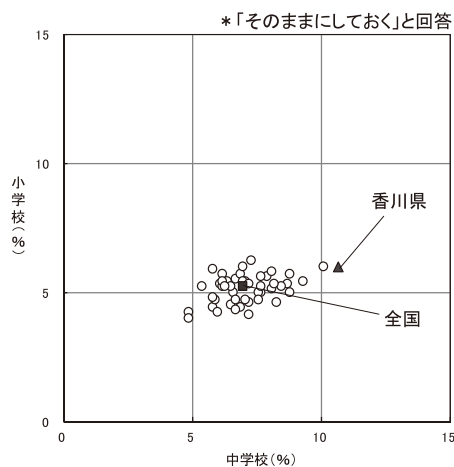


小 ○1.1pt
中 ▼1.3pt

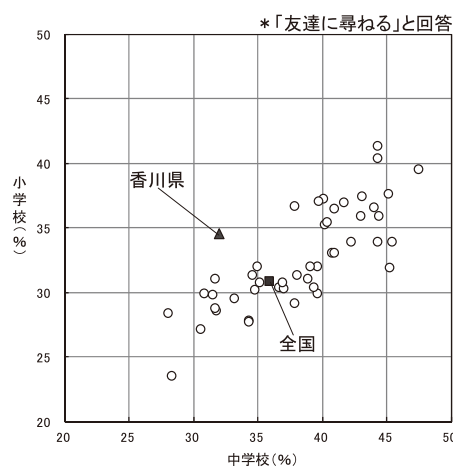
【学習状況《指導状況》】

授業の中で分からないことがあったとき

□47 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか



小 ○0.8pt
中 ◎3.7pt

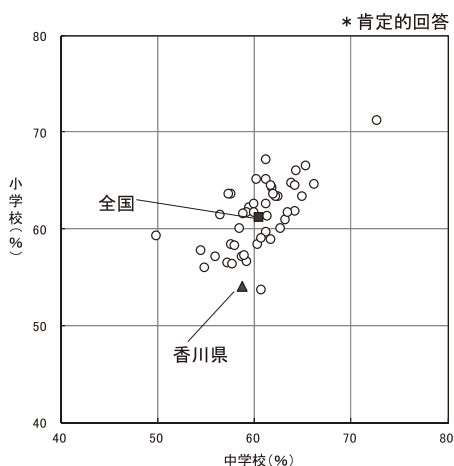


小 ◎3.7pt
中 ▼3.9pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の勉強は好き

□48 国語の勉強は好きですか

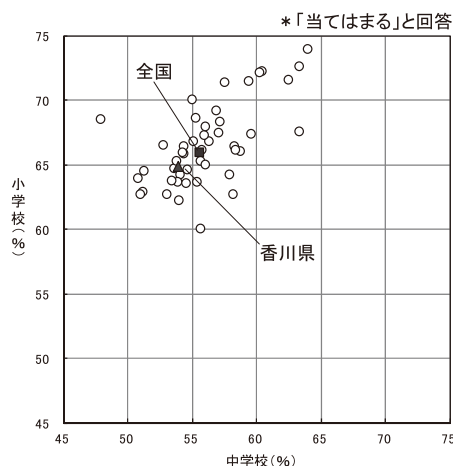


小 ▼7.1pt
中 ▽1.7pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の勉強は大切

□49 国語の勉強は大切だと思いますか

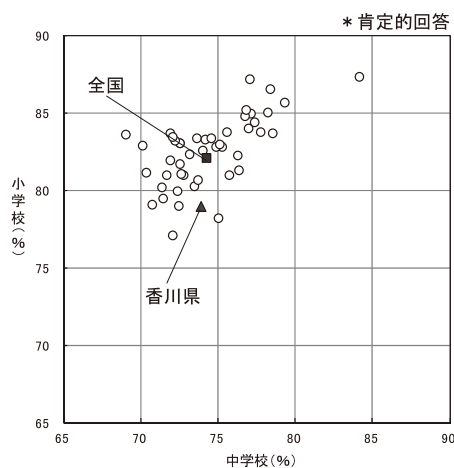


小 ▽1.0pt
中 ▽1.7pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の授業の内容はよく分かる

□50 国語の授業の内容はよく分かりますか

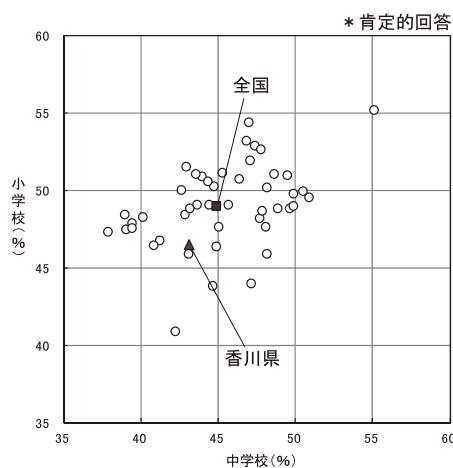


小 ▼3.1pt
中 ▽0.4pt

【学習時間等】

読書が好き

□51 読書は好きですか

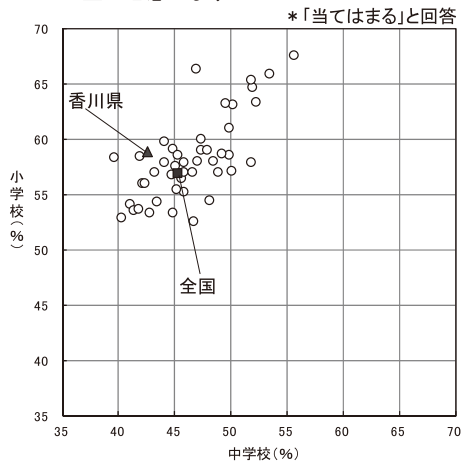


小 ▽2.4pt
中 ▽1.8pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

将来、社会に出たときに役に立つ

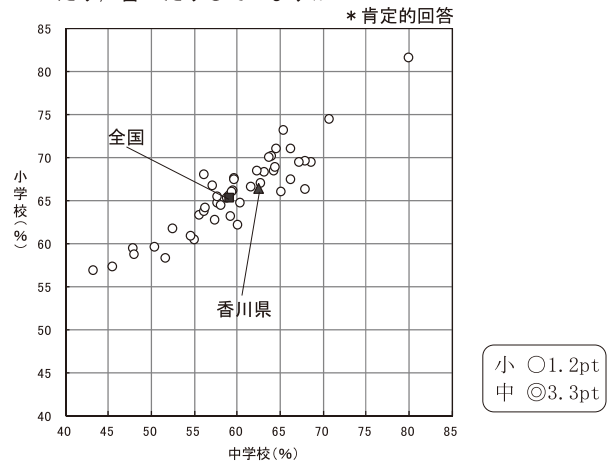
□52 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

目的に応じて読み、考えを話したり書いたりする

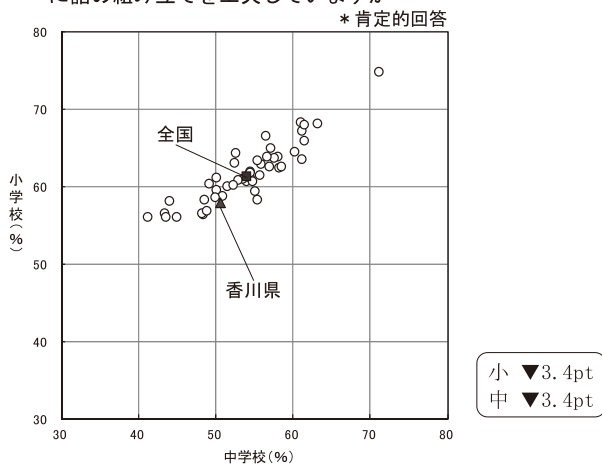
□53 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

話の組み立てを工夫している

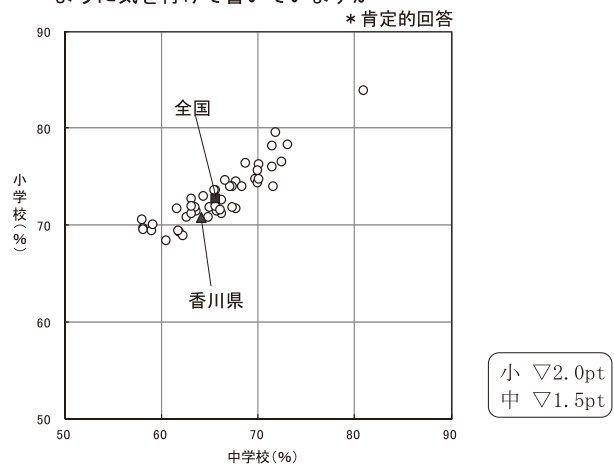
□54 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

理由が分かるように書いている

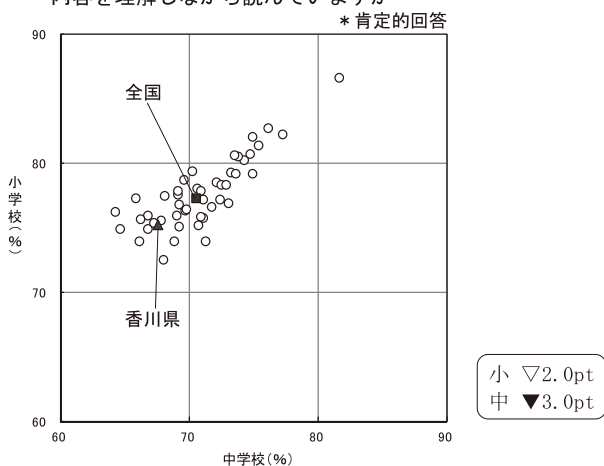
□55 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

まとめごと内容に理解しながら読む

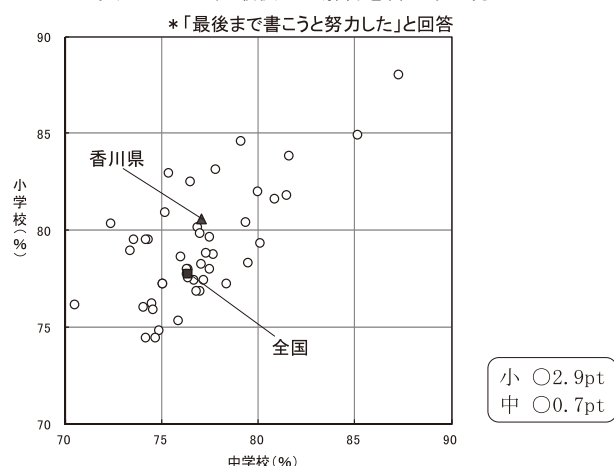
□56 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

(書く問題)最後まで解答を書こうと努力

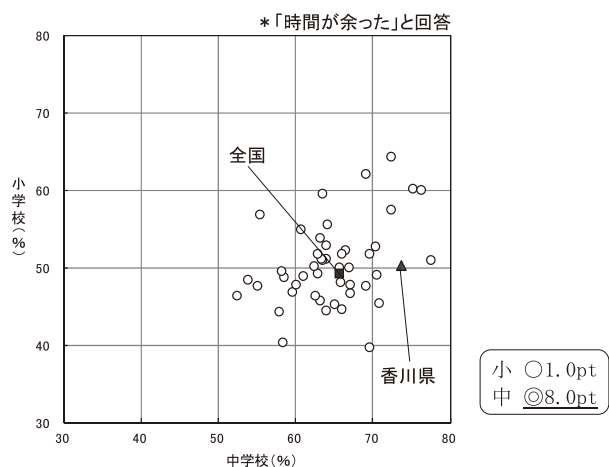
□57 小: 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました、どのように解答しましたか
中: 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました、最後まで解答を書こうと努力しましたか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

解答時間は十分だった

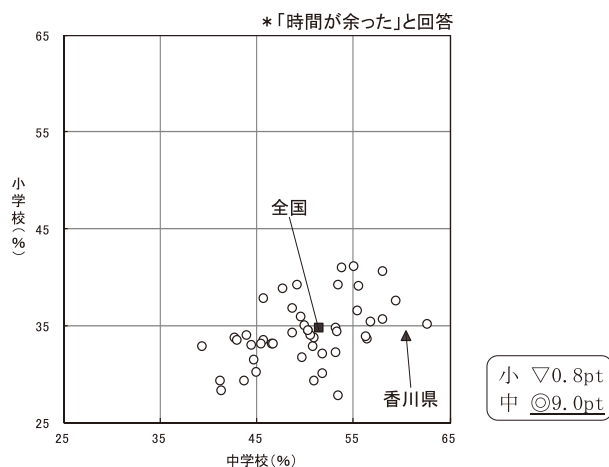
□83 解答時間は十分でしたか(国語A)



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

解答時間は十分だった

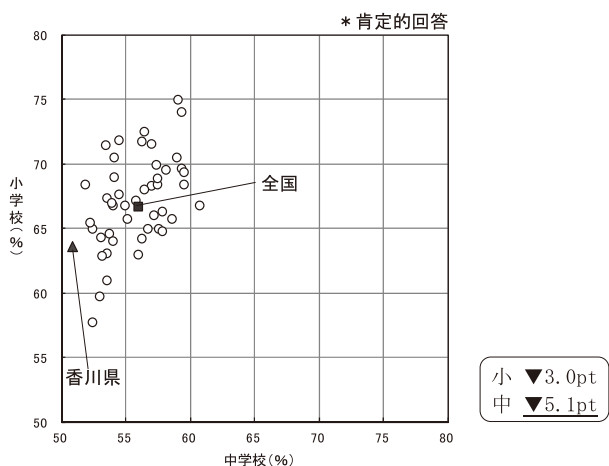
□84 解答時間は十分でしたか(国語B)



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の勉強は好き

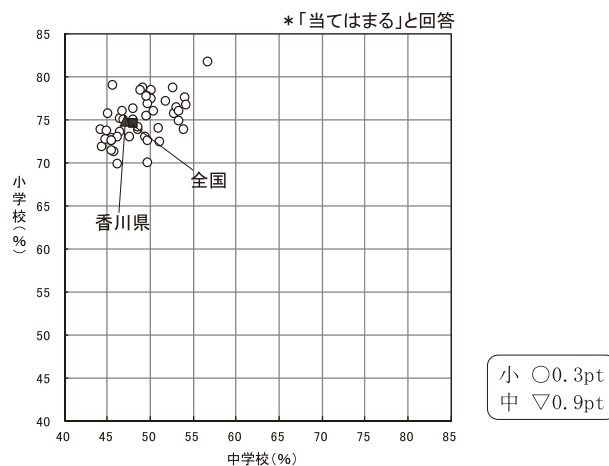
□58 算数(数学)の勉強は好きですか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の勉強は大切

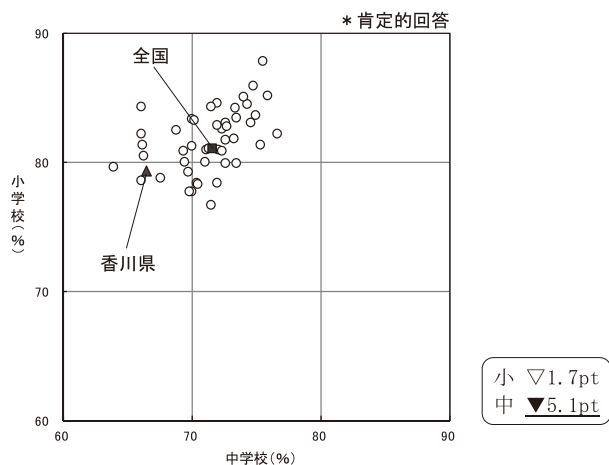
□59 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の授業の内容はよく分かる

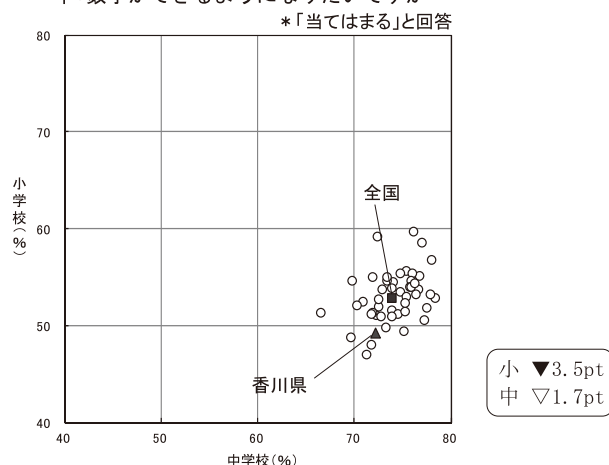
□60 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

新しい問題を解いてみたい(小)
数学ができるようになりたい(中)

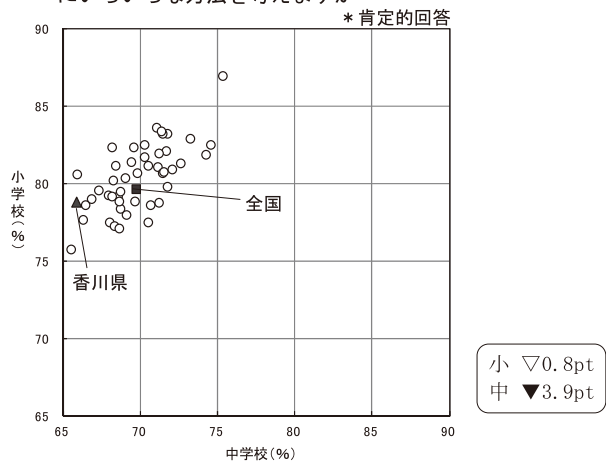
□61 小:算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか
中:数学ができるようになりたいですか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

あきらめずにいろいろな方法を考える

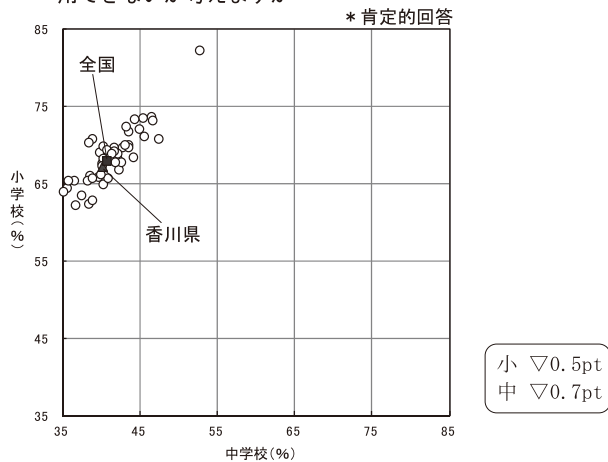
□62 算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

生活の中で活用できないかを考える

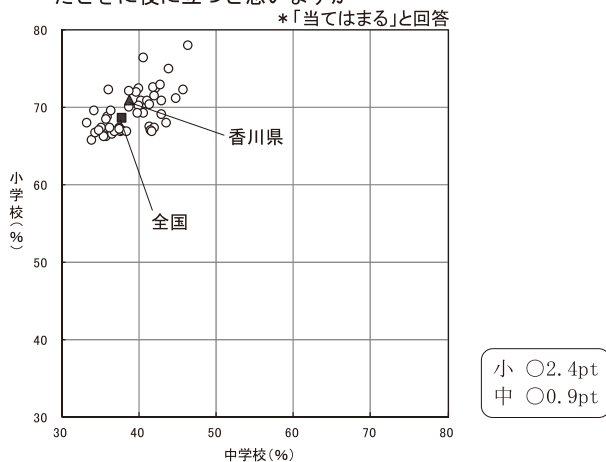
□63 算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかを考えますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

将来、社会に出たときに役に立つ

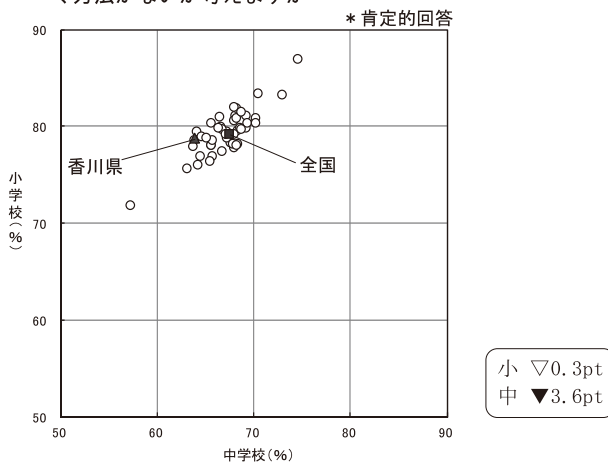
□64 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

もっと簡単に解く方法がないか考える

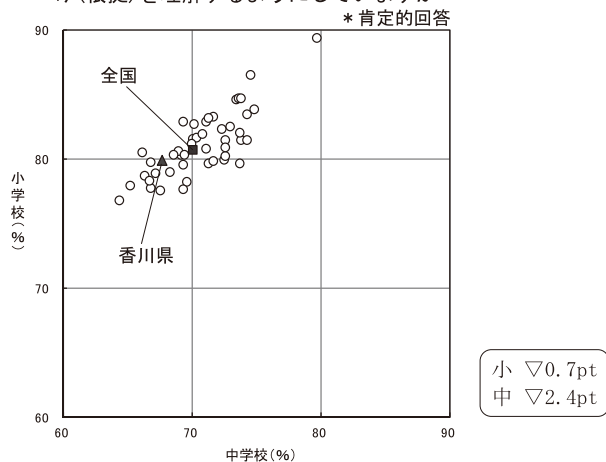
□65 算数（数学）の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

公式やきまりのわけ（根拠）を理解する

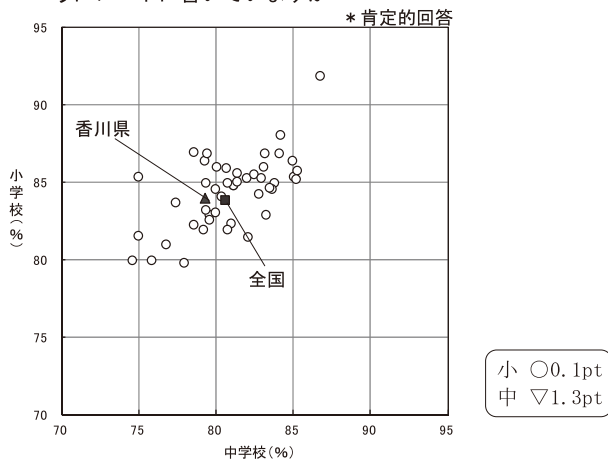
□66 算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

解き方や考え方が分かるようにノートに書く

□67 算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

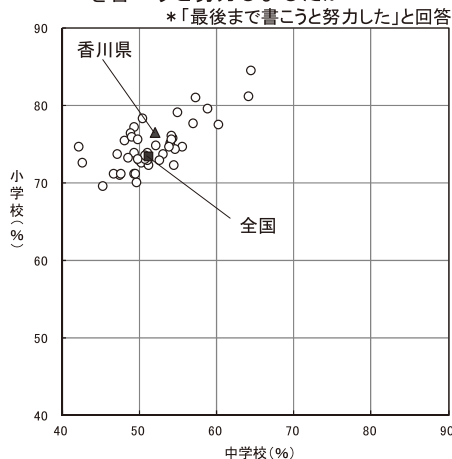


【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力

□68 小：今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

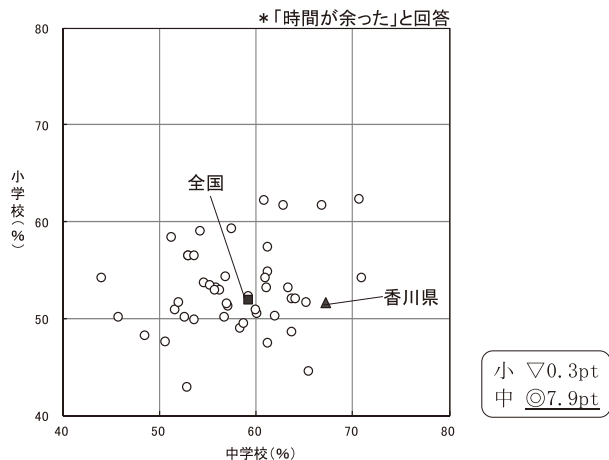
中：今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

解答時間は十分だった

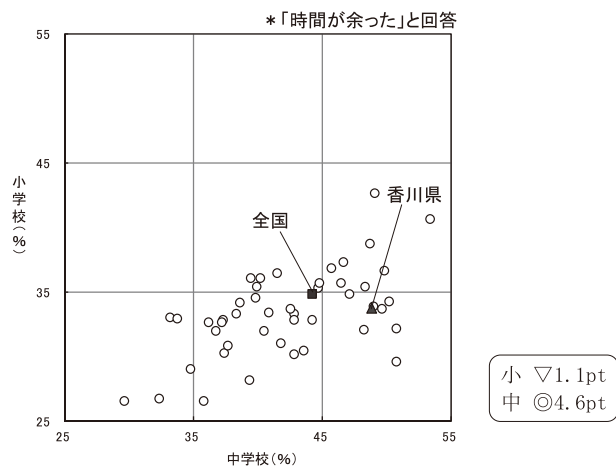
□85 解答時間は十分でしたか(算数A・数学A)



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

解答時間は十分だった

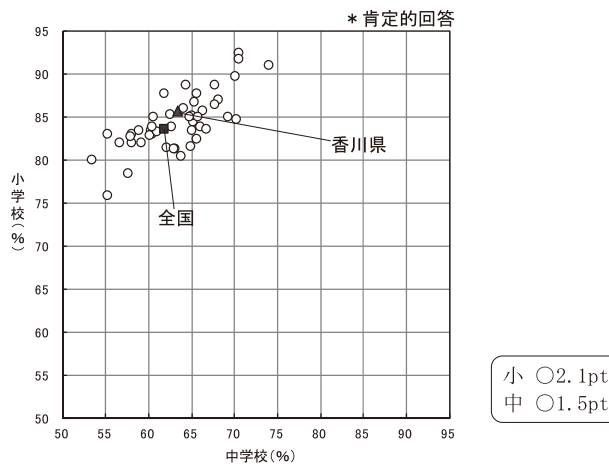
□86 解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

理科の勉強は好き

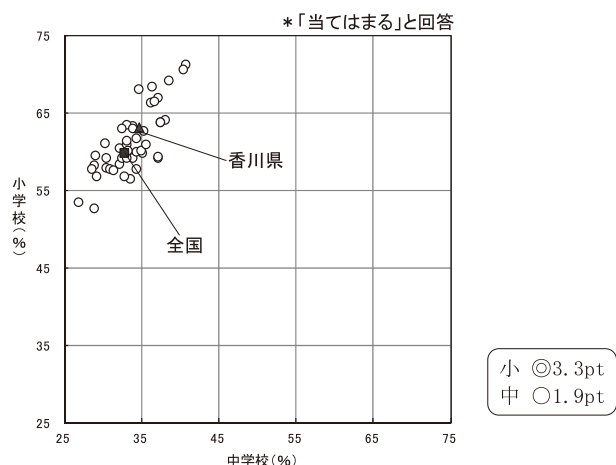
□69 理科の勉強は好きですか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

理科の勉強は大切

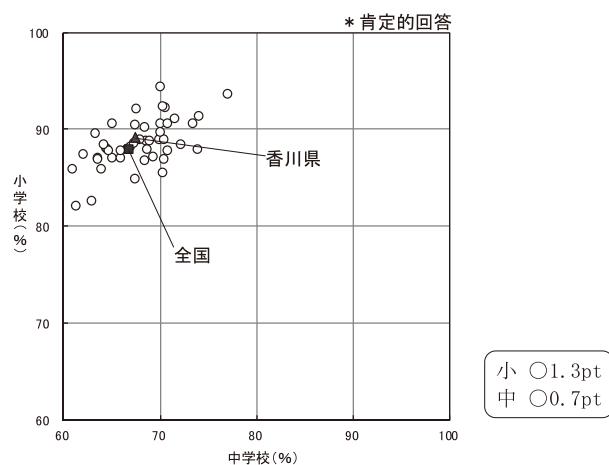
□70 理科の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

理科の授業の内容はよく分かる

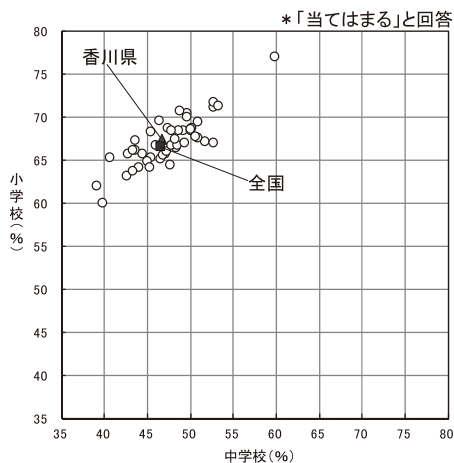
□71 理科の授業の内容はよくわかりますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

自然遊びや自然観察をしたことがある

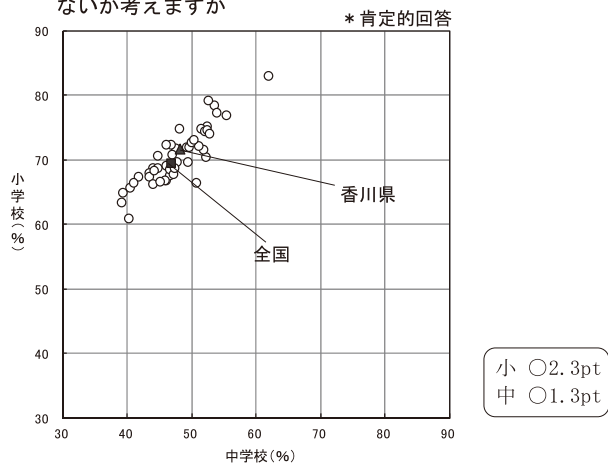
□72 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

生活の中で活用できないかを考える

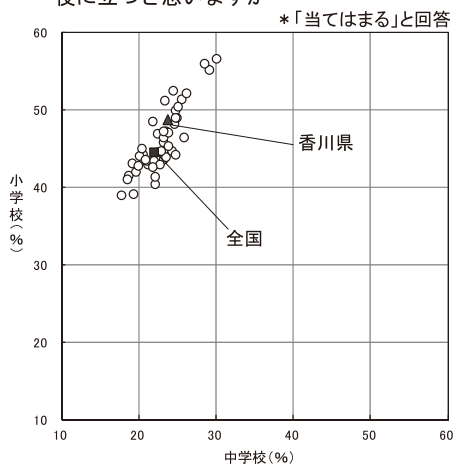
□73 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

将来、社会に出たときに役に立つ

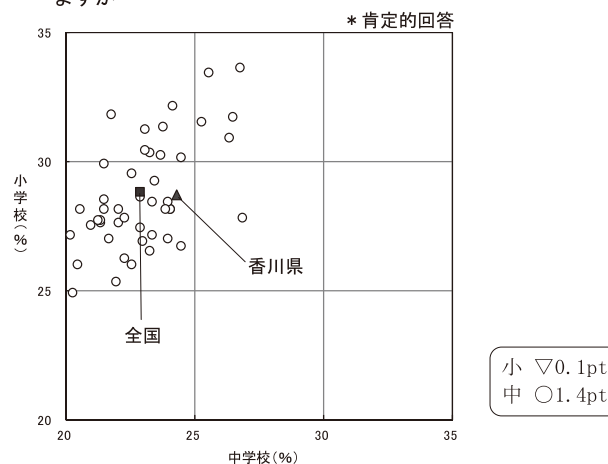
□74 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

理科等に関する職業に就きたい

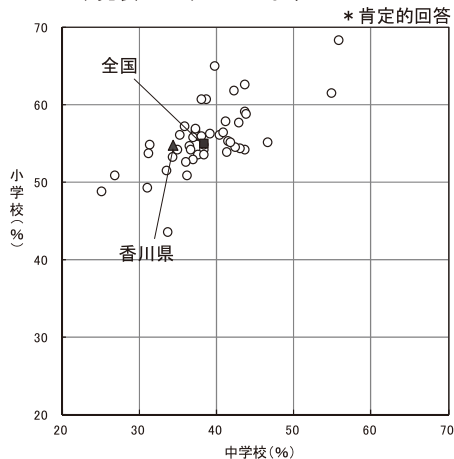
□75 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いませんか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

考えや考察を説明したり発表したりしている

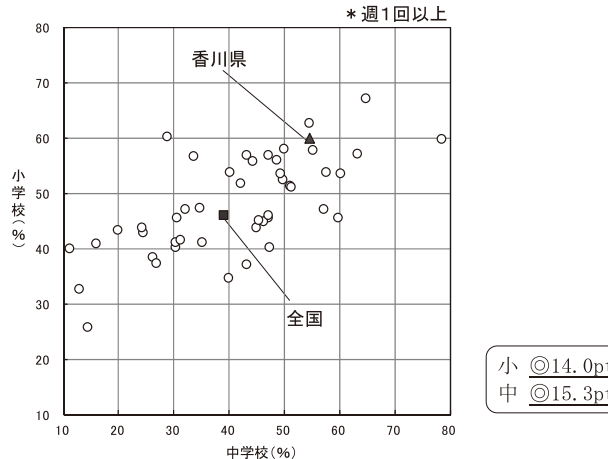
□76 理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

観察や実験を行っている

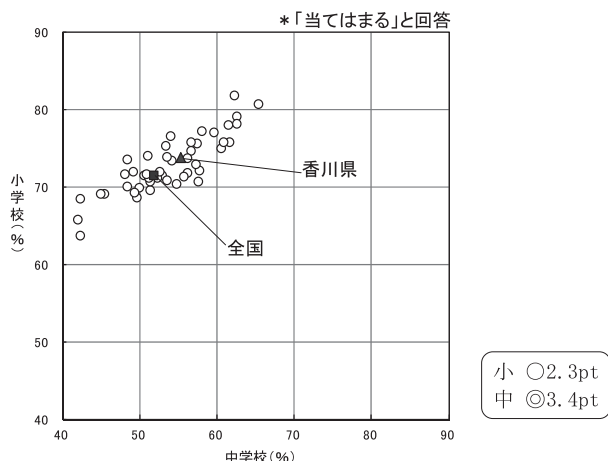
□77 理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

観察や実験は好き

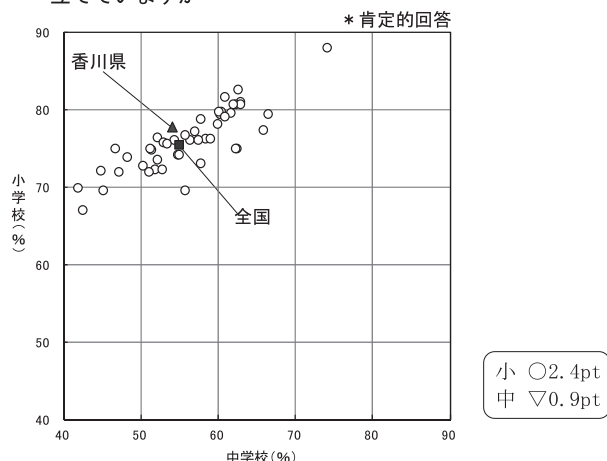
□78 観察や実験を行うことは好きですか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

観察や実験の計画を立てている

□79 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

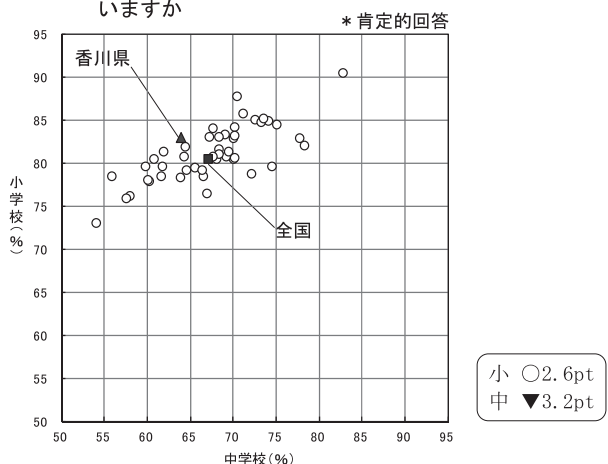


【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

観察や実験の結果をもとに考察している

□80 小：理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか

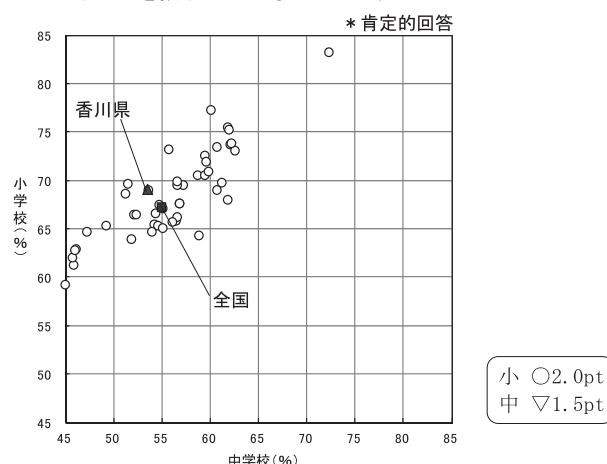
中：理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えている

□81 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか

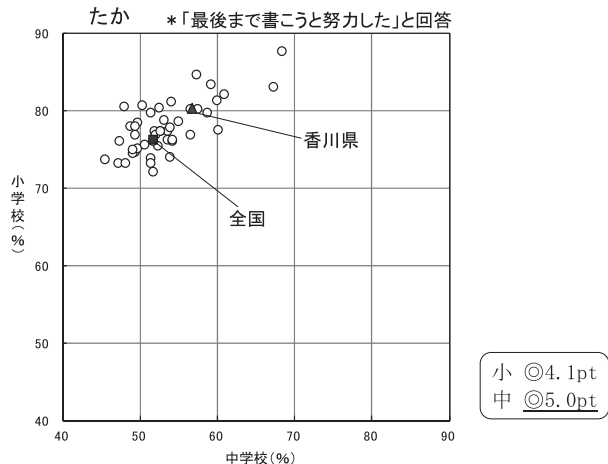


【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力

□82 小：今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました、どのように解答しましたか

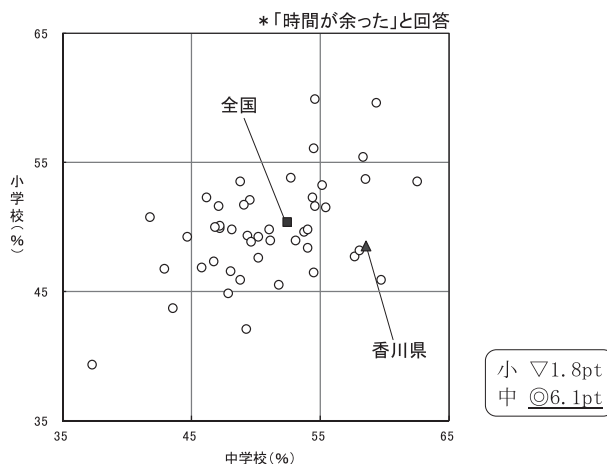
中：今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました、最後まで解答を書こうと努力しましたか



【学習に対する関心・意欲・態度《理科》】

解答時間は十分だった

□87 解答時間は十分でしたか(理科)



3 学校質問紙 調査結果一覧

1段目：香川県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）																
小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢（各質問の選択項目は、P128を参照）									その他※ ・無回答	1の差 1＋2の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		
【学習態度】																
16	16	129	15	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	小	19.4	72.1	7.9	0.6						0.0	-5.3
						24.7	67.9	7.3	0.2					0.0	-1.1	
					中	15.9	66.7	17.4	0.0						0.0	-5.8
						21.7	67.5	10.4	0.2					0.2	-6.6	
17	17	129	16	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	35.2	53.9	10.9	0.0						0.0	-3.3
						38.5	51.7	9.2	0.6					0.0	-1.1	
					中	34.8	55.1	8.7	1.4						0.0	-14.5
						49.3	44.0	6.1	0.4					0.2	-3.4	
18	18	129	17	調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか	小	23.6	64.8	10.9	0.6						0.0	-5.1
						28.7	59.7	11.1	0.4					0.0	0.0	
					中	31.9	58.0	8.7	1.4						0.0	-7.9
						39.8	51.3	8.5	0.3						0.2	-1.2
【言語活動】																
19	19	129	18	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	6.1	66.7	26.7	0.6						0.0	-4.2
						10.3	61.6	27.4	0.7						0.0	0.9
					中	7.2	53.6	39.1	0.0						0.0	-2.1
						9.3	60.0	29.6	0.9						0.2	-8.5
20	20	129	19	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	小	17.0	66.1	17.0	0.0						0.0	-3.7
						20.7	63.3	15.4	0.5						0.0	-0.9
					中	17.4	63.8	18.8	0.0						0.0	-4.5
						21.9	63.3	14.1	0.5						0.2	-4.0
21	21	129	20	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小	6.7	60.0	32.7	0.0						0.6	-1.0
						7.7	58.4	33.0	0.8						0.0	0.6
					中	10.1	53.6	34.8	1.4						0.0	1.5
						8.6	58.7	31.5	1.0						0.2	-3.6
【就学援助】																
22	22	*	21	調査対象学年の児童生徒のうち、就学援助を受けている児童生徒の割合	小	10.9	16.4	27.3	32.1	10.3	1.2	1.8			0.0	-3.7
						14.6	14.4	19.5	27.3	13.4	7.1	2.3			1.3	-1.7
					中	10.1	2.9	13.0	55.1	13.0	0.0	5.8			0.0	3.4
						6.7	10.7	19.8	32.7	16.7	9.5	2.5			1.4	-4.4
【日本語指導】																
23	23	*	22	調査対象学年の児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒の割合	小	95.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	5.6
						90.2	5.9	1.5	0.7	0.3	0.4	0.3			0.7	3.9
					中	88.4	7.2	2.9	1.4	0.0	0.0	0.0			0.0	2.2
						86.2	8.9	2.1	1.0	0.4	0.6	0.6			0.2	0.5
【学力向上に向けた取組】																
24	24	130	23	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	小	13.3	30.3	55.2	0.6	0.0	0.0				0.6	-5.6
						18.9	42.2	30.0	3.3	4.1	1.4				0.1	-17.5
					中	27.5	42.0	8.7	7.2	10.1	4.3				0.0	-37.4
						64.9	15.3	2.4	2.8	8.0	6.4				0.1	-10.7
25	25	130	24	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	小	9.7	29.7	37.0	18.2	4.2					1.2	-6.6
						16.3	31.3	35.0	15.1	2.1					0.2	-8.2
					中	0.0	2.9	33.3	43.5	20.3					0.0	-0.8
						0.8	9.6	34.5	42.1	12.6					0.3	-7.5
26	26	130	25	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか	小	4.8	33.3	27.3	19.4	6.1	8.5				0.6	1.8
						3.0	14.7	12.8	16.7	10.9	41.6				0.2	20.4
					中	2.9	11.6	15.9	24.6	27.5	17.4				0.0	-1.7
						4.6	10.3	8.6	24.8	32.4	19.1				0.3	-0.4
27	27	130	26	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか	小	0.0	2.4	5.5	2.4	89.1					0.6	-0.3
						0.3	1.7	2.2	2.4	92.9					0.6	0.4
					中	0.0	10.1	1.4	1.4	87.0					0.0	-0.8
						0.8	2.5	3.6	5.7	87.2					0.2	6.8
28	28	130	27	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	小	1.2	3.0	17.0	43.6	34.5					0.6	-0.6
						1.8	4.4	21.4	35.2	36.8					0.3	-2.0
					中	7.2	4.3	44.9	21.7	21.7					0.0	-2.5
						9.7	13.2	34.4	22.5	20.0					0.2	-11.4
【指導方法・学習規律】																
29	29	131	28	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れられましたか	小	74.5	24.2	0.6	0.0						0.6	3.4
						71.1	27.0	1.7	0.0						0.1	0.6
					中	58.0	42.0	0.0	0.0						0.0	1.7
						56.3	39.4	4.1	0.1						0.2	4.3
30	30	131	29	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか	小	41.2	52.1	6.1	0.0						0.6	-6.4
						47.6	46.3	5.9	0.1						0.1	-0.6
					中	33.3	60.9	5.8	0.0						0.0	-0.9
						34.2	56.7	9.0	0.1						0.1	3.3
【言語活動】																
31	31	131	30	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	小	24.8	64.2	10.3	0.0						0.6	-2.1
						26.9	64.8	8.1	0.0						0.1	-2.7
					中	23.2	55.1	21.7	0.0						0.0	1.0
						22.2	64.5	13.1	0.1						0.1	-8.4
32	32	131	31	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	24.8	66.1	8.5	0.0						0.6	-5.9
						30.7	63.6	5.6	0.0						0.1	-3.4
					中	23.2	68.1	8.7	0.0						0.0	0.6
						22.6	69.5	7.6	0.0						0.2	-0.8

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(各質問の選択項目は、P128を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1+2の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		
33	33	131	32	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	小	36.4	60.0	3.0	0.0						0.6	-9.8
						46.2	51.1	2.6	0.0						0.1	-0.9
					中	24.6	72.5	2.9	0.0						0.0	-7.8
						32.4	61.9	5.6	0.0						0.1	2.8
【指導方法・学習規律】																
34	34	131	新	授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	小	63.0	33.3	3.0	0.0						0.6	5.1
						57.9	36.2	5.6	0.1						0.1	2.2
					中	40.6	44.9	14.5	0.0						0.0	9.9
						30.7	51.2	17.7	0.3						0.1	3.6
【言語活動】																
35	35	132	38	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	小	38.2	53.3	7.9	0.0						0.6	-9.6
						47.8	47.7	4.4	0.1						0.1	-4.0
					中	30.4	58.0	11.6	0.0						0.0	-1.6
						32.0	57.2	10.5	0.2						0.1	-0.8
36	36	132	42	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	小	23.0	52.1	23.0	1.2						0.6	-1.0
						24.0	57.3	18.2	0.2						0.3	-6.2
					中	17.4	58.0	24.6	0.0						0.0	-9.7
						27.1	51.9	20.4	0.4						0.1	-3.6
37	37	132	新	調査対象学年の児童生徒に対して、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小	12.7	56.4	29.1	1.2						0.6	-4.5
						17.2	55.8	26.5	0.5						0.1	-3.9
					中	8.7	50.7	40.6	0.0						0.0	-3.3
						12.0	51.3	35.6	1.0						0.2	-3.9
【指導方法・学習規律】																
38	38	132	39	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	小	14.5	65.5	19.4	0.0						0.6	-13.7
						28.2	62.6	9.0	0.0						0.1	-10.8
					中	5.8	49.3	44.9	0.0						0.0	-12.6
						18.4	59.6	21.6	0.2						0.1	-22.9
【言語活動】																
39	39	132	40	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	小	20.6	58.2	20.6	0.0						0.6	-2.7
						23.3	62.6	13.8	0.1						0.1	-7.1
					中	11.6	62.3	26.1	0.0						0.0	-5.7
						17.3	60.8	21.5	0.2						0.1	-4.2
40	40	132	41	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	小	22.4	66.7	10.3	0.0						0.6	-4.8
						27.2	64.7	7.9	0.0						0.2	-2.8
					中	10.1	72.5	17.4	0.0						0.0	-9.9
						20.0	67.8	12.0	0.0						0.2	-5.2
【指導方法・学習規律】																
41	41	133	33	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小	15.8	55.8	27.3	0.6						0.6	-1.6
						17.4	55.0	26.9	0.6						0.2	-0.8
					中	42.0	55.1	2.9	0.0						0.0	3.9
						38.1	58.3	3.4	0.0						0.1	0.7
42	42	133	37	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小	27.9	58.2	13.3	0.0						0.6	-3.8
						31.7	55.8	12.2	0.2						0.1	-1.4
					中	34.8	50.7	13.0	1.4						0.0	8.0
						26.8	55.9	16.8	0.4						0.2	2.8
43	43	133	34	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	小	43.6	52.7	3.0	0.0						0.6	-2.8
						46.4	50.3	3.2	0.0						0.1	-0.4
					中	53.6	46.4	0.0	0.0						0.0	12.7
						40.9	54.9	4.0	0.0						0.2	4.2
44	44	133	35	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	小	55.2	38.2	6.1	0.0						0.6	-2.8
						58.0	38.2	3.5	0.1						0.2	-2.8
					中	65.2	33.3	1.4	0.0						0.0	1.3
						63.9	33.5	2.4	0.1						0.1	1.1
45	45	133	43	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	小	18.8	55.2	25.5	0.0						0.6	-0.6
						19.4	56.2	23.8	0.5						0.2	-1.6
					中	21.7	53.6	24.6	0.0						0.0	7.1
						14.6	53.8	30.8	0.6						0.2	6.9
【コンピュータなどを活用した教育】																
46	46	133	44	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	小	7.9	39.4	49.7	2.4						0.6	-7.1
						15.0	51.1	32.0	1.8						0.1	-18.8
					中	7.2	27.5	60.9	4.3						0.0	-2.5
						9.7	43.6	43.6	2.9						0.2	-18.6
47	47	134	45	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	3.6	21.2	52.1	22.4						0.6	-9.2
						12.8	24.7	43.6	18.7						0.2	-12.7
					中	0.0	7.2	39.1	53.6						0.0	-5.0
						5.0	11.4	37.4	45.8						0.4	-9.2
48	48	134	46	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	6.1	20.0	44.2	28.5						1.2	-15.4
						21.5	24.5	32.3	21.5						0.2	-19.9
					中	4.3	14.5	30.4	50.7						0.0	-7.5
						11.8	16.0	33.5	38.3						0.4	-9.0
49	49	134	新	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	12.7	43.0	38.8	4.2						1.2	-6.3
						19.0	42.5	31.9	6.3						0.2	-5.8
					中	21.7	33.3	31.9	13.0						0.0	-2.3
						24.0	29.9	30.0	15.6						0.5	1.1

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(各質問の選択項目は、P128を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1+2の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		
【全国学力・学習状況調査等の活用】																
50	50	134	48	平成２６年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	小	48.5	50.3	0.0							1.2	0.2
						48.3	49.8	1.6							0.3	0.7
					中	44.9	52.2	2.9							0.0	4.5
51	51	134	48	平成２６年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	40.6	57.6	0.6						1.2	0.0	
						40.6	55.2	3.9							0.3	2.4
					中	30.4	62.3	7.2							0.0	-2.6
52	52	134	49	平成２６年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等へ掲載、保護者会等での説明を含む）	小	33.0	60.2	6.6						0.2	-0.5	
						16.4	68.5	13.9							1.2	-12.5
					中	28.9	59.1	11.7							0.3	-3.1
53	53	135	50	平成２６年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	小	24.6	62.3	13.0						0.0	-2.5	
						27.1	56.8	15.8							0.3	3.0
					中	15.8	71.5	12.7							0.0	-5.6
54	54	135	51	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	21.4	66.0	12.3						0.2	-0.1	
						15.9	65.2	18.8							0.0	-1.3
					中	17.2	63.3	19.2							0.2	0.6
55	55	135	53	調査対象学年の児童生徒に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	小	40.0	57.0	1.8	0.0					1.2	7.3	
						32.7	59.2	4.4	3.4						0.3	5.1
					中	24.6	65.2	8.7	0.0						1.4	-2.4
56	56	135	54	調査対象学年の児童生徒に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	小	27.0	60.9	8.2	3.6					0.3	1.9	
						19.4	20.0	19.4	12.1	27.9					1.2	-2.3
					中	21.7	10.7	11.8	15.2	40.4					0.2	7.0
57	57	135	58	調査対象学年の児童生徒に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	17.4	2.9	10.1	10.1	59.4					0.0	-1.6
						19.0	6.3	8.3	12.5	53.7					0.2	-5.0
					中	12.7	13.9	16.4	21.2	34.5					1.2	-1.4
58	58	135	新	調査対象学年の児童生徒に対して、理科の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	14.1	9.3	11.6	17.4	47.4					0.2	3.2
						13.0	2.9	10.1	10.1	63.8					0.0	-1.3
					中	14.3	5.5	7.8	12.1	60.1					0.2	-3.9
【個に応じた指導《チームティーチング》】																
59	59	136	59	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補的な学習の指導を行いましたか	小	18.8	11.5	19.4	22.4	26.7					1.2	-3.2
						22.0	10.9	12.6	19.2	35.1					0.2	-2.6
					中	30.4	5.8	5.8	13.0	44.9					0.0	6.6
60	60	136	60	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	23.8	9.2	11.7	12.3	42.7					0.2	3.2
						12.1	6.1	5.5	8.5	66.7					1.2	5.0
					中	7.1	3.5	4.8	10.7	73.5					0.2	7.6
61	61	136	61	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	17.4	7.2	10.1	0.0	65.2					0.0	12.1
						5.3	3.6	5.8	8.2	76.7					0.3	15.7
					中											
【国語科の指導方法】																
62	62	136	62	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	18.8	55.8	24.8	0.0						0.6	2.6
						16.2	57.6	23.7	2.3						0.2	0.8
					中	24.6	53.6	20.3	1.4						0.0	7.0
63	63	136	63	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小	17.6	60.6	19.4	2.2						0.2	0.0
						2.4	34.5	58.8	3.6						0.6	-2.5
					中	4.9	39.7	51.0	4.3						0.2	-7.7
64	64	136	64	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	10.1	47.8	39.1	2.9						0.0	1.0
						9.1	51.7	36.3	2.8						0.2	-2.9
					中	15.2	70.3	13.9	0.0						0.6	-6.9
65	65	137	66/65	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補的な学習の指導を行いましたか	小	22.1	67.2	10.4	0.2						0.1	-3.8
						20.3	58.0	20.3	1.4						0.0	-1.0
					中	21.3	61.9	16.3	0.3						0.2	-4.9
66	66	137	67/66	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	28.5	61.8	9.1	0.0						0.6	-3.9
						32.4	59.5	7.9	0.1						0.2	-1.6
					中	37.7	59.4	2.9	0.0						0.0	-2.1
67	67	137	68/67	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小	39.8	54.7	5.3	0.1						0.2	2.6
						13.9	63.0	22.4	0.0						0.6	-7.2
					中	21.1	63.5	15.0	0.2						0.1	-7.7
68	68	137	69/68	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	23.2	56.5	20.3	0.0						0.0	-2.2
						25.4	61.3	13.0	0.2						0.2	-7.0
					中	47.3	49.1	3.0	0.0						0.6	-5.9
69	69	137	70/69	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	小	53.2	44.7	1.9	0.0						0.2	-1.5
						60.9	37.7	1.4	0.0						0.0	0.6
					中	60.3	37.9	1.7	0.0						0.2	0.4
【算数・数学科の指導方法】																
70	70	137	71/70	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補的な学習の指導を行いましたか	小	37.6	52.7	9.1	0.0						0.6	-2.3
						39.9	51.9	7.3	0.8						0.1	-1.5
					中	30.4	59.4	10.1	0.0						0.0	-0.6
71	71	137	72/71	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	31.0	58.1	9.8	0.9						0.2	0.7
						5.5	40.6	50.3	3.0						0.6	-6.5
					中	12.0	49.6	36.2	2.1						0.1	-15.5
72	72	137	73/72	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	7.2	49.3	42.0	1.4						0.0	-6.1
						13.3	52.1	31.8	2.6						0.2	-8.9
					中	5.5	63.0	30.9	0.0						0.6	-4.3
73	73	137	74/73	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	9.8	59.5	30.0	0.6						0.1	-0.8
						11.6	59.4	29.0	0.0						0.0	2.0
					中	9.6	53.8	35.1	1.3						0.2	7.6
74	74	137	75/74	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	小	50.3	47.3	1.8	0.0						0.6	-8.1
						58.4	39.0	2.4	0.1						0.2	0.2
					中	63.8	34.8	1.4	0.0						0.0	7.9
75	75	137	76/75	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	小	55.9	40.4	3.4	0.1						0.2	2.3
					中											

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(各質問の選択項目は、P128を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1＋2の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		
69	*	137	70/*	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	小	2.4	97.0								0.6	-4.8
						7.2	92.5								0.2	-0.3
					中											
【理科の指導方法】 (H24 番号)																
70	69	138	57	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	6.7	42.4	46.7	3.6						0.6	-4.0
						10.7	45.1	37.2	6.8						0.1	-6.7
					中	20.3	60.9	18.8	0.0						0.0	1.2
71	70	138	58	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	19.1	59.7	19.2	1.9						0.1	2.4
						4.2	36.4	52.7	6.1						0.6	-2.3
					中	6.5	40.7	47.0	5.7						0.1	-6.6
72	71	138	59	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	5.8	52.2	40.6	1.4						0.0	-5.1
						10.9	51.6	35.0	2.4						0.2	-4.4
					中	15.8	67.9	15.8	0.0						0.6	-1.0
73	72	138	60	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	小	16.8	63.2	19.1	0.7						0.1	3.7
						31.9	58.0	10.1	0.0						0.0	4.8
					中	27.1	61.0	11.5	0.3						0.1	1.8
74	73	138	61	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	小	20.6	63.0	15.8	0.0						0.6	-3.2
						23.8	60.2	15.3	0.5						0.1	-0.4
					中	27.5	52.2	20.3	0.0						0.0	2.4
75	74	138	62	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する（分析し解釈する）指導を行いましたか	小	25.1	54.3	19.6	0.9						0.1	0.3
						18.8	56.4	24.2	0.0						0.6	-4.1
					中	22.9	58.7	17.7	0.5						0.1	-6.4
76	75	139	63	調査対象学年の児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか	小	20.3	46.4	31.9	1.4						0.0	4.5
						15.8	50.0	31.9	2.0						0.2	0.9
					中	23.6	66.7	9.1	0.0						0.6	-8.4
77	76	139	新	調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	小	32.0	61.8	5.9	0.1						0.1	-3.5
						31.9	59.4	8.7	0.0						0.0	1.0
					中	30.9	60.4	8.3	0.2						0.2	0.0
78	77	139	65/64	調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業において、前年度に理科室で児童（生徒）が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	小	24.2	60.6	14.5	0.0						0.6	-7.8
						32.0	60.1	7.7	0.1						0.1	-7.3
					中	18.8	43.5	37.7	0.0						0.0	-4.5
79	78	139	71/69	調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	小	23.3	53.6	21.8	1.0						0.2	-14.6
						7.9	91.5								0.6	-5.3
					中	13.2	86.7								0.1	-0.5
80	79	139	72/70	教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校（小学校）と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	小	2.9	97.1								0.0	-0.8
						3.7	96.1								0.2	0.2
					中	59.4	36.4	3.0	0.6						0.6	1.2
81	80	140	73/71	調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業において、前年度に理科室で児童（生徒）が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	小	58.2	38.3	2.9	0.3						0.2	-0.7
						79.7	17.4	2.9	0.0						0.0	19.7
					中	60.0	36.3	3.1	0.2						0.4	0.8
【特別支援教育】																
82	81	140	74/72	調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	小	33.9	60.0	5.5	0.0						0.6	0.9
						33.0	56.2	9.4	1.1						0.3	4.7
					中	33.3	60.9	5.8	0.0						0.0	-0.5
83	82	140	75/73	調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	小	33.8	52.5	11.8	1.6						0.3	7.9
						20.6	38.8	31.5	9.1						0.0	-0.9
					中	21.5	45.2	28.1	5.1						0.1	-7.3
84	*	140	H24 75/*	調査対象学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊学習を行いましたか（複数実施の場合、最も長期のもの）	小	24.6	49.3	18.8	7.2						0.0	-6.7
						31.3	44.2	20.7	3.6						0.1	-1.6
					中											
【地域の人材・施設の活用】																
85	83	140	76/74	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	小	26.1	45.5	24.2	3.6						0.6	-0.4
						26.5	49.8	20.1	3.4						0.2	-4.7
					中	8.7	43.5	33.3	14.5						0.0	-7.5
86	84	141	77/75	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	16.2	42.6	29.2	11.8						0.2	-6.6
						9.7	19.4	32.1	38.2						0.6	-2.7
					中	12.4	28.2	31.8	27.4						0.1	-11.5
87	85	141	78/76	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	小	1.4	4.3	30.4	63.8						0.0	-6.1
						7.5	16.7	25.7	49.9						0.1	-18.5
					中	2.4	27.9	51.5	17.6						0.6	-2.5
88	84	141	77/75	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	小	4.9	31.5	47.8	15.7						0.2	-6.1
						0.0	10.1	46.4	43.5						0.0	-1.9
					中	1.9	13.6	42.9	41.4						0.2	-5.4
89	*	140	H24 75/*	調査対象学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊学習を行いましたか（複数実施の場合、最も長期のもの）	小	0.0	0.6	1.8	86.7	10.3					0.6	-4.6
						4.6	3.4	30.9	54.7	6.2					0.1	-7.4
					中											
90	83	140	76/74	職場見学や職場体験活動を行っていますか	小	37.6	61.8								0.6	-4.4
						42.0	57.8								0.3	-0.4
					中	100.0	0.0								0.0	1.5
91	84	141	77/75	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	98.5	1.2								0.3	0.3
						50.3	46.1	3.6	0.0						0.0	-8.7
					中	59.0	38.1	2.6	0.1						0.1	-0.7
92	85	141	78/76	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	52.2	40.6	7.2	0.0						0.0	-2.5
						54.7	40.4	4.2	0.5						0.2	-2.3
					中	32.7	44.8	3.0	19.4						0.0	-8.0
93	86	141	79/77	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	40.7	43.4	3.6	12.2						0.2	-6.6
						17.4	37.7	8.7	36.2						0.0	-10.0
					中	27.4	42.3	7.1	22.9						0.2	-14.6

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(各質問の選択項目は、P128を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1＋2の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		
88	86	141	79/77	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小	38.8	54.5	6.1	0.6						0.0	-10.2
						49.0	46.6	2.8	0.9						0.7	-2.3
					中	23.2	68.1	5.8	0.0						2.9	-12.9
						36.1	53.9	5.7	2.9						1.4	1.3
【家庭学習】																
89	87	141	80/78	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	78.2	20.6	0.6	0.0					0.6	-7.9	
						86.1	13.5	0.3	0.0						0.1	-0.8
					中	52.2	43.5	4.3	0.0						0.0	0.8
						51.4	39.7	8.5	0.2						0.2	4.6
90	88	142	81/79	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	小	70.9	24.8	3.6	0.0					0.6	1.1	
						69.8	28.5	1.5	0.0						0.2	-2.6
					中	53.6	42.0	4.3	0.0						0.0	1.3
						52.3	41.4	5.7	0.3						0.2	1.9
91	89	141	82/80	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	79.4	19.4	0.6	0.0					0.6	-8.1	
						87.5	12.1	0.3	0.0						0.1	-0.8
					中	53.6	43.5	2.9	0.0						0.0	-1.6
						55.2	38.1	6.4	0.1						0.2	3.8
92	90	142	83/81	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	小	70.9	26.1	2.4	0.0					0.6	-0.4	
						71.3	27.1	1.4	0.0						0.1	-1.4
					中	59.4	40.6	0.0	0.0						0.0	6.5
						52.9	40.8	5.7	0.3						0.3	6.3
93	91	142	84/82	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国／算・数共通）	小	49.1	47.3	3.0	0.0					0.6	-4.7	
						53.8	42.7	3.3	0.0						0.1	-0.1
					中	20.3	65.2	14.5	0.0						0.0	-11.5
						31.8	52.1	14.9	1.1						0.2	1.6
94	92	142	85/83	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国／算・数共通）	小	46.1	43.6	9.1	0.6					0.6	3.7	
						42.4	44.7	12.2	0.5						0.1	2.6
					中	31.9	55.1	11.6	1.4						0.0	1.4
						30.5	48.0	20.2	1.2						0.2	8.5
95	93	142	86/84	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国／算・数共通）	小	21.8	57.6	20.0	0.0					0.6	-2.6	
						24.4	55.1	20.1	0.3						0.1	-0.1
					中	14.5	50.7	33.3	1.4						0.0	0.1
						14.4	51.7	32.1	1.5						0.2	-0.9
96	94	142	87/85	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国／算・数共通）	小	40.6	50.3	8.5	0.0					0.6	3.1	
						37.5	52.3	9.9	0.2						0.2	1.1
					中	23.2	69.6	7.2	0.0						0.0	-6.0
						29.2	56.5	13.6	0.4						0.2	7.1
97	95	143	H24 86/83	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	13.3	38.2	47.9	0.0					0.6	5.5	
						7.8	32.2	55.7	4.2						0.2	11.5
					中	31.9	53.6	14.5	0.0						0.0	4.6
						27.3	45.9	25.2	1.2						0.4	12.3
98	96	143	H24 87/84	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	35.8	58.8	4.8	0.0					0.6	-1.9	
						37.7	46.6	14.0	1.5						0.2	10.3
					中	50.7	40.6	5.8	2.9						0.0	5.9
						44.8	36.4	13.4	5.0						0.4	10.1
99	97	143	H24 89/86	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	小	33.9	48.5	16.4	0.6					0.6	5.4	
						28.5	45.1	23.5	2.8						0.2	8.8
					中	50.7	46.4	2.9	0.0						0.0	9.5
						41.2	46.7	10.7	0.9						0.4	9.2
【教員研修】																
100	98	143	88/86	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	小	55.8	35.8	7.9	0.6						0.0	-8.4
						64.2	29.1	5.9	0.8						0.1	-1.7
					中	36.2	52.2	10.1	1.4						0.0	-6.9
						43.1	42.7	12.2	1.9						0.1	2.6
101	99	143	89/87	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	小	80.0	17.6	1.8	0.6						0.0	15.9
						64.1	31.4	4.3	0.1						0.1	2.1
					中	44.9	50.7	4.3	0.0						0.0	2.9
						42.0	45.5	12.0	0.5						0.1	8.1
102	100	143	90/88	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	小	63.0	35.2	1.8	0.0						0.0	6.4
						56.6	40.5	2.8	0.0						0.1	1.1
					中	43.5	55.1	1.4	0.0						0.0	-0.7
						44.2	49.1	6.5	0.1						0.1	5.3
103	101	144	91/89	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	小	17.0	4.2	13.9	13.9	30.3	14.5	4.8	0.6	0.0	0.6	-7.4
						24.4	5.9	8.2	10.9	19.1	17.7	11.5	1.7	0.1	0.5	-9.1
					中	17.4	2.9	4.3	14.5	5.8	20.3	27.5	7.2	0.0	0.0	4.1
						13.3	3.3	6.5	11.4	13.0	17.8	25.1	9.2	0.3	0.2	3.7
【教職員の取組】																
104	102	144	92/90	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	小	41.2	55.8	3.0	0.0						0.0	4.2
						37.0	58.8	3.9	0.1						0.2	1.2
					中	21.7	76.8	1.4	0.0						0.0	-5.8
						27.5	64.8	7.6	0.0						0.1	6.2
105	103	144	93/91	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか	小	51.5	47.9	0.6	0.0						0.0	9.4
						42.1	53.7	4.1	0.0						0.0	3.6
					中	36.2	59.4	4.3	0.0						0.0	0.1
						36.1	57.7	6.0	0.1						0.1	1.8
106	104	144	94/92	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	小	22.4	64.2	13.3	0.0						0.0	4.3
						18.1	66.9	14.7	0.3						0.0	1.6
					中	14.5	78.3	7.2	0.0						0.0	-2.2
						16.7	67.1	15.8	0.3						0.1	9.0
【言語活動】																
107	105	144	95/93	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	小	32.1	63.0	4.8	0.0						0.0	1.7
						30.4	58.5	10.8	0.2						0.0	6.2
					中	17.4	63.8	18.8	0.0						0.0	-5.7
						23.1	59.0	17.4	0.3						0.1	-0.9

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H26 番号	質問事項		選択肢(各質問の選択項目は、P128を参照)									その他※ ・無回答	1の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		1+2の差
108	106	145	96/94	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	小	38.2	57.0	4.8	0.0						0.0	1.3
						36.9	51.7	11.3	0.1						0.0	6.6
					中	26.1	49.3	24.6	0.0						0.0	1.5
						24.6	53.0	21.7	0.7						0.1	-2.2
109	107	145	97/95	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	小	33.3	63.0	3.6	0.0					0.0	-1.1	
						34.4	57.2	8.2	0.1						0.1	4.7
					中	24.6	58.0	17.4	0.0						0.0	-7.0
						31.6	54.9	13.2	0.2						0.1	-3.9
【教職員の取組】																
110	108	145	99/97	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	小	63.0	37.0	0.0	0.0					0.0	3.6	
						59.4	38.9	1.6	0.0						0.1	1.7
					中	40.6	58.0	1.4	0.0						0.0	-11.4
						52.0	45.6	2.4	0.0						0.1	1.0
111	109	145	100/98	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	小	59.4	39.4	1.2	0.0					0.0	3.6	
						55.8	41.8	2.3	0.0						0.1	1.2
					中	47.8	49.3	2.9	0.0						0.0	-0.2
						48.0	48.1	3.7	0.0						0.1	1.0
112	110	145	101/99	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	65.5	30.3	4.2	0.0					0.0	1.4	
						64.1	29.0	6.6	0.2						0.1	2.7
					中	58.0	33.3	8.7	0.0						0.0	15.5
						42.5	38.9	17.6	0.7						0.3	9.9

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙 選択肢一覧

※小学校／中学校

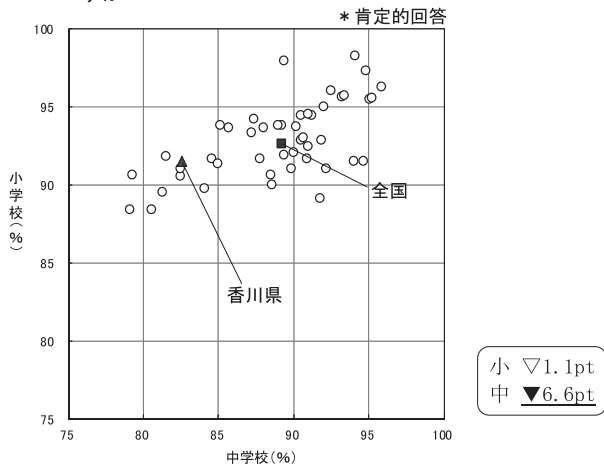
質問番号	選 択 肢			
16/16 ～ 21/21	1 そのとおりだと思う 3 どちらかといえば、そう思わない	2 どちらかといえば、そう思う 4 そう思わない		
22/22	1 在籍していない 4 10%以上、20%未満 7 50%以上	2 5%未満 5 20%以上、30%未満	3 5%以上、10%未満 6 30%以上、50%未満	
23/23	1 在籍していない 5 4人	2 1人 6 5～7人	3 2人 7 8人以上	4 3人
24/24	1 基本的に毎日行った 3 週に1回、定期的に行った 5 不定期に行った	2 週に複数回、定期的に行った 4 月に数回程度、定期的に行った 6 行っていない		
25/25	1 週に1回程度、または、それ以上行った 3 学期に数回程度行った 5 行っていない	2 月に数回程度行った 4 年に数回程度行った		
26/26	1 週に4回以上行った 3 週に1回行った 5 年に数回程度行った	2 週に2～3回行った 4 月に数回程度行った 6 行っていない		
27/27	1 基本的に毎週行った 3 学期に数回程度行った 5 行っていない	2 月に数回程度行った 4 年に数回程度行った		
28/28	1 延べ13日以上 3 延べ5日から8日 5 行っていない	2 延べ9日から12日 4 1日から述べ4日		
29/29～46/46, 59/59～68/68, 70/69～76/75, 79/78, 81/80～83/82, 89/87～99/97	1 よく行った 3 あまり行っていない	2 どちらかといえば、行った 4 全く行っていない		
47/47 ～ 49/49, 78/77	1 週1回以上 3 学期に1回以上	2 月1回以上 4 ほとんど、または、全く行っていない		
50/50 ～ 53/53	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行っていない			
54/54	1 よく行っている 3 ほとんど行っていない	2 どちらかといえば、行っている 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない		
55/55 ～ 58/58	1 年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2 年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3 年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4 年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5 行っていない			
69/*	1 実施していた	2 実施していなかった		
77/76	1 配置されていた	2 配置されていない		
80/79	1 よく行っている 3 あまり行っていない	2 どちらかといえば、行っている 4 全く行っていない		
84/*	1 4泊5日以上での自然の中での宿泊学習を行った 2 3泊4日以上での自然の中での宿泊学習を行った 3 2泊3日以上での自然の中での宿泊学習を行った 4 1泊2日以上での自然の中での宿泊学習を行った 5 自然の中での集団宿泊学習は行っていない			
85/83	1 行っている	2 行っていない		
86/84	1 よく参加してくれる 3 あまり参加してくれない	2 参加してくれる 4 全く参加してくれない		
87/85	1 よく参加してくれる 3 あまり参加してくれない	2 参加してくれる 4 学校支援ボランティアの仕組みがない		
88/86	1 そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない	2 どちらかといえば、そう思う 4 そう思わない		
100/98 ～ 102/100, 104/102 ～ 111/109	1 よくしている 3 あまりしていない	2 どちらかといえば、している 4 全くしていない		
103/101	1 年間15回以上 4 年間9回から10回 7 年間3回から4回	2 年間13回から14回 5 年間7回から8回 8 年間1回から2回	3 年間11回から12回 6 年間5回から6回 9 全く実施していない	
112/110	1 ほぼ毎日 3 月に数日程度	2 週に2～3日程度 4 ほとんど行っていない		

4 学校質問紙回答結果グラフ

【学習態度】

熱意をもって勉強している

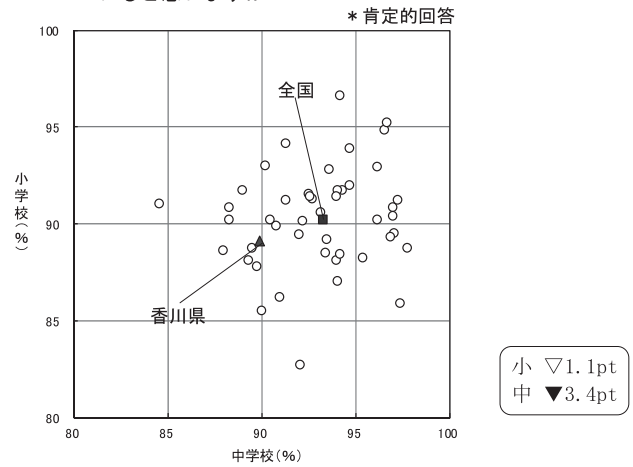
■16/16 対象児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか



【学習態度】

授業中私語が少なく、落ち着いている

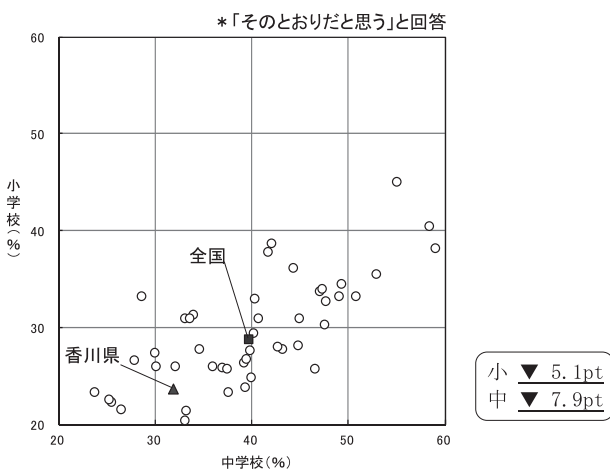
■17/17 対象児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



【学習態度】

礼儀正しいと思う

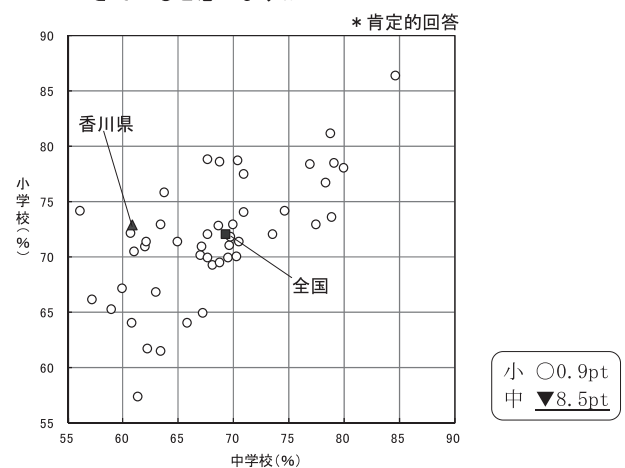
■18/18 対象児童生徒は、礼儀正しいと思いますか



【言語活動】

自分の考えをしっかりと伝える

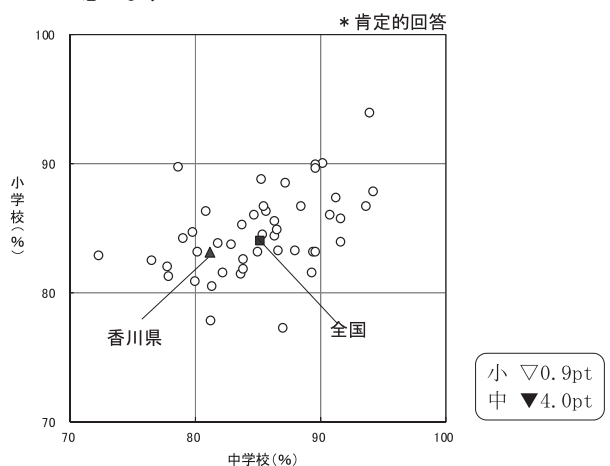
■19/19 対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



【言語活動】

相手の話を最後まで聞く

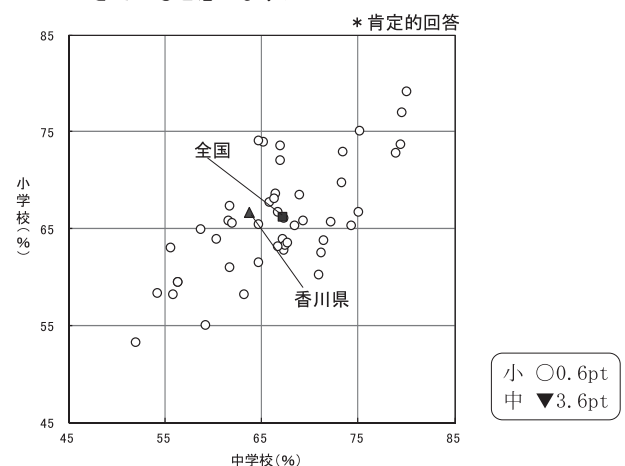
■20/20 対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか



【言語活動】

自分の考えを広げたり深めたりする

■21/21 対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

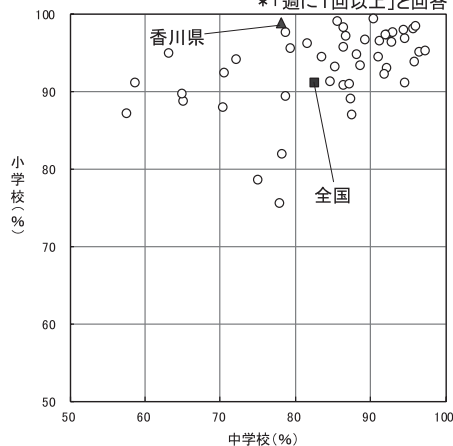


【学力向上に向けた取組】

一斉読書（朝の読書など）の時間

■24/24 対象児童生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか

*「週に1回以上」と回答



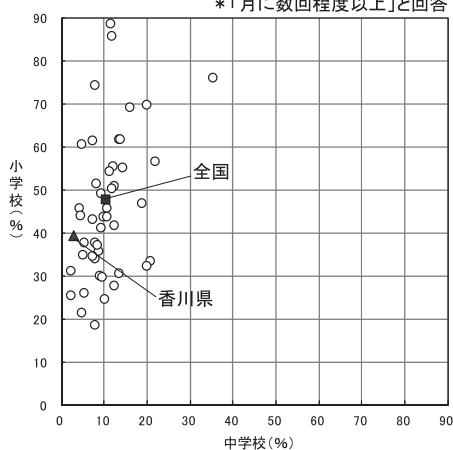
小 ◎7.7pt
中 ▼4.4pt

【学力向上に向けた取組】

学校図書館を活用した授業

■25/25 対象児童生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか

*「月に数回程度以上」と回答



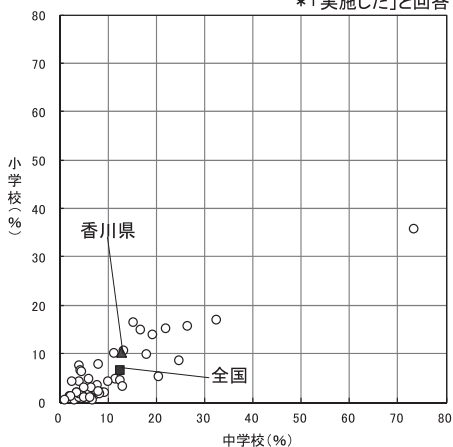
小 ▼8.2pt
中 ▼7.5pt

【学力向上に向けた取組】

土曜日を利用した補充的な学習

■27/27 対象児童生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

*「実施した」と回答



小 ◎3.7pt
中 ○0.3pt

《家庭での読書活動の推進》

香川県教育委員会では、家族で読書に親しむ

『23（にさん）が60（ろくまる）読書運動』を推進しています。家族で一緒に読書を楽しみましょう。

『23 が 60 読書運動』とは…

4月23日の「子ども読書の日」にちなんで、

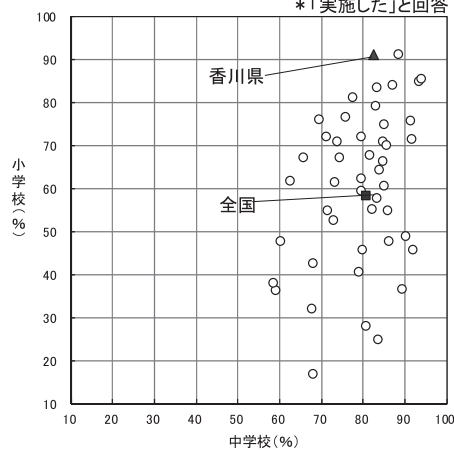
- ① 毎月23日を含む1週間に
⇒日曜日から土曜日まで
- ② 合計60分以上を目標に
⇒いっしょに読書をした時間帯の合計
- ③ 各家庭の生活スタイルに合わせて
- ④ 家族みんなで読書活動に取り組む運動です。

【学力向上に向けた取組】

放課後を利用した補充的な学習

■26/26 対象児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

*「実施した」と回答



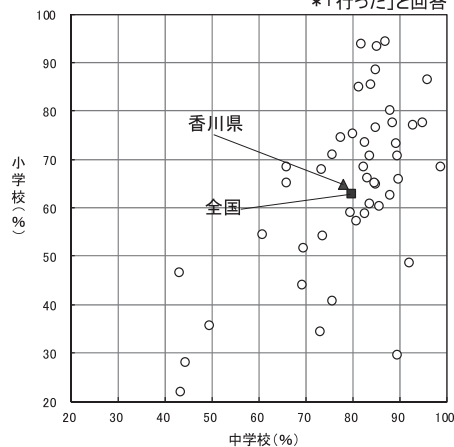
小 ◎32.8pt
中 ○1.8pt

【学力向上に向けた取組】

長期休業日を利用した補充的な学習

■28/28 対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

*「行った」と回答

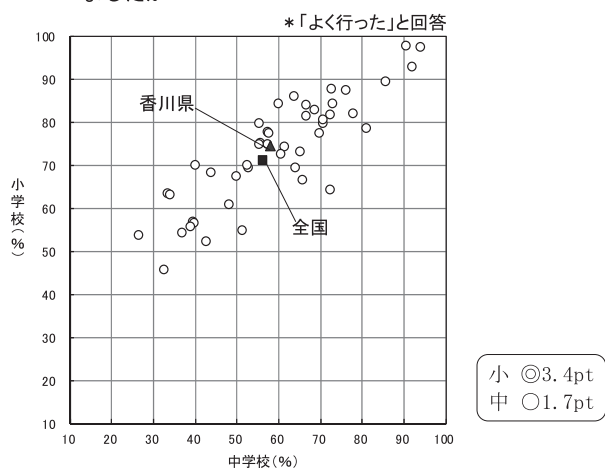


小 ○2.0pt
中 ▼1.7pt

【指導方法・学習規律】

授業の冒頭で目標を示している

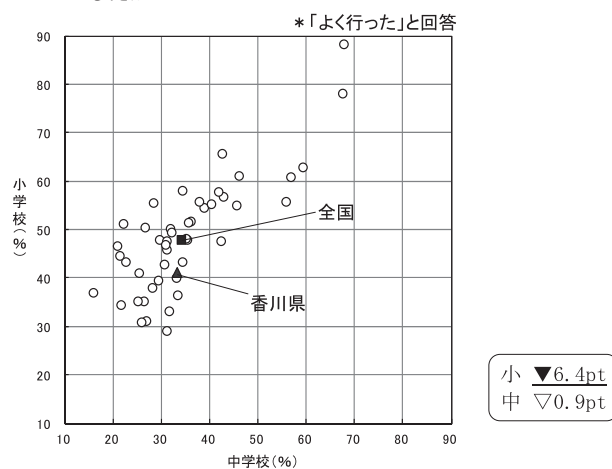
- 29/29 対象児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか



【指導方法・学習規律】

振り返る活動を取り入れた

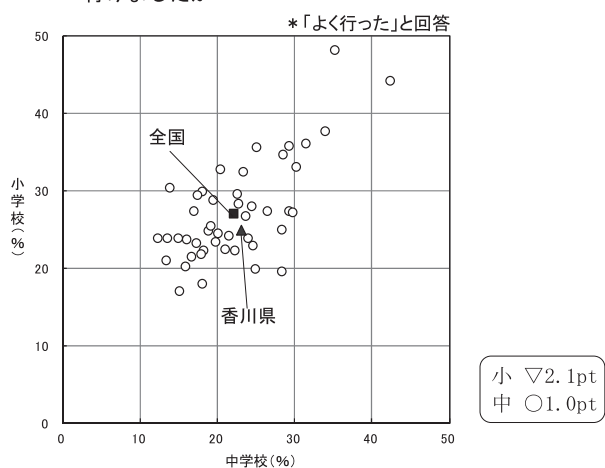
- 30/30 対象児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか



【言語活動】

言語活動を適切に位置づけた

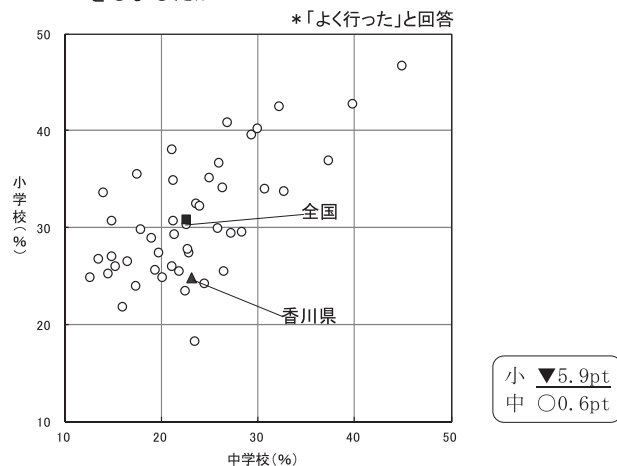
- 31/31 対象児童生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか



【言語活動】

思考を深める発問・指導

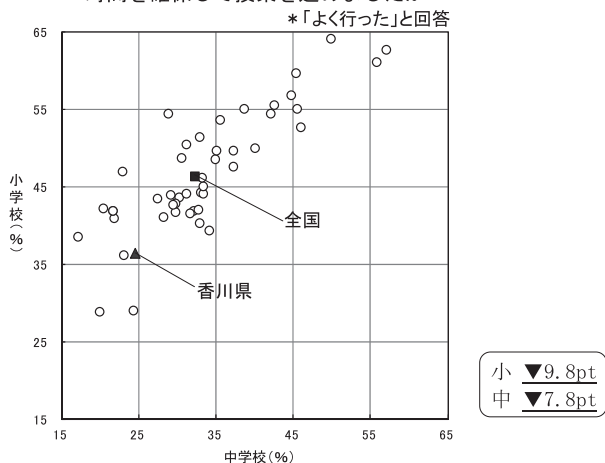
- 32/32 対象児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



【言語活動】

発言や活動の時間を確保した授業

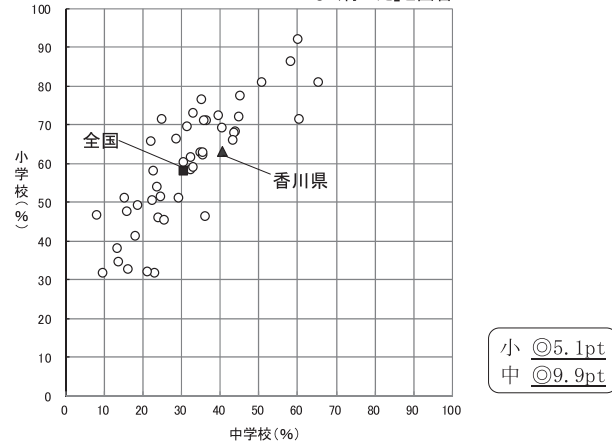
- 33/33 対象児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



【指導方法・学習規律】

ノートに目標とまとめを書く指導

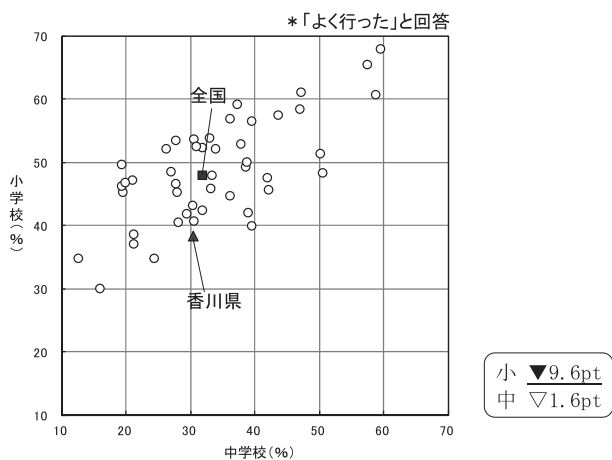
- 34/34 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか



【言語活動】

話し合う活動

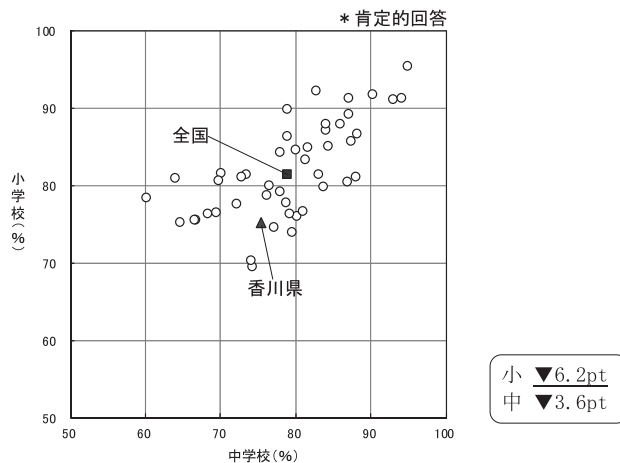
- 35/35 対象児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか



【言語活動】

探究の過程を意識した指導

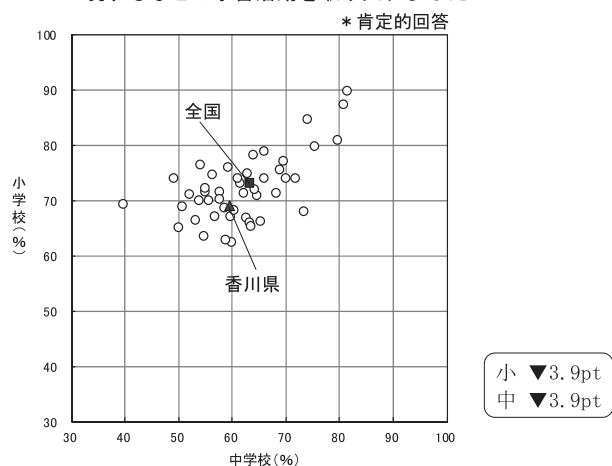
- 36/36 対象児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



【言語活動】

課題を設定し解決する学習活動

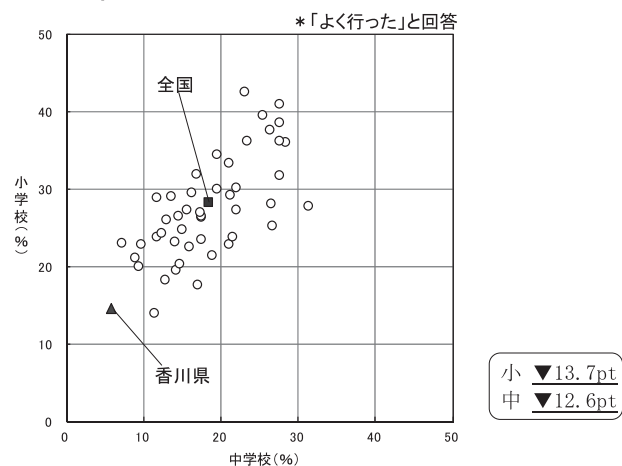
- 37/37 授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



【指導方法・学習規律】

資料の調べ方を身に付ける指導

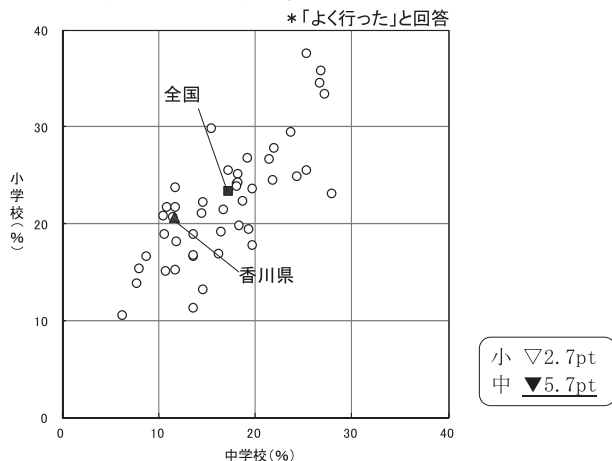
- 38/38 対象児童生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか



【言語活動】

資料を使って発表ができるための指導

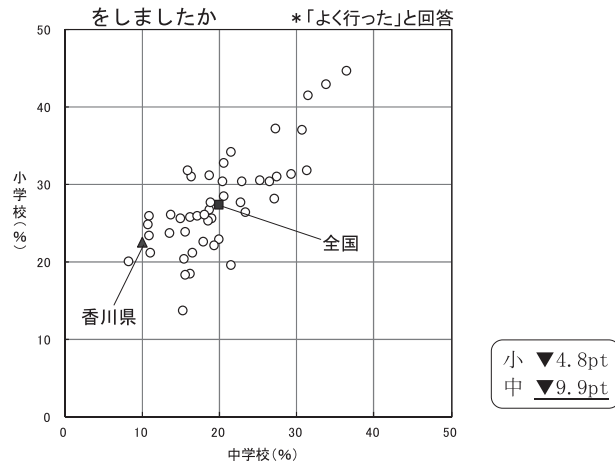
- 39/39 対象児童生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか



【言語活動】

分かりやすく文章に書かせる指導

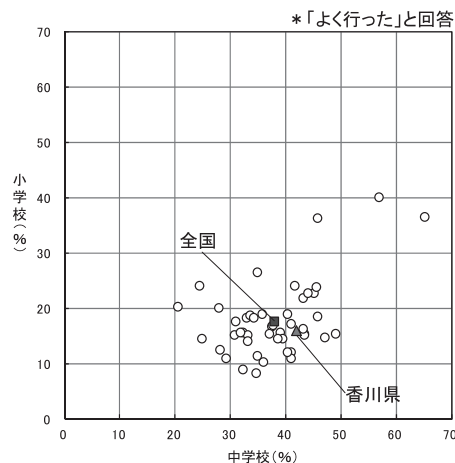
- 40/40 対象児童生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



【指導方法・学習規律】

将来の仕事や夢について考えさせる指導

- 41/41 対象児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

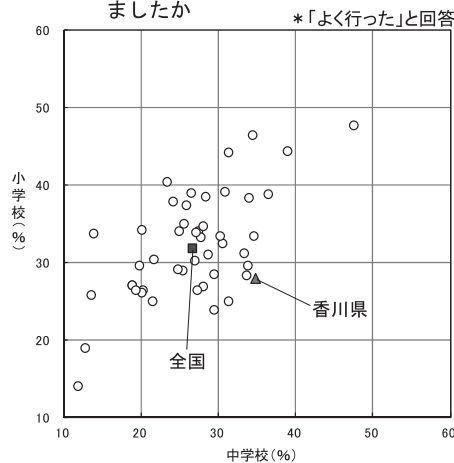


小 ▽1.6pt
中 ◎3.9pt

【指導方法・学習規律】

学級全員で挑戦する課題

- 42/42 対象児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

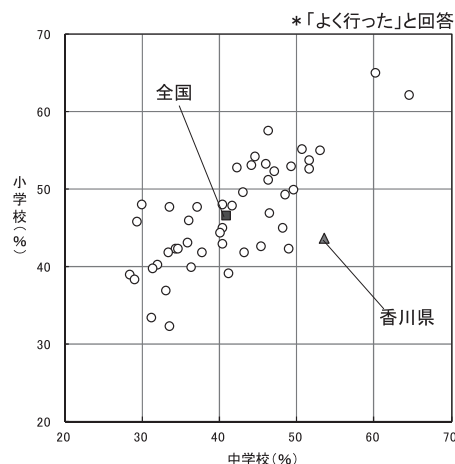


小 ▼3.8pt
中 ◎8.0pt

【指導方法・学習規律】

よい点や可能性への積極的な評価

- 43/43 対象児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか

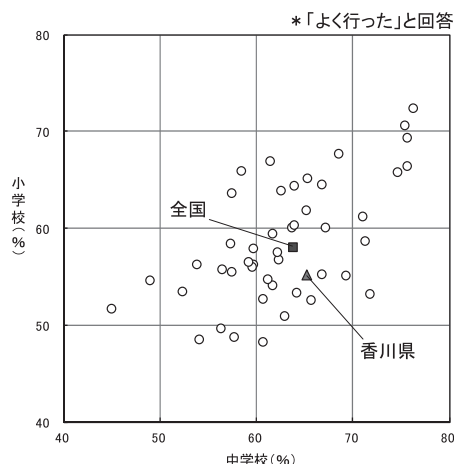


小 ▽2.8pt
中 ◎12.7pt

【指導方法・学習規律】

学習規律の維持

- 44/44 対象児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底しましたか

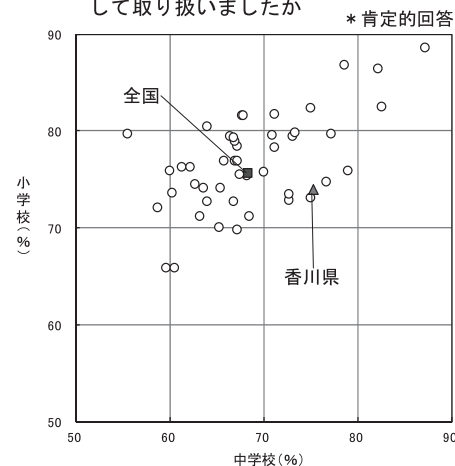


小 ▽2.8pt
中 ○1.3pt

【指導方法・学習規律】

地域や社会の出来事を学習の題材として

- 45/45 対象児童生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか

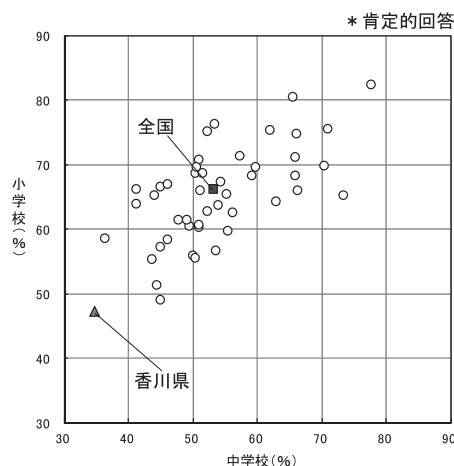


小 ▽1.6pt
中 ◎6.9pt

【コンピュータなどを活用した教育】

協働学習、課題発見・解決型の学習指導

- 46/46 対象児童生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか

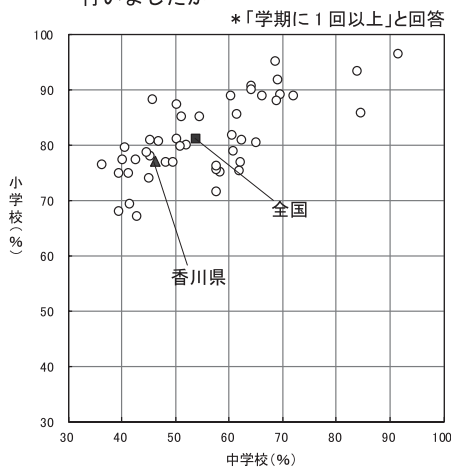


小 ▼18.8pt
中 ▼18.6pt

【コンピュータなどを活用した教育】

国語の授業での活用

- 47/47 対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか

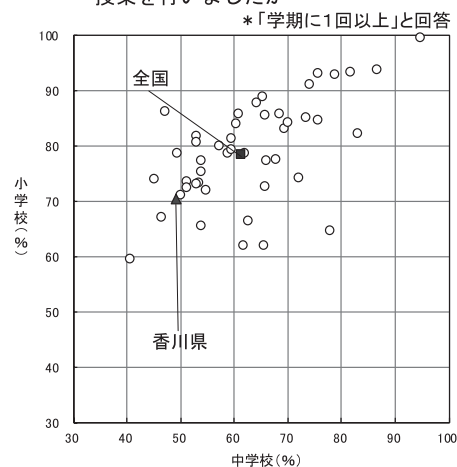


小 ▼4.2pt
中 ▼7.5pt

【コンピュータなどを活用した教育】

算数・数学の授業での活用

- 48/48 対象児童生徒に対して、前年度に、算数(数学)の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか

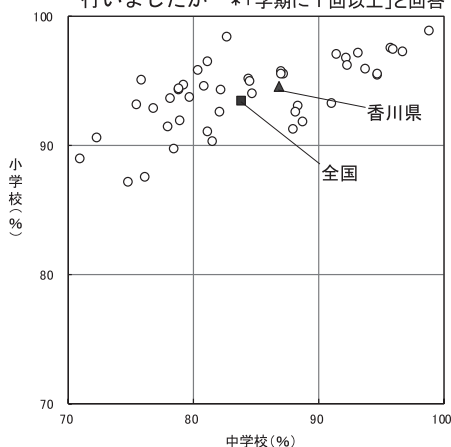


小 ▼8.0pt
中 ▼12.1pt

【コンピュータなどを活用した教育】

理科の授業での活用

- 49/49 対象児童生徒に対して、前年度に、理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか *「学期に1回以上」と回答

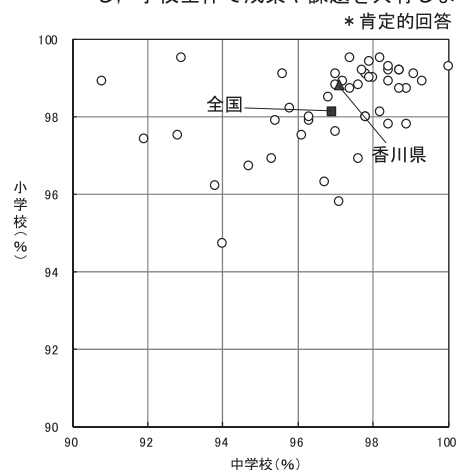


小 ○1.1pt
中 ◎3.0pt

【全国学力・学習状況調査等の活用】

全国学力・学習状況調査の結果分析

- 50/50 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか

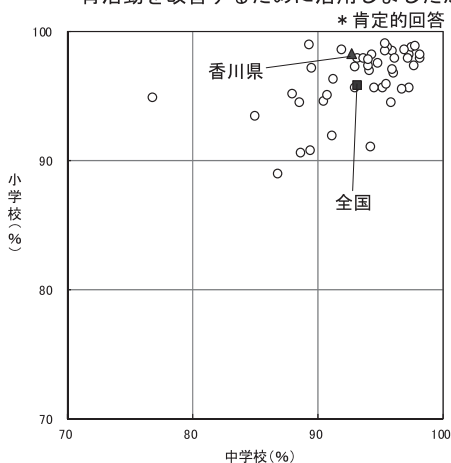


小 ○0.7pt
中 ○0.2pt

【全国学力・学習状況調査等の活用】

学校全体で教育活動への改善

- 51/51 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

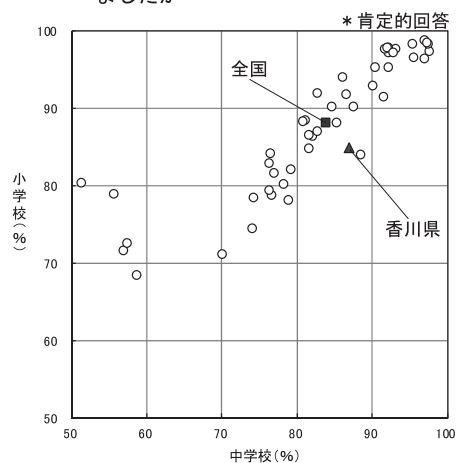


小 ○2.4pt
中 ▼0.5pt

【全国学力・学習状況調査等の活用】

保護者や地域の人たちへ公表

- 52/52 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか

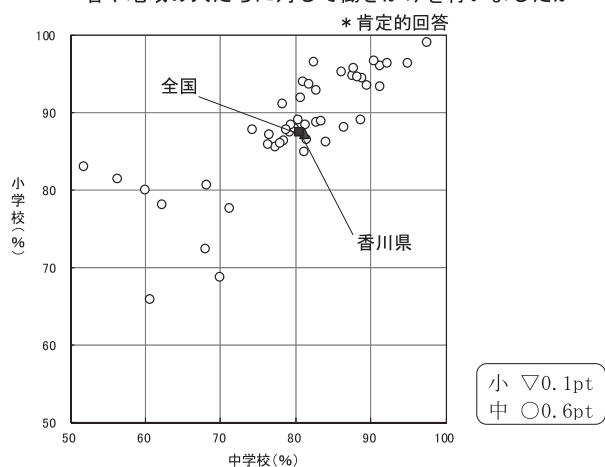


小 ▼3.1pt
中 ◎3.0pt

【全国学力・学習状況調査等の活用】

保護者等への働きかけ

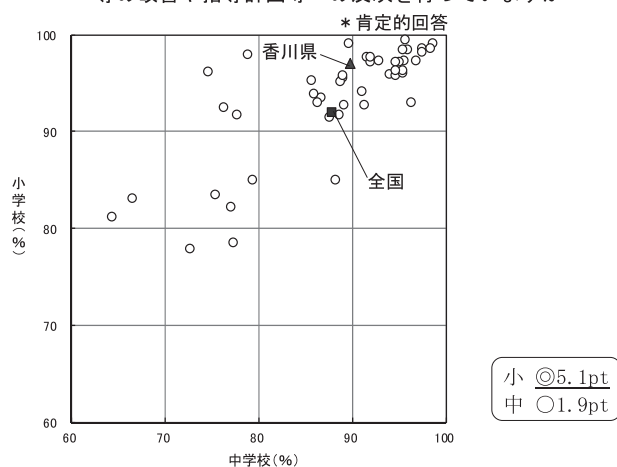
- 53/53 前年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか



【全国学力・学習状況調査等の活用】

具体的な教育指導の改善や指導計画

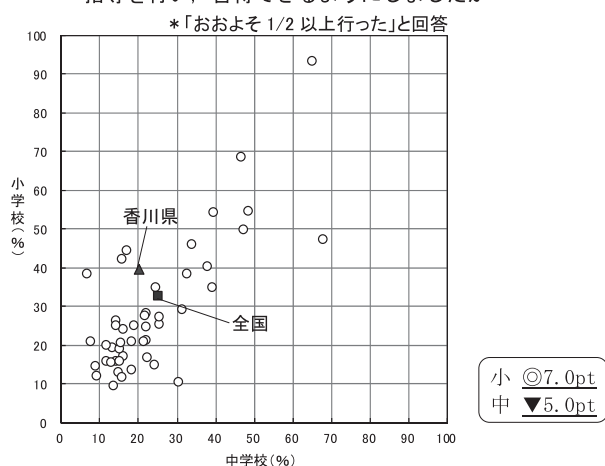
- 54/54 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【個に応じた指導《習熟度別少人数指導》】

習熟の遅いグループへの指導

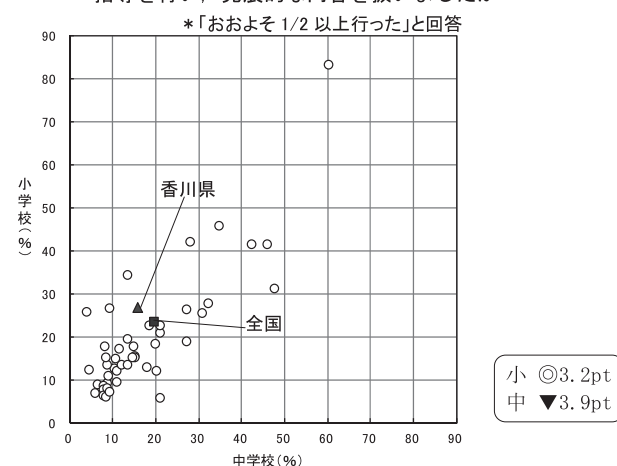
- 55/55 対象児童生徒に対して、算数(数学)の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか



【個に応じた指導《習熟度別少人数指導》】

習熟の早いグループへの指導

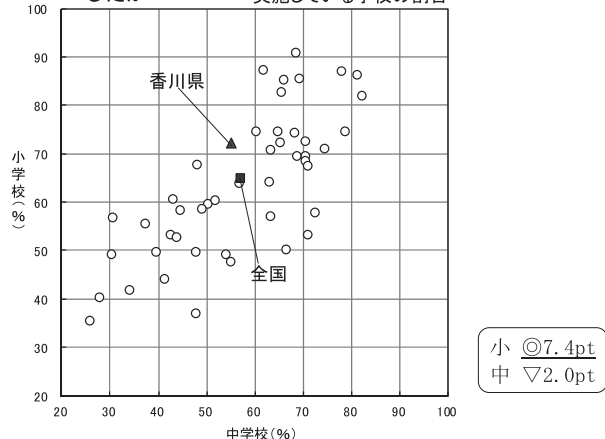
- 56/56 対象児童生徒に対して、算数(数学)の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか



【個に応じた指導《チームティーチング》】

チームティーチングの実施(算数・数学)

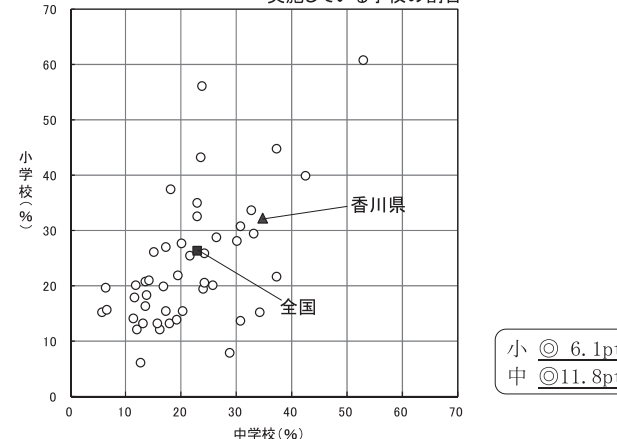
- 57/57 対象児童生徒に対して、算数(数学)の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか



【個に応じた指導《チームティーチング》】

チームティーチングの実施(理科)

- 58/58 対象児童生徒に対して、理科の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか

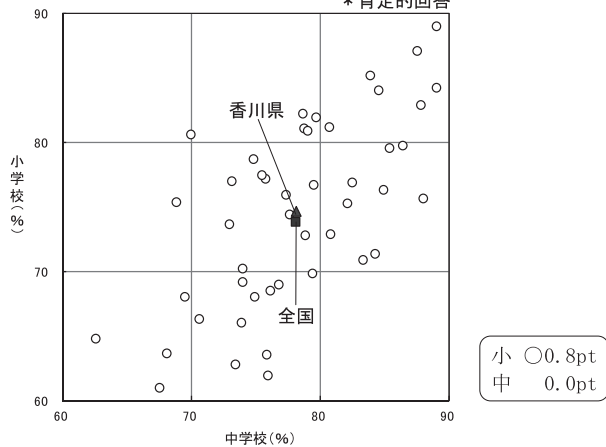


【国語科の指導方法】

補充的な学習の指導

■59/59 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答

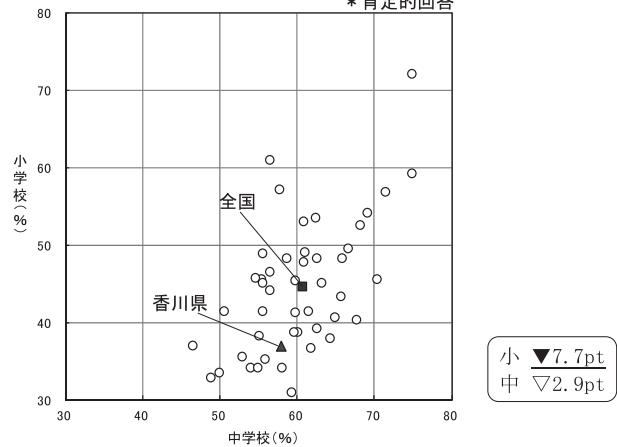


【国語科の指導方法】

発展的な学習の指導

■60/60 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答

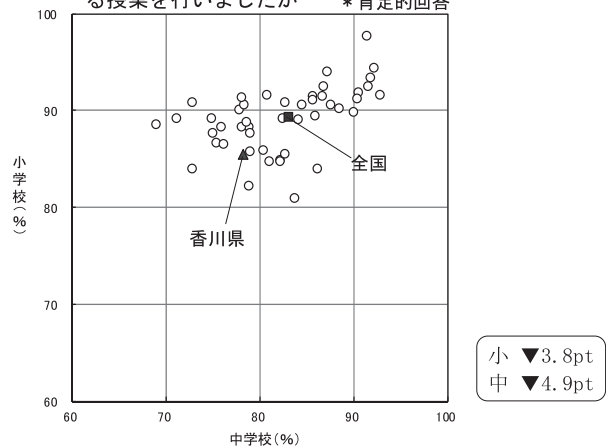


【国語科の指導方法】

目的に応じて話したり聞いたりする授業

■61/61 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか

*肯定的回答

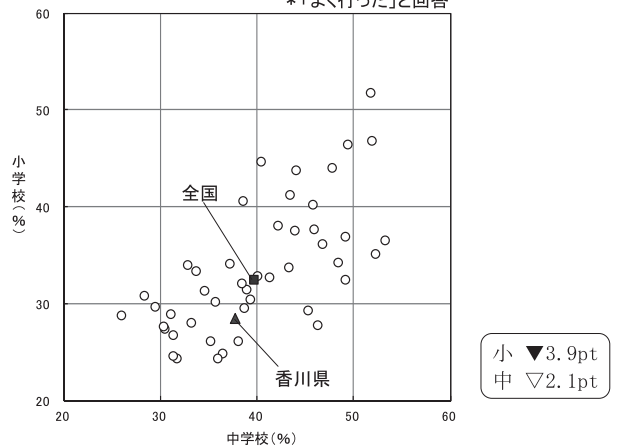


【国語科の指導方法】

書く習慣を付ける授業

■62/62 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか

*「よく行った」と回答

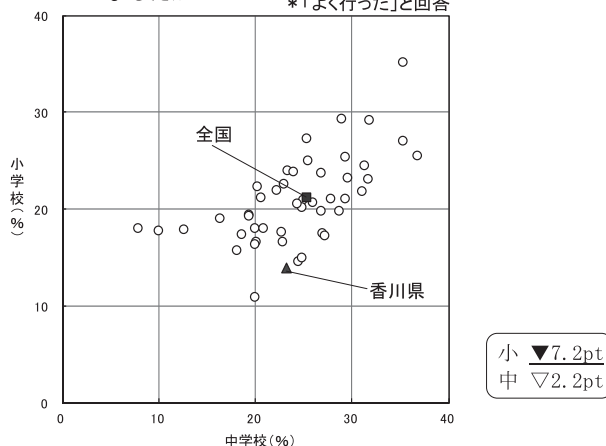


【国語科の指導方法】

様々な文章を読む習慣を付ける授業

■63/63 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか

*「よく行った」と回答

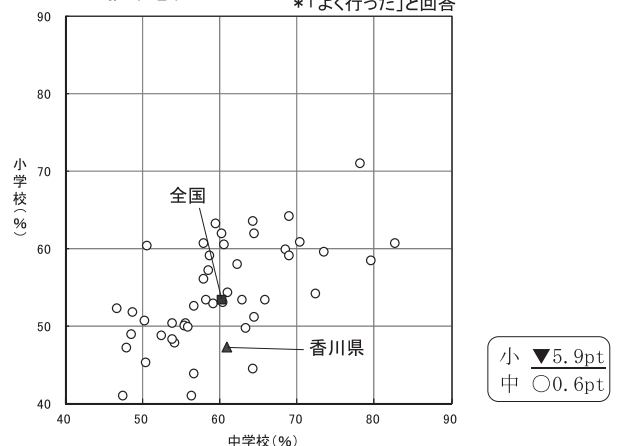


【国語科の指導方法】

基礎的・基本的な事項を定着させる授業

■64/64 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか

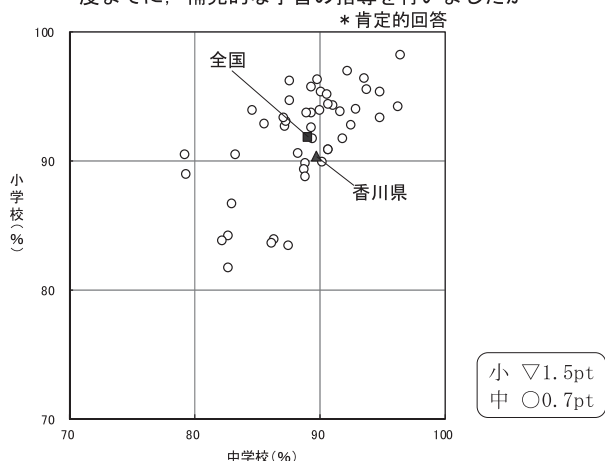
*「よく行った」と回答



【算数・数学科の指導方法】

補充的な学習の指導

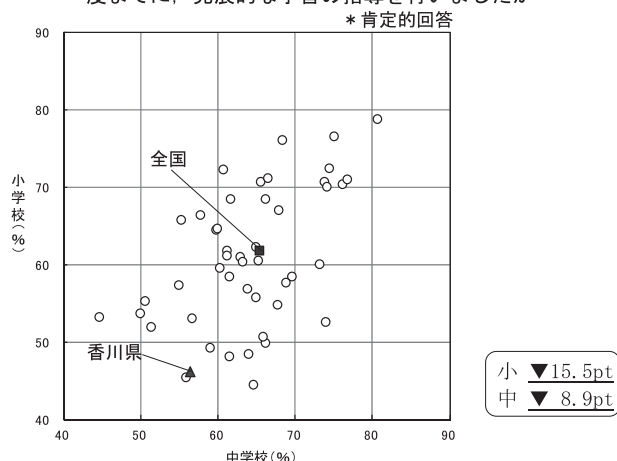
■65/65 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

発展的な学習の指導

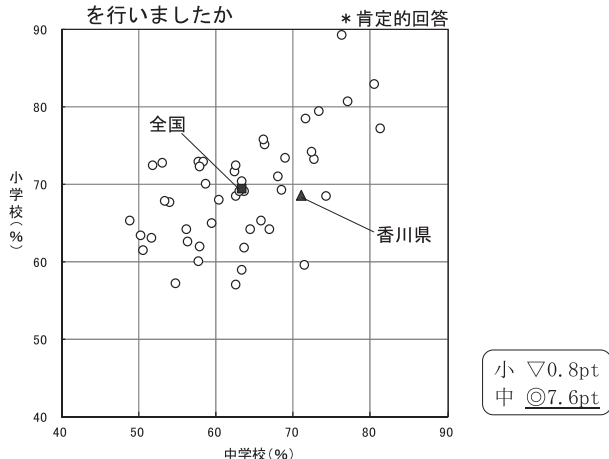
■66/66 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

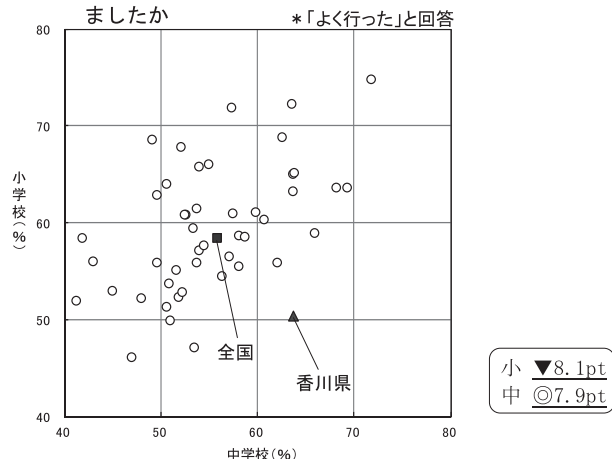
■67/67 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

計算問題など反復練習をする授業

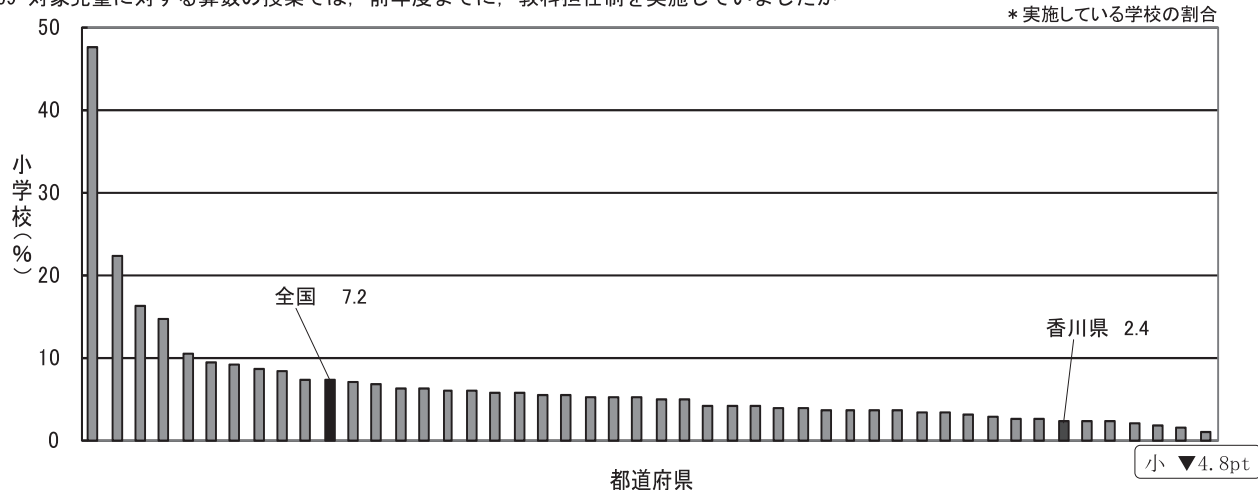
■68/68 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

【小学校】教科担任制の実施

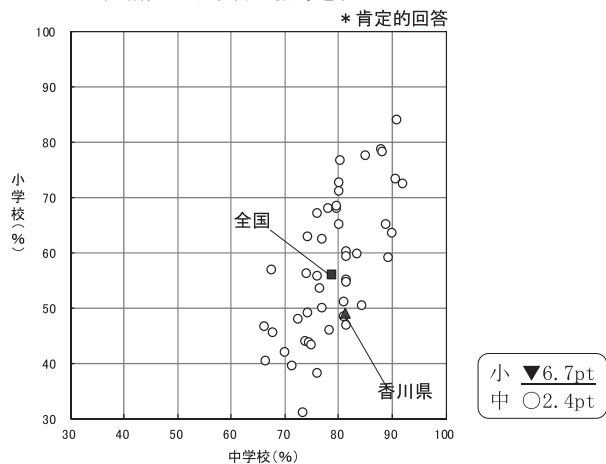
■69 対象児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか



【理科の指導方法】

補充的な学習の指導

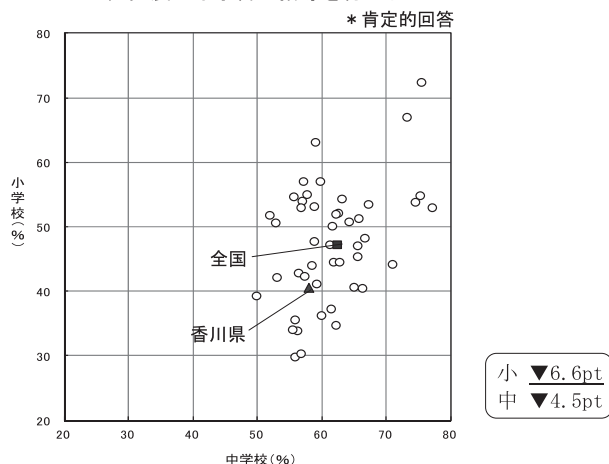
■70/69 対象児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



【理科の指導方法】

発展的な学習の指導

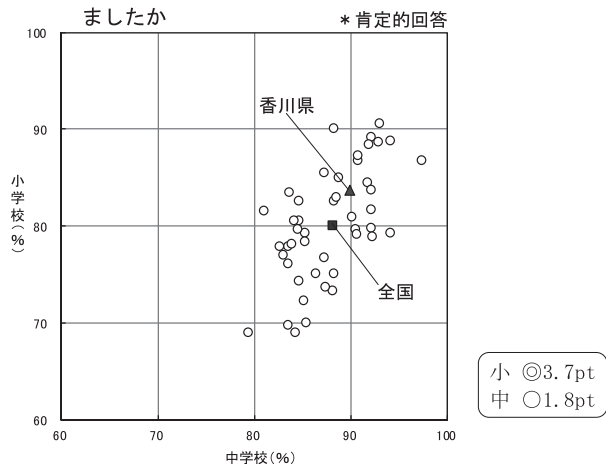
■71/70 対象児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



【理科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

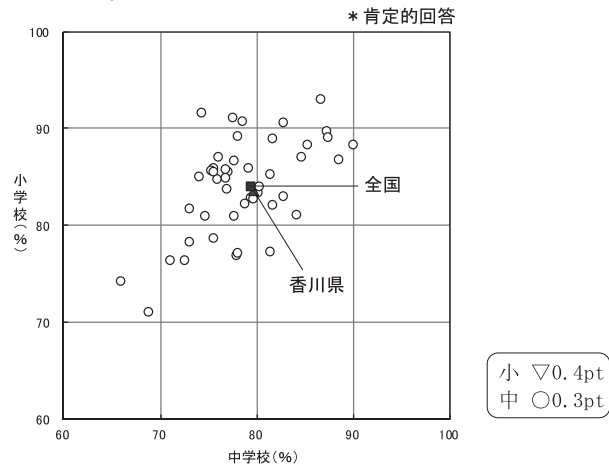
■72/71 対象児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【理科の指導方法】

科学的な体験や自然体験

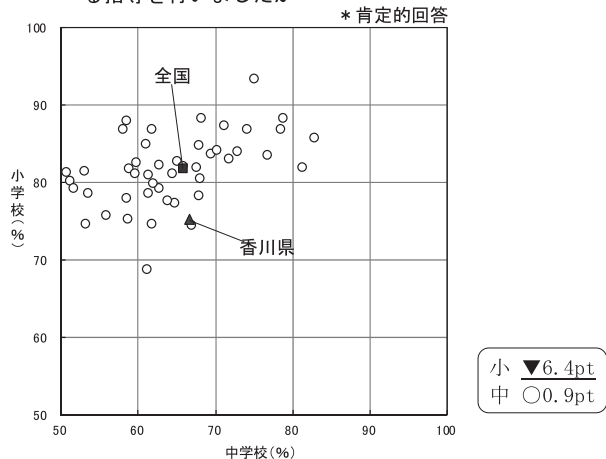
■73/72 児童（生徒）が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか



【理科の指導方法】

仮説をもとに観察、実験を計画

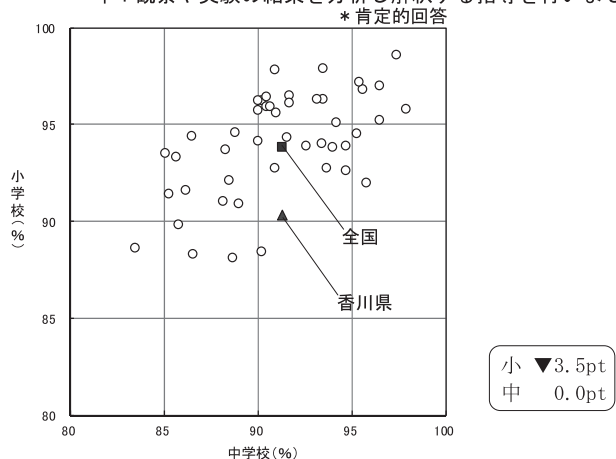
■74/73 自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか



【理科の指導方法】

観察・実験の結果を整理・分析し考察・解釈

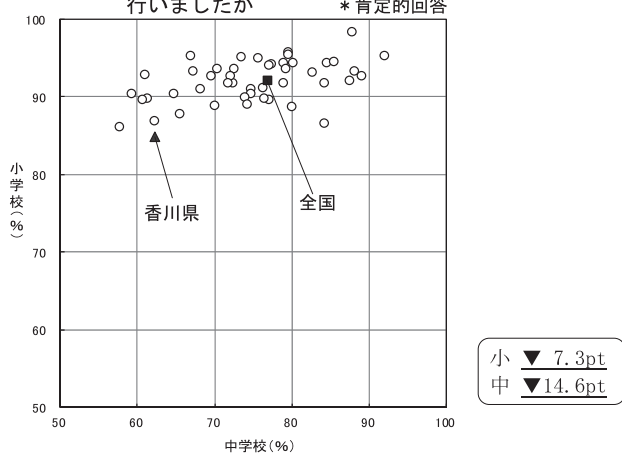
■75/74 小：観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか
中：観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか



【理科の指導方法】

観察・実験の記録に関する指導

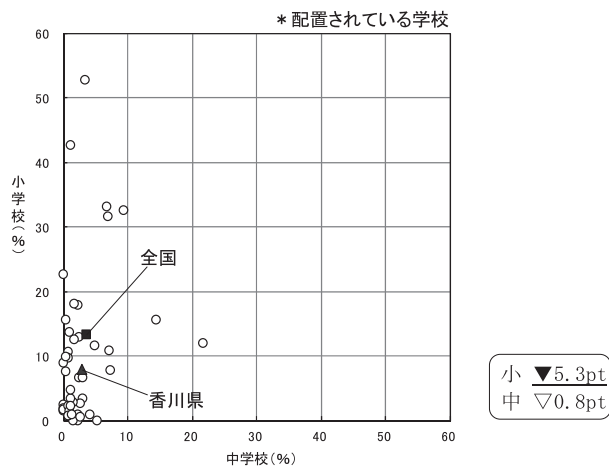
- 76/75 小：観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか
中：観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行いましたか
* 肯定的回答



【理科の指導方法】

観察実験補助員の配置

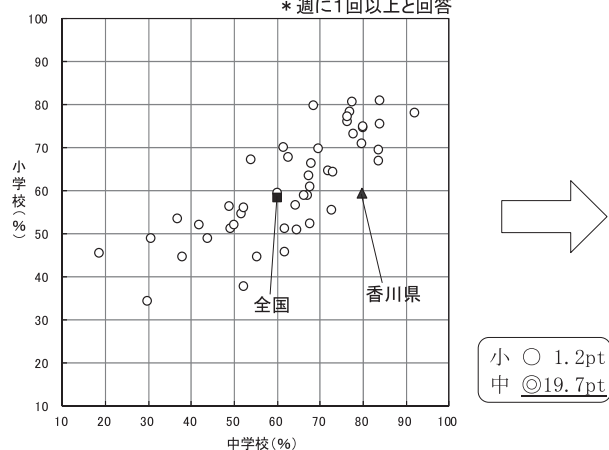
- 77/76 調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業や準備において、前年度に観察実験補助員が配置されていたか



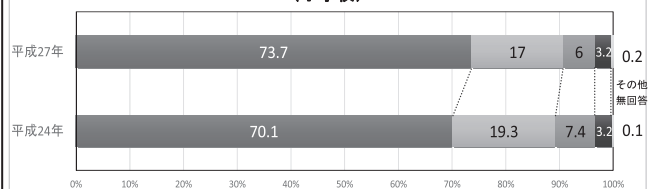
【理科の指導方法】

観察・実験の実施

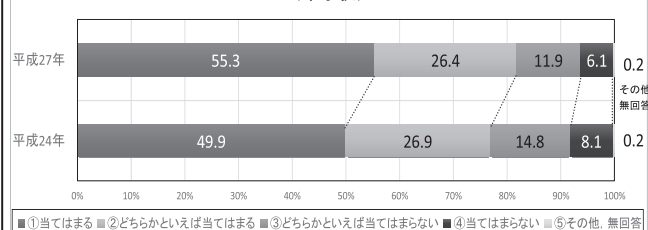
- 78/77 調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業において、前年度に理科室で児童生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか
* 週に1回以上と回答



□78 観察や実験を行うことは好きですか
(小学校)



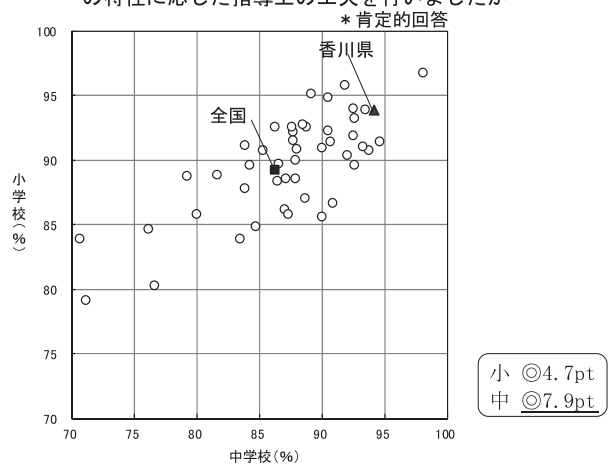
(中学校)



【特別支援教育】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

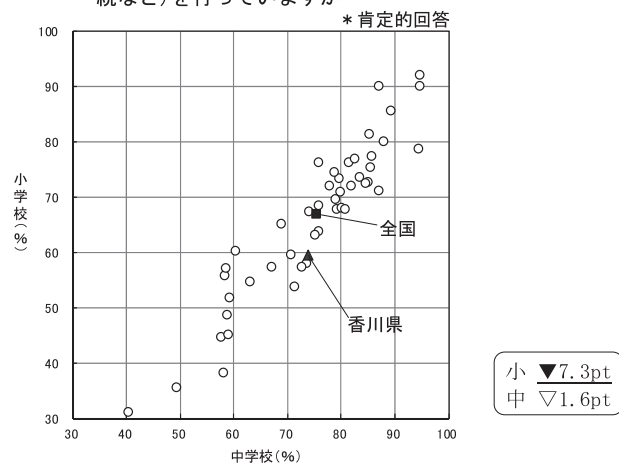
- 79/78 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、対象児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか
* 肯定的回答



【学校種間の連携】

小・中学校の連携

- 80/79 教科の指導内容や指導方法について近隣の中(小)学校と連携(教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など)を行っていますか
* 肯定的回答

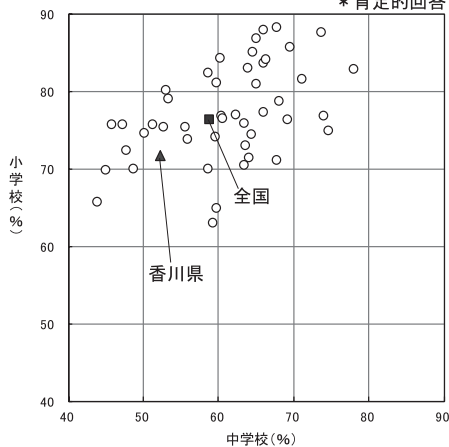


【地域の人材・施設の活用】

地域人材を外部講師として招聘した授業

■81/80 対象児童生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

* 肯定的回答



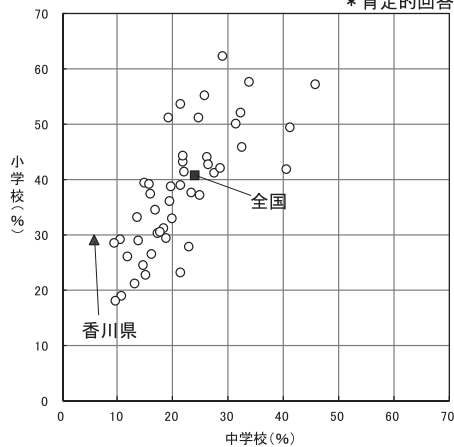
小 ▼4.7pt
中 ▼6.6pt

【地域の人材・施設の活用】

ボランティア等による授業サポート

■82/81 対象児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか

* 肯定的回答



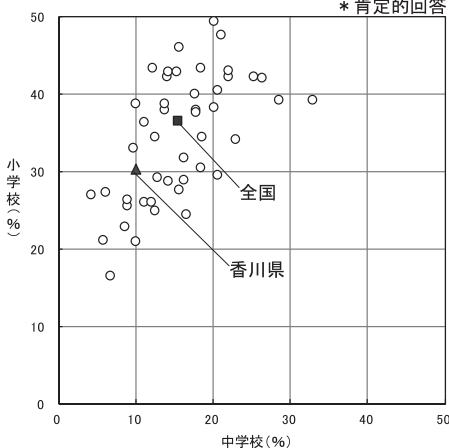
小 ▼11.5pt
中 ▼18.5pt

【地域の人材・施設の活用】

博物館、図書室を利用した授業

■83/82 対象児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか

* 肯定的回答



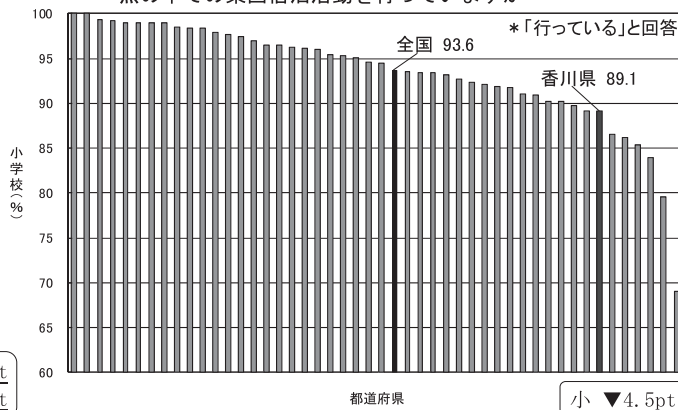
小 ▼6.1pt
中 ▼5.4pt

【地域の人材・施設の活用】

【小学校】集団宿泊活動の実施

■84 第6学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行っていますか

* 「行っている」と回答



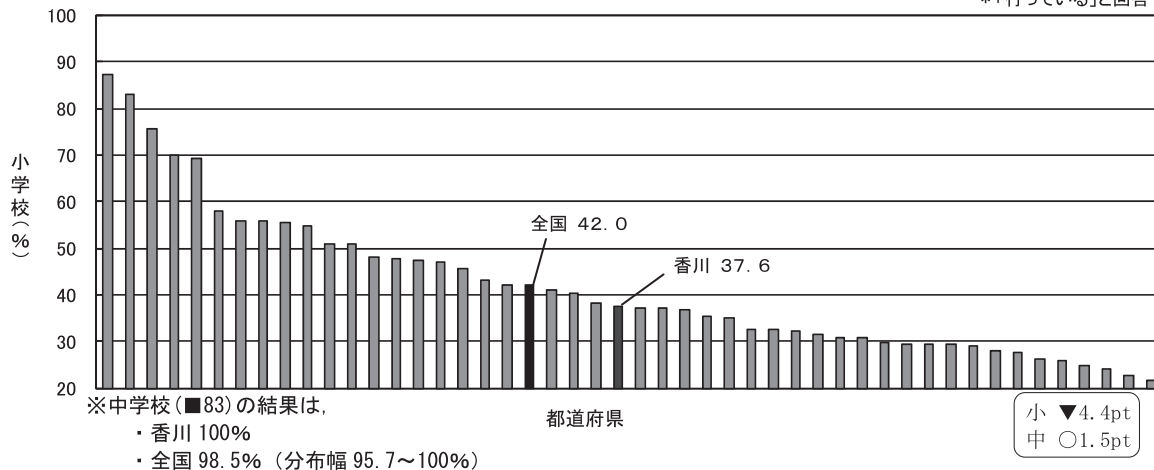
小 ▼4.5pt

【地域の人材・施設の活用】

【小学校】職場見学や職場体験活動の実施

■85/83 職場見学や職場体験活動を行っていますか

* 「行っている」と回答



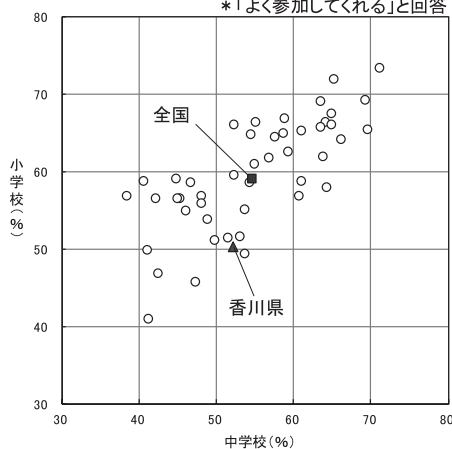
小 ▼4.4pt
中 ○1.5pt

【地域の人材・施設の活用】

P T Aや地域の人によるボランティア

- 86/84 P T Aや地域の人が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか

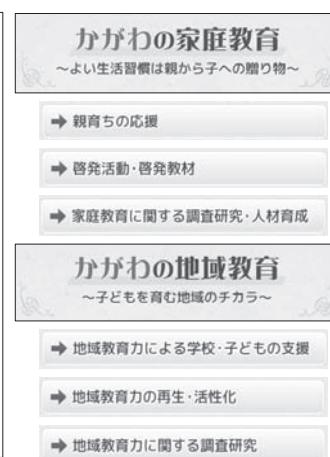
*「よく参加してくれる」と回答



小 ▼8.7pt
中 ▼2.5pt



参考：香川県教育委員会 生涯学習・文化財課
「かがわ・家庭・地域教育 ぶらっと@ほ〜む」より

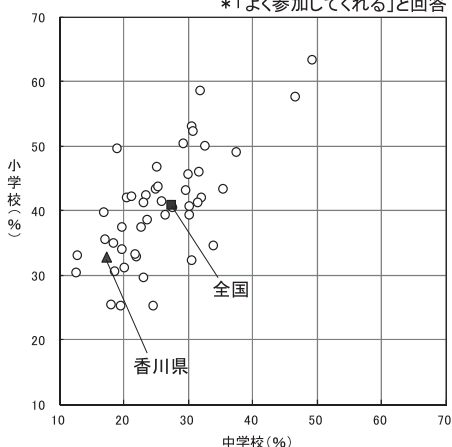


【地域の人材・施設の活用】

学校支援ボランティアの仕組み

- 87/85 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか

*「よく参加してくれる」と回答



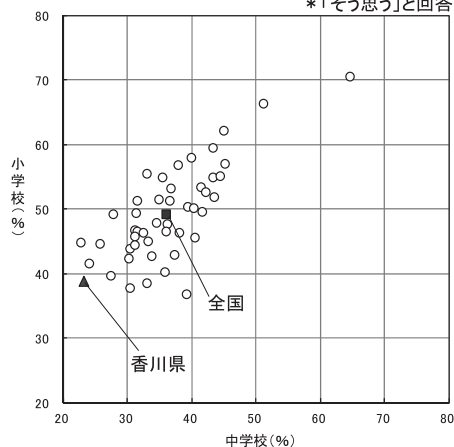
小 ▼8.0pt
中 ▼10.0pt

【地域の人材・施設の活用】

学校支援ボランティアの効果

- 88/86 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

*「そう思う」と回答



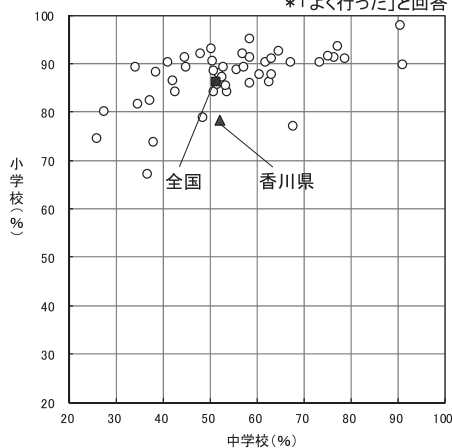
小 ▼10.2pt
中 ▼12.9pt

【家庭学習】

家庭学習の課題(宿題)

- 89/87 対象児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか

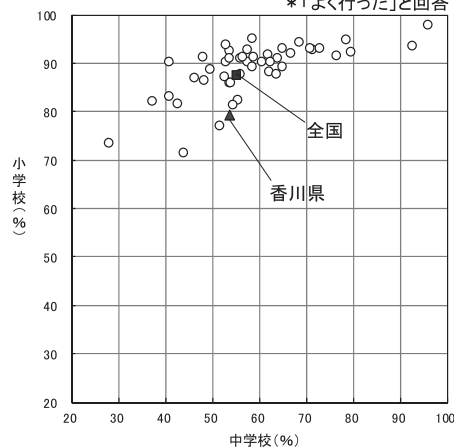
*「よく行った」と回答



小 ▼7.9pt
中 ○0.8pt

- 91/89 対象児童生徒に対して、前年度までに、算数(数学)の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか

*「よく行った」と回答

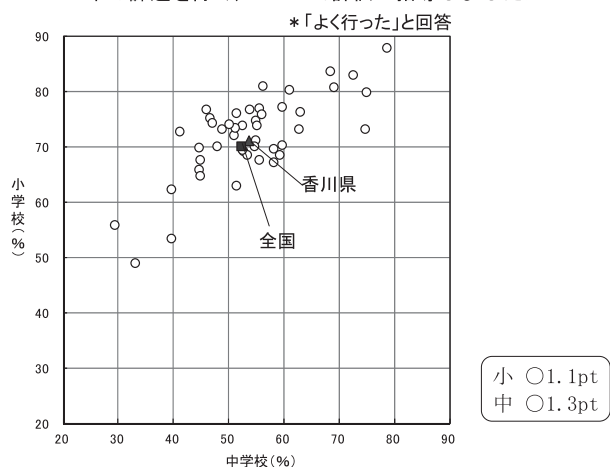


小 ▼8.1pt
中 ▼1.6pt

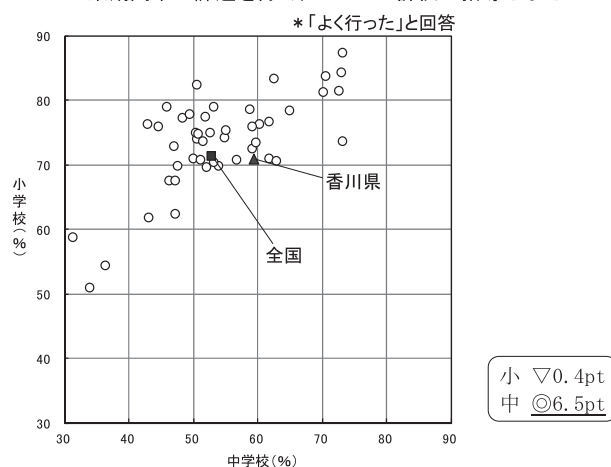
【家庭学習】

家庭学習の課題についての評価と指導

■90/88 対象児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について評価・指導しましたか



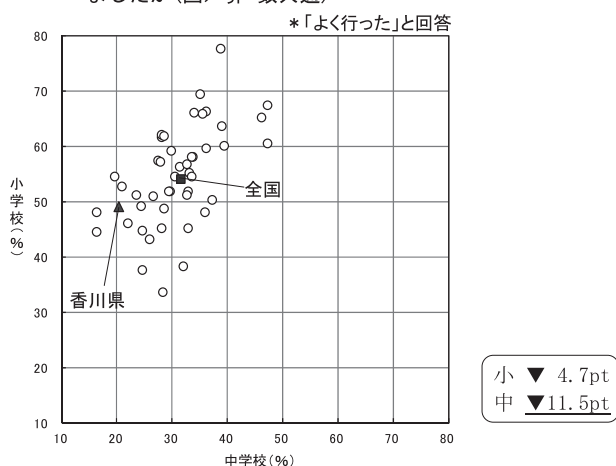
■92/90 対象児童生徒に対して、前年度までに、算数(数学)の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について評価・指導しましたか



【家庭学習】

家庭学習を促す働きかけ

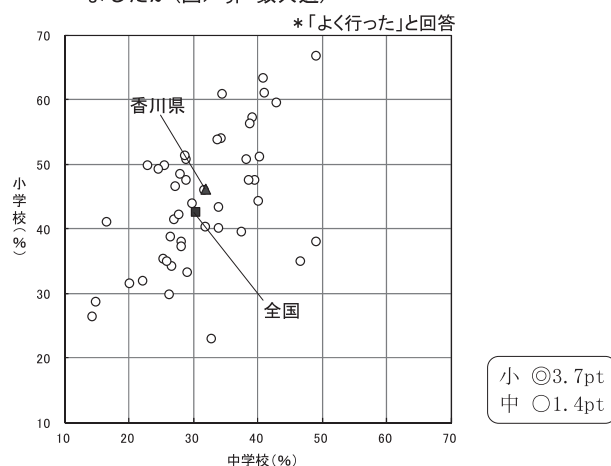
■93/91 対象児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国/算・数共通)



【家庭学習】

家庭学習の課題の与え方について共通理解

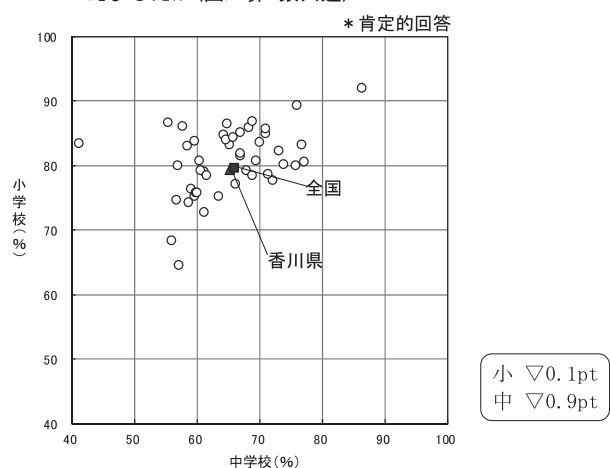
■94/92 対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国/算・数共通)



【家庭学習】

調べたり文章を書いたりする宿題

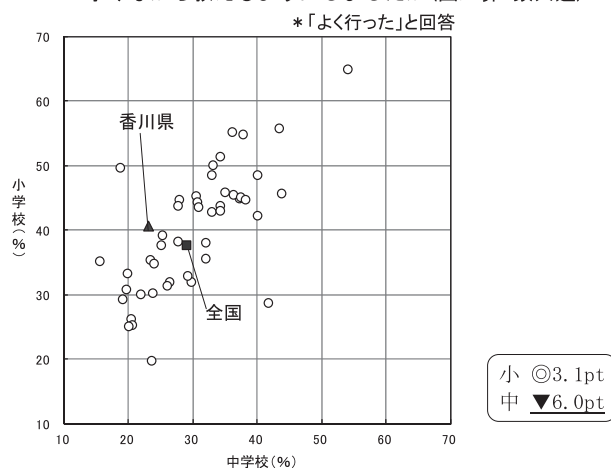
■95/93 対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国/算・数共通)



【家庭学習】

家庭の学習方法等に関する指導

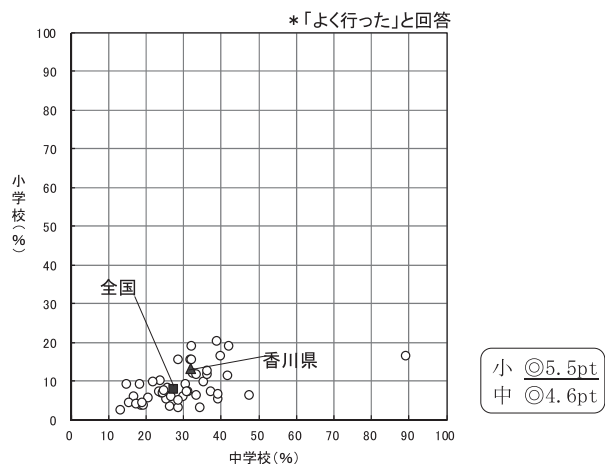
■96/94 対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国/算・数共通)



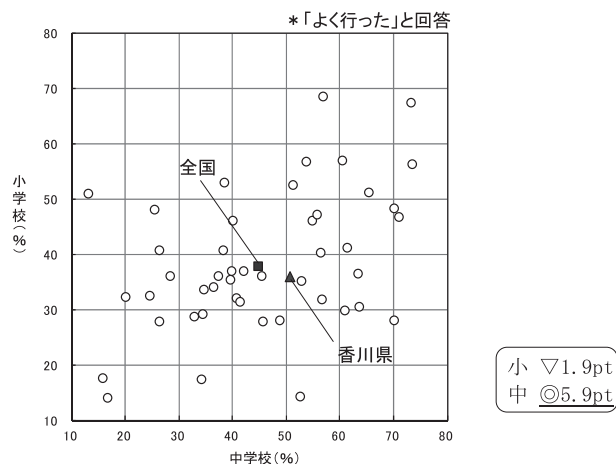
【家庭学習】

家庭学習の課題（宿題）

■97/95 対象児童生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか



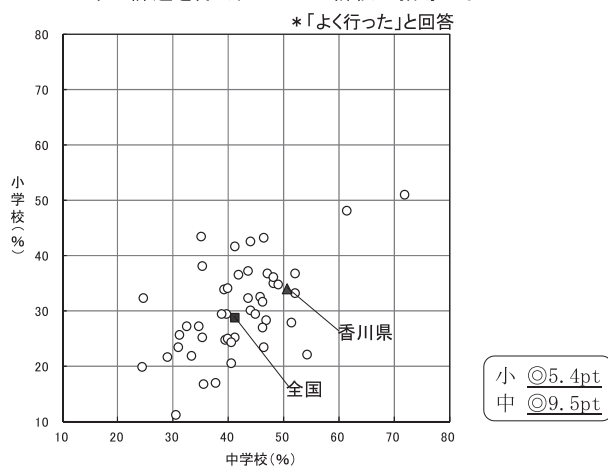
■98/96 対象児童生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題（宿題）を与えましたか



【家庭学習】

家庭学習の課題についての評価と指導

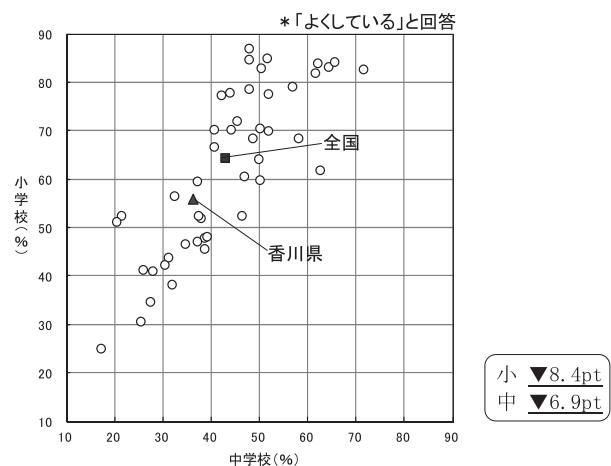
■99/97 対象児童生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について評価・指導しましたか



【教員研修】

講師を招聘するなどの校内研修

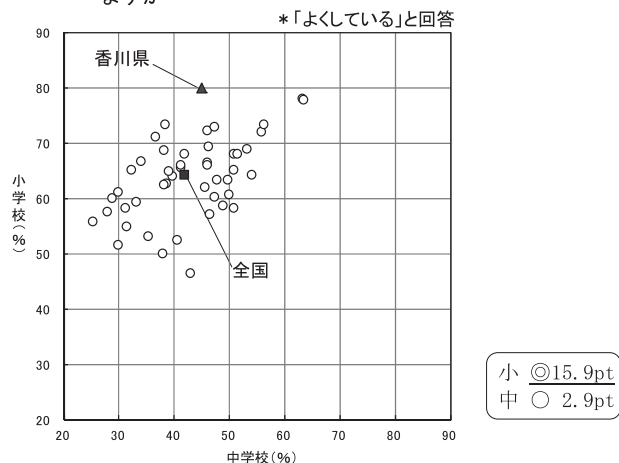
■100/98 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか



【教員研修】

実践的な研修

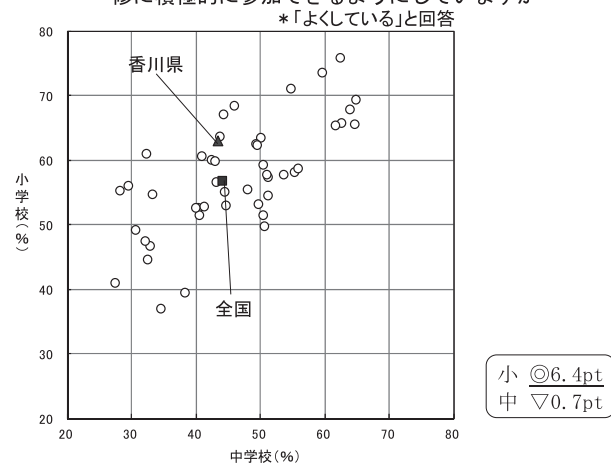
■101/99 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



【教員研修】

学校外での研修

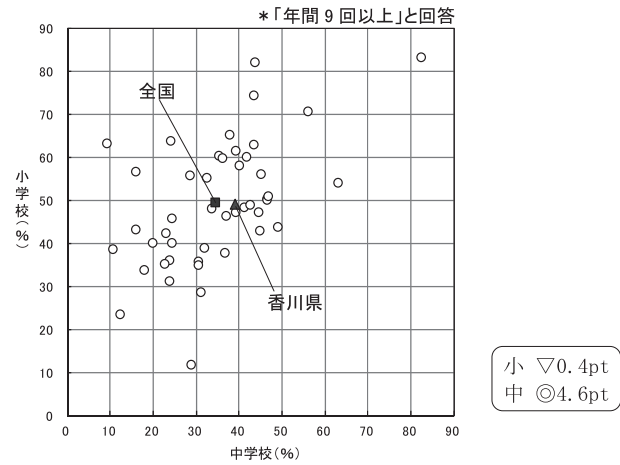
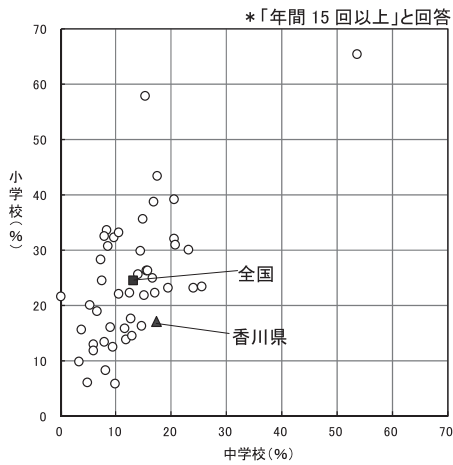
■102/100 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか



【教員研修】

授業研究の実施回数

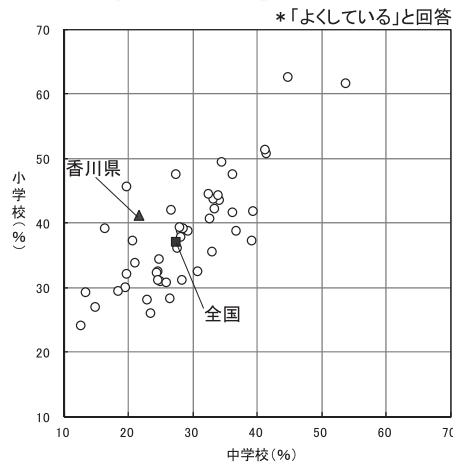
■103/101 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか



【教職員の取組】

研修成果の反映

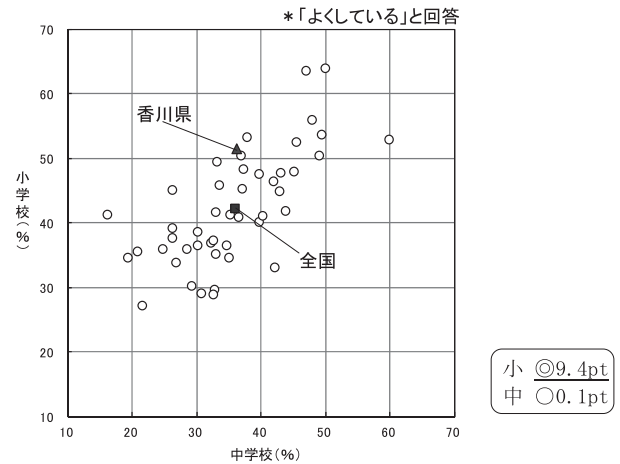
■104/102 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか



【教職員の取組】

指導計画の作成にあたっての協力

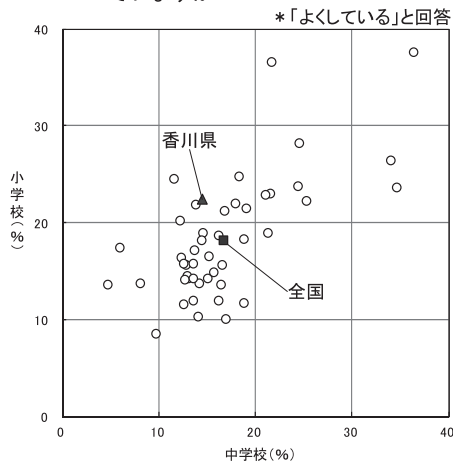
■105/103 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力合っていますか



【教職員の取組】

活用に重点を置いた指導計画

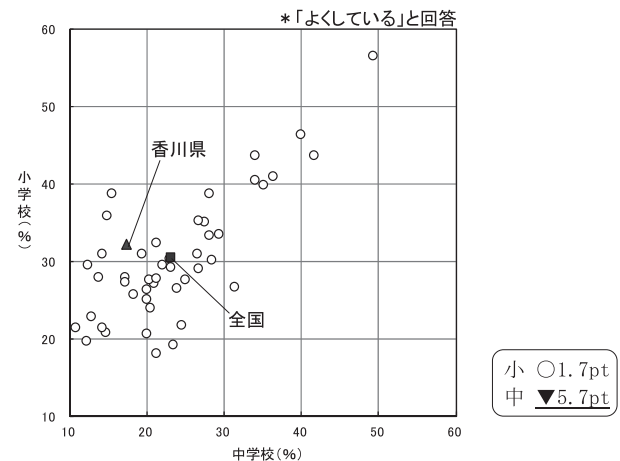
■106/104 知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか



【言語活動】

言語活動に重点を置いた指導計画

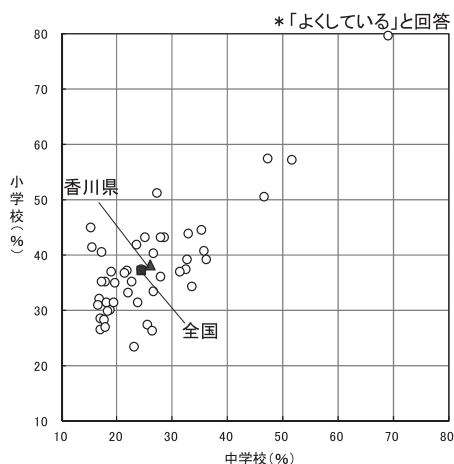
■107/105 言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか



【言語活動】

言語活動の実施状況と課題について

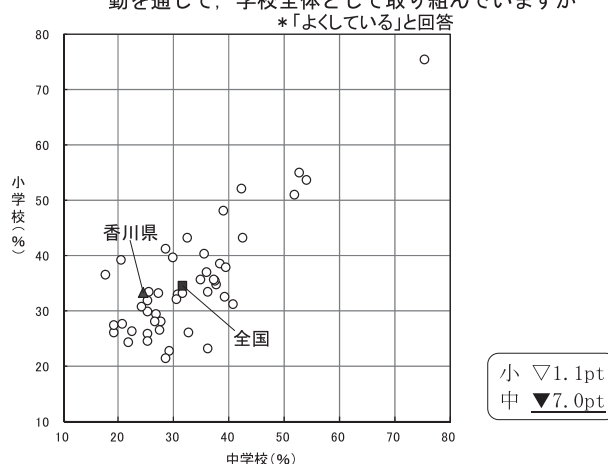
■108/106 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間に話し合ったり、検討したりしていますか



【言語活動】

学校全体としての言語活動の取組

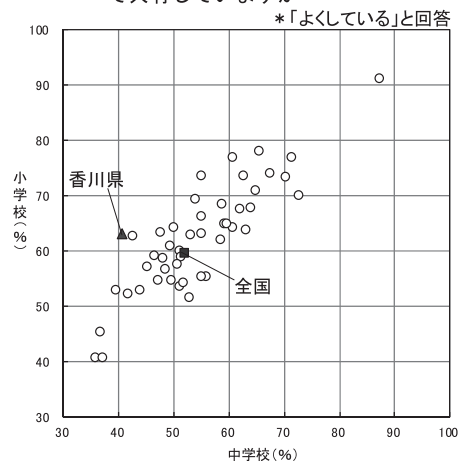
■109/107 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



【教職員の取組】

学力の傾向や課題の共有

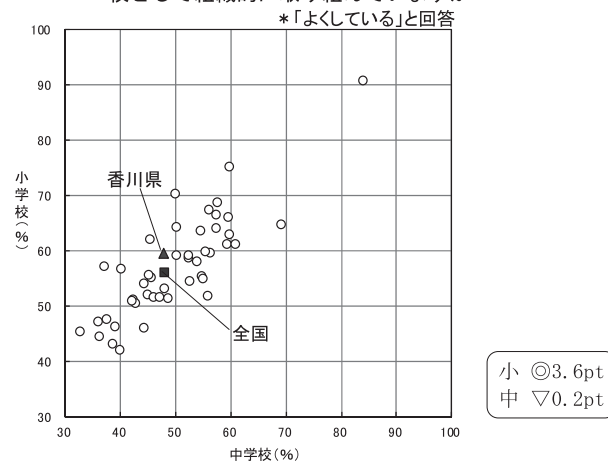
■110/108 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間に共有していますか



【教職員の取組】

学級運営の状況や課題を組織的に取り組む

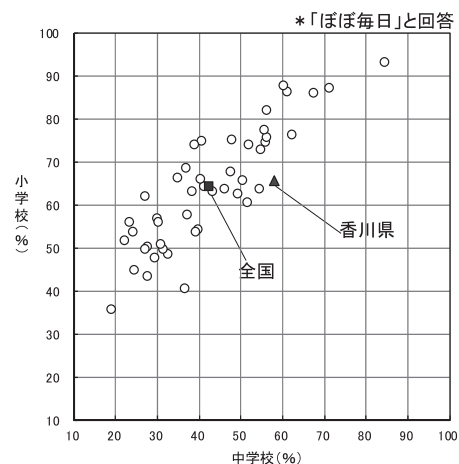
■111/109 学級運営の状況や課題を全教職員の間に共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



【教職員の取組】

校長による授業参観

■112/110 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか



参考：香川県教育委員会 義務教育課
「さめきの授業 基礎・基本 実践事例集」より

全国学力・学習状況調査の分析や学力向上の取組にご活用ください

香川県教育センターのWeb サイトには、全国学力・学習状況調査報告書のデータや、各校での分析を支援する活用ツール等を掲載しています。また、学力向上に役立つコンテンツや、各種支援事業についても紹介しています。 香川県教育センター Web サイト <http://www.kagawa-edu.jp/educ/htdocs/>

ここをクリックすると、全国学力・学習状況調査の報告書（10月）や速報（8月25日付）を見たり、各校の結果分析に役立つ活用ツールをダウンロードしたりすることができるページへと進みます。活用ツールログインには、4月に各校に送付したIDとパスワードによる認証が必要です。



The screenshot shows the Kagawa Education Center website with a top navigation bar including links like 'トップページ', '教育センターの概要', '教職員研修', '教育相談', 'カリキュラムセンター', '情報教育支援', '研究', '指導案・教材'. The main content area is divided into several sections: '学習指導案' (Lesson Plans), 'お知らせ' (Notice), 'トピックス' (Topics), and 'アクセス案内' (Access Information). The 'お知らせ' section contains several bullet points about recent updates, such as the release of the 2017 National Academic Achievement and Learning Status Survey results and the update of the access system. The 'トピックス' section features a '教育相談カード' (Education Consultation Card) and a 'ひとしじない' (Hito Shijina) project. The 'アクセス案内' section provides contact information for the center, including phone numbers and email addresses.

「アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ」には、発行されているリーフのデータや関連する資料を掲載しています。現職教育等の資料としてご活用ください。

The image shows the cover of a booklet titled 'Leaf 2' with the subtitle 'アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ'. The cover features a photograph of three students sitting at a desk, engaged in a learning activity. The text on the cover includes 'アクティブ・ラーニングで学習意欲を高めよう!' (Let's increase learning motivation with Active Learning!) and a list of three points: 1. 児童生徒主体の課題が学習意欲を喚起する! (Tasks centered on children and students stimulate learning motivation!), 2. 学び合いで意欲が高まる! 自信ができる! (Learning together increases motivation! Confidence can be gained!), 3. 教師に求められる働き方について考える! (Thinking about the role of teachers!). The booklet is published by KEC (Kagawa Education Center).

【アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ Leaf.2 (H27 10月発行)】

教育センターのWeb サイトには、他にも教科指導や学級経営等に役立つコンテンツを掲載しています。また、スクールアドバイザー等の支援事業についても紹介しています。ぜひ一度ご覧になり、ご活用ください。

「学習指導案」には、学習指導案や実践事例、教材等のコンテンツを集約しています。学力向上に向けた取組の参考資料としてご活用ください。

「研修サポート」は学校の学力向上のために、現職教育の講師や助言者として教育センターの指導主事を派遣する事業です。ご希望があれば、ここをクリックし、申込手順に従って、お申込みください。

教育センターには13,000冊を超える教育図書が収められています。「教育ライブラリー」のページでは、読みたい本を検索することができます。